鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち建築工事

香山・タニ設計業務共同企業体

図面目録（建築）		
図番	名称	縮尺
A-01	図面目録	
A-02	特記仕様書1	
A-03	特記仕様書2	
A-04	特記仕様書3	
A-05	特記仕様書4	
A-06	特記仕様書5	
A-07	特記仕様書6	
A-08	特記仕様書7	
A-09	特記仕様書8	
A-10	特記仕様書9	
A-11	配置図	1:300
A-12	仮設計画配置図（1期）	1:250
A-13	仮設計画配置図（2期）	1:250
A-14	仮設計画平面図	1:400
A-15	地階平面図（改修前後）	1:150
A-16	1階平面図（改修前）	1:150
A-17	2階平面図（改修前）	1:150
A-18	3階平面図（改修前）	1:150
A-19	屋根伏図（改修前）	1:150
A-20	1階平面図（改修後）	1:150
A-21	2階平面図（改修後）	1:150
A-22	3階平面図（改修後）	1:150
A-23	屋根伏図（改修後）	1:150
A-24	立面図１	1:150
A-25	立面図２	1:150
A-26	内部ひび割れ改修図	1:100
A-27	1階屋内遊び場（動）改修図（改修前）	1:70
A-28	1階屋内遊び場（動）改修図（改修後）	1:70
A-29	1階ロッカー室改修図（改修前）	1:50
A-30	1階ロッカー室改修図（改修後）	1:50
A-31	1階西側便所改修図	1:50
A-32	1階歩廊改修図（改修前）	1:70
A-33	1階歩廊改修図（改修後）	1:70
A-34	1階多目的便所改修図	1:50
A-35	1階屋内遊び場（静）改修図（改修前）	1:70
A-36	1階屋内遊び場（静）改修図（改修後）	1:70
A-37	1階東側便所改修図（改修前）	1:50
A-38	1階東側便所改修図（改修後）	1:50
A-39	2階事務室改修図（改修前）	1:70
A-40	2階事務室改修図（改修後）	1:70
A-41	2階スロープ部改修図（改修前）	1:50
A-42	2階スロープ部改修図（改修後）	1:50
A-43	2階西側便所改修図	1:50
A-44	2階歩廊改修図（改修前）	1:70

図面目録（建築）		
図番	名称	縮尺
A-45	2階歩廊改修図（改修後）	1:70
A-46	2階多目的便所改修図	1:50
A-47	2階多目的室改修図（改修前）	1:70
A-48	2階多目的室改修図（改修後）	1:70
A-49	2階東側便所改修図	1:50
A-50	3階集会室改修図（改修前）	1:70
A-51	3階集会室改修図（改修後）	1:70
A-52	3階西側便所改修図	1:50
A-53	3階歩廊改修図（改修前）	1:70
A-54	3階歩廊改修図（改修後）	1:70
A-55	3階多目的便所改修図	1:50
A-56	3階レインボー事務室改修図（改修前）	1:70
A-57	3階レインボー事務室改修図（改修後）	1:70
A-58	3階東側便所改修図	1:50
A-59	西側階段改修図1	1:50
A-60	西側階段改修図2	1:50
A-61	中央階段改修図1	1:60
A-62	中央階段改修図2	1:20, 1:2, 1:5
A-63	東側階段改修図1	1:50
A-64	東側階段改修図2	1:50
A-65	1階天井伏図	1:200
A-66	2階天井伏図	1:200
A-67	3階天井伏図	1:200
A-68	改修建具表1	1:100
A-69	改修建具表2	1:100
A-70	改修建具表3	1:100
A-71	建具詳細図1	1:70
A-72	建具詳細図2	1:50
A-73	建具詳細図3	1:5
A-74	建具詳細図4	1:5
A-75	建具詳細図5	1:5
A-76	建具詳細図6	1:50
A-77	建具詳細図7	1:50
A-78	建具詳細図8	1:5
A-79	建具詳細図9	1:2
A-80	家具詳細図	1:30
A-81	部分詳細図1	1:5
A-82	部分詳細図2	1:10
A-83	トップライト改修図	1:2
A-84	駐輪場解体詳細図	1:50
A-85	EV改修図1	1:30
A-86	EV改修図2	1:30
A-87	EXP.J改修図1	1:50
A-88	EXP.J改修図2	1:50

図面目録（建築）		
図番	名称	縮尺
A-89	EXP.J改修図3	1:50
A-90	EXP.J改修図4	1:50
A-91	EXP.Jｶﾊﾞｰ詳細図1	1:2
A-92	EXP.Jｶﾊﾞｰ詳細図2	1:2
A-93	耐震改修詳細図1	1:30
A-94	耐震改修詳細図2	1:30
A-95	サイン詳細図1	
A-96	サイン詳細図2	
A-97	サイン詳細図3	
A-98	サイン詳細図4	
A-99	サイン詳細図5	
A-100	サイン詳細図6	
A-101	サイン詳細図7	
A-102	サイン詳細図8	

特記仕様書

Ⅰ．工事概要

1.　工事名称

鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち建築工事

2.　工事場所

鳴門市撫養町南浜

3.　建物概要

建物名称	健康福祉交流センター
構造・規模	鉄筋コンクリート造　地下1階+地上3階+PH階
敷地面積	6249.16 m2
延床面積	改修前延床面積：3,372 m2　　改修後延床面積：3,344 m2
消防法施行例別表第1の区分	6項ハ

4.　工事種目

種目	工事概要
建築一式工事	1F：床と天井部分の解体、改修、一部RC間仕切の解体
	2F：床と天井部分の解体、改修、一部RC間仕切の解体
	3F：床と天井部分の解体、改修、一部RC間仕切の解体
	各階共通：トイレの更新、EVの更新、外壁改修、防水改修

Ⅱ．共通仕様書

1.　適用基準

図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の下記による。

- 公共建築工事標準仕様書（建築工事編）　令和7年版（以下「標仕」という。）
- 公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）　令和7年版
- 公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）　令和7年版
- 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）　令和7年版（以下「改標仕」という。）
- 公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）　令和7年版
- 公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）　令和7年版
- 木造建築工事標準仕様書　令和7年版
- 建築物解体工事共通仕様書（令和4年版）・同解説　令和5年版
- 建築工事標準詳細図　令和4年版（以下「標準図」という。）
- 公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）　令和7年版
- 公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）　令和7年版
- 敷地調査共通仕様書　令和4年版

また、次の図書（国土交通大臣官房官庁営繕部監修）を参考とする。

- 建築工事監理指針　令和4年版（以下「監理指針」という。）
- 建築改修工事監理指針　令和4年版
- 電気設備工事監理指針　令和4年版
- 機械設備工事監理指針　令和4年版

2.　優先順位

設計図書の優先順位は、次の順とする。

①　質問回答書（②から⑤に対するもの）
②　補足説明書
③　特記仕様書（共通仕様書を含む）
④　図面
⑤　公共建築工事標準仕様書等

3.　工事実績データの登録

①　受注者は、請負代金額が500万円以上の工事については受注・変更・しゅん工・訂正時に、工事実績情報サービス（コリンズ）に基づき、工事実績情報として「登録のための確認のお願い」を作成し監督員に提出して内容の確認を受けた上、次の期限までに登録機関に登録しなければならない。

受注時は、契約後、土曜日、日曜日、祝日等を除き14日以内とする。

・登録内容の変更時は、変更があった日から土曜日、日曜日、祝日等を除き14日以内とする。
・しゅん工時は、工事しゅん工承認後、土曜日、日曜日、祝日等を除き14日以内とする。
・訂正時は、適宜とする。

なお、変更登録は工期、技術者に変更が生じた場合に行うものとし、請負代金額のみの変更の場合は、原則として登録を必要としない。

②　受注者は、実績登録完了後、登録機関発行の「登録内容確認書」が受注者に届いた際には、速やかに監督員に提示しなければならない。

なお、変更時としゅん工時の間が14日間に満たない場合は、変更時の提示を省略できる。

4.　工程表

受注者は、契約書に基づく工程表を契約締結後14日（土曜日、日曜日、祝日等を除く。）以内に提出すること。

5.　工事の着手

受注者は、設計図書に定めのある場合、又は特別の事情により発注者の承諾があった場合を除き、工事開始日以降30日以内に工事に着手しなければならない。

なお、工事開始日とは、契約書に明示した着工の日（特記仕様書において着工の日を別に定めた場合にあっては、その日）をいう。

6.　施工計画書等

①　施工に先立ち、実施工程表、工事の総合計画をまとめた総合施工計画書及び工種別施工計画書並びに施工図等を作成し、監督員の承諾を受けること。
②　上記の施工計画書には、「地下埋設物等の近接作業に関する事項」を設けること。
③　施工図、現寸図、見本等を、工事の施工に先立ち作成し、監督員の承諾を受けること。

7.　下請負人の選定

①　受注者は、本工事の一部を下請に付する場合は、工事の施工に十分な能力と経験を有した者を選定すると共に、鳴門市内に主たる営業所を有するものの中から優先して選定するように努めなければならない。

②　受注者は、本工事の全部若しくは一部について、指名停止期間中の有資格業者と下請契約を締結してはならない。

③　受注者は、下請契約を締結するときは、下請負に使用される技術者、技能労働者等の賃金、労働時間その他の労働条件、安全衛生その他の労働環境が適正に整備されるよう、市場における労務の取引価格、保険料等を的確に反映した適正な額の請負代金及び適正な工期等を定める下請け契約を締結しなければならない。

8.　施工体制台帳及び施工体系図

①　施工体制台帳の作成

受注者は、下請契約（以下の(3)及び(4)の場合を含む。）を締結した場合は、施工体制台帳及び再下請負通知書（以下「施工体制台帳」という。）を自らの責任において作成・保存するとともに、施工体制台帳を工事現場に備え置かなければならない。

②　施工体系図の作成及び掲示

受注者は、下請契約（以下の(3)及び(4)の場合を含む。）を締結した場合は、各下請負者の施 工の分担関係を表示した施工体系図を作成し、公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律に従って、工事関係者が見やすい場所及び公衆が見やすい場所に掲げなければならない。

③　警備業者の記載

受注者は、交通誘導警備員を配置するときは、警備業者を含めて施工体制台帳及び施工体系図を作成・保存しなければならない。

④　運搬業者の記載

受注者は、土砂等を運搬する大型自動車を配置するときは、運搬業者を含めて施工体制台帳及び施工体系図を作成・保存しなければならない。

⑤　施工体制台帳及び施工体系図の提出

受注者は、施工体制台帳の写し及び施工体系図の写しを、下請契約を締結したときは下請契約日から、内容に変更が生じたときは変更が生じた日から、いずれも土曜日、日曜日、祝日等を除き14日以内に監督員に提出し、確認を受けなければならない。ただし、提出日について、監督員が承諾したときはこの限りではない。

⑥　再下請負通知書を提出する旨の書面の掲示

受注者は、再下請負通知書を提出する旨の書面を、工事現場の公衆が見やすい場所に掲示しなければならない。

9.　電気保安技術者等

①　電気保安技術者は次の者とし、必要な資格又は同等の知識及び経験を証明する資料により、監督員の承諾を受けること。

・事業用電気工作物に係る工事の電気保安技術者は、その電気工作物の工事に必要な電気主任技術者の資格を有する者又はこれと同等の知識及び経験を有する者とする。
・一般用電気工作物に係る工事の電気保安技術者は、第1種又は第2種電気工事士の資格を有する者とする。

②　工事用電力設備の保安責任者を関係法令に従って有資格者を定め、監督員に報告すること。

10.　施工中の安全確保

①　工事関係図書及び監督員から指示された事項等については、施工に携わる下請負人にも十分周知徹底すること。
③　工事現場の安全衛生管理については、労働安全衛生法等関係法令等に従って行うこと
④　工事の施工に伴う災害及び公害の防止は、建築基準法、労働安全衛生法、騒音規制法、振動規制法、大気汚染防止法、建設工事公衆災害防止対策要綱（令和元年9月2日付け国土交通省告示第496号）、建設副産物適正処理推進要綱（平成5年1月12日 建設省建経発第3号、平成14年5月30日改正）その他関係法令に従い適切に処理すること。
⑤　受注者は、工事の施工箇所及びその周辺にある地上地下の既設構造物について工事（仮囲い等仮設材設置を含む）着手までに調査を行い、「支障物件確認書」を監督員に提出し、監督員の確認を受けてから工事着手すること。
⑥　地下埋設物への影響が予想される場所では、施工に先立ち、原則として試掘を行い、当該埋設物の種類、位置（平面・深さ）、規格、構造等を確認しなければならない。
⑦　受注者は、工事箇所及びその周辺にある地上地下の既設構造物に対し、支障を及ぼさないような措置を施さなければならない。万一、損傷を与えた場合は、ただちに監督員に報告するとともに、施設の運営に支障がないよう、受注者の負担でその都度補修又は補償すること。
⑧　受注者は、重量が100kg以上のものを貨物自動車に積む作業（ロープ掛けの作業及びシート掛けの作業を含む。）又は貨物自動車から卸す作業（ロープ解きの作業及びシート外しの作業を含む。）を行うときは、当該作業を指揮する者を定め、監督員に報告しなければならない。
⑨　受注者は、機械等を貨物自動車に積み込む作業又は貨物自動車から卸す作業を行う場合は、当該作業を指揮する者を定め、指揮者の合図により行わなければならない。また、作業状況について、写真等の資料を整備及び保管し、監督員の請求があったときは、直ちに提示しなければならない。
⑩　受注者は、輸送経路等において上空施設への接触事故を防止するため、重機回送時の高さ、移動式クレーンのブームの格納、ダンプトラックの架台の下ろし等について、走行前に複数の作業員により確認しなければならない。
⑪　受注者は、トラック（クレーン装置付）を使用する場合は、上空施設への接触事故防止装置（ブームの格納忘れを防止（警報）する装置、ブームの高さを制限する装置等）付きの車両を原則使用しなければならない。なお、使用できない場合は事前に監督員と協議を行うこと。
⑫　休日、夜間に作業を行う時は、事前に「休日・夜間作業届」を監督員に提出すること。
⑬　受注者は、工事期間中安全巡視を行い、工事区域及びその周辺の監視あるいは連絡を行い、安全を確保するとともに工事現場における盗難防止の観点から、資機材の保管状況等についても併せて確認すること。また、監督員から「資機材保管計画書」（自由様式）の提出を求められた場合には、速やかに提出すること。
⑭　受注者は、高さが2m以上の箇所で作業を行う場合は、墜落防止に留意し、作業日毎に「墜落防止チェックシート」を活用して点検を行い、その記録を保管すること。
⑮　仮囲いを設置する場合は、設置後に「現場安全再確認シート」を活用して点検を行い、その記録を保管すること。
⑯　上下作業や直下階の施設を利用しながらの直上階（天井）のスラブはつり工事は、原則禁止とする。やむを得ず行う場合は、飛来落下の危険を生じるおそれがあるため、適切な防護措置を講じ安全確保を図り、施工手順について監督員の承諾を得たうえで、指定された時間に行うこと。
⑰　受注者は、足場を設置する場合は組立、解体時において、作業前に施工手順を確認し、倒壊や資材落下に対する措置を講じなければならない。特に、飛来落下の恐れのある巾木やメッシュシート等の資機材については、足場の上に仮置きせず、設置又は荷下ろしするまでは、番線等により固定を行うこと。また、強風、大雨、大雪等の悪天候のため、作業の実施について危険が予想されるときは、作業を中止すること。
⑱　作業にあたって労働災害、公衆災害の事故リスクと対応方法について監督員と協議すること。
⑲　既設配管等を破損させた場合の停電、断水等の影響範囲及び破損防止のための対策について関係者と協議すること。
⑳　事故により、停電、断水等が発生することを考慮し、施設休業日に作業するなど、作業日を施設管理者と協議すること。
㉑　給水管近傍の作業で給水管を破損する恐れがある場合は、給水バルブの止水状況を確認するとともに、事故による漏水に備えて直下階や近傍の重要備品について養生や移設について協議すること。
㉒　受注者は、工事施工途中に工事目的物や工事材料等の不具合等が発生した場合、または、公益通報者等から当該工事に関する情報が寄せられた場合には、その内容を監督員に直ちに通知しなければならない。

11.　撤去時の資機材残置の防止

足場撤去の際は、工事箇所周辺に資機材が残っていないか点検したうえで、撤去を行うこと。

12.　交通安全管理

①　輸送災害の防止

受注者は、工事用車両による土砂、工事用資材、機械等の輸送を伴う場合は、関係機関と打合せを行い、交通安全に関する担当者、輸送経路、輸送期間、輸送方法、輸送担当業者、交通誘導員の配置、標識、安全施設等の設置場所その他安全輸送上の事項について計画を立て、災害の防止を図らなければならない。特に、輸送経路にある既設構造物に対して損害を与えるおそれがある場合は、当該物件およびその位置と必要な措置について工事着手前に監督員に報告しなければならない。

② 過積載による違法運行の防止

受注者は、過積載による違法運行の防止に関し、特に次の事項について留意し、下請負業者を指導すること。

・積載重量制限を超えた土砂等の積込みは行わないこと
・さし枠装備車、不表示車は使用しないこと
・過積載車両、さし枠装備車、不表示車から土砂等の引き渡しを受けないこと
・建設発生土の処理及び骨材の購入に当たっては、下請事業者及び骨材納入業者の利益を不当に害さないこと
・過積載による違法通行により、逮捕または起訴された建設業者は、指名停止措置を講ずる場合がある

13. 発生材の処理等

① 発生材の処理等は、次により適正に行う。

1) 工事による発生材のうち、文化財保護法に基づく物及び有価材と判断される物については、報告及び引き渡しを要する。
2) 上記以外の発生材は、建設工事に係る資材の再生資源化等に関する法律、資材の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建設副産物適正処理推進要綱その他関係法令等に従い処理すること。受注者は、工事で発生する産業廃棄物を保管する場合、または自ら運搬する場合等においては、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の規定を遵守すること。図書に表示のないものについては、監督員に報告し指示を仰ぐこと。
5) 解体前に、照明器具、変圧器及び進相コンデンサのPCBの有無を調査し、有れば、監督員の指示に従うこと。
6) 空調機等の整備や撤去処分を行う場合は、フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律をはじめとする関係法令に基づき、作業や手続きを行う。家電リサイクル法に該当する機器については、家電リサイクル法により処理すること。
7) 受注者は、建設副産物が搬出される工事にあたっては、建設発生土は建設発生土搬出調書（様式3）、産業廃棄物は産業廃棄物管理票（マニフェスト）により、適正に処理されているか確認するとともに、監督員に建設発生土搬出調書を提出しなければならない。なお、監督員等の指示があった場合は直ちに産業廃棄物管理票の写しを提示しなければならない。

② アスベスト

1) 解体前に大気汚染防止法に基づくアスベスト等の特定建築材料に該当するものが使用されていないか調査し、あれば監督員の指示に従うこと。既存の分析調査結果がある場合は、受注者がその結果を書類等により確認すること。なお、工事内容に変更がある場合においても同様とする。

既存の分析調査結果の貸与　（　あり　・　[なし]　）

2) 事前調査を公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）1.5.1及び関係法令により行うこと。
・事前調査は、建築物石綿含有建材調査者（特定、一般）、又はこれと同等の能力を有する者が行うこと。
※同等の能力を有する者とは、（一社）日本アスベスト調査診断協会に令和5年9月30日までに登録されたものをいう。
・発注者の指示により、分析によるアスベスト調査を行う場合の費用については、監督員との協議による。
その場合の分析方法は、JIS A 1481-1によること。
・結果を石綿事前調査結果報告システムにより、労働基準監督署及び自治体に報告すること。監督員へも結果を提出するとともに、その写しを工事の現場に備え置くこと。
・調査結果は3年間保存すること。
・調査結果の概要を公衆が見やすい場所に掲示すること。
3) 表示、掲示は次のとおり行うこと。
・事前調査結果の概要を公衆が見やすい場所に掲示する。
・「建築物等の解体等の作業に関するお知らせ」を労働者及び周辺住民の見やすい場所に掲示する。
・作業に従事する労働者への注意事項を見やすい場所に掲示する。
・喫煙及び飲食の禁止並びに関係者以外の立入禁止について、作業場の見やすい箇所に掲示する。

③ 建設リサイクル法通知済証の掲示

受注者は、建設リサイクル法に基づく対象建設工事（特定建設資材を用いた建築物等に係る解体工事又はその施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が建設リサイクル法施行令で定める基準以上のもの）においては、工事現場の公衆の見やすい場所に工事着手日までに「建設リサイクル法通知済証」を掲示し、工事しゅん工検査が終了するまで存置しておかなければならない。また、「建設リサイクル法通知済証」掲示後の全景写真は電子納品の対象書類とし、「鳴門市電子納品要領」に基づき提出すること。なお、「建設リサイクル法通知済証」は契約締結後から工事着手日までの期間に発注者から支給することとする。

④ 資源の有効な利用の促進に関する法律（以下「資源有効利用促進法」という。）及び建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（以下「建設リサイクル法」という。）に基づく対応は、以下のとおり行うこと。

1) 受注者は、資源有効利用促進法に基づく建設業に属する事業を行う者の再生資源の利用に関する判断の基準となるべき事項を定める省令（H3.10.25建設省令第19号）第8条で規定される工事又は建設リサイクル法施行令第2条で規定される工事（以下「一定規模以上の工事」という。）において、コンクリート（二次製品を含む。）、土砂、砕石、加熱アスファルト混合物又は木材を工事現場に搬入する場合には、（一財）日本建設情報総合センターの建設副産物情報交換システム（以下「COBRIS」という。）により再生資源利用計画書を作成し、監督員に提出すること。

2) 受注者は、資源有効利用促進法に基づく建設業に属する事業を行う者の指定副産物に係るの促進に関する判断の基準となるべき事項を定める省令（H3.10.25建設省令第20号）第7条で規定される工事又は一定規模以上の工事において、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物を工事現場から搬出する場合には、COBRISにより再生資源利用促進計画書を作成し、監督員に提出すること。

3) 受注者は、上記計画書を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）すること。
4) 受注者は、上記計画書に変更の生じた場合は、速やかに計画を変更し、その変更の内容を監督員に報告すること。
5) 受注者は、工事完了後速やかにCOBRISにより再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を作成し、監督員に提出すること。
6) 受注者は、上記計画書及び実施書を工事完成後5年間保存すること。
7) 受注者は、COBRISの入力において、資源の供給元及び搬出する副産物の搬出先について、その施設名、施設の種類及び住所を必ず入力すること。ただし、バージン材を使用する生コンクリート及び購入土を除くものとする。

⑤ 受領書の交付

受注者は、土砂を再生資源利用計画書に記載した搬入元から搬入したときは、法令等に基づき、速やかに受領書を搬入元に交付しなければならない。

⑥ 再生資源利用促進計画書を作成する上での確認事項等

受注者は、再生資源利用促進計画書の作成に当たり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、工事現場内の土地の掘削その他の形質の変更に関して発注者等が行った土壌汚染対策法等の手続き状況や、搬出先が盛土規制法の許可地等であるなど適正であることについて、法令等に基づき確認しなければならない。また、確認結果は再生資源利用促進計画書に添付し監督員に提出するとともに、工事現場において公衆の見やすい場所に掲げなければならない。

⑦ 建設発生土の運搬を行う者に対する通知

受注者は、建設現場等から土砂搬出を他の者に委託しようとするとき、特記に土工事の記載 がある場合は「建設発生土の処理」に定められた事項等（搬出先の名称及び所在地、搬出量）と、前項で行った確認結果を、委託した搬出者に対して、法令等に基づいて通知しなければならない。

⑧ 建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求等

受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画書に記載した搬出先へ搬出したときは、法令等に基づき、速やかに搬出先の管理者に受領書の交付を求め、受領書に記載された事項が再生資源利用促進計画書に記載した内容と一致することを確認するとともに、監督員に写しを提出しなければならない。

また、その受領書の写しを工事完成後5年間保存しなければならない。

⑨ 建設発生土の最終搬出先の記録・保存

受注者は、建設発生土が再生資源利用促進計画書に記載した搬出先から他の搬出先へ搬出されたときは、速やかに搬出先の名称や所在地、搬出量等を記録した書面を作成し、保存すること。さらに、他の搬出先へ搬出されたときも同様である。

ただし、以下の(1)～(3)に搬出された場合は、最終搬出先の確認は不要である。

（1） 国又は地方公共団体が管理する場所（当該管理者が受領書を交付するもの）
（2） 他の建設現場で利用する場合
（3） ストックヤード運営事業者登録規程により国に登録されたストックヤード

14. 材料・製品等

① 本工事に使用する建築材料、設備機材等（以下「建材等」という）は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとする。

② 受注者は、建材等の発注の際には、発注前に、品質及び性能に関して記載された工種別施工計画書及びその証明となる資料を監督員へ提出しなければならない。ただし、設計図書に定めるJIS又はJASの材料で、JIS又はJASのマーク表示のあるものを使用する場合又はあらかじめ監督職員の承諾を受けた場合は、この限りでない。なお、各専門特記仕様書中、「評価名簿による」と記載されているものは、一般社団法人公共建築協会発行の「建築材料等評価名簿（最新版）」及び「設備機材等評価名簿（最新版）」記載品を指すものとする。

③ 県産木材の原則使用

1) 受注者は、工事目的物及び指定仮設で木材を使用する場合並びにコンクリート打設用型枠を使用する場合、原則として県産木材を使用しなければならない。ただし、特段の理由がある場合にはこの限りでない。

2) 「県産木材」とは、「徳島県内の森林で育成した木材」のことであり、「徳島県内の森林で育成した木材」とは次のことである。
（a） 徳島県木材認証制度により、県内産であることが「産地認証」された木材
（b） (a)以外において、徳島県内の森林で育成したことが確認された木材

3) 受注者は、請負代金額が500万円以上の工事について、県産木材以外の木材を使用する場合は、県産木材を使用できない理由を施工計画書に記載すると共に、確認資料を事前に監督員に提出し、承諾を得なければならない。

4) 受注者は、県産木材を使用する前に、徳島県木材認証機構から発行される「産地認証証 明書」の写しにより県産木材であることを示す書類を監督員へ提出しなければならない。
5) 県内の森林から直接調達するなど、前項により難い場合は木材調達先の産地及び相手の氏名等を記入した書類を監督員へ提出しなければならない。

④ 製材等（製材、集成材、合板、単板積層材）、フローリング、再生木質ボード（パーティクルボード、繊維板、木質系セメント板）については、合法性に係る確認（「産地認証」及び「品質認証」を含む。）が行われたものを使用する。ただし、機能上、需給上など正当な理由により確保が困難であり、使用できない場合には監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。また、それらの木質又は紙の原料となる原木についての合法性に係る確認は、林野庁作成の「木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのガイドライン（平成18年2月15日）」に準拠して行うものとし、監督員に合法証明書を提出するものとする。ただし、平成18年4月 1日より前に伐採業者が加工・流通業者等と契約を締結している原木に係る合法性の確認については、 平成18年4月1日の時点で原料・製品等を保管している者が証明書に平成18年4月1日より前に契約を締結していることを記載した場合には、上記ガイドラインに定める合法な木材であることの証明は不要とする。

⑤ 標仕等に記載されていない特別な材料の仕様・工法は、監督員の承諾を受けて、当該製品の仕様及び指定工法による。

⑥ 県内産資材の原則使用

1) 受注者は、木材以外の建設資材を使用する工事を施工する場合、 原則として県内産資材を使用しなければならない。ただし、 特段の理由がある場合はこの限りでない。

⑦ 市内企業調達建材等の優先使用

受注者は、鳴門市内に主たる営業所を有する者から調達した建材等（以下、「市内企業調達建材等」という。）を優先して使用するよう努めなければならない。また、市内企業調達建材等の別を工種別施工計画書に記載するものとする。

⑧ 県内産再生砕石の原則使用

受注者は、再生砕石を使用する場合、県内の再資源化施設（廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和45年法律第137号）第15条第1項に基づく許可を有する施設（同法第15条の2の6第1項に基づく変更の許可において同じ。））で製造された再生砕石を原則として使用しなければならない。

⑨ アスファルト舗装の材料

受注者は、加熱アスファルト混合物を使用するときは、原則として、「徳島県土木工事用生アスファルト合材の品質審査要綱」に基づき工場認定を受けた県内の工場から出荷された合材を原則として使用しなければならない。

15. 化学物質を発散する建築材料等

本工事に使用する建築材料は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の①から⑤を満たすものとする。

① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板及び仕上げ塗材は、ホルムアルデヒドを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。
② 保温材、緩衝材、断熱材は、ホルムアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。
③ 接着剤は、フタル酸ジーnーブチル及びフタル酸ジー2ーエチルヘキシルを含有しない揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。
④ 塗料（塗り床を含む）は、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。
⑤ ①、③及び④の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。

16. 施工

① 設計図書に疑義が生じたり、現場の納まり又は取合い等の関係で設計図書によることが困難又は不都合な場合が生じたときは、標仕記載の「疑義に対する協議等」による。
② 工事現場に監督員は常駐できないので、疑問な点、その他打合せ決定を要する事項は、監督員の出向いた時に問い合わせ、工事に遺漏のないようにすること。
③ 品質管理は、適切な時期に品質計画に基づき、確認、試験又は検査を行うこと。結果が管理値を外れるなど疑義が生じた場合は、品質計画にしたがって適切な処理を施すこと。また、その原因を検討し、再発防止のための必要な処置をとること。
④ 施工にあたっては、設計図書に従って忠実に施工すること。不都合な工法等を発見した場合は、工事が進行済みであっても根本的な手直しを命ずるので、注意して施工すること。手直し工事は、受注者の責任において実施し、それに要する費用は受注者の負担とする。
⑤ 本工事の施工及び管理にあたり法規上必要となる有資格者については、工事着手前に資格者名簿及びその証明書類等を監督員に提出すること。
⑥ 設計図書（各施工計画書を含む）に定められた工程が完了した時、報告書を提出し、監督員の検査等を受け、承諾を受けて次の工程に進むこと。
⑦ 試験等によらなければ確認できない工事（製品）については、試験等計画書（施工計画書に記載）を提出し、監督員の承諾を受け試験を行い、その結果を報告し承認を得ること。

17. 建設機械等

① 排出ガス対策型建設機械
本工事に使用する土工機械は、「排出ガス対策型建設機械指定要領（平成3.10.8 建設省経機発第249号 最終改正 平成14.4.1国総施第225号）」に基づき指定された排出ガス対策型建設機械とする。ただし、排出ガス対策型建設機械を使用できない場合は、平成7年度建設技術評価制度公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」、又はこれと同等の開発目標で実施された民間開発建設技術の技術審査・証明事業、あるいはこれと同等の開発目標で実施された建設技術審査証明により評価された排出ガス浄化装置を装着することで排出ガス対策型建設機械と同等とみなすが、これにより難い場合は、監督員と協議するものとする。なお、排出ガス対策型建設機械あるいは排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する場合、現場代理人は施工現場において使用する建設機械の全景及び型番等が分かる写真を監督員に提出するものとする。
② 低騒音・低振動型建設機械
本工事で使用する建設機械は、「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程（国土交通省告示 平成13年4月9日改正）」に基づき指定された建設機械を使用するものとする。現場代理人は、施工現場において使用する建設機械の全景及び型番等、同規程に基づき指定された建設機械であることが分かる写真を監督員に提出するものとする。ただし、同規程に記載されていない機種、規格の建設機械により施工する場合はこの限りでない。なお、同規程に基づき指定された建設機械を現場に供給するのが著しく困難な場合は、監督員と協議する。ただし、騒音規制法、徳島県公害防止条例等の関係法令を遵守するものとする。
③ 特定自主検査
本工事で使用する建設機械（労働安全衛生法により特定自主検査が義務づけられている建設機械）は、1年以内毎に1回特定自主検査を実施済みの機械を使用し、その検査証明書（検査記録表）の写しを使用工種の施工計画書に添付し提出すること。

④ 不正軽油の使用禁止
受注者は、ディーゼルエンジン仕様の車両及び建設機械等を使用する場合は、地方税法（昭和 25年法律第226号）に違反する軽油等を燃料として使用してはならない。
また、受注者は、県の徴税吏員が行う使用燃料の採取調査に協力しなければならない。

19. 工事看板等

① 工事現場には、工事看板を監督員の指示に従って見やすい場所に設けること。

	設計 香山・タニ設計業務共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事 第12399号　香山建築研究所		鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち建築工事	A-03
		一級建築士 第289714号 長谷川祥久	date:2025.07	特記仕様書2　scale: A2 ｜A3:71%縮小	

21. 設計変更箇所確認

設計事務所による工事監理がある場合、受注者は、工事監理業務受注者が作成する設計変更箇所一覧表の内容について、監督員、工事監理業務受注者とともに定期的に確認すること。また、工事しゅん工前には全ての設計変更箇所及び内容を監督員、工事監理業務受注者とともに、書面により確認すること。

23. 完成図等

① 電子納品： 対象

② 受注者は、原則として「鳴門市電子納品要領」に基づいて設計、工事などの各業務段階の最終成果を電子成果品として納品（以下「電子納品」とすること。

③ 提出書類

・竣工図（製本2部、電子データ1部）（サイズ：監督員の指示による）
・工事写真（電子データ1部）
・使用材料一覧表（竣工図表紙裏面に貼付、電子データ1部）
・保全に関する資料
・その他監督員が指示する図書（必要部数）

④ しゅん工図は関係図面（データ貸与）を修正して作成すること。しゅん工図データは、関係図面（データ貸与）を修正して作成し、PDF形式、SFC形式及リジナル形式をCD-R等に保存する。

⑤ 工事写真の電子データは完成写真、着手前、資機材、施工状況の順に整理する。完成写真については、工事目的物の状態が、資機材、施工状況等については、不可視部出来形が写真で的確に確認できること。

⑥ 工事写真の撮影は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「営繕工事写真撮影要領」によること。

⑦ 工事完成撮影は、別途指定がある場合を除き、専門家によらないものとする。

⑧ 既存埋設管等の状況について、現場と図面の相違が発覚した場合は竣工図に反映させること。

24. デジタル工事写真の小黒板情報電子化

① 受注者は、デジタル工事写真の小黒板情報電子化の実施を希望する場合は、監督員の承諾を得たうえで、デジタル工事写真の小黒板情報電子化対象工事（以下「対象工事」という。）とすることができる。

25. 火災保険

本工事の着手に際し、火災保険等（火災保険、建設工事保険その他の保険（これに準ずるものを含む。））を請負額に応じて付保する。

① 対象物

工事目的物及び工事材料（支給材料を含む）について付保する。

② 付保除外工事

次に掲げる単独工事については、付保を除外できる。

・杭及び基礎工事　・コンクリート躯体工事　・屋外付帯工事　・その他実状を判断のうえ必要がないと認めた場合（外壁補修工事等）

③ 付保する時期及び金額

鉄筋コンクリート造の場合は躯体工事完了時に、木造及び鉄骨造の場合は基礎工事完了時に、請負金額相当額を付保する。また、模様替え工事等については、工事着手時に請負金額相当額を付保する。

④ 保険終期

工事完成期日に14日を加えた期日とする。なお、工期延伸した場合には保険の期間も延長する。

⑤ その他

・付保する時期以降に出来高払を行う場合は、受注者は保険契約の証券の写しを出来高払の書類に添付する。
・建設工事保険に付保した場合は、火災保険に付保したものとみなす。

Ⅲ. 建築改修工事特記仕様書
1章　　改修一般共通事項

1. 施工条件

施工条件は次による。

① 工程については、施設管理者、指定管理候補者等と協議の上決定すること。
② 施工順序は施設管理者、指定管理候補者等と協議の上決定すること。
③ 本工事期間中も施設を使用するため、施設管理者、指定管理候補者等との連絡を綿密にし、施設利用者の通行等に支障を及ぼさないよう十分注意すること。
④ 施設管理者、指定管理候補者等より作業中止の要望がある場合は、作業の中止を行う場合がある。
⑤ 施設管理者、指定管理候補者等より工事内容変更の要望があった場合は、協議の上決定する。
⑥ 発注者や指定管理候補者等が別途発注する工事等との調整及び協力を行うこと。
⑦ その他の詳細な施工条件については、実施工程表及び施工計画書の作成時に施設管理者、指定管理候補者等と協議の上決定し、適宜相互に日程の調整及び確認を行う。

2. 重要備品等

工事に影響のある範囲内の重要備品等　（　有　・　[無]　）

備品等名称　：
保管場所　：
注意事項　：

3. 施工調査

調査期間

本工事の着手時に、給排水、ガス管、地下埋設物等の調査を行う。

調査期間は　1　週間とする。切り回し時期については、　頃とする。

4. 交通誘導警備員

交通誘導警備員については、警備業法に基づく警備員とし、図示する場所に　300　日間配置すること。

① 本工事は、警備員等の検定等に関する規則第1条第4号により規定された交通誘導警備業務を行う場所に一級又は二級の検定合格警備員の配置が
（　義務付けられている　・　[義務付けられていない]　）
② 警備員は、延　600　人　（昼　600　人、夜　0　人：うち検定合格警備員　0　人）を見込んでいる。
③ 警備業法を遵守するとともに、受注者は交通誘導警備員の配置計画書及び合格証明書の写し等資格要件の確認ができる資料を事前に監督員へ提出すること。
④ 配置された検定合格警備員は、業務に従事している間は合格証明書を携帯し、かつ、監督員等の請求があるときは、これを提示すること。
⑤ 受注者は、発注者が行う交通誘導警備員勤務実績調査の実施に協力しなければならない。また、対象工事の一部について下請負契約を締結する場合は、当該下請負工事の受注者（当該下請負工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む。）も同様の義務を負う旨を定めなければならない。
⑥ 受注者は、「交通誘導警備員勤務実績報告書」を作成し、勤務実績が確認できる資料（勤務伝票の写し）とともに、1月毎に監督員へ1部提出しなければならない。

5. 室内空気中の化学物質の濃度測定

① 建物の用途により以下の物質の室内濃度を測定すること。
学　　校：ホルムアルデヒド・トルエン・キシレン・パラジクロロベンゼン・スチレン・エチルベンゼン
学校以外：ホルムアルデヒド・トルエン・キシレン・スチレン・エチルベンゼン
② 採取器具は受注者にて用意すること。
③ 測定箇所

測 定 対 象 室	測定箇所数
屋内遊び場（動）、ﾛｯｶｰ室、屋内遊び場（静）、事務室（1F）、事務室（2F）	改修前後8ヶ所
多目的室、集会室、ﾚｲﾝﾎﾞｰ	

④ 測定は、次のいずれかにより行う。
・住宅の品質確保の促進等に関する法律に基づく評価方法基準（平成13年　国土交通省告示第 1347号）第56-3(3)「ロ　測定の方法」において定められた方法
・パッシブ型採取機器を用いる方法
パッシブ型採取機器を用いる場合は、次の要領により行う。
1) 30分間換気
測定対象室のすべての窓及び扉（造り付け家具、押入等の収納部分の扉を含む）を開放し、30分間換気する。
2) 5時間閉鎖
1）の後、測定対象室の全ての窓及び扉を5時間閉鎖する。ただし、造り付け家具、押入等の収納部分は開放したままとする。
3) 測定
イ.　2）の状態のままで測定する。
ロ.　測定時間は、原則として24時間とする。ただし、工程等の都合により24時間測定が行えない場合は、8時間測定とする。
ハ.　測定回数は1回とし、複数回の測定は不要とする。
※ 1)、2)、3)において、換気設備又は空気調和設備は稼働させたままとする。ただし、局所的な換気扇等で常時稼働させないものは停止させたままとする。
4) 分析
測定対象化学物質を採取したパッシブ型採取器を分析機関に送付し、濃度を分析する。
5) 測定結果の提出
測定後、測定結果を監督員に提出すること。
⑤ 測定結果が厚生労働省の指針値を超えていた場合は、現場監督員と対応方法について協議すること。
なお、原則として指針値以下であることが確認できるまで、当該室の使用はできないものとする。

2章　　改修仮設工事

1.　敷地の状況確認

着工に先立ち、敷地境界、既存構造物、敷地の高低差、地下埋設物の確認、近隣建築物及び工作物の現状確認、排水経路及び配水管の流末処理の確認並びに敷地周辺の状況を確認し、監督員に報告すること。

2.　足場等

① 仮設機材及び経年仮設機材の使用については、次の規格又は認定基準（以下「規格等」という。）に適合するものを使用すること。

1) 労働安全衛生法に基づく構造規格

2) （一社）仮設工業会の認定基準

また、厚生労働省の「経年仮設機材の管理指針」に基づく（一社）仮設工業会の「適用工場制度」による登録工場及び指定工場等の活用に努めるとともに、前記規格等に定めるもの以外の使用に当たってはあらかじめ強度等を確認した書類を監督員に提出し、承諾を得ること。

② 労働安全衛生法第88条に基づき、労働安全衛生規則別表第7に掲げる機械等（組立から解体までの期間が 60日未満を除く）の設置や移転、変更を行う場合は、30日前までに所轄労働基準監督署長に届け出をおこなうこと。

届け出をおこなった場合は、監督員に報告すること。

届け出不要の場合は、その旨監督員に報告すること。

③ 労働安全衛生法第88条に基づく届け出の要否に関わらず、足場を設置する場合は、使用開始前に足場チェックリストを用いて点検した後、監督員の確認を受けること。

④ 外部足場（図示の通り）

・壁つなぎ間隔（水平方向:　8m以下、鉛直方向:　9m以下）

・足場を設置する場合は、原則として「手すり先行工法に関するガイドライン」（標仕2.2.4）の別紙1「手すり先行工法による足場の組み立て等に関する基準」の2の(2) 手すり据置方式 により行うこと。ただし監督員の承諾を得た場合は、(3) 手すり先行専用足場方式により行うことができる。

⑤ 内部足場（図示の通り）

・壁つなぎ間隔（水平方向:　m以下、鉛直方向:　m以下）

⑥ 仮囲い（図示の通り）

⑦ ゲート（　[有]　・　無　図示の通り）

⑧ 足場等の設置業者は、関連工事等の関係者に無償で使用させること。また安全管理も実施すること。

⑨ 足場等を無償使用する業者は、設置業者の指示に従うこと。

⑩ 受注者は、つり足場（ゴンドラのつり足場を除く。）、張出し足場又は高さが5メートル以上の構造の足場の組立て、解体又は変更の作業において、材料、器具、工具等を上げ、又はおろすときは、つり綱、つり 袋等を労働者に使用させなければならない。また、作業主任者を選任し、その氏名、職務を掲示すること。

⑪ 石綿含有仕上塗材が施工された外壁に対する足場繋ぎ用アンカーの下穴穿孔作業については、「石綿等の切断等の作業」及び「石綿取り扱い作業」に該当するため、石綿障害予防規則（平成17年厚生労働省令第 21号）を遵守し作業を行うこと。

⑫ その他

3.　養生

① 既存部分は必要に応じて養生する。（養生方法：シート養生 ）

② 既存部分の家具等は必要に応じて養生する。（養生方法：シート養生 ）

③ 仮間仕切りは、（ A種　・　[B種]　・　C種 ）とする。（養生方法:　　）

4.　監督員事務所

① 監督員事務所は（　　設ける　（面積　　m2程度）・　[設けない]　）

② 監督員事務所を設置する場合、備品は次のものを設置すること。

1) 机、椅子、書棚、製図版、掛時計、温度計、湿度計

2) ゴム長靴、雨がっぱ、保護帽、懐中電灯、安全帯

3) 請負加入電話の子機

4) 衣類ロッカー、冷暖房機器、消火器、湯沸器、掃除具

5) ファクシミリ他

5.　工事用用水、電力等

① 既存電力利用（　出来る　・　[出来ない] ）、電力料金（ [有償]　・　無償 ）ただし、施設管理者と協議すること。

② 既存用水利用（　出来る　・　[出来ない] ）、電力料金（ [有償]　・　無償 ）ただし、施設管理者と協議すること。

6.　仮設道路整備復旧等

① 工事に当たっては、図示のとおり仮設道路を設ける。なお、同道路の必要がなくなった時点で、早期に（　　図示のとおり状態に　・　[現状に復旧] ）すること。

② 道路占有料　　円

7.　工事車両用駐車場資材置場・現場事務所用地等

① 同用地は、（　　図示の場所に　・　[用意していないので業者にて] ）設けること。ただし、施設管理者と協議すること。

② 借地借家料　　円

3章　　防水改修工事

1.　一般事項

① 保護層、防水層等を撤去した結果、下地等の状況により、設計図書に定められた施工方法によることが不適当な場合は監督員と協議すること。

② 降雨等に対する養生方法は　（ [上屋シート養生] ・ 下階天井養生 ・ その他（　　） ）　とする。

2.　改修工法の種類及び工程

工法 / 工程	S4SI	S4S	工法
施工箇所	屋根平場	屋根立上り	
1 既存保護層(立上り部等)撤去等	—	—	
2 既存保護層(平場)撤去等	—	—	
3 既存断熱層撤去等	—	—	
4 既存防水層(立上り部等)撤去等	有	有	
5 既存防水層(平場)撤去等	無	無	
6 既存下地の補修及び処置	ひび割れ部補修	ひび割れ部補修	
7 防水層の新設	SI-M2	S-F2	
8 断熱材の新設	ｳﾚﾀﾝ25	無	
9 保護層の新設	無	無	

3.　既存下地の補修材料

① アスファルトは、JIS K 2207の規格品3種とする。

② 端部押さえ金物は、既成アルミニウム製とし、形状寸法は　（二重水切） とする。

③ ポリマーセメントモルタル及びポリマーセメントペースト、層間接着用プライマー、アスファルト系下地調整材、改修用ドレン等の材料は、ルーフィング類製造所の指定する製品とする。

4.　ルーフドレン回りの処理

ルーフドレンの端部から（　500mm　・　[300mm] ）　の防水層及びシーリングを撤去し、ポリマーセメントモルタルで勾配1/2程度に仕上げること。

5.　既存下地の補修及び処理

補修箇所の形状、長さ、数量等は図示する。

6.　合成高分子系ルーフィングシート防水

① 合成高分子系ルーフィングシートは、JIS A 6008の規格品とする。

工法	種別	シート 種類	シート 厚さ	断熱材 種類	断熱材 厚さ	施工箇所	備考
POS S4S	S-F1		㎜		㎜		
	S-F2		㎜		㎜		
	S-M1		㎜		㎜		
	S-M2		㎜		㎜		
S3S	S-F1		㎜		㎜		
	S-F2	塩化ﾋﾞﾆﾙ系樹脂	1.5 ㎜		㎜	屋根立上り	
M4S	S-M1		㎜		㎜		
	S-M2		㎜		㎜		
POSI S3SI S4SI M4SI	SI-F1		㎜		㎜		
	SI-F2		㎜		㎜		
	SI-M1		㎜		㎜		
	SI-M2	塩化ﾋﾞﾆﾙ系樹脂	1.5 ㎜	ｳﾚﾀﾝ	25 ㎜	屋根	
P1S	S-C1		㎜		㎜		

② 仕上げ塗料の種類（　　高反射保護塗料　　）、使用量（　　ﾒｰｶｰ仕様　）

④ 建築基準法に基づき定められた区分等

基準風速Vo=（　　36　　）m/s　地表面粗度区分（　Ⅰ　・　Ⅱ　・　[Ⅲ]　・　Ⅳ　）

⑤ 絶縁用シート及び可塑剤移行防止用シートの材質は、（ [発砲ポリエチレンシート] ・　　）とする。

⑥ プライマー、増し張り用シート、成型役物、接着剤、仕上塗料、シール材、固定金具、絶縁用テープ等は、ルーフィングシート製造所の指定する製品とする。

⑦ 固定金具　材質（　　ｱﾙﾐ　　）、形状寸法（　　二重水切　　）

区分		S(SI)-F1	S(SI)-F2	S(SI)-M1	S(SI)-M2	S-C1
下地処理		標仕9.4.4(1)又は改標仕3.5.4による。入隅は直角、出隅は面取りとし、小石等は完全に除去する。目地部に幅50㎜絶縁テープ張り				
平場接着法		接着剤塗布		固定金具		接着剤
断熱材（断熱工法）		下地に断熱材を隙間無く張付、 ローラー等で密着した後ルーフィングを張り付ける		下地に断熱材を隙間無く敷詰め固定する		
増張	立上り部等出隅入隅部	ルーフィングシート張付けに先立ち200mm角程度の補強張り用シートを増し張り	ルーフィングシート 施工後成形役物張付け	S-F1と同じ	S-F2と同じ	ルーフィングシート張付けに先立ち、成形役物又は200mm角程度の増張り用シートを張り付ける
	ルーフドレン、配管等と防水下地材との取合い部	シート張付けに先立ち次の処理をする。 ・ルーフドレン廻りは幅150mm程度の増張り用シートをドレンと下地に割り振り張付ける。 ・配管回りは幅100mm程度の増張り用シートを下地面に30mm程度張掛け、張付ける。		S-F1と同じ		シート張付けに先立ち次の処理をする。 ・排水器具回りは、幅250mm程度の増張り用シートを排水器具と下地に割り振り、排水器具のつばには増張り用シートを100mm程度張り掛け、張り付ける。 ・配管回りは、幅250mm程度の増張り用シートを排水器具と下地に張り付け後幅80mm程度の増張り用シートを下地面に30mm程度張り掛け、張り付ける。
重部	平場	縦横100㎜以上	縦横40㎜以上	縦横100㎜以上	縦横40㎜以上	縦横100㎜以上
	立上りと平場	150㎜以上	40㎜以上	150㎜以上	40㎜以上	100㎜以上
	接合部	接　着　剤		熱融着又は溶剤溶着		接着剤
	接合端部	テープ状シール又は接着剤	紐状又は液状シール	テープ状シール又は接着剤	紐状又は液状シール	接着剤
立上り・立下り部の末端部処理		端部にテープ状シール張りの上ルーフィングシート張付け、 末端部は押さえ金物で固定し、 シール材を充填する。				ポリマーセメントモルタルを覆い被せる
仕上げ塗料		・非歩行用 （シルバー2回塗り） ・軽歩行用				保護コンクリート

⑧ 特記仕様書、改標仕及び標仕以外は、主材料製造所の仕様による。

⑨ 脱気装置の仕様:　　無し

⑩ ルーフドレンの材質規格:　　樹脂製

7. 塗膜防水

① 工 法: L4X 種 別:

② 塗膜を形成する材料は、JIS A 6021の規格品とする。

③ プライマー、層間接着用プライマー、補強布、接着剤、通気緩衝シート、 シーリング材、仕上げ塗材等は主材料製造所の指定製品とする。

工 法	種 別	施 工 箇 所	仕 上 塗 料	備 考
P0X	X-1 X-2 X-1H X-3H			
L4X	X-1 X-2 X-1H X-3H	パラペット	シリコン系保護塗料	
P1Y	Y-2			
P2Y	Y-2			

④ 特記仕様書、改標仕及び標仕以外は、主材料製造所の仕様による。

8. シーリング

① シーリング材は、JIS A 5758の規格品とする。

② プライマーは、被着体及びシーリングの種類により使い分けること。

③ 監督員に、シーリング材の有効期限が切れていないことの確認を受けること。

④ シーリング面への仕上塗材仕上げ等を(: 行う ・ 行わない)。

⑤ 外部に面するシーリング材は、施工に先立ち(簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験)を行う。
ただし、同じ材料の組合せで実施した試験成績書がある場合は、監督員の承諾を受けて、試験を省略することができる。

⑥ 種類及び施工箇所

記 号	材 質	既 存	施工箇所	改修工法	寸 法	接着試験
SR-1	1成分シリコーン系	撤去	ｶﾞﾗｽ周囲	打替え	10×10	簡易
SR-2	2成分シリコーン系					
PS-2	ポリサルファイド系					
MS-2	変成シリコーン	撤去	外部建具周囲	打替え	15×10	簡易
PU-2	ポリウレタン系					

9. 防水保証

① 防水工事完了後は、メーカー、元請業者、下請業者の3者連名による(3 ・ 5 ・ 7 ・ 10)年間の防水工事性能保証書を提出すること。

4章 外壁改修工事

1. 外壁改修の施工数量及び調査方法

① 当工事の積算計上数量は、1階部分の調査数量を調査し、全体数量との面積比率により算定した数量の90%を計上している。

② 施工数量は、次の調査により監督員が承諾し確定した数量に基づき設計変更を行う。(設計変更単価は、市単価で行う)

③ 外部足場設置後、施工数量調査を行う。

④ 調査に先立ち、調査内容及び方法等の計画書を作成し監督員の承諾を得ること。また、調査方法等で専門知識が必要な場合は、各工法・材料の専門技術者(製造所等)に依頼すること。

2. 外壁改修工法の種類及び材料

① コンクリート打放し仕上げ外壁

工 法	ひび割れ部	欠 損 部	
樹脂注入工法	工法: 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 注入量: 50～100 ml/m 注入間隔: 300 エポキシ樹脂: JIS A 6024		
Uカットシール材充填工法	材料: PU-1 シーリング材:		
シール工法	材料:パテ状エポキシ樹脂		
充填工法		材料:	

② ポリマーセメントモルタルの製造所: 評価名簿による。

③ モルタル塗り仕上げ外壁

工 法	ひび割れ部	欠 損 部	浮 き 部
樹脂注入工法	工法: 注入量: ml/本 注入間隔: エポキシ樹脂:		
Uカットシール材充填工法	材料: シーリング材:		
シール工法	材料:		
充填工法		材料:	材料:
モルタル塗替工法		材料: 塗厚: 塗厚による補強の有無: 仕上げ種類:	材料: 塗厚: 塗厚による補強の有無: 仕上げ種類:

アンカーピンニング 部分エポキシ 樹脂注入工法			エポキシ樹脂: 充填量: ml/本 ピン本数 一般: 本/m2 指定: 本/m2
アンカーピンニング 全面エポキシ 樹脂注入工法			エポキシ樹脂: 注入量: ml/本 注入口: 個/m2 ピン本数 一般: 本/m2 指定: 本/m2
アンカーピンニング 全面ポリマーセメント スラリー注入工法			注入量: ml/本 注入口: 個/m2 ピン本数 一般: 本/m2 指定: 本/m2
注入口付 アンカーピンニング 部分エポキシ 樹脂注入工法			エポキシ樹脂: 充填量: ml/本 ピン本数 一般: 本/m2 指定: 本/m2
注入口付 アンカーピンニング 全面エポキシ 樹脂注入工法			エポキシ樹脂: 注入量: ml/本 注入口: 個/m2 ピン本数 一般: 本/m2 指定: 本/m2
注入口付 アンカーピンニング 全面ポリマーセメント スラリー注入工法			注入量: ml/本 注入口: 個/m2 ピン本数 一般: 本/m2 指定: 本/m2

④ ポリマーセメントモルタルの製造所: 評価名簿による。

⑤ タイル張り仕上げ外壁

工 法	ひび割れ部	欠 損 部	浮 き 部	目 地 部
樹脂注入工法	工法: 注入量: ml/本 注入間隔: エポキシ樹脂:			
タイル部分張替工法		接着剤:	接着剤:	
タイル張替工法		工法:	接着剤:	
アンカーピンニング 部分エポキシ 樹脂注入工法			エポキシ樹脂: 充填量: ml/本 ピン本数 一般: 本/m2 指定: 本/m2	
アンカーピンニング 全面エポキシ 樹脂注入工法			エポキシ樹脂: 注入量: ml/本 注入口: 個/m2 ピン本数 一般: 本/m2 指定: 本/m2	
アンカーピンニング 全面ポリマーセメント スラリー注入工法			注入量: ml/本 注入口: 個/m2 ピン本数 一般: 本/m2 指定: 本/m2	
注入口付 アンカーピンニング 部分エポキシ 樹脂注入工法			エポキシ樹脂: 充填量: ml/本 ピン本数 一般: 本/m2 指定: 本/m2	
注入口付 アンカーピンニング 全面エポキシ 樹脂注入工法			エポキシ樹脂: 注入量: ml/本 注入口: 個/m2 ピン本数 一般: 本/m2 指定: 本/m2	
注入口付 アンカーピンニング 全面ポリマーセメント スラリー注入工法			注入量: ml/本 注入口: 個/m2 ピン本数 一般: 本/m2 指定: 本/m2	

注入口付 アンカーピンニング エポキシ樹脂 注入タイル固定工法			エポキシ樹脂： 充填量：　　ml/本 ピン本数	
目地ひび割れ部改修工法				
伸縮調整目地改修工法				

⑥ 接着剤、ポリマーセメントモルタルの製造所： 評価名簿による。

3. 仕上塗材仕上げ外壁改修工事

① 仕上げの模様、色及びつやは、見本帳又は見本塗り板を監督員に提出して、承諾をうけること。

② 下地処理（下地のひび割れ部の補修）は、2.外壁改修工法の種類及び材料による。

種　類		既存塗膜の除去 及び下地調整の工法	下地仕上	下地調整	仕上形状	工法	防火認定	上塗材
薄付け 仕上塗材 JIS A 6909	外装薄塗材Si							
	可とう形 外装薄塗材Si							
	外装薄塗材E							
	可とう形 外装薄塗材E							
	防水形 外装薄塗材E							
	外装薄塗材S							
厚付け 仕上塗材 JIS A 6909	外装厚塗材C							
	外装厚塗材E							
	外装厚塗材Si							
複層仕上塗材 JIS A 6909	複層塗材CE							
	可とう形 複層塗材CE							
	複層塗材E							
	複層塗材Si							
	複層塗材RE							
	防水形 複層塗材CE							
	防水形 複層塗材E							
	防水形 複層塗材RE							
可とう形 改修用 仕上塗材 JIS A 6909	可とう形 改修塗材E							
	可とう形 改修塗材RE							
	可とう形 改修塗材CE							

5章　建具改修工事

1. 一般事項

① 外部に面する建具は、建築基準法施行令及び「屋根ふき材、外装材及び屋外に面する帳壁の基準（昭和46年建設省告示第109号）」に基づき、安全性を確認すること。

② 建具の耐風圧性、気密性、水密性等については、性能を有することを証明する書類を提出し、監督員の承諾をうけること。

③ 外部に面する建具の作業工程は、原則として、方立等の撤去、建具枠の取付け及びガラスのはめ込みまでを1日の作業とする。

④ 施工に先立ち、改修範囲を確認し、設計図書との相違等が有れば、監督員と協議すること。

⑤ 防犯建物部品の適用は、建具表による。

⑥ 防火戸の指定は建具表による。

⑦ 建具見本の製作及び特殊な建具の仮組は、建具表による。

2. 改修工法等

区　分	かぶせ工法	撤去工法
撤去の範囲		図示
既製建具の種類		スチール製、木製
新設建具の種類		スチール製、木製
建具周囲の補修工法及び範囲		図示
シーリングの種類		MS-2
サッシアンカー		ー
養生範囲		ー

3. アルミニウム製建具

種　別	耐風圧性	気密性	水密性	枠の見込寸法	使用箇所	表面処理
B種	S-5	A-4	W-5	70	外壁	着色陽極酸化皮膜

① 防虫網の材質（　ステンレス製（SUS316）　・　ガラス繊維入り合成樹脂製　・　合成樹脂製　）

② 防鳥網の材質は、ステンレス（SUS304）線材、線径1.5㎜、ピッチ15㎜とする。

③ 製造所： 評価名簿による。

④ 建具には製作業者名を表示すること。

⑤ 結露水の処理方法は図示による。

⑥ 既存枠へ新規に建具を取り付ける場合は、原則として小ねじどめとし、とめ付け間隔は、両端を押さえて、中間は400mm以下とする。やむを得ず溶接どめとする場合は、監督員と協議し、溶接部分には鉛酸カルシ ウムさび止めペイント（JIS K 5629）を1回塗りする。

4. 鋼製建具

耐風圧性	気密性	水密性	遮音性	断熱性	面内変形追随性	使用箇所	表面処理
						内部建具	

① 防火戸の指定及び鋼板の厚さは、建具表による。

② 鋼板は、JIS G 3302による表面処理亜鉛めっき鋼板とし、Z12又はF12を満足するものとする。
なお、あらかじめりん酸塩処理又はクロメートフリー処理による化成皮膜処理を行ったものを用いる。

③ 簡易気密型ドアセットの機密性、水密性は建具表による。

④ 鋼板類の厚さは、建具表による。

⑤ 製造所：評価名簿による。

5. 鋼製軽量建具

気密性	遮音性	断熱性	面内変形追随性	使用箇所	備考
				内部建具	

① 鋼板類の厚さは、建具表による。

② 簡易気密型ドアセットの気密性、水密性は建具表による。

③ 製造所：評価名簿による。

6. 木製建具

① 建具材の含水率の種別は、（ A ・ B ）種とする。

② 見込み寸法は、（ 40 ）mmとする。

③ フラッシュ戸の表面材の種類（ 普通合板 ・ 天然木化粧合板 ・ 特殊加工化粧合板 ・ MDF ）。
MDFを使用する場合の品質（　　）

④ フラッシュ戸の表面材の品質について、ホルムアルデヒドの発散量は、F☆☆☆☆とする。
ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、ホルムアルデヒドの発散量が、F☆☆☆☆のフラッシュ戸を使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。その他は、改標仕5.7.2(2)による。

⑤ 表面板の厚さは、（ 3 ）mmとする。

⑥ かまち戸のかまち及び鏡板の材種は、（ ナラ ）とする。

⑦ ふすまの上張りは（ 鳥の子 ・ 新鳥の子 ・ ビニル紙 ）とする。

⑧ ふすまの縁の仕上げは、（ 塗り縁 ・ 生地縁（素地） ・ 生地縁（ウレタンクリアー塗装） ）とする。

⑨ 枠及びくつずりの材料は、（　　）とする。

⑩ 建物内部の木製建具に使用するホルムアルデヒド水溶液を用いた造作用、壁紙施工用及び建具用でん粉系接着剤のホルムアルデヒドの発散量は、F☆☆☆☆とする。
ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、ホルムアルデヒドの発散量が、F☆☆☆☆のでん粉系接着剤を使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。

7. 建具用金物

① 金物の種類及び見え掛り部の材質は、改標仕表5.8.1による。

② 金属製建具に使用する丁番は改標仕表5.8.2による。

③ 既製又はこれに準ずる建具の建具金物は、建具製作所の仕様による。

④ 樹脂製建具に使用する丁番は、改標仕表5.8.3による。

⑤ 木製建具に使用する丁番は改標仕表5.8.4による。

⑥ 握り玉及びレバーハンドル、押板類、クレセント等の取付け位置は図示による。

⑦ マスターキーは、製作する。数量は協議による。

8. 自動ドア開閉

①

設置場所	多目的便所
駆動方式	電動
センサー	光電センサー
ドア開閉装置の種類	ボタンスイッチ
ドアの開閉方式	自動
防錆の適用	

② 製造所：評価名簿による。

9. ガラス

① 板ガラス

種　類	品　種	厚　さ	備　考
		8，10	

② 外部の網入り硝子等の下辺小口及び縦小口下端の防錆処理を行うこと。

③ ガラス留め材の種類

建具の種類	材　種	ガラス溝の大きさ
鋼　製	SR-1	建具製造所の仕様による
アルミニウム製	SR-1	
ステ ンレ ス製		
木　製	SR-1	
樹　脂　製		

④ 防火設備のガラスとめ材は、防火設備認定品とする。

⑤ ガラスブロック積み

表面形状	呼び寸法	厚さ	力骨の材質・寸法・形状	目地幅の寸法	伸縮目地の位置

⑥ 目地部の力骨の補強方法は、ガラスブロック製造所の仕様による。

⑦ 壁用金属枠及び補強材を　（　設ける　・　設けない　）。
⑧ 化粧目地モルタルの色　（　　）
⑨ シーリング材は、改標仕 表3.7.1による。
⑩ 金属製化粧カバーの材質は、（　　）製とし、寸法、形状は、図示による。
⑪ 工法は、建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施工計画書として提出する。

10. ガラス用フィルム

①

名　称	種　類	張り面
ガラス飛散防止フィルム	第2種	内側

② 品質はJIS A 5759による。

6章　内装改修工事

1. 一般事項
① 工事に先立ち、改修部分の隠蔽部の調査を行い、設計図書と照合し、支障があった場合は、速やかに監督員に報告し、指示を受けること。
② 各部の撤去により、下地及び構造躯体にひび割れ及び欠陥部が発見された場合は、速やかに監督員に報告し指示を受けること。

2. 撤去並びに下地補修
各改修工事の仕様は、仕様・仕上げ表による。
① 床改修
既設床仕上げの除去　改標仕6.2.2(1)参照

種　類	撤去工法	撤去範囲	備　考
ビニール床シート ビニール床タイルゴム系床タイル	改標仕6.2.2(1)(ア)による	全面・一部(図示)	部分的な不良箇所に対する指示を記入。 また、木床組の場合、撤去範囲を記入。
合成樹脂塗床	機械的除去工法目荒らし工法 改標仕6.2.2(1)(イ)	同　上	
フローリング張床	改標仕6.2.2(1)(ウ)	同　上	
床タイル	改標仕6.2.2(1)(エ)	同　上	
床組	改標仕6.2.2(1)(オ)	同　上	

コンクリート又はモルタル面の下地処理　改標仕6.2.2(2)参照

下地の状況	下地処理方法	備　考　欄
凹凸部処理	サンダー掛け ポリマーセメントモルタル エポキシ樹脂モルタル	合成樹脂床の場合
欠損部 下地モルタル撤去部	モルタルで補修し乾燥後デッキブラシ等で清掃	塗厚さ及び下地の風化状況により、 モルタル補修が困難な場合は、 カチオン系樹脂モルタル及びノロ等の補修

・ 改修後の床の清掃範囲は図示する。

② 壁改修
・ コンクリート間仕切り壁　改標仕6.3.2(1)参照
・ 間仕切壁撤去に伴う構造体の補修
モルタル塗り　※施工場所は図示による。
塗り厚25mm超の場合の補修を　（　行う　・　行わない　）

機械等の区分	既存床・建具・天井取合の補修範囲及び内容
油圧クラッシャ使用	RC間仕切壁撤去（該当部の床天井改修）
ダイヤモンドカッター使用	RC間仕切壁撤去（該当部の床天井改修）
ハンドブレーカー使用	RC間仕切壁撤去（該当部の床天井改修）
アグレッシブウォータージェット使用	

・ 木製及び軽量鉄骨間仕切り壁　改標仕6.3.2(2)、(3)及び(4)参照

撤　去　区　分	既存床・建具・天井取合の補修範囲及び内容
壁下地を含む全面	
ボード面まで	
ボード面を残し仕上げのみ	

③ 天井改修　改標仕6.4.2参照

撤　去　区　分	既存壁取合の補修範囲及び内容
天井下地を含む全面	既存設備類整備（設備工事）
ボード面まで	
ボード面を残し仕上げのみ	

・ 既存天井面に直接新たな仕上げ材を張付ける。
・ 既存天井塗装仕上げ面を塗替を行う。

3. 木工事
① 木材、合板等は、品質、含水率、出荷量等を記録した出荷証明書を監督員に提出する。
含水率は　（ A ・ B ）　種とする。
② 木材の品質
保存処理木材は、日本農林規格に規定する保存処理の性能区分のうち、K2からK4までの保存処理（JIS K 1570）（木材保存剤）に規定する木材保存剤（ただし、クレオソート油は有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律（昭和48年法律第112号）に適合したものとする。）、これと同等の薬剤を用いたK2からK4までの薬剤の浸漬度及び吸収量を確保する工場処理その他これと同等の性能を有する処理を含む。）が施されているもの又は認証木材建材（AQマーク表示）として認定された保存処理材を使用するものとする。

4. 床張り用合板等
① ホルムアルデヒドの放散量は、F☆☆☆☆とする。
ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、ホルムアルデヒドの放散量が、F☆☆☆☆の普通合板等を使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。

② 普通合板

施工箇所	品名	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	備考
床		9	ﾗﾜﾝ				

③ 構造用合板

施工箇所	品名	厚さ(mm)	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	保存処理	有効断面係数比	防虫処理	強度等級	備考

④ パーティクルボード

施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	耐水性による区分	難燃性による区分	備考
床	20	素地	18N以上	U	耐水1	普通	

⑤ 構造用パネル

施工箇所	品名	寸法 (mm)	等級	備考

5. 軽量鉄骨壁下地
① JIS A 6517の規格品とする。
② スタッド、ランナ等の種類は、　（　65　型)とし、改標仕表6.7.1による。
③ 出入口及びこれに準ずる開口部の補強は　（ 改標仕6.7.4(5)による ・　）
④ ダクト類の開口部の補強にあたり、取付け強度を必要とする場合は、監督職員との協議による。

6. 軽量鉄骨天井下地
① JIS A 6517の規格品とする。
② 野縁等の種類は、屋内19型、屋外25型とし、改標仕表6.6.1による。
③ 耐震性を考慮した補強及び屋外の軒天、ピロティー天井等における耐風圧性を考慮した補強は、図示による。
④ 既存の埋め込みインサートの使用は、改標仕6.6.4(1)(ウ)による引き抜き試験を行い、強度を確認したうえ使用すること。
⑤ 建築基準法に基づき定められた区分等
基準風速Vo=(　36　)m/s
地表面粗度区分(　Ⅰ　・　Ⅱ　・ Ⅲ ・　Ⅳ　)
積雪区分　建設省告示第1455号　別表(　　)
⑥ 屋外の野縁受け、つりボルト及びインサート、野縁の間隔は図示による。
⑦ ダクト等によって、つりボルトの間隔が900mmを超える場合の、補強方法は図示による。
⑧ 天井のふところが3m以上の箇所の補強方法は図示による。
⑨ 天井下地材における耐震性を考慮した補強方法は図示による。
⑩ 屋外の軒、ピロティ等の天井における耐風圧性を考慮した補強は図示による。

7. ビニル床シート張り(JIS A 5705)、ビニル床タイル張り(JIS A 5705)、及びゴム床タイル張り

材質	種類・種類		色柄	厚さ	幅木			接着剤	施工箇所	備　考
					材質	厚さ	高さ			
塩ﾋﾞｼｰﾄ	FS	ｼｰﾄ	ﾏｰﾌﾞﾙ	2	FS	1.5	60	ｳﾚﾀﾝ樹脂系	床	
ﾘﾉﾘｳﾑ		ｼｰﾄ	ﾏｰﾌﾞﾙ	2.5				ｳﾚﾀﾝ樹脂系	床	

① 帯電防止床シート:　種類(　　)、　厚さ(　　)、　性能(　　)
② 耐動荷重性床シート:　種類(　　)、　厚さ(　　)
③ ビニル幅木:材質　材質(　軟質　・　硬質　)、　高さ(　60　・　70　・　80　)、　厚さ(　1.5　)
④ 視覚障害者用床タイル:　種類・色(　黄色　)、　形状・寸法(　□300　)

8. フローリング張り
ホルムアルデヒドの放散量は、F☆☆☆☆とする。
ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、ホルムアルデヒドの放散量が、F☆☆☆☆のフローリング及び接着剤を使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。

品名	種別	樹種	厚さ	寸法	模様	工法	釘・接着剤の種類	表面仕上・塗装	備考
ｺﾙｸﾀｲﾙ		ｺﾙｸ	3.2、5	□300		接着貼	合成ｺﾞﾑ系	強化ｳﾚﾀﾝ	

9. カーペット敷き

種　類	種　別	品質	帯電性	厚　さ	工　法	防火性能	下　敷	品質検査
ﾀｲﾙ	C種	第1種	無	6.5	接着	防炎	ｱﾝﾀﾞｰﾚｲ4mm	

10. せっこうボードその他ボード及び合板張り

材種・規格品	施工箇所	工法	厚さ（㎜）	不燃材等の区分	小ねじ・釘・接着剤の種類	下地の種類	備　考
せっこうボード JIS A 6901の規格品	壁	突付	12.5、9.5		小ねじ	LGS	
	天井						
化粧せっこうボードトラバーチン模様 JIS A 6901の規格品	天井	突付	9.5		小ねじ	LGS	
化粧せっこうボード杉板目プリント JIS A 6901の規格品							
吸音用穴あきせっこうボード JIS A 6301の規格品	壁						
	天井						
無機繊維強化 せっこうボード JIS A 6901の規格品							
ロックウール化粧吸音板 JIS A 6301の規格品	天井	突付	9		小ねじ	GB-R 9.5	
ロックウール吸音材 JIS A 6301の規格品							
グラスウール吸音材 JIS A 6301の規格品	壁						
	天井						
ロックウール保温材 JIS A 9504の規格品							
木毛セメント板 JIS A 5404の規格品							
けい酸カルシウム板 JIS A 5430の規格品	壁						
	天井						
火山性ガラス質複層板（VSボード） JIS A 5440の規格品							
普通合板 農林省告示第233号							
天然木化粧合板 農林省告示第233号							
特殊加工化粧板 農林省告示第233号							
難燃合板 農林省告示第1869号							
その他							

合板、パーティクルボード及びMDFのホルムアルデヒド放散量は、F☆☆☆☆とする。
ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、ホルムアルデヒドの放散量が、F☆☆☆☆の合板、パーティクルボード及びMDFを使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。

11. 既製家具

合板、パーティクルボード及びMDFのホルムアルデヒド放散量はF☆☆☆☆とする。
ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、ホルムアルデヒドの放散量がF☆☆☆☆の合板、パーティクルボード及びMDFを使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。

12. 断熱材

ロックウール、グラスウール、ユリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した断熱材のホルムアルデヒドの放散量はF☆☆☆☆とする。
ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、ホルムアルデヒドの放散量がF☆☆☆☆の断熱材を使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。

7章　塗装改修工事

1. 一般事項

① 防火材料又は建築基準法に基づく指定又は認定を受けたものとする。
② 塗料はホルマリン不検出のもの及び有機溶剤の含有量が少ないものとする。
③ ユリア樹脂等（ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂又はホルムアルデヒド系防腐剤）を用いた塗料のホルムアルデヒドの発散量は、F☆☆☆☆とする。
ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、ホルムアルデヒドの発散量が、F☆☆☆☆の塗料を使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。

2. 合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)

区　分	種　別		下地調整 （新規面は素地ごしらえ）	さび止め塗料		備考
	屋外	屋内		屋外	屋内	
鉄部		B種	B種		Bs種	
鋼製建具		B種	RB種		Cz種	

3. 耐候性塗料塗り(DP)

区　分	種　別	下地調整 （新規面は素地ごしらえ）	錆止め塗料塗りの種別	上塗りの等級	備　考
鉄部	A種	B種	B種	1級	
その他	A種	B種		1級	

4. 合成樹脂エマルションペイント塗料(EP)

区　分	種　別	下地調整 （新規面は素地ごしらえ）	備考
コンクリート面	B種	RB種	
ボード面	B種	B種	

8章　耐震改修工事

Ⅰ 鉄筋工事

1. 材料

規格番号	規格名称	種類の記号	径(㎜)
JIS G 3112	鉄筋コンクリート用棒鋼		
―	建築基準法の規定に 基づき認定を受けた鉄筋	―	
JIS G 3551	溶接金網及び鉄筋格子	網目の形状：　寸法：　径：	

2. 材料試験

材料試験は行わない。ただし、規格証明書を提出し、監督員の承諾を得ること。

3. 鉄筋の継手及び定着

① 主要構造部の配筋は、コンクリート打ちに先立ち、監督員の検査を受ける。
② 鉄筋の継手は（ 重ね継手 ・ ガス圧接継手 ・ 特殊継手 ）とする。
原則として、D35以上の異形鉄筋については、重ね継手を用いない。
③ 鉄筋の継手位置は図示による。
④ 結束線の端部は内側に折り曲げる。
⑤ 柱、梁の主筋は、（ ガス圧接継手 ・ 機械式継手 ）とする。
⑥ 耐力壁の鉄筋を重ね継手とする場合、重ね継手の長さは（　　）mmとする。
⑦ 先組み工法の柱、梁の主筋の継手は同一箇所としてもよい。
⑧ スラブのスペーサーは鋼製を原則とし、他の箇所についても材種等について監督員の承諾を得ること。また、鋼製のスペーサーは、型枠に接する部分に防錆処理を行ったものとする。
⑨ 鉄筋の90°未満の折曲げの内法直径は図示による。
⑩ 鉄筋の定着方法及び長さは図示する。

4. 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔

① 柱、梁の鉄筋の加工に用いるかぶり厚さは、改標仕 表8.3.6の数値に10㎜を加えた数値を標準とする。
② 目地がある場合のかぶりは、目地底からの寸法とする。
③ 各部の配筋は、図示による。図示されていない場合は、改標仕各部配筋参考図による。

5. 帯筋

形の種別は構造図による。

6. ガス圧接

① 圧接技能資格者は、JIS Z 3881（ガス圧接技術検定における試験方法及び判定基準）に従う工事に相応した試験に基づく能力を有する者とする。
② 検査は、外観検査及び（ 引張試験 ・ 超音波探傷試験 ）による。
③ 切取り部分の継手は、（ 圧接 ・ 重ね継手 ）とする。

7. 機械式継手及び溶接継手

① 継手の種類（　　）、 工法（　　）
② 品質の確認方法（　　）
③ 鉄筋相互のあき（　　）
④ 不合格となった継手部への措置（　　）

8. 配筋検査

主要な配筋は、コンクリート打込みに先立ち、種類、径、数量、かぶり、間隔、位置等について、監督職員の検査を受ける。

Ⅱ コンクリート工事

1. 一般事項

① 設計基準強度

コンクリートの種類	設計基準強度 Fc(N/mm2)	調合管理強度 Fn(N/mm2)	スランプ（cm）	強度試験の有無	種別	気乾単位容積質量(t/m3)	適用箇所
普通	24	27	18	有			

② コンクリート部材の位置及び断面寸法の許容値は、改標仕 表8.1.3による。
③ 合板せき板を用いる打放し上げの種別は（ A ・ B ・ C ）種とする。
④ コンクリートの仕上がりの平たんさは、改標仕 表8.1.5による。
⑤ コンクリートの強度試験
コンクリートの強度試験については、次のとおり取扱うものとする。
・ 第4週強度確認
第3者機関にて、主任技術者又は現場代理人立会いの上、行うこと。
⑥ 構造体用モルタルの調合
モルタルの圧縮強度（　　）、 フロー値（　　）mm

2.　普通コンクリート

① セメントの種類は、(普通ポルトランドセメント ・ 混合セメントA種 ・ 高炉セメントB種 ・ フライッシュセメントB種)とする。

② 高炉セメントB種適用箇所( ) フライアッシュセメントB種適用箇所( )

③ 受注者は、コンクリートの使用にあたってアルカリ骨材反応を抑制するため、次の3つの対策の中のいずれか1つについて確認をとらなければならない。

1) コンクリート中のアルカリ総量の抑制

アルカリ量が表示されたポルトランドセメント等を使用し、コンクリート1m3に含まれるアルカリ総をNa2O換算で3.0kg以下にする。

2) 抑制効果のある混合セメント等の使用

JIS R 5211高炉セメントに適合する高炉セメント[B種またはC種]あるいはJIS R 5213フライアッシュセメントに適合するフライアッシュセメント[B種またはC種]、もしくは混和材をポルトランドセメントに混入した結合材でアルカリ骨材反応抑制効果の確認されたものを使用する。

3) 安全と認められる骨材の使用

骨材のアルカリシリカ反応性試験(化学法またはモルタルバー法)の結果で無害と確認された骨材を使用する。
試験方法は、JIS A 1145骨材のアルカリシリカ反応性試験方法(化学法)またはJIS A 5308(レディミクストコンクリート)の付属書7「骨材のアルカリシリカ反応性試験方法(化学法)」、JIS A 114骨材のアルカリシリカ反応性試験方法(モルタルバー法)またはJIS A 5308(レディミクストコンクリート)の付属書8「骨材のアルカリシリカ反応性試験方法(モルタルバー法)」による。

④ 細骨材としてフェロニッケルスラグ使用(できる ・ できない)。

⑤ 細骨材に含まれる塩化物量は、NaCl換算で0.04%以下とする。

⑥ 構造体コンクリートの調合管理強度は、設計基準強度(Fc)に構造体強度補正値(S)を加えた値とするなお、構造体強度補正値(S)は、改標仕 表8.2.4によりセメントの種類及びコンクリートの打込みから齢28日までの予想平均気温に応じて定める。

⑦ コンクリート中の塩化物量は、0.30kg/m3以下とし、試験方法は改標仕8.6.4による。

⑧ 試練りは(行う ・ 行わない)。

⑨ 所要空気量は4.5%±1.5%とする。

⑩ 工事に先立ち、レディミクストコンクリート工場を選定し、監督職員の承諾を得る。

3.　型枠

① 型枠は、(県産木製型枠 ・ 合板 ・ 金属製 ・ 樹脂製 ・ 打込み型枠 ・ ブロック)とする。

型枠の種別	仕上げ種別	塗装の有無	材　質	厚　さ	適用箇所
県産木製型枠	ー	なし			
改標仕8.2.7(2)(ア)	A種	あり	針葉樹	12	全般
改標仕8.2.7(2)(イ)	B種	なし			
改標仕8.2.7(2)(イ)	C種	なし			
改標仕8.2.7(2)(イ)	普通型枠	なし			

② スリーブの材種( )

③ 打ち放し仕上げの打ち増し厚さは ( )mmとする。

④ 誘発目地の位置、形状及び寸法は図示による。

4.　現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事

工法　　流込み工法

5.　あと施工アンカー工事

① あと施工アンカー作業における技能者は、あと施工アンカー工事の施工に関する十分な経験と技能を有するものとし、これらを証明する資料を提出し、監督員の承諾を受けること。

② 埋込み配管等に当たった場合は、直ちに穿孔を中止し、監督員に報告し指示を受けること。

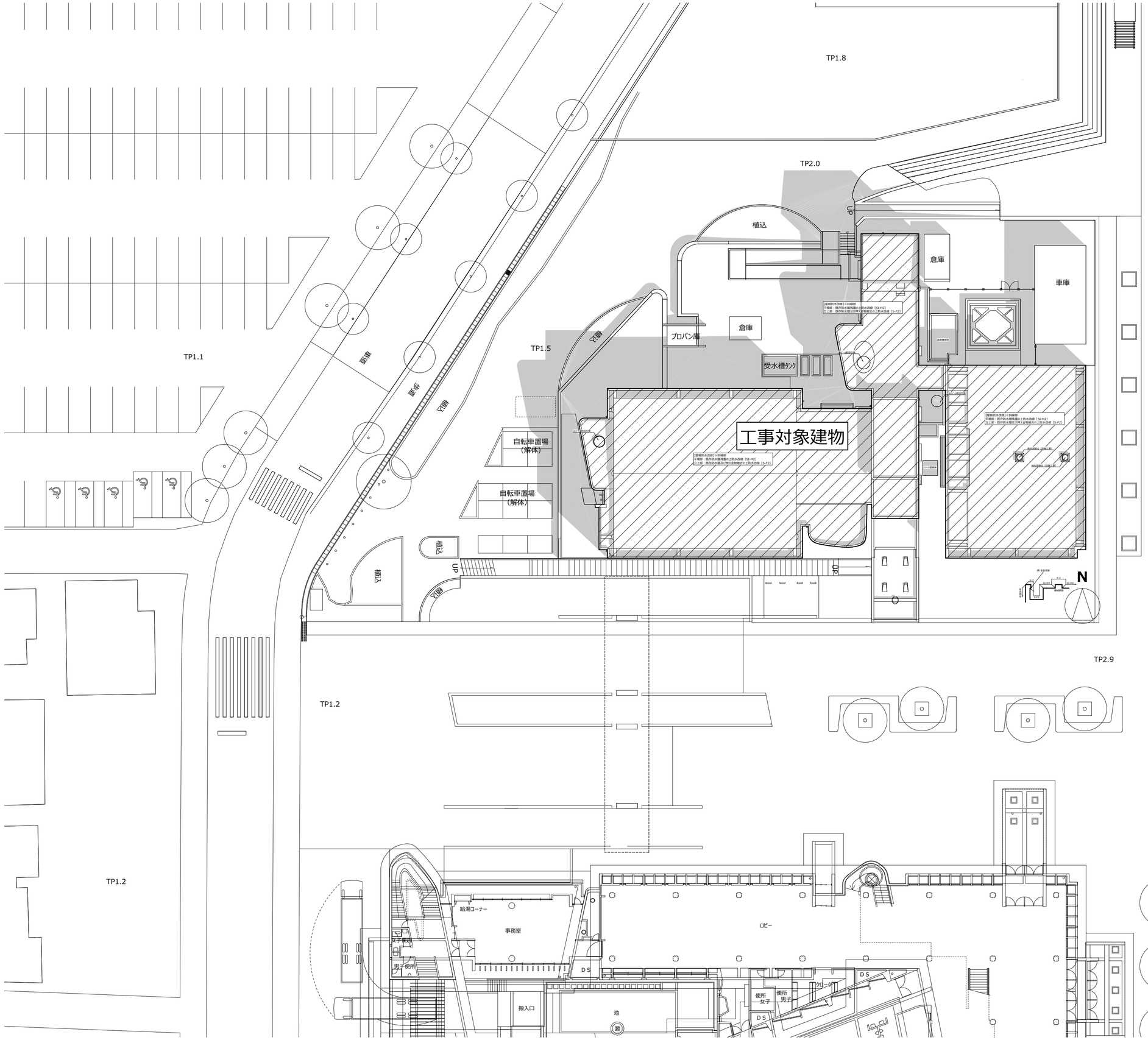
③ 鉄筋等に当たった場合は、穿孔を中止し、付近の位置に再穿孔を行うこと。中止した孔は、モルタルで充てんすること。

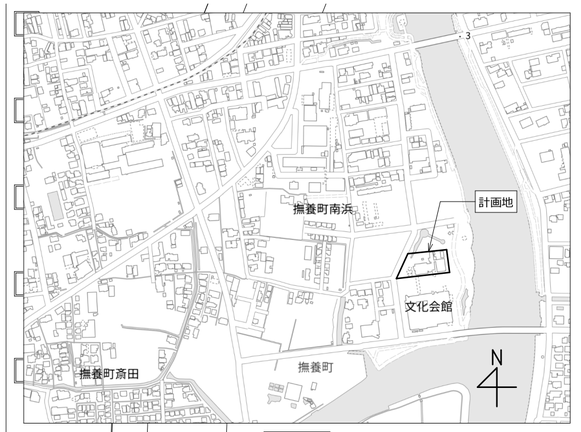
④ 施工確認試験を(行う ・ 行わない)。　確認強度( )kN
1ロットは　1日に施工されたものの径･仕様ごと ・)とする。

⑤ あと施工アンカーは(金属系アンカー ・ 接着系アンカー)とする。

・ 金属系アンカー
引張耐力 ( )、 せん断耐力( )とする。 アンカー本体の径( )、 埋込深さ( )とする。
アンカーセット方式は本体打ち込み式とする。
接合筋の種類は( )、 径( )、 長さ( )とする。

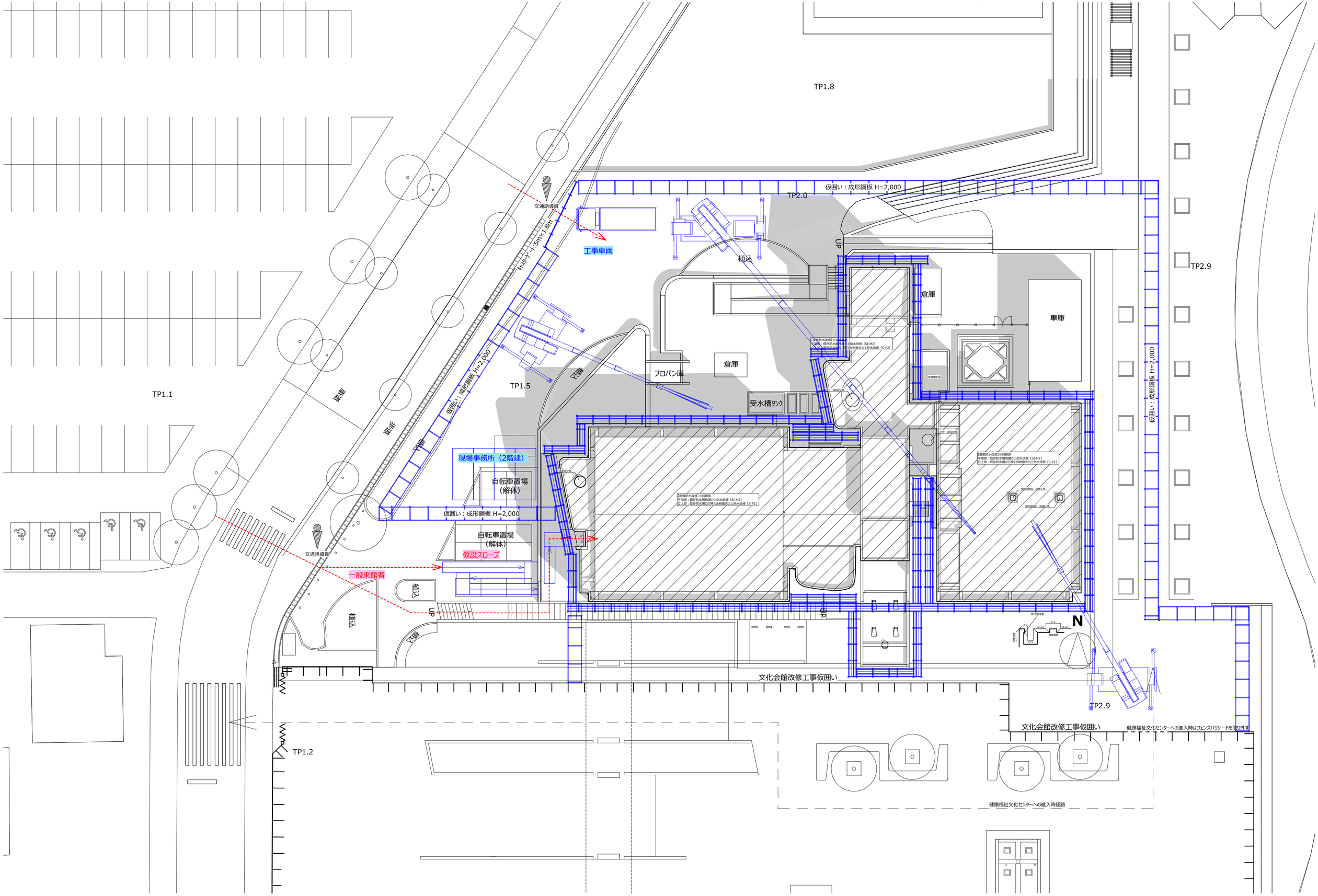
・ 接着系アンカー
引張耐力 (59kN)、 せん断耐力( )とする。
アンカーの種類はカプセル型(ガラス製)とする。





付近見取図

設計	香山・タニ設計業務共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事 第12399号　香山建築研究所 一級建築士 第289714号 長谷川祥久		鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち建築工事	A-11
			date:2025.07	配置図	scale: A2 1:300 | A3:71%縮小



	設計 香山・タニ設計業務共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事 第12399号 香山建築研究所		鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち建築工事	A-12
		一級建築士 第289714号 長谷川祥久	date:2025.07	仮設計画配置図（1期） scale: A2 1:250 | A3:71%縮小	

TP1.8

TP2.0

TP2.9

TP1.1

TP1.5

TP1.2

交通誘導員

一般来館者

仮囲い：成形鋼板 H=2,000

植込

up

ｷｬｽﾀｰｹﾞｰﾄ:5m×1.8m

倉庫

車庫

プロパン庫

受水槽タンク

現場事務所（2階建）

自転車置場
（解体）

仮設スロープ

工事車両

【屋根防水改修】※斜線部
平場部：既存防水層残置の上防水改修［SJ-M2］
立上部：既存防水層及び押え金物撤去の上防水改修［S-F2］

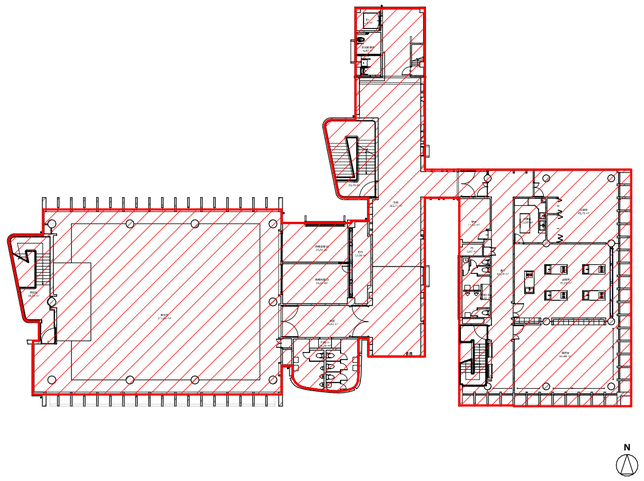
文化会館改修工事仮囲い

健康福祉文化センターへの進入時はフェンスバリケードを取り外す

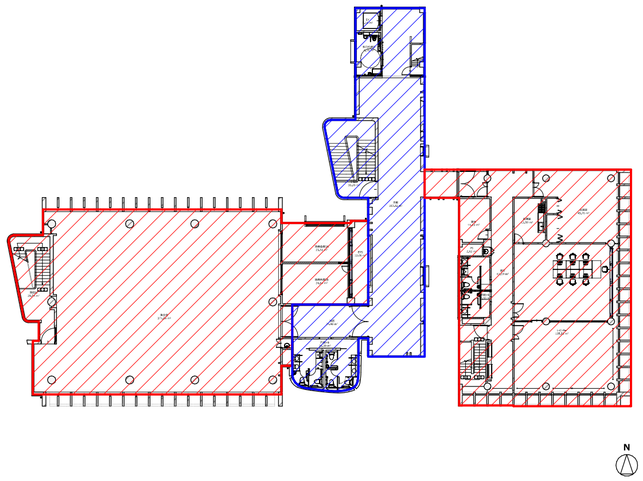
健康福祉文化センターへの進入時経路

N

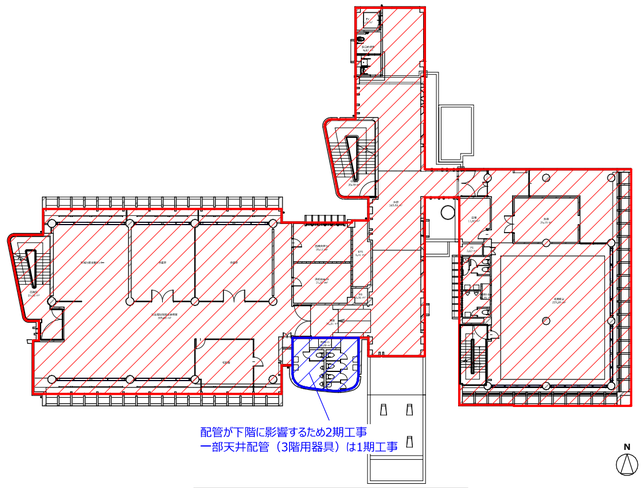
設計	香山・タニ設計業務共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事 第12399号　香山建築研究所		鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち建築工事	A-13
		一級建築士 第289714号 長谷川祥久	date:2025.07	仮設計画配置図（2期） scale: A2 1:250｜A3:71%縮小	



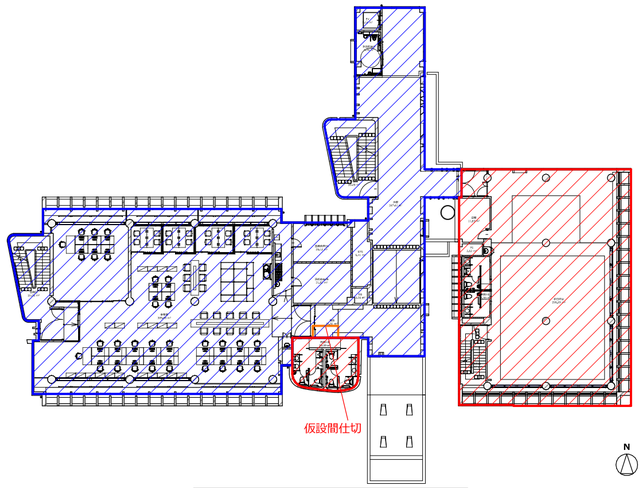
3階仮設平面図（1期）　1:400



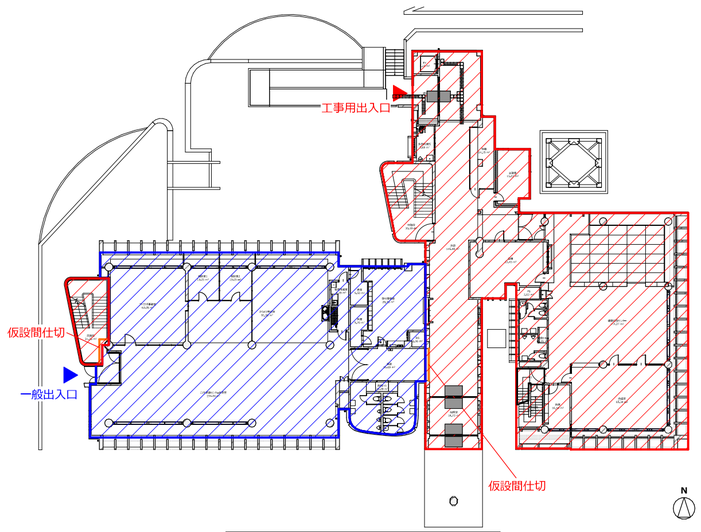
3階仮設平面図（2期）　1:400



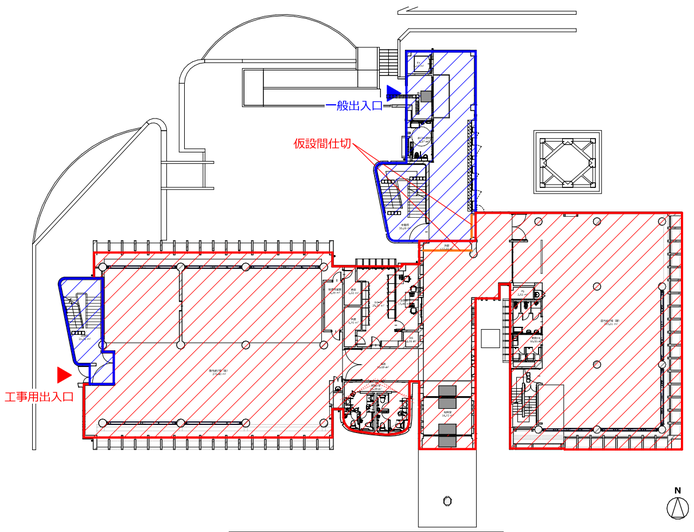
2階仮設平面図（1期）　1:400



2階仮設平面図（2期）　1:400



1階仮設平面図（1期）　1:400

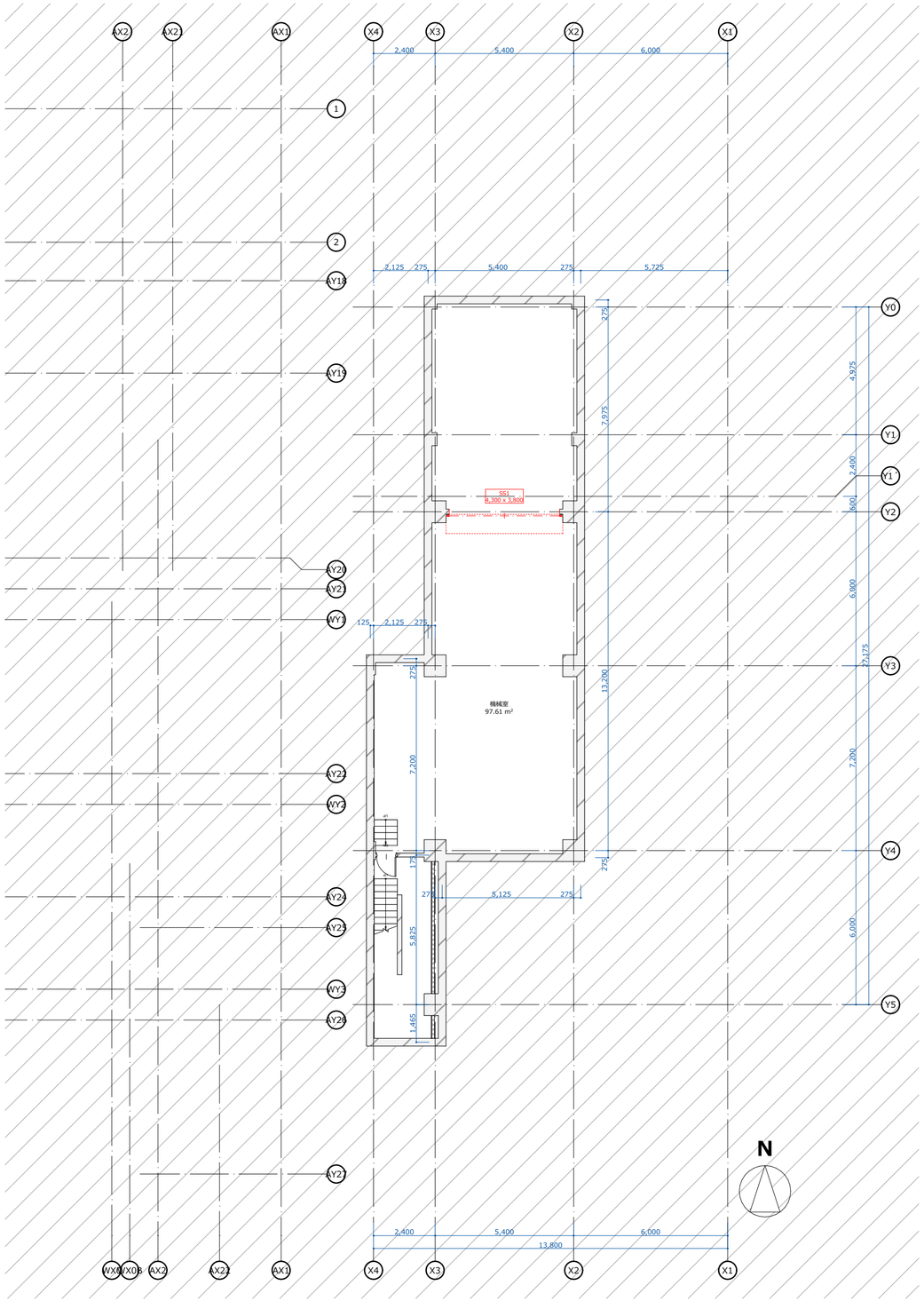


1階仮設平面図（2期）　1:400

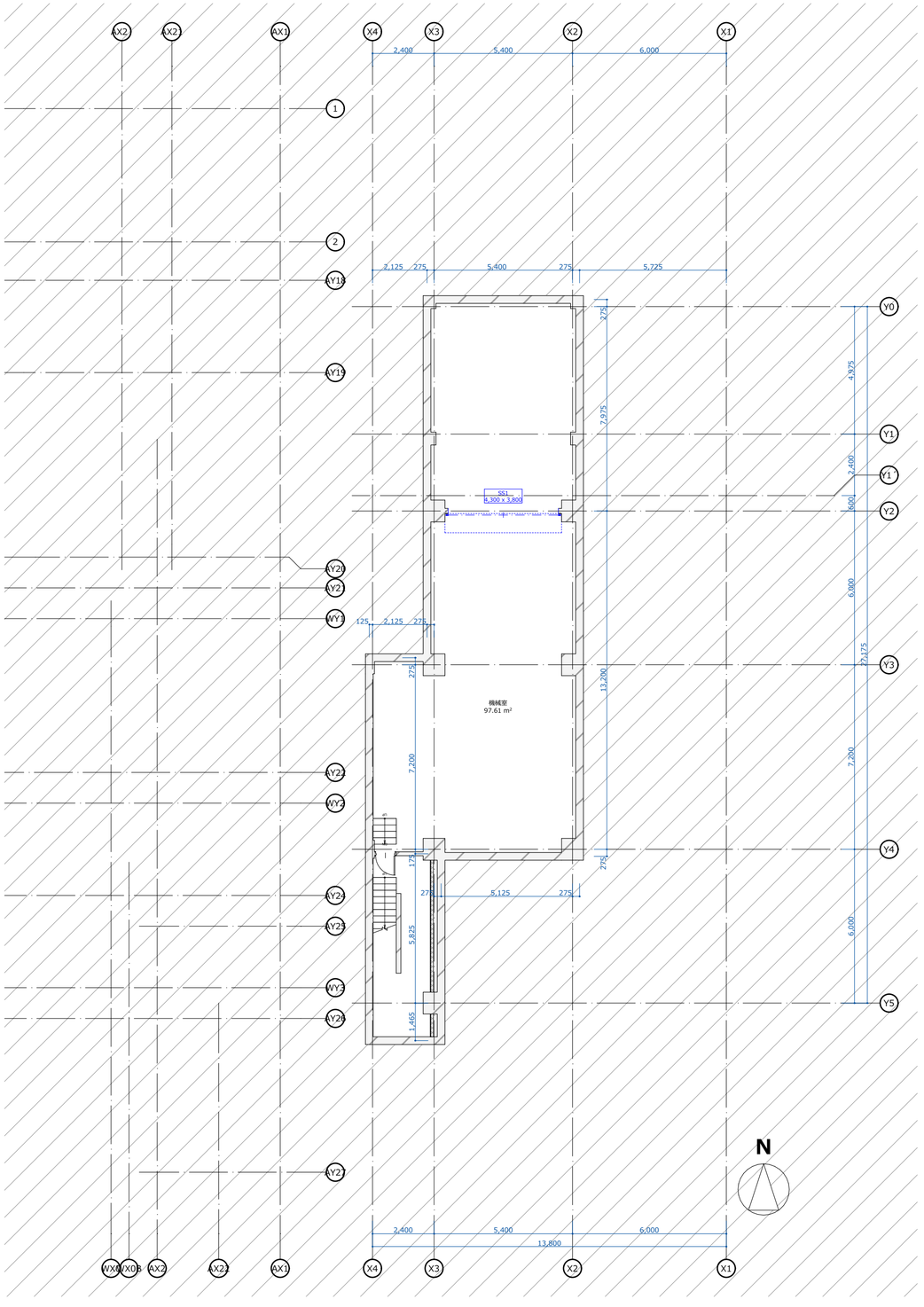
仮使用エリア
工事エリア
仮設間仕切：
LGS65+GB-R t=12.5+片開き戸

	設計 香山・タニ設計業務共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事 第12399号 香山建築研究所		鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち建築工事	A-14
		一級建築士 第289714号 長谷川祥久	date:2025.07	仮設計画平面図 scale: A2 1:400 | A3:71%縮小	

改修前

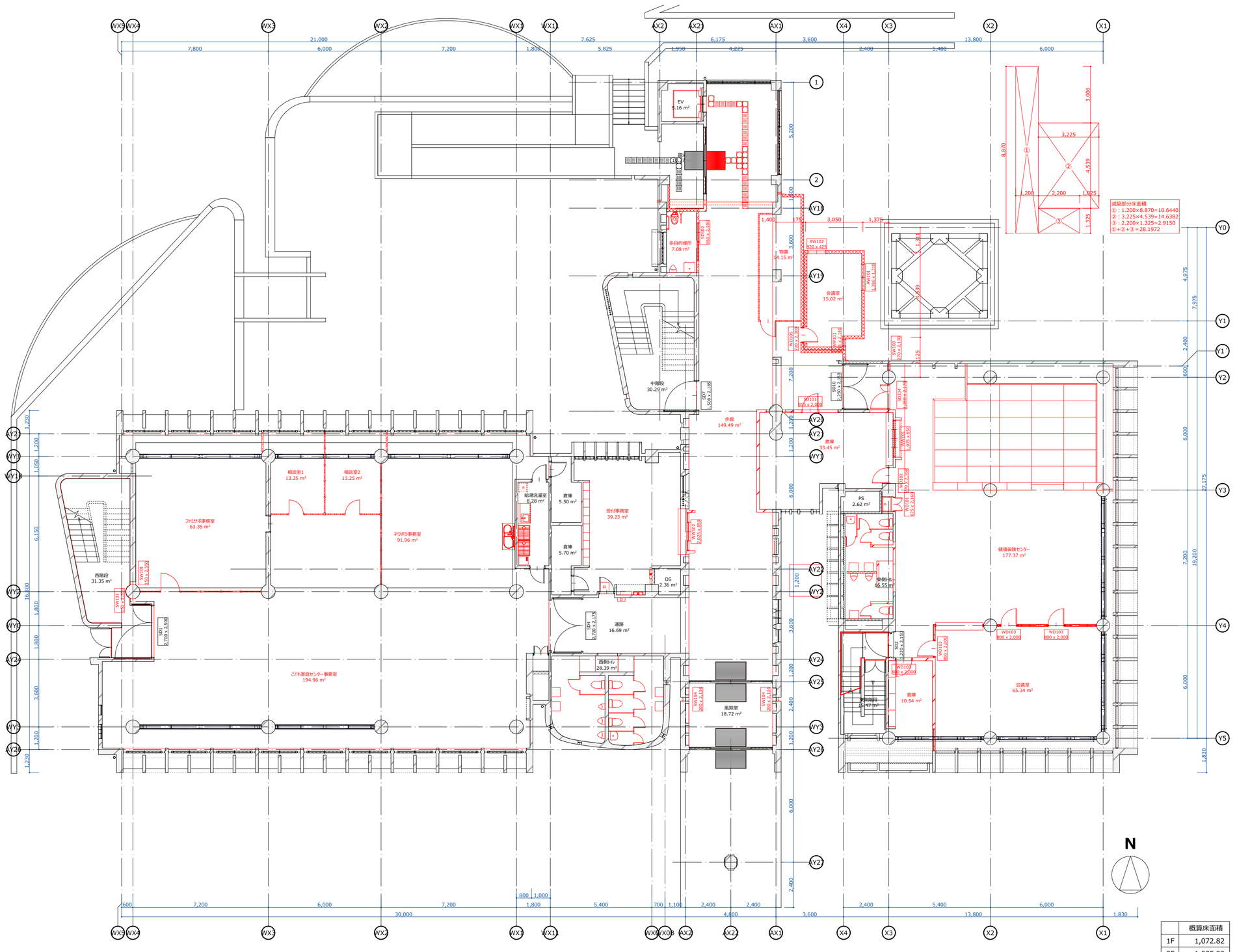


改修後



	設計 香山・タニ設計業務共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事 第12399号 香山建築研究所		鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち建築工事	A-15
		一級建築士 第289714号 長谷川祥久	date:2025.07	地階平面図（改修前後） scale: A2 1:150 | A3:71%縮小	

改修前



	概算床面積	
1F	1,072.82	
2F	1,035.33	
3F	1,035.33	
PHF	34.13	
合計	3,177.61	m²

室名	こども家庭センター事務室 他		屋内遊び場（動）
部位	既存仕上		改修後仕上
床	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地	[既存残置]	–
	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼	[全面撤去]	–
壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地	[既存残置]	–
	EP	[既存残置]	–
天井	LGS下地+GB-R 9.5	[全撤去]	天井裏露出
	軽量骨材ﾊﾞｰﾗｲﾄ	[全撤去]	–
CH	2,950		3,450
備考	既設ﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝ撤去		防火戸調整及び塗装改修 他

室名	受付事務室		ﾛｯｶｰ室
部位	既存仕上		改修後仕上
床	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地	[既存残置]	既存床材目荒し
	塗床	[既存残置]	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼 t=2
壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地	[既存残置]	一部間仕切LGS65+GB-R 12.5+9.5
	EP	[既存残置]	EP
天井	LGS下地	[既存残置]	–
	GB-R 9.5+軽量骨材ﾊﾞｰﾗｲﾄ	[全面撤去]	GB-D 9.5
CH	2,550		2,550
備考	既設棚撤去		LGS間仕切追加 他

室名	西側トイレ		西側トイレ
部位	既存仕上		改修後仕上
床	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地	[既存残置]	乾式置床H70+合板 t=9
	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼	[既存残置]	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼 t=2
壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地	[既存残置]	一部ﾗｲﾆﾝｸﾞLGS65+GB-S 12.5
	EP	[既存残置]	弾性薄塗仕上材E 一部ﾗｲﾆﾝｸﾞ部硬質ﾒﾗﾐﾝ化粧板
天井	LGS下地+GB-R 9.5	[全面撤去]	LGS下地
	軽量骨材ﾊﾞｰﾗｲﾄ	[全面撤去]	GB-D 9.5
CH	2,550		2,400
備考	既設衛生器具・ｱｰｽ撤去		ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ、ﾗｲﾆﾝｸﾞ 他

室名	歩廊及び風除室		歩廊及び風除室
部位	既存仕上		改修後仕上
床	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地	[既存残置]	ﾓﾙﾀﾙ下地
	化粧ﾓﾙﾀﾙ塗 t30	[全面撤去]	強化ｳﾚﾀﾝ仕上ｺﾞﾑﾀｲﾙ t=5 風除室及び下足部は長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼 t=2
壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地	[既存残置]	–
	EP	[既存残置]	全面EP塗装改修（下地RB種）
天井	LGS下地	[既存残置]	–
	GB-R 9.5+軽量骨材ﾊﾞｰﾗｲﾄ	[全面撤去]	GB-R 9.5+9.5 EP　※梁型全面EP塗装改修
CH	図示		図示
備考	既設ﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝ撤去		配管配線ﾀﾞｸﾄ製作、耐震補強工事 他

室名	多目的便所		多目的便所
部位	既存仕上		改修後仕上
床	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地	[既存残置]	ﾓﾙﾀﾙ下地調整
	ﾓﾙﾀﾙ塗+ﾀｲﾙ貼	[全面撤去]	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼 t=2
壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地	[既存残置]	一部間仕切LGS65+GB-R 12.5+9.5
	EP	[既存残置]	EP
天井	LGS下地+GB-R 9.5	[全面撤去]	LGS下地
	軽量骨材ﾊﾞｰﾗｲﾄ	[全面撤去]	GB-D 9.5
CH	2,450		2,250
備考	既設衛生器具撤去		新設衛生器具（設備工事）

室名	健康保険センター 他		屋内遊び場（静）
部位	既存仕上		改修後仕上
床	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地	[既存残置]	–
	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼	[全面撤去]	–
壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地	[既存残置]	–
	EP	[既存残置]	–
天井	LGS下地+GB-R 12.5	[全面撤去]	天井裏露出
	薄付仕上塗材	[全面撤去]	–
CH	2,425		2,955
備考	既設間仕切撤去、畳撤去		防火戸調整及び塗装改修 他

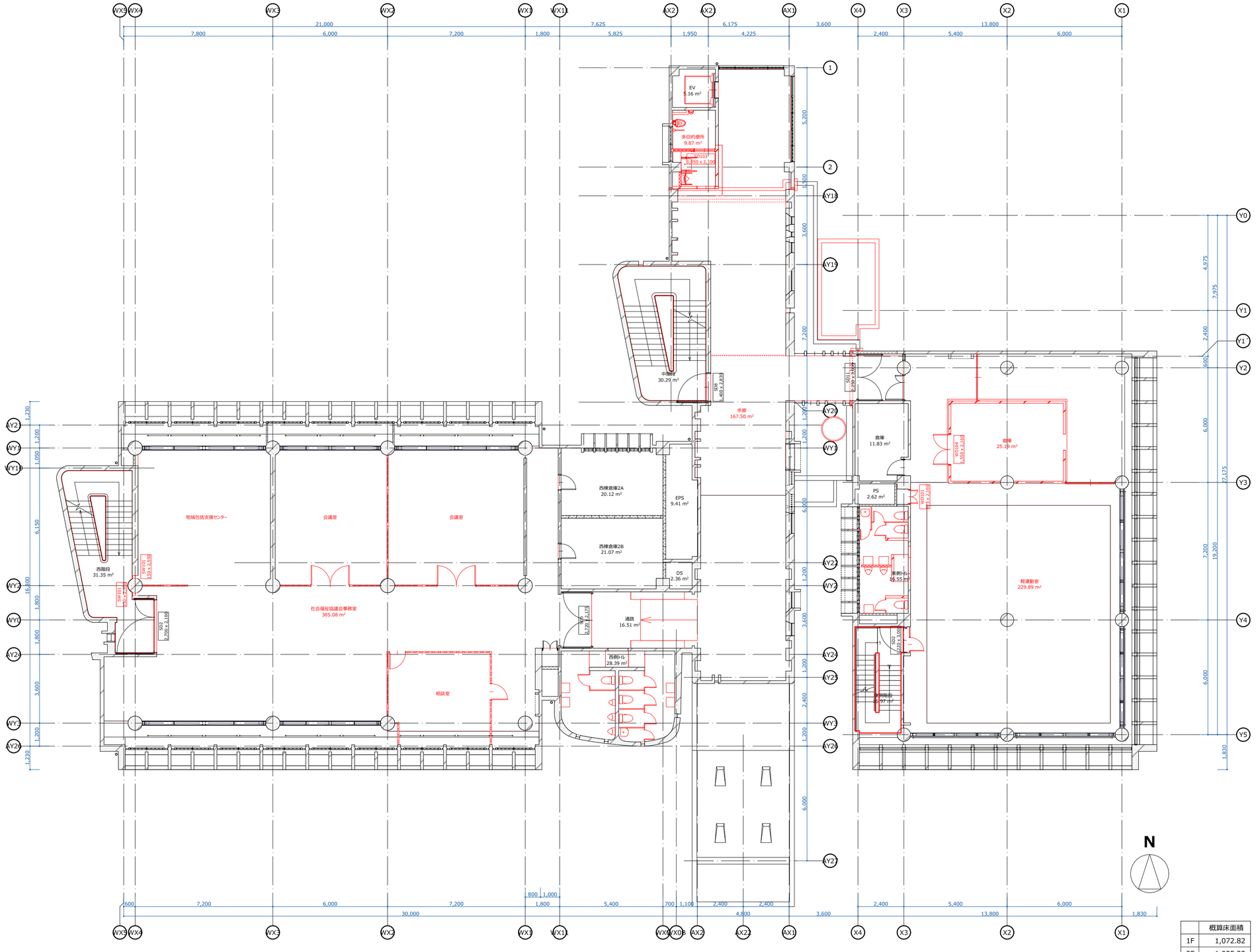
室名	東側トイレ		東側トイレ
部位	既存仕上		改修後仕上
床	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地	[既存残置]	乾式置床H70+合板 t=9
	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼	[既存残置]	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼 t=2
壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地	[既存残置]	一部ﾗｲﾆﾝｸﾞLGS65+GB-S 12.5
	EP	[既存残置]	EP塗装改修　一部ﾗｲﾆﾝｸﾞ部硬質ﾒﾗﾐﾝ化粧板
天井	LGS下地+GB-R 9.5	[全面撤去]	LGS下地
	軽量骨材ﾊﾞｰﾗｲﾄ	[全面撤去]	GB-D 9.5
CH	2,225		2,225
備考	既設衛生器具・ｱｰｽ撤去		ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ、ﾗｲﾆﾝｸﾞ 他

室名	西側階段、中階段、東側階段		西側階段、中階段、東側階段
部位	既存仕上		改修後仕上
床	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地	[既存残置]	–
	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼	[全面撤去]	ﾘｼﾘｳﾑｼｰﾄ貼 t=2.5、ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ更新 1～2階床のみ 強化ｳﾚﾀﾝ仕上ｺﾞﾑﾀｲﾙ t=3.2
壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地	[既存残置]	–
	EP	[既存残置]	全面EP塗装改修
天井	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地	[既存残置]	–
	EP	[既存残置]	全面EP塗装改修
CH	図示		図示
備考	既設SUS手摺撤去		新設ｽﾁｰﾙ手摺 DP（東側階段のみ壁付手摺）

赤図・赤文字・・・撤去部
青図・青文字・・・新設・改修部
※全図面共通

	設計 香山・タニ設計業務共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事 第12399号 香山建築研究所		鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち建築工事	A-16
		一級建築士 第289714号 長谷川祥久	date:2025.07	1階平面図（改修前） scale: A2 1:150 | A3:71%縮小	

改修前



	概算床面積
1F	1,072.82
2F	1,035.33
3F	1,035.33
PHF	34.13
合計	3,177.61 m²

	社会福祉協議会事務室	こども家庭センター事務室
部位	既存仕上	改修後仕上
床	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地 [既存残置]	–
	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼 [全面撤去]	OAﾌﾛｱH60+ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ敷 一部水廻り部 ﾘﾘｰﾙｼｰﾄ貼 t=2.5
壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地 [既存残置]	–
	EP [既存残置]	–
天井	LGS下地 [既存残置]	–
	GB-R 9.5+軽量骨材ﾊﾞｰﾗｲﾄ [全面撤去]	GB-R 9.5+DR 9
CH	2,750	2,750
備考	既設ﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝ撤去	防火戸調整及び塗装改修 他

室名	西側トイレ	西側トイレ
部位	既存仕上	改修後仕上
床	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地 [既存残置]	乾式置床H70+合板 t=9
	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼 [既存残置]	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼 t=2
壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地 [既存残置]	一部ﾗｲﾆﾝｸﾞLGS65+GB-S 12.5
	EP [既存残置]	弾性薄塗仕上材E 一部ﾗｲﾆﾝｸﾞ部硬質ﾒﾗﾐﾝ化粧板
天井	LGS下地+GB-R 9.5 [全面撤去]	LGS下地
	軽量骨材ﾊﾞｰﾗｲﾄ [全面撤去]	GB-D 9.5
CH	2,550	2,400
備考	既設衛生器具・ｱﾌﾟｽ撤去	ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ、ﾗｲﾆﾝｸﾞ 他

室名	歩廊	歩廊
部位	既存仕上	改修後仕上
床	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地 [既存残置]	下地調整
	塗床 [全面撤去]	強化ｳﾚﾀﾝ仕上ｺﾙｸﾀｲﾙ t=3.2
壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地 [既存残置]	–
	EP [既存残置]	全面EP塗装改修（下地RB種）
天井	LGS下地 [既存残置]	–
	GB-R 9.5+軽量骨材ﾊﾞｰﾗｲﾄ [全面撤去]	GB-R 9.5+9.5 EP
CH	2,875	2,875
備考	–	ｽﾛｰﾌﾟ改修壁付手摺共

室名	多目的便所	多目的便所
部位	既存仕上	改修後仕上
床	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地 [既存残置]	既存床材目荒し
	塗床 [全面撤去]	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼 t=2
壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地 [既存残置]	一部間仕切LGS65+GB-R 12.5+9.5
	EP [既存残置]	EP
天井	LGS下地+GB-R 9.5 [全面撤去]	LGS下地
	軽量骨材ﾊﾞｰﾗｲﾄ [全面撤去]	GB-D 9.5
CH	2,875	2,875
備考	既設衛生器具撤去	新設衛生器具（設備工事）

室名	軽運動室	多目的室
部位	既存仕上	改修後仕上
床	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地 [既存残置]	–
	塗床 一部ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ張 [全面撤去]	–
壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地 [倉庫部撤去]	–
	EP [既存残置]	–
天井	LGS下地+ [全面撤去]	天井裏露出
	薄付仕上塗材 [全面撤去]	–
CH	3,275	3,275
備考	既設間仕切撤去	防火戸調整及び塗装改修 他

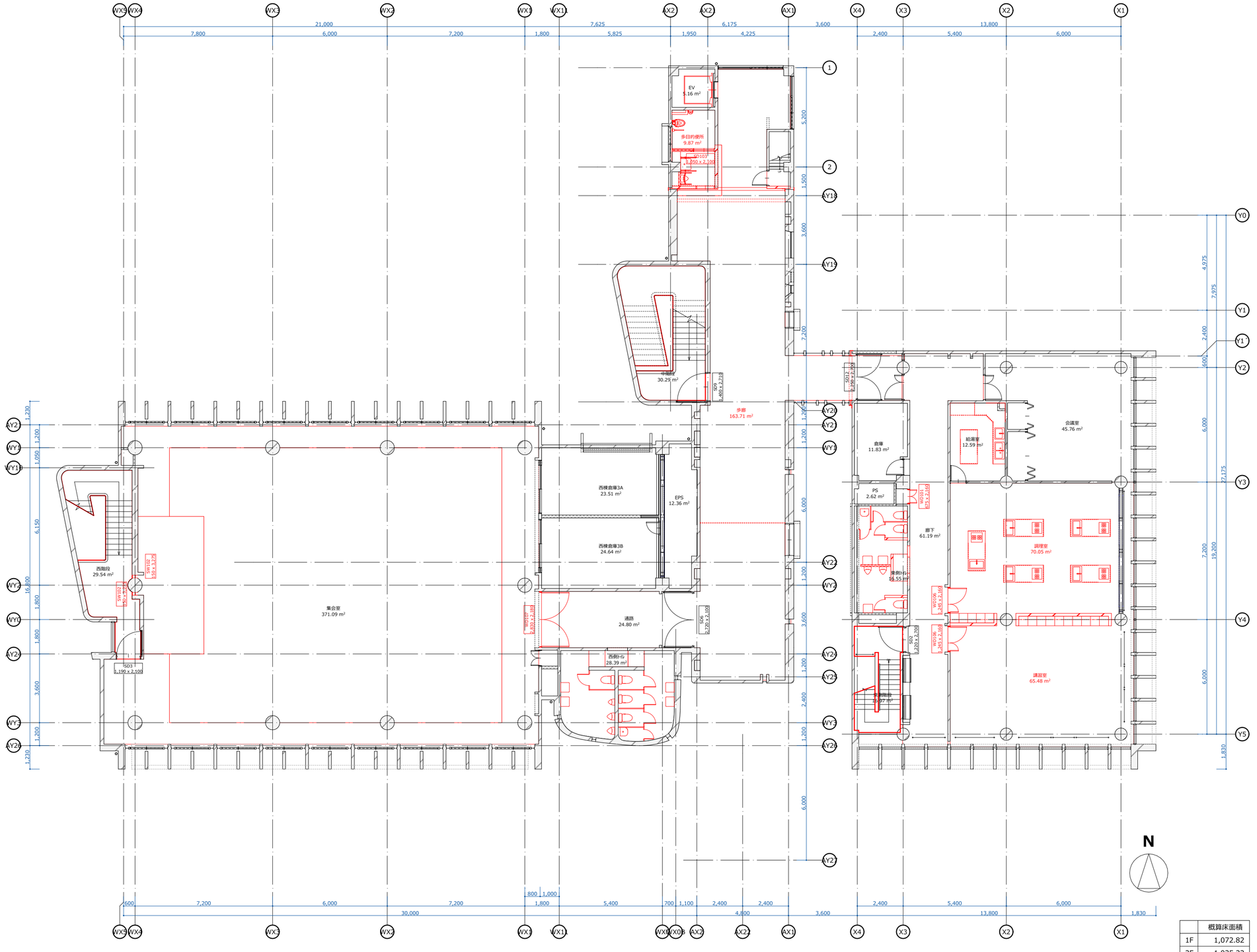
室名	東側トイレ	東側トイレ
部位	既存仕上	改修後仕上
床	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地 [既存残置]	乾式置床H70+合板 t=9
	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼 [既存残置]	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼 t=2
壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地 [既存残置]	一部ﾗｲﾆﾝｸﾞLGS65+GB-S 12.5
	EP [既存残置]	EP塗装改修　一部ﾗｲﾆﾝｸﾞ部硬質ﾒﾗﾐﾝ化粧板
天井	LGS下地+GB-R 9.5 [全面撤去]	LGS下地
	軽量骨材ﾊﾞｰﾗｲﾄ [全面撤去]	GB-D 9.5
CH	2,750	2,400
備考	既設衛生器具・ｱﾌﾟｽ撤去	ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ、ﾗｲﾆﾝｸﾞ 他

室名	西側階段、中階段	西側階段、中階段
部位	既存仕上	改修後仕上
床	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地 [既存残置]	–
	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼 [全面撤去]	ﾘﾘｰﾙｼｰﾄ貼 t=2.5、ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ更新 1～2階床のみ 強化ｳﾚﾀﾝ仕上ｺﾙｸﾀｲﾙ t=3.2
壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地 [既存残置]	–
	EP [既存残置]	全面EP塗装改修
天井	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地 [既存残置]	–
	EP [既存残置]	全面EP塗装改修
CH	図示	図示
備考	既設SUS手摺撤去	新設ｽﾁｰﾙ手摺 DP（東側階段のみ壁付手摺）

赤図・赤文字・・・撤去部
青図・青文字・・・新設・改修部
※全図面共通

	設計 香山・タニ設計業務共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事 第12399号 香山建築研究所		鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち建築工事	A-17
		一級建築士 第289714号 長谷川祥久	date:2025.07	2階平面図（改修前） scale: A2 1:150 | A3:71%縮小	

改修前



	概算床面積	
1F	1,072.82	
2F	1,035.33	
3F	1,035.33	
PHF	34.13	
合計	3,177.61	m²

	集会室		集会室
部位	既存仕上		改修後仕上
床	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地	[既存残置]	既存床材目荒し
	塗床一部ﾊﾝﾊﾟｯﾄ数	[ﾊﾝﾊﾟｯﾄ撤去]	ﾘｼﾘｳﾑｰﾄ貼 t=2.5
壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地	[既存残置]	--
	EP	[既存残置]	全面EP塗装改修
天井	LGS下地	[既存残置]	--
	GB-R 9.5+軽量骨材ﾊﾞｰﾗｲﾄ	[全面撤去]	GB-R 9.5+DR 9
CH	3,350		3,350
備考	既設ﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝ撤去		防火戸調整及び塗装改修 他

室名	西側トイレ		西側トイレ
部位	既存仕上		改修後仕上
床	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地	[既存残置]	乾式置床H70+合板 t=9
	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼	[既存残置]	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼 t=2
壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地	[既存残置]	一部ﾗｲﾆﾝｸﾞLGS65+GB-S 12.5
	EP	[既存残置]	弾性薄塗仕上材E 一部ﾗｲﾆﾝｸﾞ部硬質ｳﾚﾀﾝ化粧板
天井	LGS下地+GB-R 9.5	[全面撤去]	LGS下地
	軽量骨材ﾊﾞｰﾗｲﾄ	[全面撤去]	GB-D 9.5
CH	2,550		2,400
備考	既設衛生器具・ﾌﾟｰｽ撤去		ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ、ﾗｲﾆﾝｸﾞ 他

室名	歩廊		歩廊
部位	既存仕上		改修後仕上
床	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地	[既存残置]	下地調整
	塗床	[全面撤去]	ﾘｼﾘｳﾑｰﾄ貼 t=2.5
壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地	[既存残置]	--
	EP	[既存残置]	全面EP塗装改修（下地RB種）
天井	LGS下地	[既存残置]	--
	GB-R 9.5+軽量骨材ﾊﾞｰﾗｲﾄ	[全面撤去]	GB-R 9.5+9.5 EP
CH	2,780		2,780
備考	--		--

室名	多目的便所		多目的便所
部位	既存仕上		改修後仕上
床	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地	[既存残置]	ﾓﾙﾀﾙ下地調整
	塗床	[全面撤去]	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼 t=2
壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地	[既存残置]	一部間仕切LGS65+GB-R 12.5+9.5
	EP	[既存残置]	EP
天井	LGS下地+GB-R 9.5	[全面撤去]	LGS下地
	軽量骨材ﾊﾞｰﾗｲﾄ	[全面撤去]	GB-D 9.5
CH	2,780		2,780
備考	既設衛生器具撤去		新設衛生器具（設備工事）

室名	調理室他		レインボー
部位	既存仕上		改修後仕上
床	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地	[既存残置]	既存床材目荒し
	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼及び塗床	[既存残置]	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ数、廊下部:ﾘｼﾘｳﾑｰﾄ貼 t=2.5
壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地	[既存残置]	--
	EP	[既存残置]	--
天井	LGS下地	[既存残置]	--
	GB-R 12.5+薄付仕上塗材	[全面撤去]	GB-R 9.5+9.5 EP
CH	2,920		2,920
備考	RC間仕切、既設調理台他撤去		新設LGS間仕切、間仕切撤去部補修

室名	給湯室		給湯室
部位	既存仕上		改修後仕上
床	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地	[既存残置]	--
	塗床	[既存残置]	--
壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地	[既存残置]	--
	EP	[既存残置]	--
天井	LGS下地	[既存残置]	--
	GB-D	[全面撤去]	GB-D 9.5
CH	2,920		2,920
備考	既設調理台他撤去		流し台新設

室名	東側トイレ		東側トイレ
部位	既存仕上		改修後仕上
床	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地	[既存残置]	乾式置床H70+合板 t=9
	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼	[既存残置]	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼 t=2
壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地	[既存残置]	一部ﾗｲﾆﾝｸﾞLGS65+GB-S 12.5
	EP	[既存残置]	EP塗装改修 一部ﾗｲﾆﾝｸﾞ部硬質ｳﾚﾀﾝ化粧板
天井	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地	[既存残置]	LGS下地
	EP	[既存残置]	GB-D 9.5
CH	2,840		2,400
備考	既設衛生器具・ﾌﾟｰｽ撤去		ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ、ﾗｲﾆﾝｸﾞ 他

室名	廊下		廊下
部位	既存仕上		改修後仕上
床	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地	[既存残置]	--
	塗床	[既存残置]	--
壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地	[既存残置]	--
	EP	[既存残置]	--
天井	LGS下地	[既存残置]	--
	GB-R 12.5+薄付仕上塗材	[全面撤去]	GB-R 9.5+9.5 EP
CH	2,750		2,750
備考	--		--

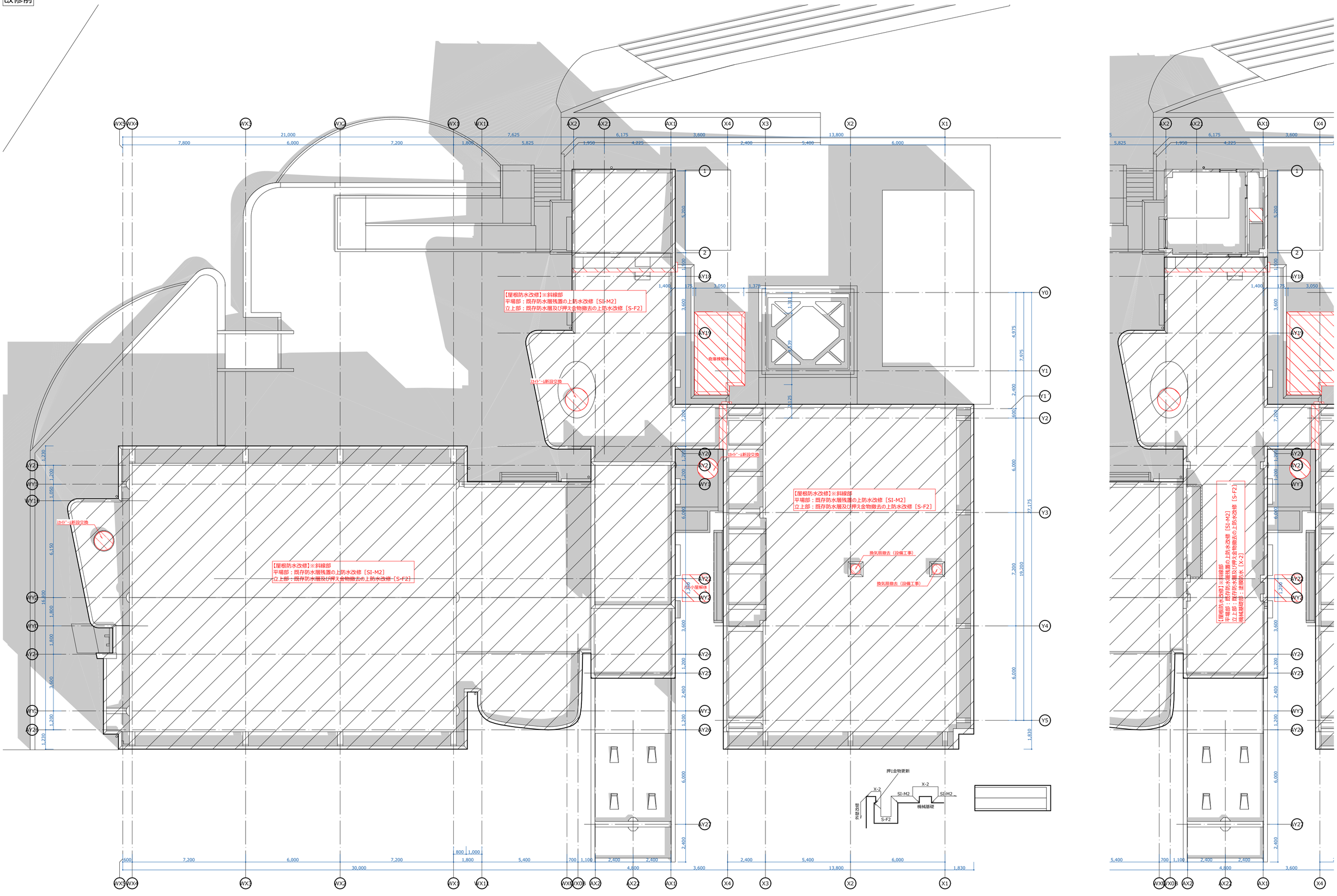
室名	会議室		会議室
部位	既存仕上		改修後仕上
床	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地	[既存残置]	--
	塗床	[既存残置]	--
壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地	[既存残置]	--
	EP	[既存残置]	--
天井	LGS下地	[既存残置]	--
	GB-R 12.5+薄付仕上塗材	[全面撤去]	GB-R 9.5+9.5 EP
CH	2,800		2,800
備考	--		--

室名	西側階段、中階段		西側階段、中階段、東側階段
部位	既存仕上		改修後仕上
床	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地	[既存残置]	--
	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼	[全面撤去]	ﾘｼﾘｳﾑｰﾄ貼 t=2.5、ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ更新 1～2階床のみ 強化ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ仕上ｼｰﾄﾌｨﾆｯｼｭ t=3.2
壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地	[既存残置]	--
	EP	[既存残置]	全面EP塗装改修
天井	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地	[既存残置]	--
	EP	[既存残置]	全面EP塗装改修
CH	図示		図示
備考	既設SUS手摺撤去		新設ｽﾁｰﾙ手摺 DP（東側階段のみ壁付手摺）

赤図・赤文字・・・撤去部
青図・青文字・・・新設・改修部
※全図面共通

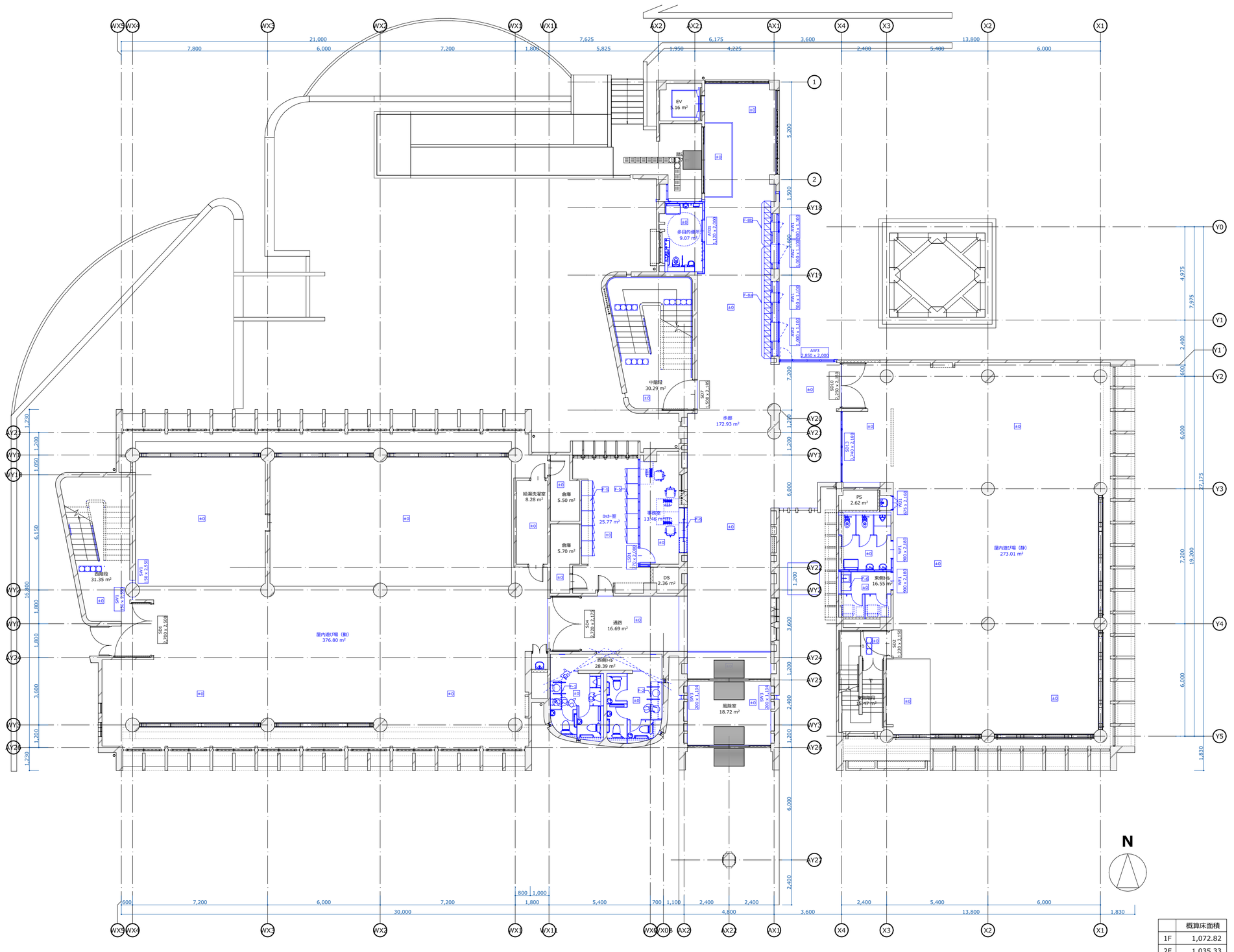
	設計 香山・タニ設計業務共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事 第12399号 香山建築研究所		鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち建築工事	A-18
		一級建築士 第289714号 長谷川祥久	date:2025.07	3階平面図（改修前） scale: A2 1:150 | A3:71%縮小	

改修前



	設計 香山・タニ設計業務共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事 第12399号 香山建築研究所		鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち建築工事	A-19
		一級建築士 第289714号 長谷川祥久	date:2025.07	屋根伏図（改修前） scale: A2 1:150 | A3:71%縮小	

改修後



	概算床面積	
1F	1,072.82	
2F	1,035.33	
3F	1,035.33	
PHF	34.13	
合計	3,177.61	m²

室名	こども家庭センター事務室 他		屋内遊び場（動）
部位	既存仕上		改修後仕上
床	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地	[既存残置]	–
	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼	[全面撤去]	–
壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地	[既存残置]	–
	EP	[既存残置]	–
天井	LGS下地+GB-R 9.5	[全撤去]	天井裏露出
	軽量骨材ﾊﾞｰﾗｲﾄ	[全撤去]	–
CH	2,950		3,450
備考	既設ﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝ撤去		防火戸調整及び塗装改修 他

室名	受付事務室		ﾛｯｶｰ室
部位	既存仕上		改修後仕上
床	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地	[既存残置]	既存床材目荒し
	塗床	[既存残置]	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼 t=2
壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地	[既存残置]	一部間仕切LGS65+GB-R 12.5+9.5
	EP	[既存残置]	EP
天井	LGS下地	[既存残置]	–
	GB-R 9.5+軽量骨材ﾊﾞｰﾗｲﾄ	[全面撤去]	GB-D 9.5
CH	2,550		2,550
備考	既設棚撤去		LGS間仕切追加 他

室名	西側ﾄｲﾚ		西側ﾄｲﾚ
部位	既存仕上		改修後仕上
床	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地	[既存残置]	乾式置床H70+合板 t=9
	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼	[既存残置]	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼 t=2
壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地	[既存残置]	一部ﾗｲﾆﾝｸﾞLGS65+GB-S 12.5
	EP	[既存残置]	弾性薄塗仕上材E 一部ﾗｲﾆﾝｸﾞ部硬質ﾒﾗﾐﾝ化粧板
天井	LGS下地+GB-R 9.5	[全面撤去]	LGS下地
	軽量骨材ﾊﾞｰﾗｲﾄ	[全面撤去]	GB-D 9.5
CH	2,550		2,400
備考	既設衛生器具・ﾌﾟｰｽ撤去		ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ、ﾗｲﾆﾝｸﾞ 他

室名	歩廊及び風除室		歩廊及び風除室
部位	既存仕上		改修後仕上
床	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地	[既存残置]	ﾓﾙﾀﾙ下地
	化粧ﾓﾙﾀﾙ塗 t30	[全面撤去]	強化ｸﾚﾀﾝ仕上ｺﾞﾑﾀｲﾙ t=5 風除室及び下足部は長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼 t=2
壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地	[既存残置]	–
	EP	[既存残置]	全面EP塗装改修（下地RB種）
天井	LGS下地	[既存残置]	–
	GB-R 9.5+軽量骨材ﾊﾞｰﾗｲﾄ	[全面撤去]	GB-R 9.5+9.5 EP　※梁型全面EP塗装改修
CH	図示		図示
備考	既設ﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝ撤去		配管配線ﾀﾞｸﾄ製作、耐震補強工事 他

室名	多目的便所		多目的便所
部位	既存仕上		改修後仕上
床	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地	[既存残置]	ﾓﾙﾀﾙ下地調整
	ﾓﾙﾀﾙ塗+ﾀｲﾙ貼	[全面撤去]	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼 t=2
壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地	[既存残置]	一部間仕切LGS65+GB-R 12.5+9.5
	EP	[既存残置]	EP
天井	LGS下地+GB-R 9.5	[全面撤去]	LGS下地
	軽量骨材ﾊﾞｰﾗｲﾄ	[全面撤去]	GB-D 9.5
CH	2,450		2,250
備考	既設衛生器具撤去		新設衛生器具（設備工事）

室名	健康保険センター 他		屋内遊び場（静）
部位	既存仕上		改修後仕上
床	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地	[既存残置]	–
	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼	[全面撤去]	–
壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地	[既存残置]	–
	EP	[既存残置]	–
天井	LGS下地+GB-R 12.5	[全面撤去]	天井裏露出
	薄付仕上塗材	[全面撤去]	–
CH	2,425		2,955
備考	既設間仕切撤去、畳撤去		防火戸調整及び塗装改修 他

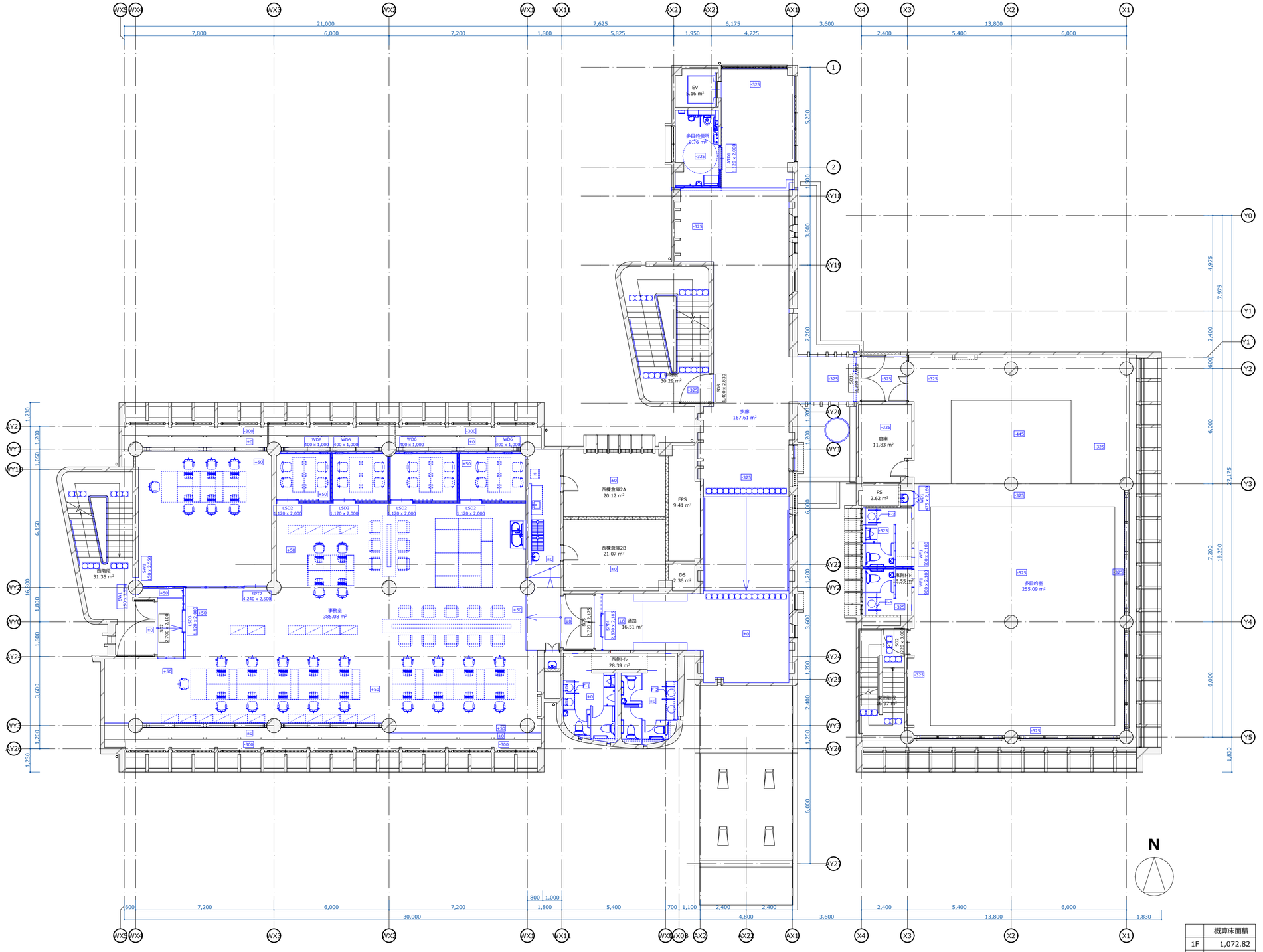
室名	東側ﾄｲﾚ		東側ﾄｲﾚ
部位	既存仕上		改修後仕上
床	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地	[既存残置]	乾式置床H70+合板 t=9
	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼	[既存残置]	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼 t=2
壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地	[既存残置]	一部ﾗｲﾆﾝｸﾞLGS65+GB-S 12.5
	EP	[既存残置]	EP塗装改修　一部ﾗｲﾆﾝｸﾞ部硬質ﾒﾗﾐﾝ化粧板
天井	LGS下地+GB-R 9.5	[全面撤去]	LGS下地
	軽量骨材ﾊﾞｰﾗｲﾄ	[全面撤去]	GB-D 9.5
CH	2,225		2,225
備考	既設衛生器具・ﾌﾟｰｽ撤去		ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ、ﾗｲﾆﾝｸﾞ 他

室名	西側階段、中階段、東側階段		西側階段、中階段、東側階段
部位	既存仕上		改修後仕上
床	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地	[既存残置]	–
	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼	[全面撤去]	ﾘﾘｰﾌﾑｼｰﾄ貼 t=2.5、ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ更新 1～2階床のみ 強化ｸﾚﾀﾝ仕上ｺﾞﾑﾀｲﾙ t=3.2
壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地	[既存残置]	–
	EP	[既存残置]	全面EP塗装改修
天井	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地	[既存残置]	–
	EP	[既存残置]	全面EP塗装改修
CH	図示		図示
備考	既設SUS手摺撤去		新設ｽﾁｰﾙ手摺 DP（東側階段のみ壁付手摺）

赤図・赤文字･･･撤去部
青図・青文字･･･新設・改修部
※全図面共通

	設計	香山・タニ設計業務共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事 第12399号　香山建築研究所	鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち建築工事	A-20
			一級建築士 第289714号 長谷川祥久	date:2025.07　1階平面図（改修後）	scale: A2 1:150 | A3:71%縮小

改修後



	概算床面積
1F	1,072.82
2F	1,035.33
3F	1,035.33
PHF	34.13
合計	3,177.61 ㎡

	社会福祉協議会事務室	こども家庭センター事務室
部位	既存仕上	改修後仕上
床	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地 [既存残置]	–
	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼 [全面撤去]	OAﾌﾛｱH60+ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ敷 一部水廻り部 ﾘﾉﾘｳﾑｼｰﾄ貼 t=2.5
壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地 [既存残置]	–
	EP [既存残置]	–
天井	LGS下地 [既存残置]	–
	GB-R 9.5+軽量骨材ﾊﾞｰﾗｲﾄ [全面撤去]	GB-R 9.5+DR 9
CH	2,750	2,750
備考	既設ﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝ撤去	防火戸調整及び塗装改修 他

室名	西側トイレ	西側トイレ
部位	既存仕上	改修後仕上
床	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地 [既存残置]	乾式置床H70+合板 t=9
	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼 [既存残置]	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼 t=2
壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地 [既存残置]	一部ﾗｲﾆﾝｸﾞLGS65+GB-S 12.5
	EP [既存残置]	弾性薄塗仕上材E 一部ﾗｲﾆﾝｸﾞ部硬質ﾒﾗﾐﾝ化粧板
天井	LGS下地+GB-R 9.5 [全面撤去]	LGS下地
	軽量骨材ﾊﾞｰﾗｲﾄ [全面撤去]	GB-D 9.5
CH	2,550	2,400
備考	既設衛生器具・ｱﾞｰｽ撤去	ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ、ﾗｲﾆﾝｸﾞ 他

室名	歩廊	歩廊
部位	既存仕上	改修後仕上
床	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地 [既存残置]	下地調整
	塗床 [全面撤去]	強化ｳﾚﾀﾝ仕上ｺﾙｸﾃｨﾙ t=3.2
壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地 [既存残置]	–
	EP [既存残置]	全面EP塗装改修（下地RB種）
天井	LGS下地 [既存残置]	–
	GB-R 9.5+軽量骨材ﾊﾞｰﾗｲﾄ [全面撤去]	GB-R 9.5+9.5 EP
CH	2,875	2,875
備考	–	ｽﾛｰﾌﾟ改修壁付手摺共

室名	多目的便所	多目的便所
部位	既存仕上	改修後仕上
床	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地 [既存残置]	既存床材目荒し
	塗床 [全面撤去]	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼 t=2
壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地 [既存残置]	一部間仕切LGS65+GB-R 12.5+9.5
	EP [既存残置]	EP
天井	LGS下地+GB-R 9.5 [全面撤去]	LGS下地
	軽量骨材ﾊﾞｰﾗｲﾄ [全面撤去]	GB-D 9.5
CH	2,875	2,875
備考	既設衛生器具撤去	新設衛生器具（設備工事）

室名	軽運動室	多目的室
部位	既存仕上	改修後仕上
床	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地 [既存残置]	–
	塗床 一部ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ張 [全面撤去]	–
壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地 [倉庫部撤去]	–
	EP [既存残置]	–
天井	LGS下地+ [全面撤去]	天井裏露出
	薄付仕上塗材 [全面撤去]	–
CH	3,275	3,275
備考	既設間仕切撤去	防火戸調整及び塗装改修 他

室名	東側トイレ	東側トイレ
部位	既存仕上	改修後仕上
床	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地 [既存残置]	乾式置床H70+合板 t=9
	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼 [既存残置]	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼 t=2
壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地 [既存残置]	一部ﾗｲﾆﾝｸﾞLGS65+GB-S 12.5
	EP [既存残置]	EP塗装改修　一部ﾗｲﾆﾝｸﾞ部硬質ﾒﾗﾐﾝ化粧板
天井	LGS下地+GB-R 9.5 [全面撤去]	LGS下地
	軽量骨材ﾊﾞｰﾗｲﾄ [全面撤去]	GB-D 9.5
CH	2,750	2,400
備考	既設衛生器具・ｱﾞｰｽ撤去	ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ、ﾗｲﾆﾝｸﾞ 他

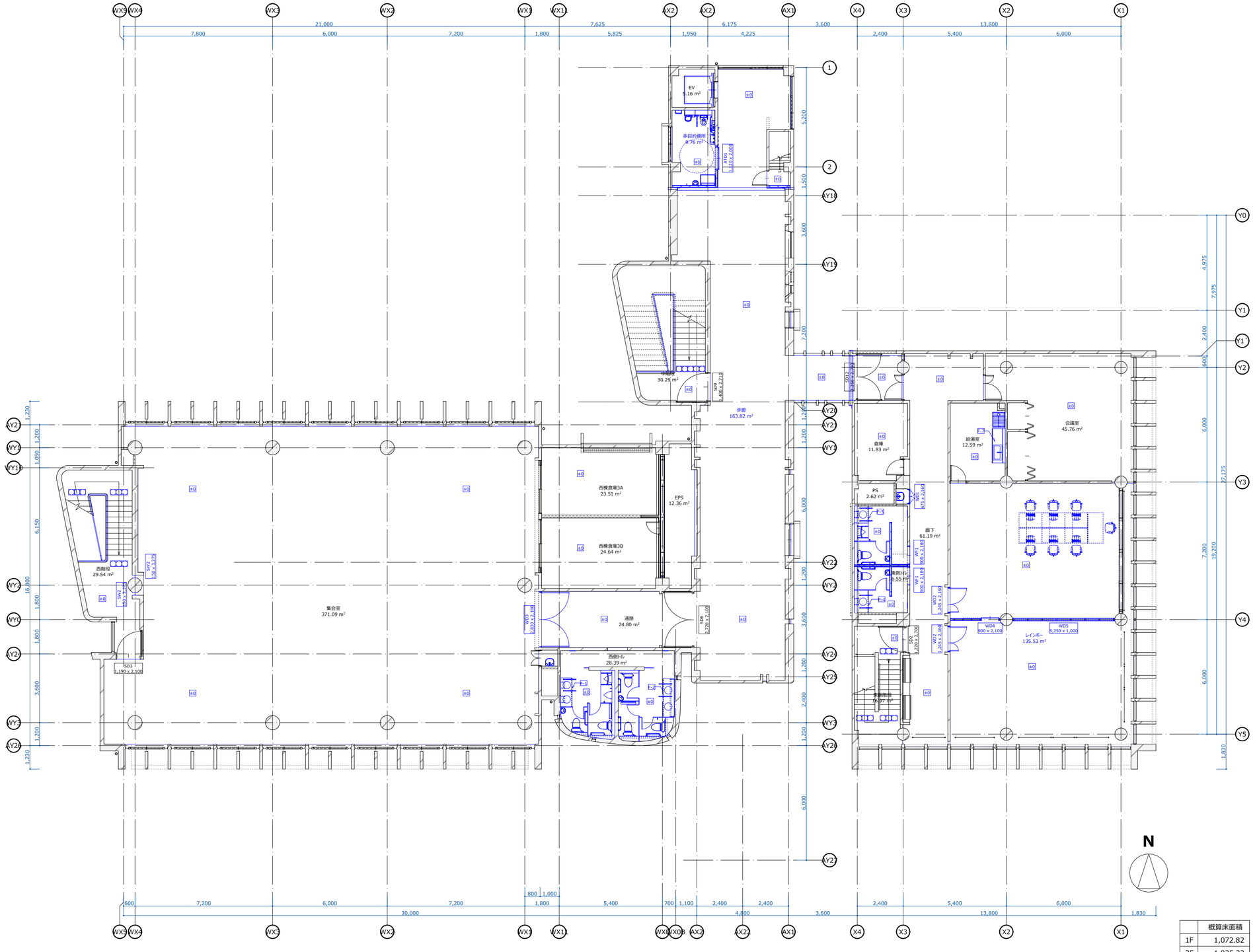
室名	西側階段、中階段	西側階段、中階段、東側階段
部位	既存仕上	改修後仕上
床	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地 [既存残置]	–
	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼 [全面撤去]	ﾘﾉﾘｳﾑｼｰﾄ貼 t=2.5、ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ更新 1～2階床のみ 強化ｳﾚﾀﾝ仕上ｺﾙｸﾃｨﾙ t=3.2
壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地 [既存残置]	–
	EP [既存残置]	全面EP塗装改修
天井	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地 [既存残置]	–
	EP [既存残置]	全面EP塗装改修
CH	図示	図示
備考	既設SUS手摺撤去	新設ｽﾁｰﾙ手摺 DP（東側階段のみ壁付手摺）

赤図・赤文字・・・撤去部
青図・青文字・・・新設・改修部
※全図面共通

設計	香山・タニ設計業務共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事 第12399号　香山建築研究所 一級建築士 第289714号 長谷川祥久		鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち建築工事
			date:2025.07	2階平面図（改修後）　scale: A2 1:150｜A3:71%縮小

A-21

改修後



	概算床面積
1F	1,072.82
2F	1,035.33
3F	1,035.33
PHF	34.13
合計	3,177.61 m²

	集会室	集会室
部位	既存仕上	改修後仕上
床	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地 [既存残置]	既存床材目荒し
	塗床一部ﾊﾝﾏｰﾍﾟﾅｯﾄ数 [ﾊﾝﾏｰﾍﾟﾅｯﾄ撤去]	ﾘｼﾘｳﾑｼｰﾄ貼 t=2.5
壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地 [既存残置]	--
	EP [既存残置]	全面EP塗装改修
天井	LGS下地 [既存残置]	--
	GB-R 9.5+軽量骨材ﾊﾞｰﾗｲﾄ [全面撤去]	GB-R 9.5+DR 9
CH	3,350	3,350
備考	既設ﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝ撤去	防火戸調整及び塗装改修 他

室名	西側ﾄｲﾚ	西側ﾄｲﾚ
部位	既存仕上	改修後仕上
床	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地 [既存残置]	乾式置床H70+合板 t=9
	長尺塩ﾋﾞﾆｰﾙｼｰﾄ貼 [既存残置]	長尺塩ﾋﾞﾆｰﾙｼｰﾄ貼 t=2
壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地 [既存残置]	一部ﾗｲﾆﾝｸﾞLGS65+GB-S 12.5
	EP [既存残置]	弾性薄塗仕上材E [一部ﾗｲﾆﾝｸﾞ部硬質ｳﾚﾀﾝ化粧板
天井	LGS下地+GB-R 9.5 [全面撤去]	LGS下地
	軽量骨材ﾊﾞｰﾗｲﾄ [全面撤去]	GB-D 9.5
CH	2,550	2,400
備考	既設衛生器具・ﾌﾟｰｽ撤去	ﾄｲﾚﾌﾟｰｽ、ﾗｲﾆﾝｸﾞ 他

室名	歩廊	歩廊
部位	既存仕上	改修後仕上
床	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地 [既存残置]	下地調整
	塗床 [全面撤去]	ﾘｼﾘｳﾑｼｰﾄ貼 t=2.5
壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地 [既存残置]	--
	EP [既存残置]	全面EP塗装改修（下地RB種）
天井	LGS下地 [既存残置]	--
	GB-R 9.5+軽量骨材ﾊﾞｰﾗｲﾄ [全面撤去]	GB-R 9.5+9.5 EP
CH	2,780	2,780
備考	--	--

室名	多目的便所	多目的便所
部位	既存仕上	改修後仕上
床	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地 [既存残置]	ﾓﾙﾀﾙ下地調整
	塗床 [全面撤去]	長尺塩ﾋﾞﾆｰﾙｼｰﾄ貼 t=2
壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地 [既存残置]	一部間仕切LGS65+GB-R 12.5+9.5
	EP [既存残置]	EP
天井	LGS下地+GB-R 9.5 [全面撤去]	LGS下地
	軽量骨材ﾊﾞｰﾗｲﾄ [全面撤去]	GB-D 9.5
CH	2,780	2,780
備考	既設衛生器具撤去	新設衛生器具（設備工事）

室名	調理室他	レインボー
部位	既存仕上	改修後仕上
床	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地 [既存残置]	既存床材目荒し
	長尺塩ﾋﾞﾆｰﾙ貼及び塗床 [既存残置]	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ数、廊下部:ﾘｼﾘｳﾑｼｰﾄ貼 t=2.5
壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地 [既存残置]	--
	EP [既存残置]	--
天井	LGS下地 [既存残置]	--
	GB-R 12.5+薄付仕上塗材 [全面撤去]	GB-R 9.5+9.5 EP
CH	2,920	2,920
備考	RC間仕切、既設調理台他撤去	新設LGS間仕切、間仕切撤去部補修

室名	給湯室	給湯室
部位	既存仕上	改修後仕上
床	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地 [既存残置]	--
	塗床 [既存残置]	--
壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地 [既存残置]	--
	EP [既存残置]	--
天井	LGS下地 [既存残置]	--
	GB-D [全面撤去]	GB-D 9.5
CH	2,920	2,920
備考	既設調理台他撤去	流し台新設

室名	東側ﾄｲﾚ	東側ﾄｲﾚ
部位	既存仕上	改修後仕上
床	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地 [既存残置]	乾式置床H70+合板 t=9
	長尺塩ﾋﾞﾆｰﾙｼｰﾄ貼 [既存残置]	長尺塩ﾋﾞﾆｰﾙｼｰﾄ貼 t=2
壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地 [既存残置]	一部ﾗｲﾆﾝｸﾞLGS65+GB-S 12.5
	EP [既存残置]	EP塗装改修 一部ﾗｲﾆﾝｸﾞ部硬質ｳﾚﾀﾝ化粧板
天井	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地 [既存残置]	LGS下地
	EP [既存残置]	GB-D 9.5
CH	2,840	2,400
備考	既設衛生器具・ﾌﾟｰｽ撤去	ﾄｲﾚﾌﾟｰｽ、ﾗｲﾆﾝｸﾞ 他

室名	廊下	廊下
部位	既存仕上	改修後仕上
床	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地 [既存残置]	--
	塗床 [既存残置]	--
壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地 [既存残置]	--
	EP [既存残置]	--
天井	LGS下地 [既存残置]	--
	GB-R 12.5+薄付仕上塗材 [全面撤去]	GB-R 9.5+9.5 EP
CH	2,750	2,750
備考	--	--

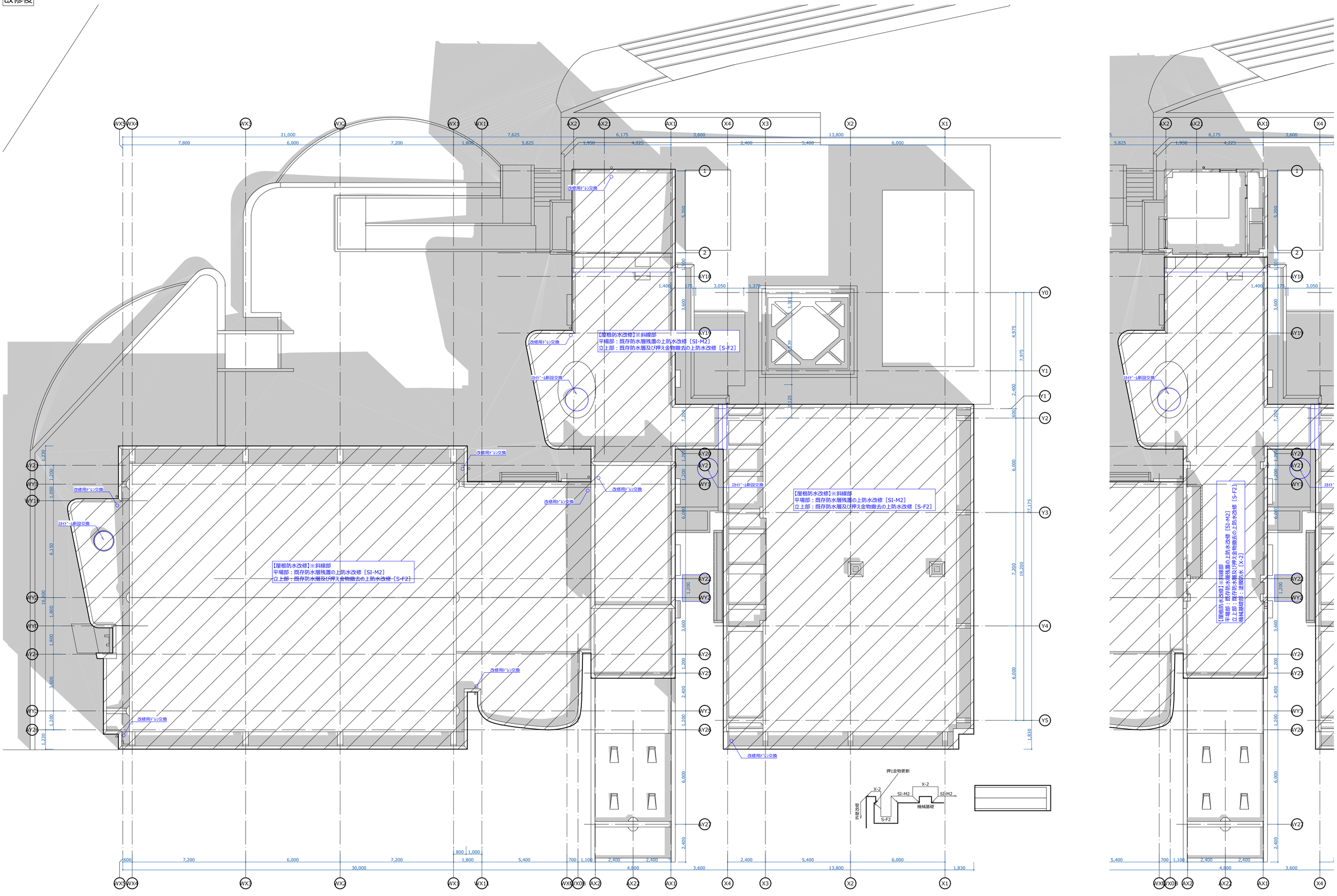
室名	会議室	会議室
部位	既存仕上	改修後仕上
床	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地 [既存残置]	--
	塗床 [既存残置]	--
壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地 [既存残置]	--
	EP [既存残置]	--
天井	LGS下地 [既存残置]	--
	GB-R 12.5+薄付仕上塗材 [全面撤去]	GB-R 9.5+9.5 EP
CH	2,800	2,800
備考	--	--

室名	西側階段、中階段	西側階段、中階段、東側階段
部位	既存仕上	改修後仕上
床	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地 [既存残置]	--
	長尺塩ﾋﾞﾆｰﾙｼｰﾄ貼 [全面撤去]	ﾘｼﾘｳﾑｼｰﾄ貼 t=2.5、ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ更新 1～2階床のみ 強化ﾌﾟﾗﾝｸﾞ仕上ﾌﾛｱﾗｲﾄ t=3.2
壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地 [既存残置]	--
	EP [既存残置]	全面EP塗装改修
天井	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地 [既存残置]	--
	EP [既存残置]	全面EP塗装改修
CH	図示	図示
備考	既設SUS手摺撤去	新設ｽﾁｰﾙ手摺 DP（東側階段のみ壁付手摺）

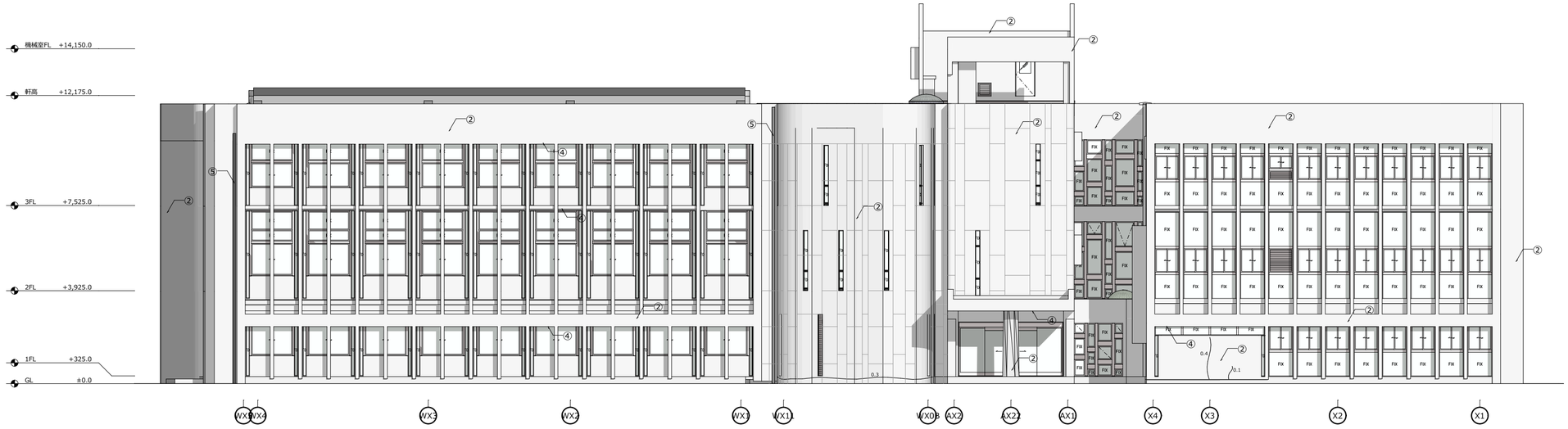
赤図・赤文字･･･撤去部
青図・青文字･･･新設・改修部
※全図面共通

	設計 香山･タニ設計業務共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事 第12399号 香山建築研究所		鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち建築工事	A-22
		一級建築士 第289714号 長谷川祥久	date:2025.07	3階平面図（改修後） scale: A2 1:150 | A3:71%縮小	

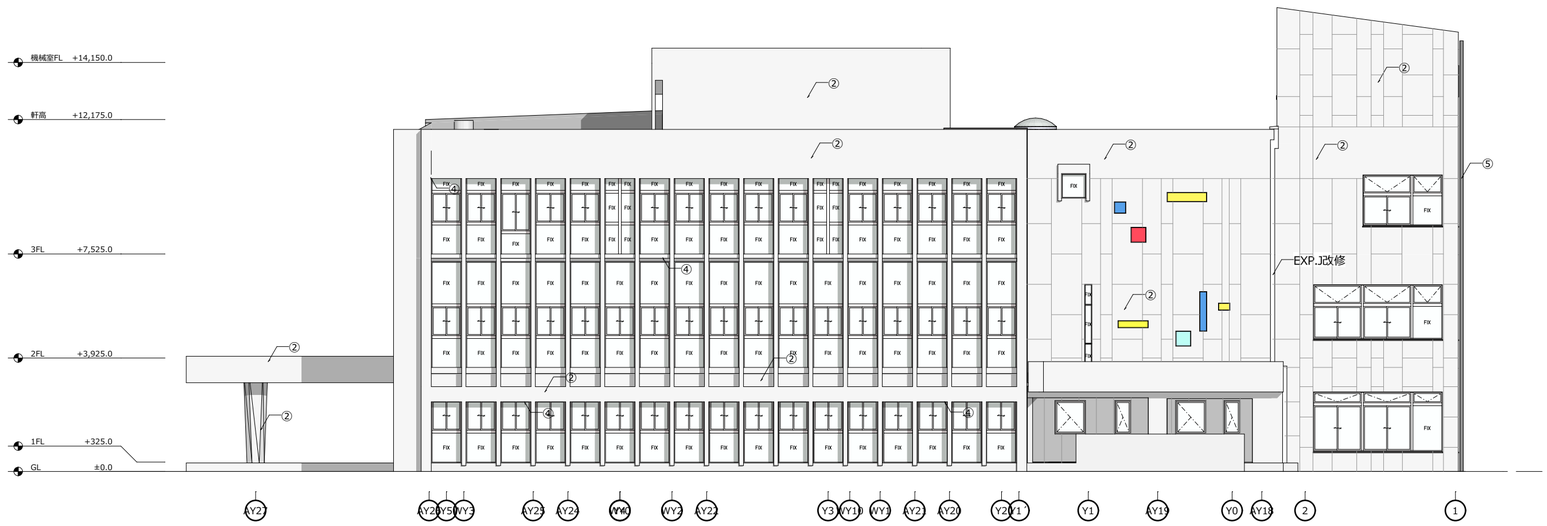
改修後



	設計 香山・タニ設計業務共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事 第12399号 香山建築研究所		鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち建築工事	A-23
		一級建築士 第289714号 長谷川祥久	date:2025.07	屋根伏図（改修後） scale: A2 1:150 | A3:71%縮小	



南立面図 1:150



東立面図 1:150

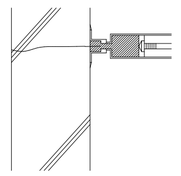
東立面図 1:150

外部仕上表			
記号	部位	改修前	改修後
①	屋根	ｼｰﾄ防水	塩ﾋﾞ系ｼｰﾄ防水断熱ｶﾊﾞｰ工法 [SI-M2]
②	外壁	RC打放し	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し改修工法 OSHIROX CFCｺｰﾃｨﾝｸﾞ工法同等品
③	巾木	RC打放し	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し改修工法 OSHIROX CFCｺｰﾃｨﾝｸﾞ工法同等品
④	軒天	RC打放し	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し改修工法 OSHIROX CFCｺｰﾃｨﾝｸﾞ工法同等品
⑤	竪樋	VP75φ VE塗	水洗い清掃、下地調整の上 DP塗(2級)
⑥	各種金属部	ｽﾁｰﾙ製	下地調整の上DP塗
⑦	外部開口部	外部ｼｰﾘﾝｸﾞ打替え（MS-2） ｶﾞﾗｽｼｰﾘﾝｸﾞ両面打替え（SR-1） ｶﾞﾗｽ部は全面竣工ｸﾘｰﾆﾝｸﾞを行うこと。 ※一部割れたｶﾞﾗｽについては交換を行う。全体の5%を見込み設計変更対象とする。	

※施工前に数量調査を行うこと。
調査の結果、右記に示す補修以外の工法が必要になる場合は、公共建築改修工事標準仕様書4章3節及び4節の仕様に基づき適切に補修を行うこと。

ひび割れ部処理

ひび割れ幅：0.2mm以上+1.0mm未満

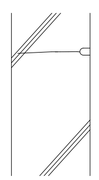


樹脂注入工法

1 幅50mm程度を清掃又はケレン、ひび割れ部マーキング
2 座金の取付
3 仮シール工
4 シリンダー注入器取付、エポキシ樹脂注入
5 シリンダー、座金の撤去
6 仮シール材の除去、清掃

Uカットシール材充填工法

ひび割れ部：1.0mm以上



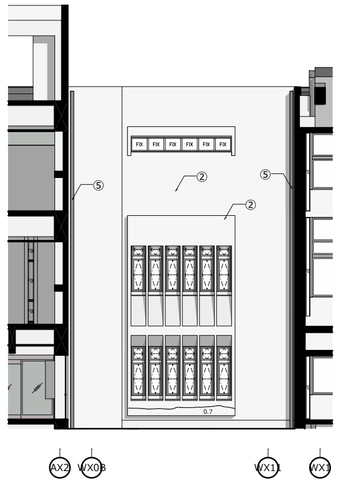
Uカットシール材充填工法

1 Uカット
2 切断、粉塵等の除去
3 プライマー塗布
4 シール材充填（可とう性エポキシ樹脂またはポリウレタン）

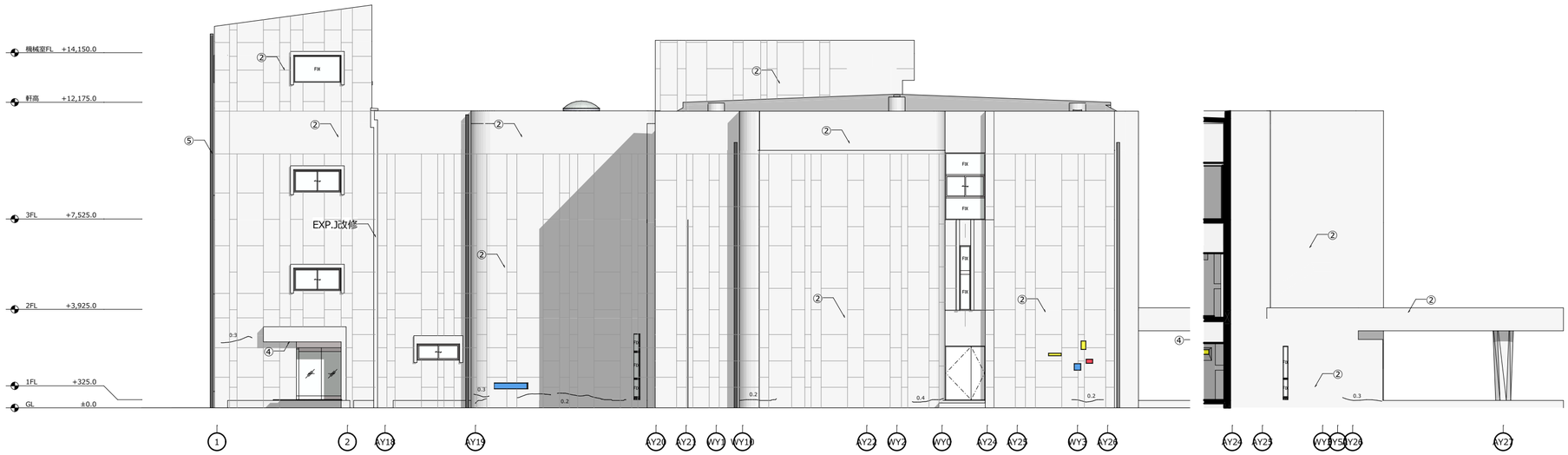
ひび割れ補修詳細図

設計	香山・タニ設計業務共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事 第12399号 香山建築研究所 一級建築士 第289714号 長谷川祥久		鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち建築工事	A-24
			date:2025.07	立面図 1	scale: A2 1:150 | A3:71%縮小

北立面図 1:150



北立面図 1:150

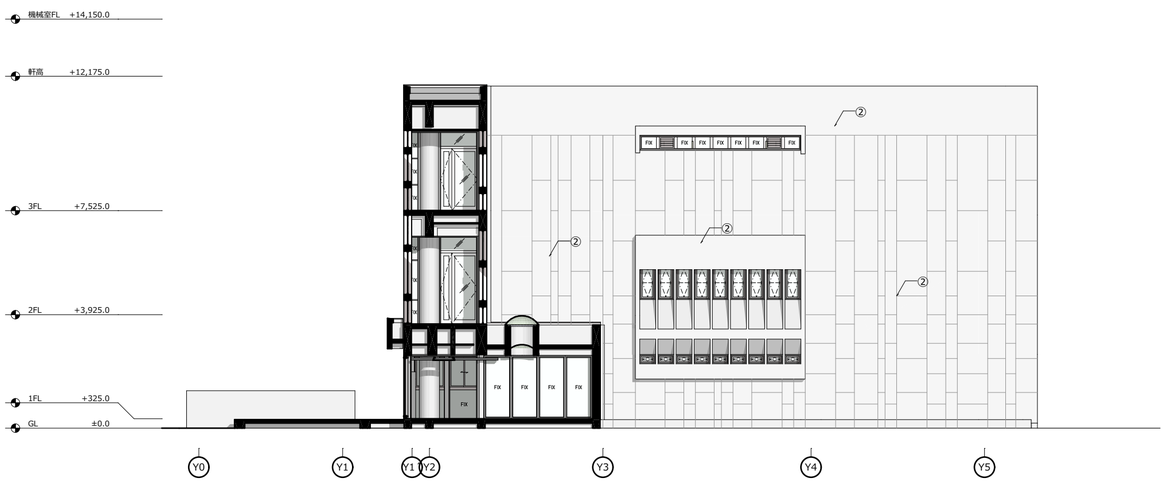


西立面図 1:150

西立面図 1:150

外部仕上表			
記号	部位	改修前	改修後
①	屋根	ｼｰﾄ防水	塩ﾋﾞ系ｼｰﾄ防水断熱ｶﾊﾞｰ工法 [SI-M2]
②	外壁	RC打放し	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し改修工法 OSHIROX CFCｺｰﾃｨﾝｸﾞ工法同等品
③	巾木	RC打放し	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し改修工法 OSHIROX CFCｺｰﾃｨﾝｸﾞ工法同等品
④	軒天	RC打放し	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し改修工法 OSHIROX CFCｺｰﾃｨﾝｸﾞ工法同等品
⑤	竪樋	VP75φ VE塗	水洗い清掃、下地調整の上 DP塗(2級)
⑥	各種金属部	ｽﾁｰﾙ製	下地調整の上DP塗
⑦	外部開口部	外部ｼｰﾘﾝｸﾞ打替え（MS-2） ｶﾞﾗｽｼｰﾘﾝｸﾞ両面打替え（SR-1） ｶﾞﾗｽ部は全面竣工ｸﾘｰﾆﾝｸﾞを行うこと。 ※一部割れたｶﾞﾗｽについては交換を行う。全体の5%を見込み設計変更対象とする。	

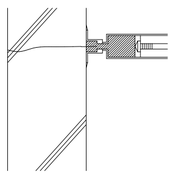
※施工前に数量調査を行うこと。
調査の結果、右記に示す補修以外の工法が必要になる場合は、公共建築改修工事標準仕様書4章3節及び4節の仕様に基づき適切に補修を行うこと。



西立面図 1:150

ひび割れ部処理

ひび割れ幅：0.2mm以上+1.0mm未満

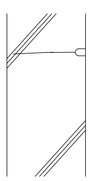


樹脂注入工法

1 幅50mm程度を清掃又はケレン、ひび割れ部マーキング
2 座金の取付
3 仮シール工
4 シリンダー注入器取付、エポキシ樹脂注入
5 シリンダー、座金の撤去
6 仮シール材の除去、清掃

Uカットシール材充填工法

ひび割れ部：1.0mm以上

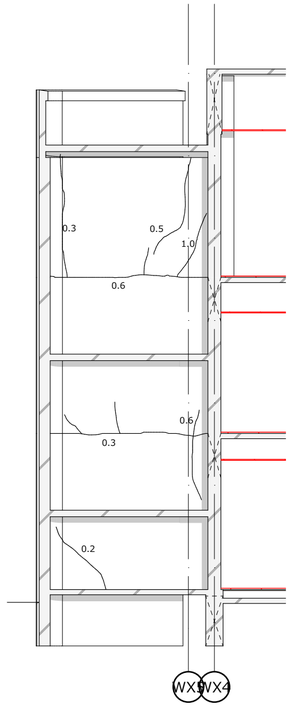


Uカットシール材充填工法

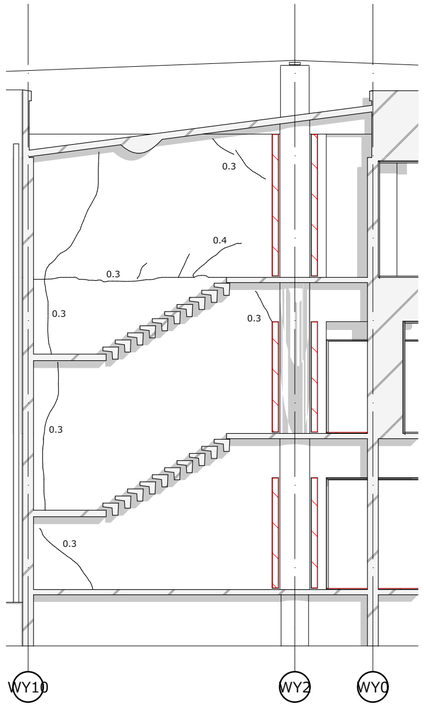
1 Uカット
2 切断、粉塵等の除去
3 プライマー塗布
4 シール材充填（可とう性エポキシ樹脂またはポリウレタン）

ひび割れ補修詳細図

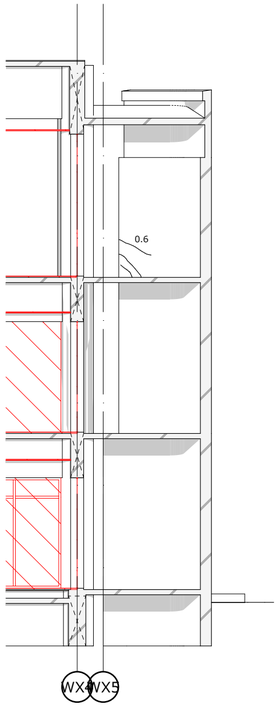
	設計 香山・タニ設計業務共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事 第12399号 香山建築研究所		鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち建築工事	A-25
		一級建築士 第289714号 長谷川祥久	date:2025.07	立面図 2	scale: A2 1:150 | A3:71%縮小



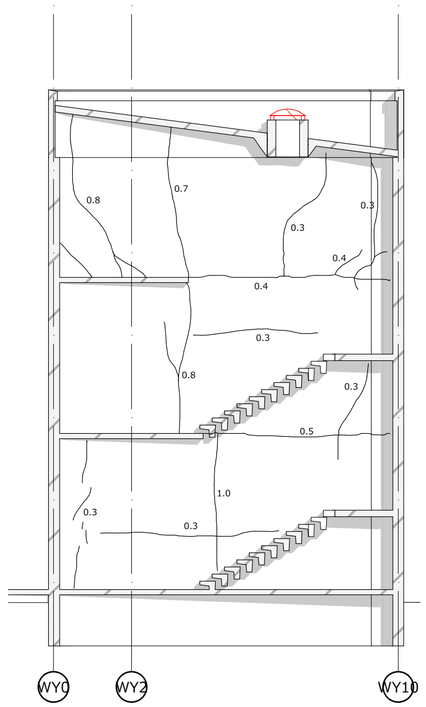
西階段　01 1:100



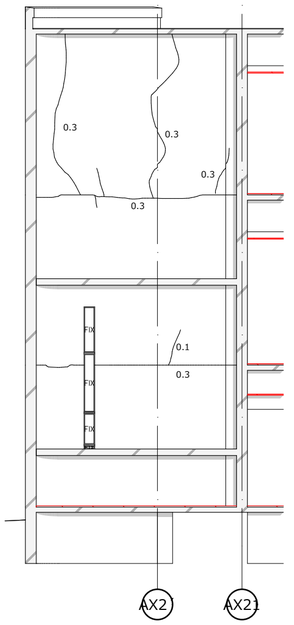
西階段　02 1:100



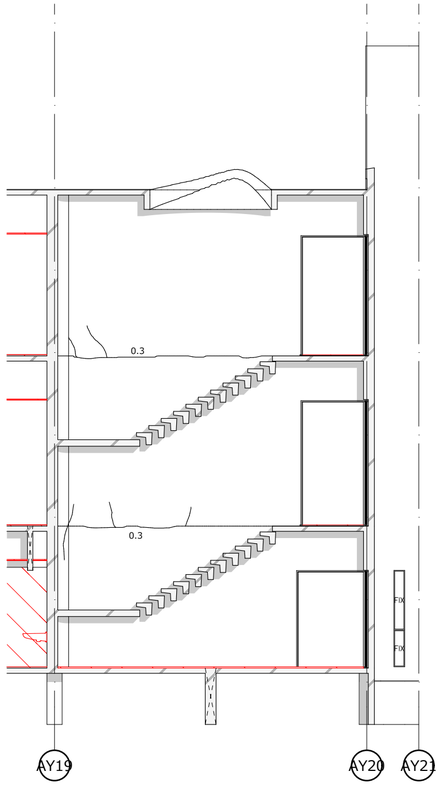
西階段　03 1:100



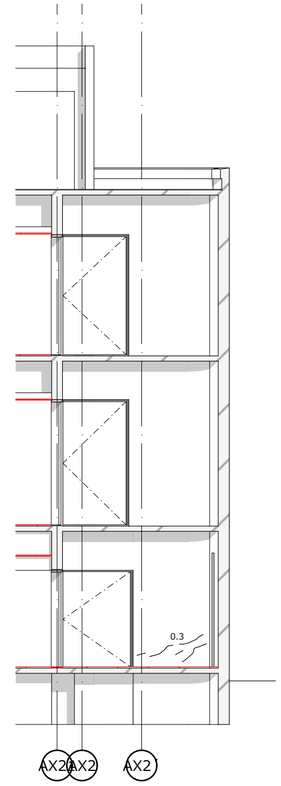
西階段　04 1:100



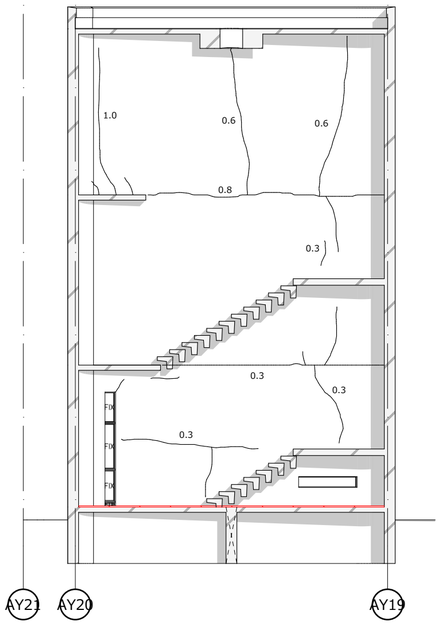
中階段　01 1:100



中階段　02 1:100



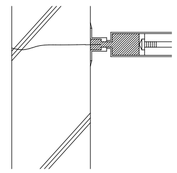
中階段　03 1:100



中階段　04 1:100

ひび割れ部処理

ひび割れ幅：0.2mm以上+1.0mm未満

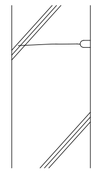


樹脂注入工法

1 幅50mm程度を清掃又はケレン、ひび割れ部マーキング
2 座金の取付
3 仮シール工
4 シリンダー注入器取付、エポキシ樹脂注入
5 シリンダー、座金の撤去
6 仮シール材の除去、清掃

Uカットシール材充填工法

ひび割れ部：1.0mm以上



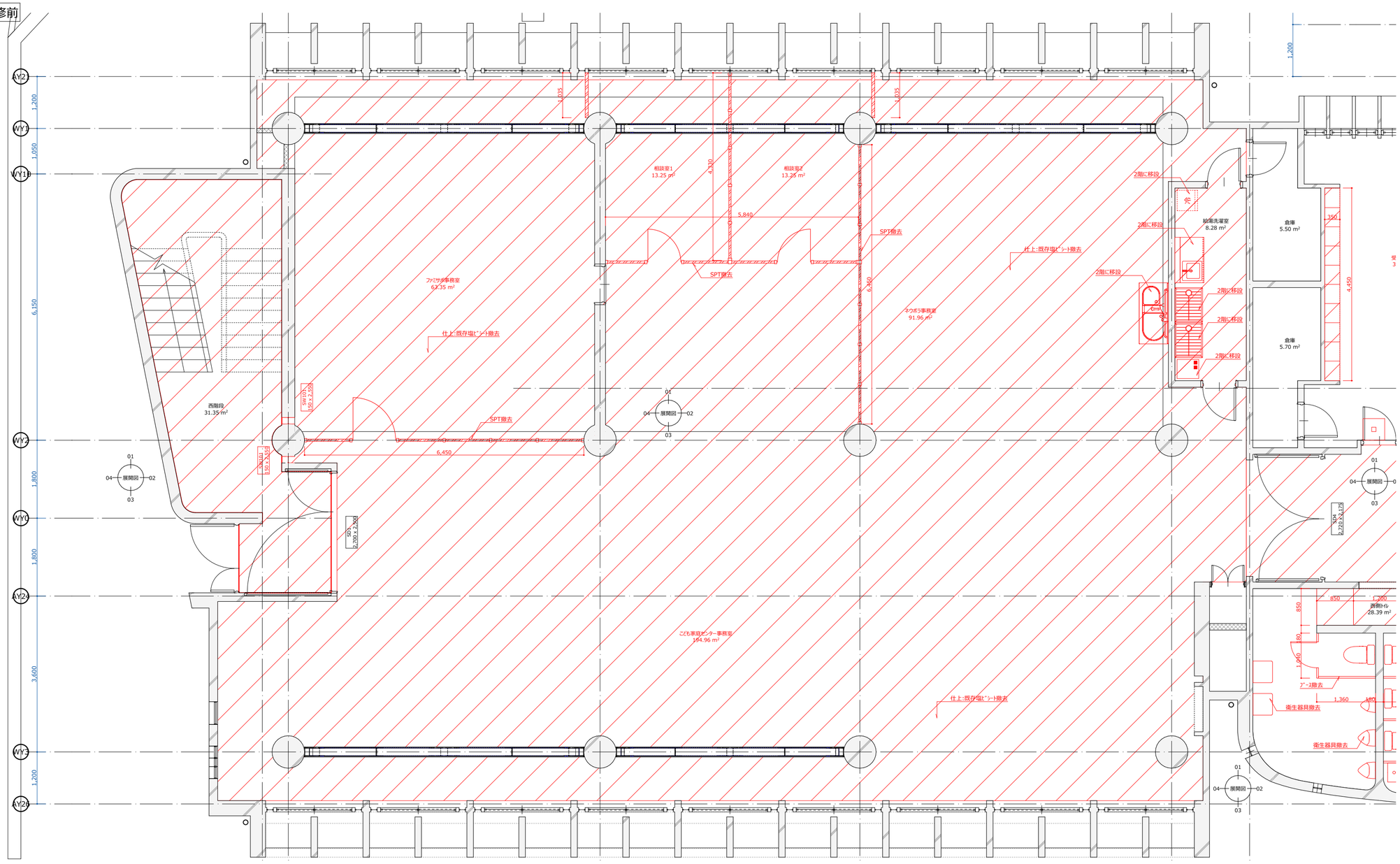
Uカットシール材充填工法

1 Uカット
2 切断、粉塵等の除去
3 プライマー塗布
4 シール材充填（可とう性エポキシ樹脂またはポリウレタン）

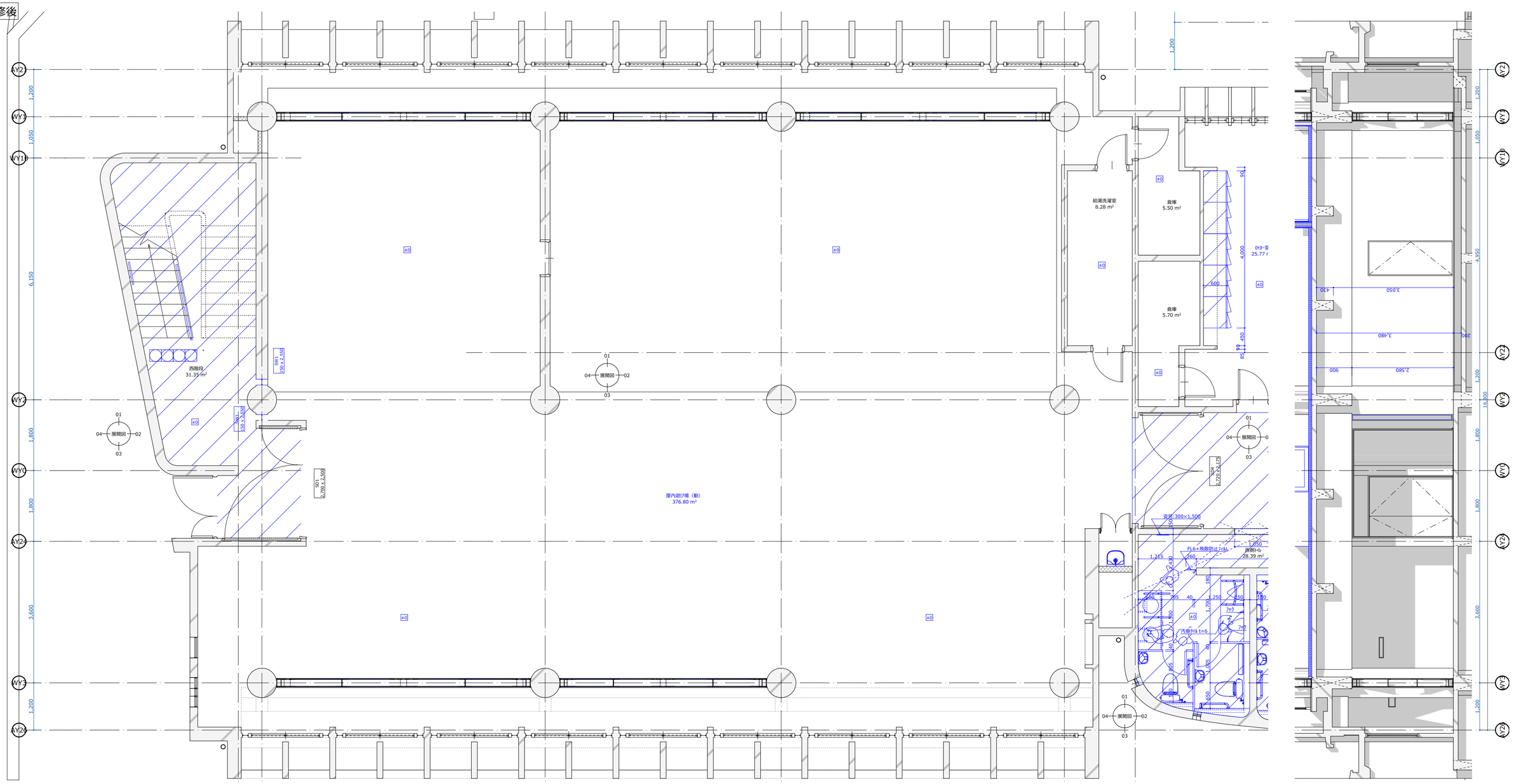
ひび割れ補修詳細図

	設計 香山・タニ設計業務共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事 第12399号 香山建築研究所		鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち建築工事	A-26
		一級建築士 第289714号 長谷川祥久	date:2025.07	内部ひび割れ改修図 scale: A2 1:100｜A3:71%縮小	

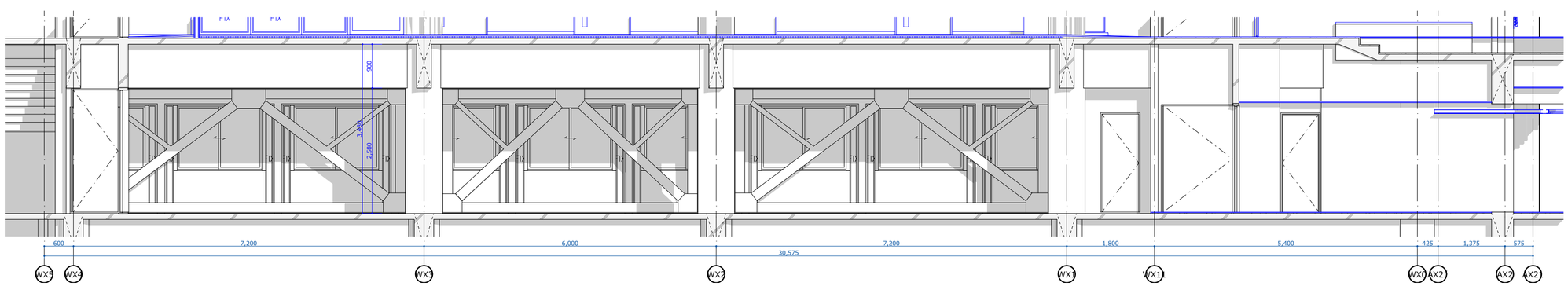
改修前


相談室1
13.25 m²
相談室2
13.25 m²
ファミサポ事務室
6.35 m²
ネウボラ事務室
91.96 m²
こども家庭センター事務室
164.96 m²
給湯室
8.28 m²
倉庫
5.50 m²
倉庫
5.70 m²
西階段
31.35 m²
展開図
SPT撤去
仕上:既存塩ビシート撤去
仕上:既存天井材撤去
2階に移設
吊
撤去
SD
2,700 x 2,250
WD
950 x 2,050
WD
950 x 2,050
4,330
5,840
6,450
6,340
4,450
350
1,200
1,035
1,035
850
850
180
1,950
1,360
180
1,200
1,200
1,200

改修後



平面図 1:70

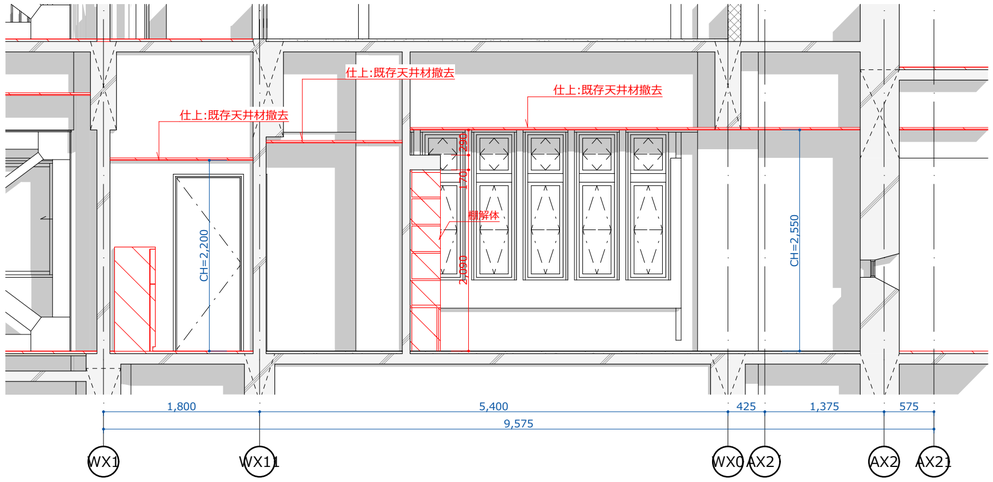


01 1:70

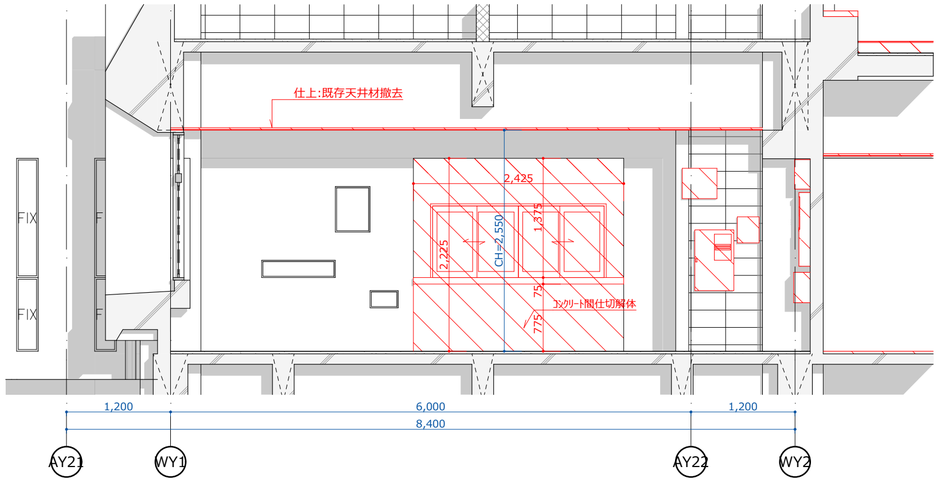
04 1:70

	設計 香山・タニ設計業務共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事 第12399号 香山建築研究所		鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち建築工事	A-28
		一級建築士 第289714号 長谷川祥久	date:2025.07	1階屋内遊び場（動）改修図（改修後） scale: A2 1:70 | A3:71%縮小	

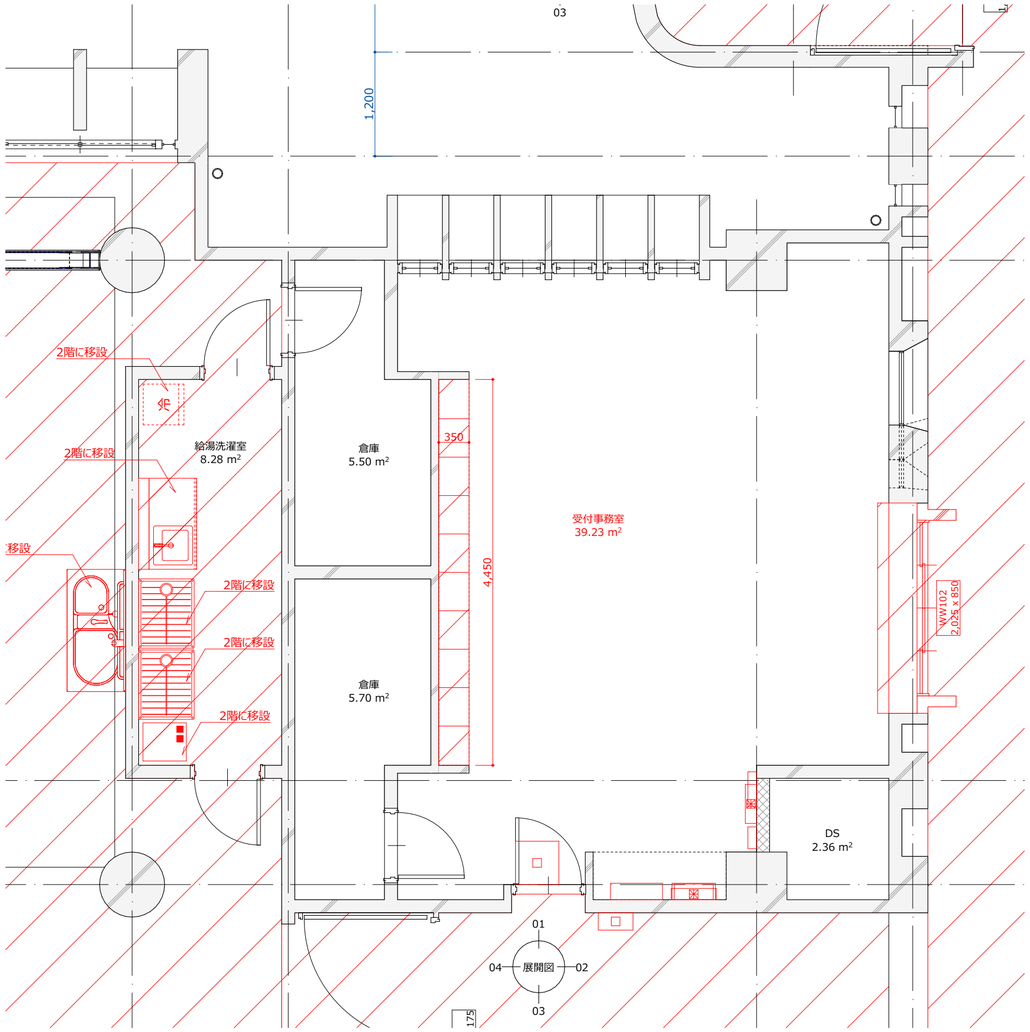
改修前



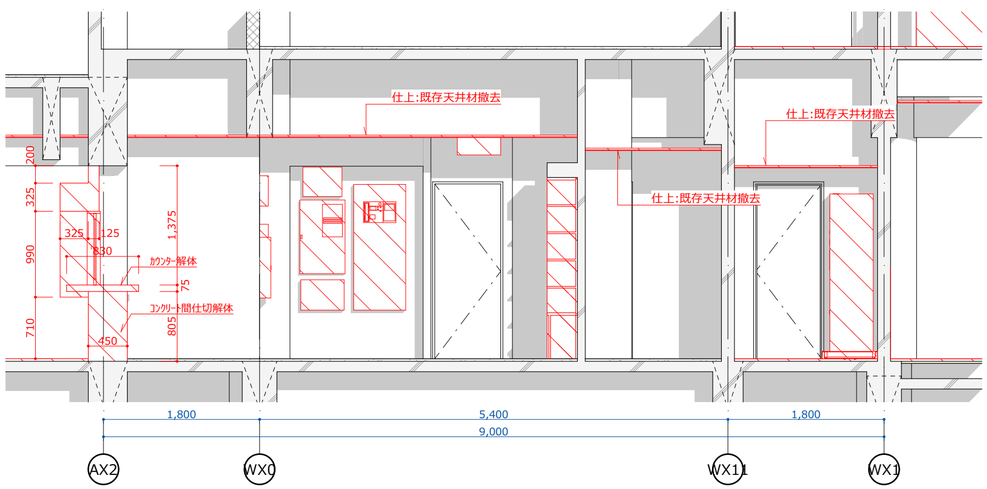
01 1:50



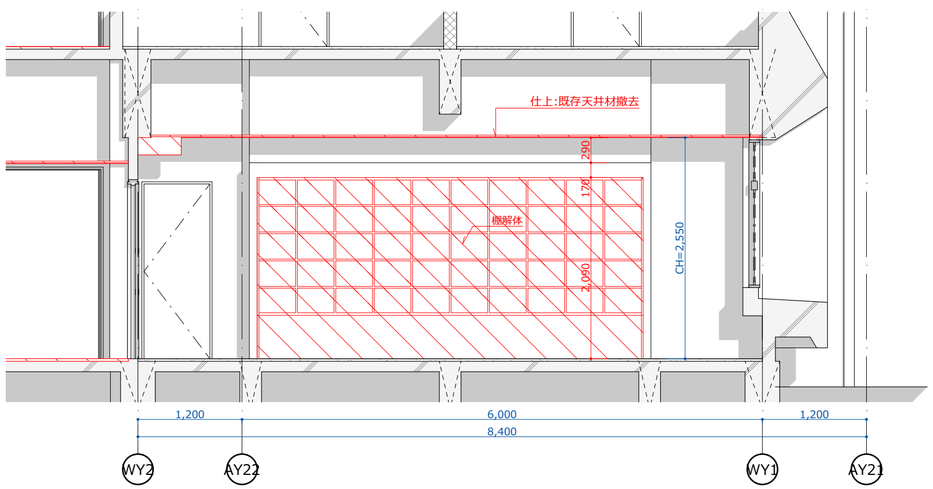
02 1:50



平面図 1:50



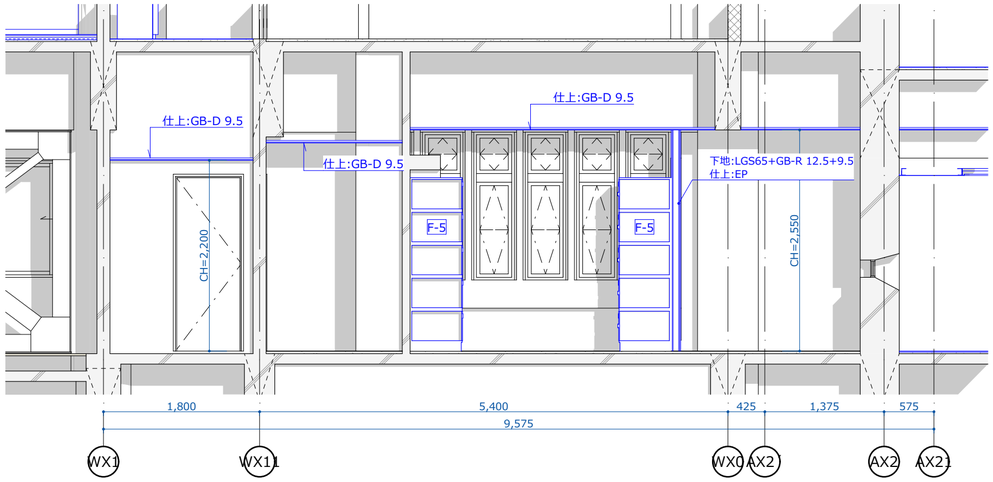
03 1:50



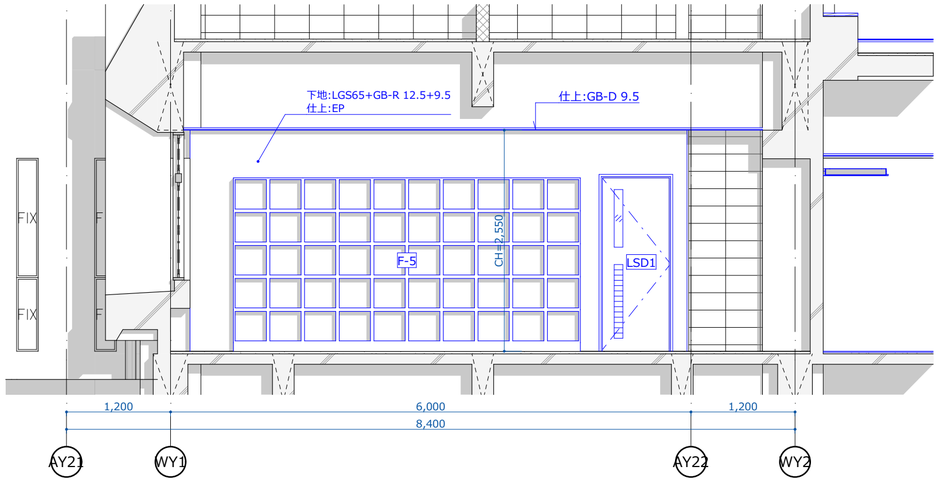
04 1:50

	設計 香山・タニ設計業務共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事 第12399号 香山建築研究所		鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち建築工事	A-29
		一級建築士 第289714号 長谷川祥久	date:2025.07	1階ロッカー室改修図（改修前） scale: A2 1:50 | A3:71%縮小	

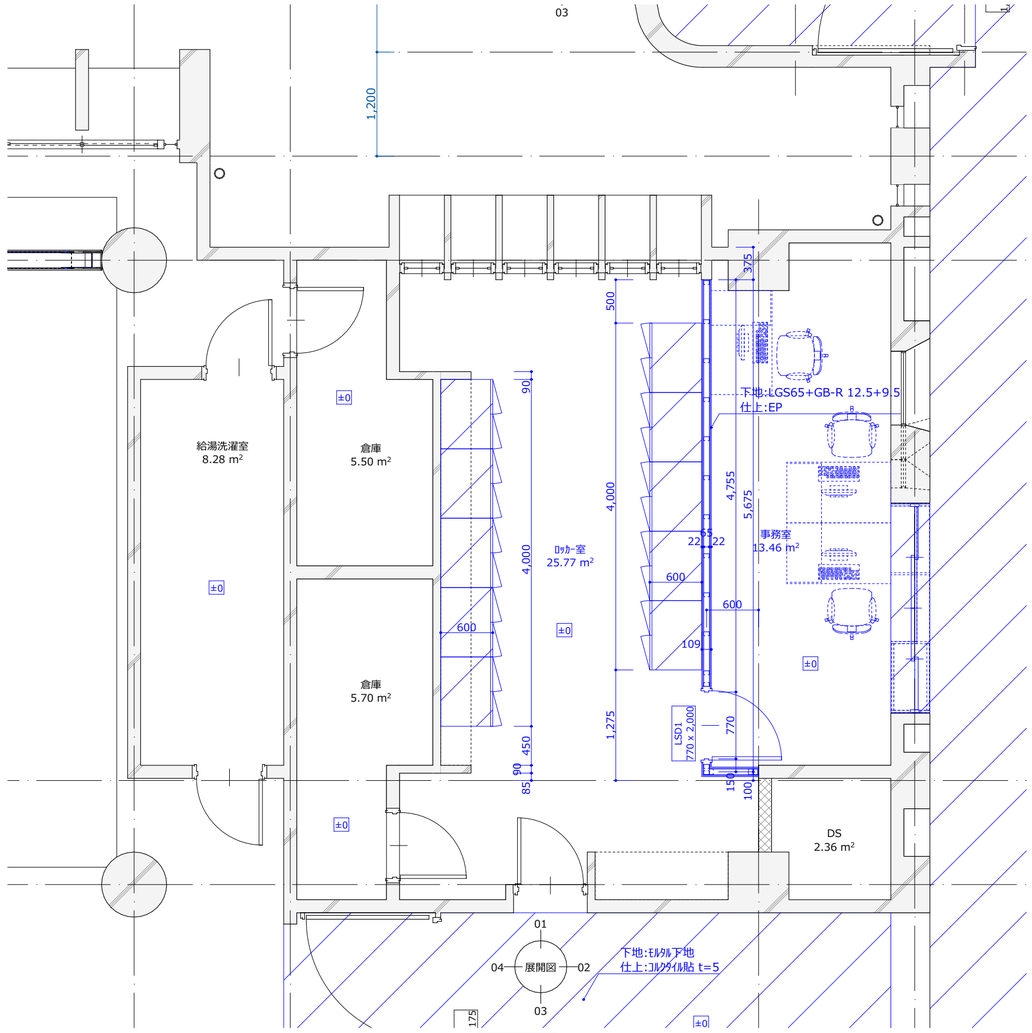
改修前



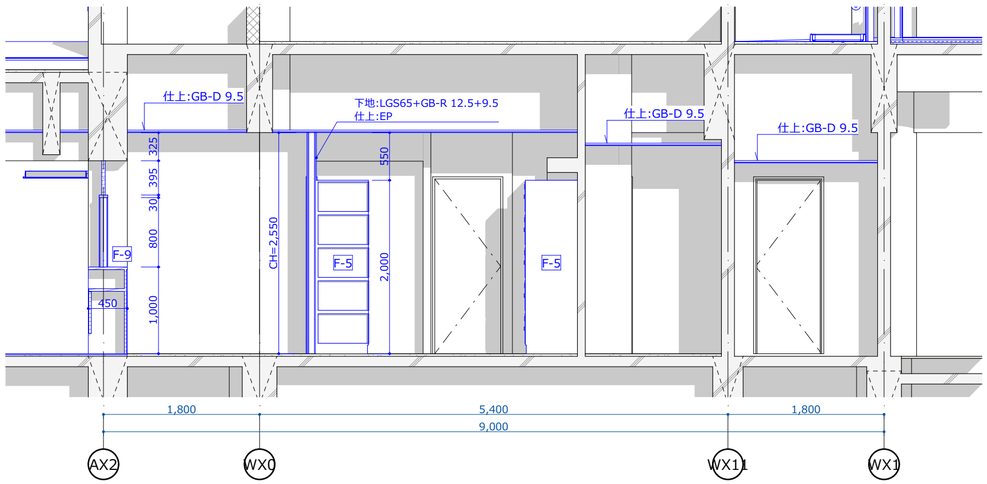
01 1:50



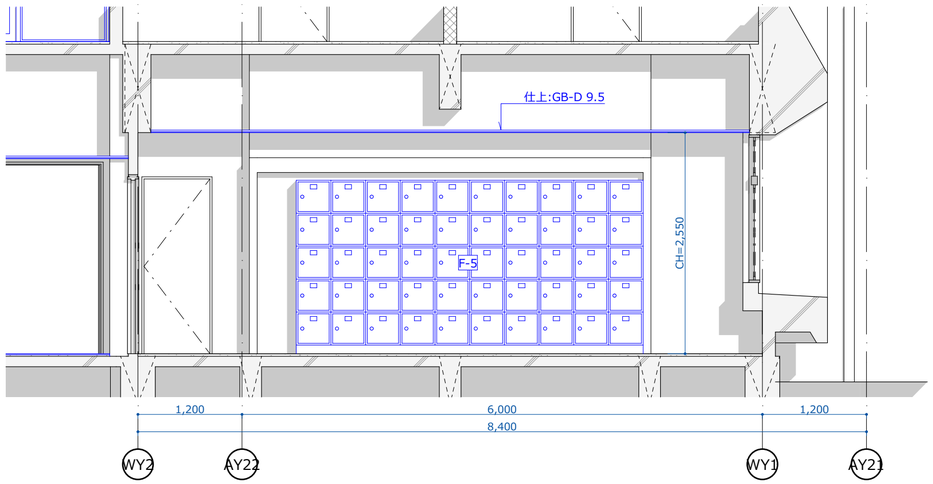
02 1:50



平面図 1:50



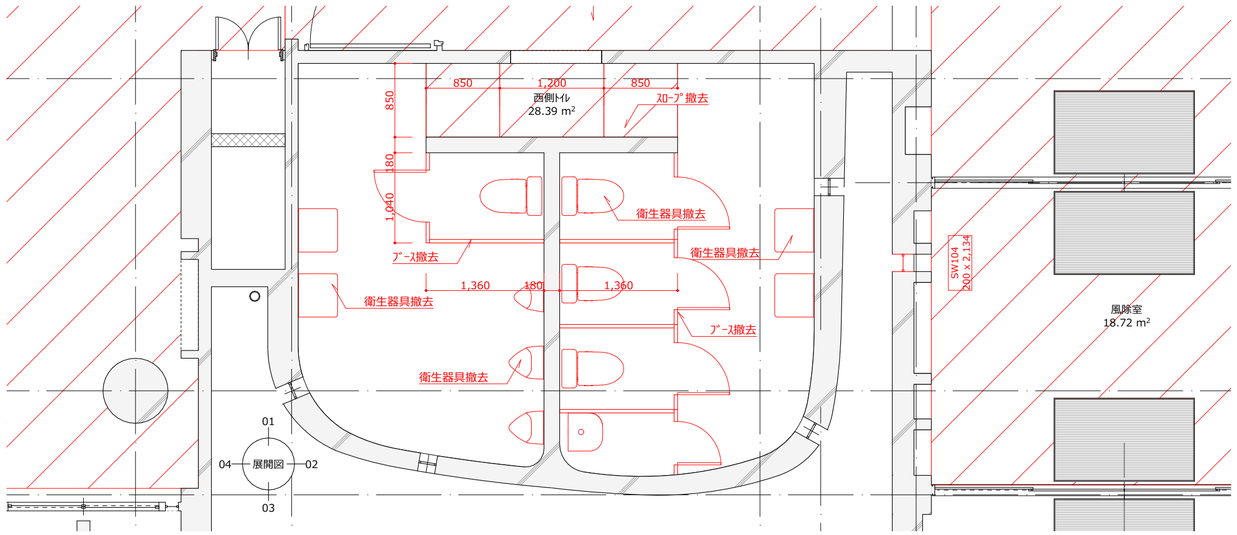
03 1:50



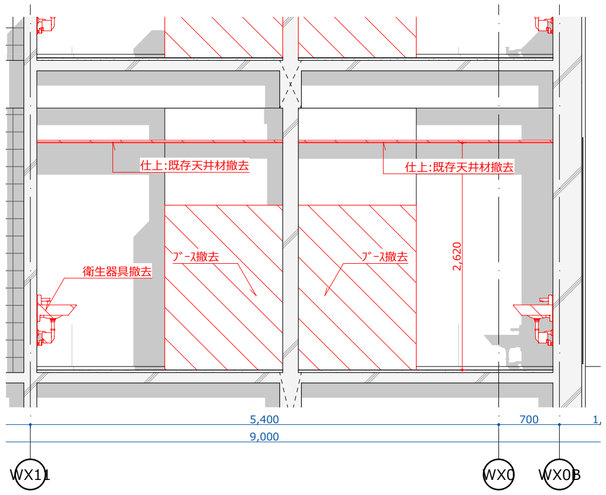
04 1:50

	設計 香山・タニ設計業務共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事 第12399号 香山建築研究所		鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち建築工事	A-30
		一級建築士 第289714号 長谷川祥久	date:2025.07	1階ロッカー室改修図（改修後） scale: A2 1:50 | A3:71%縮小	

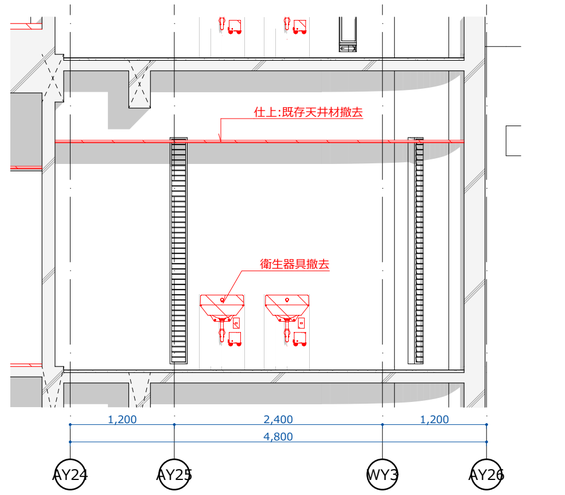
改修前



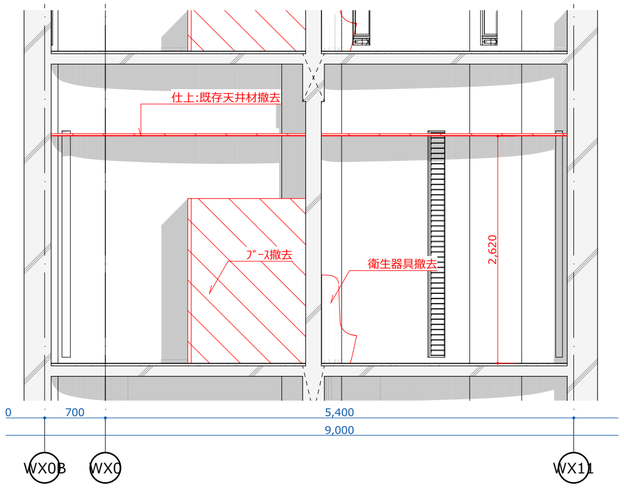
平面図 1:50



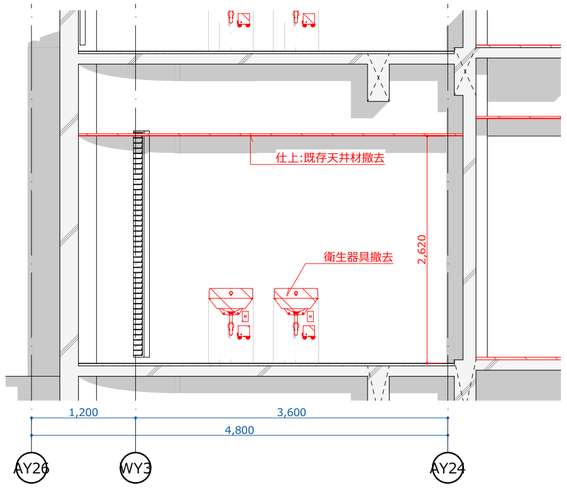
01 1:50



02 1:50

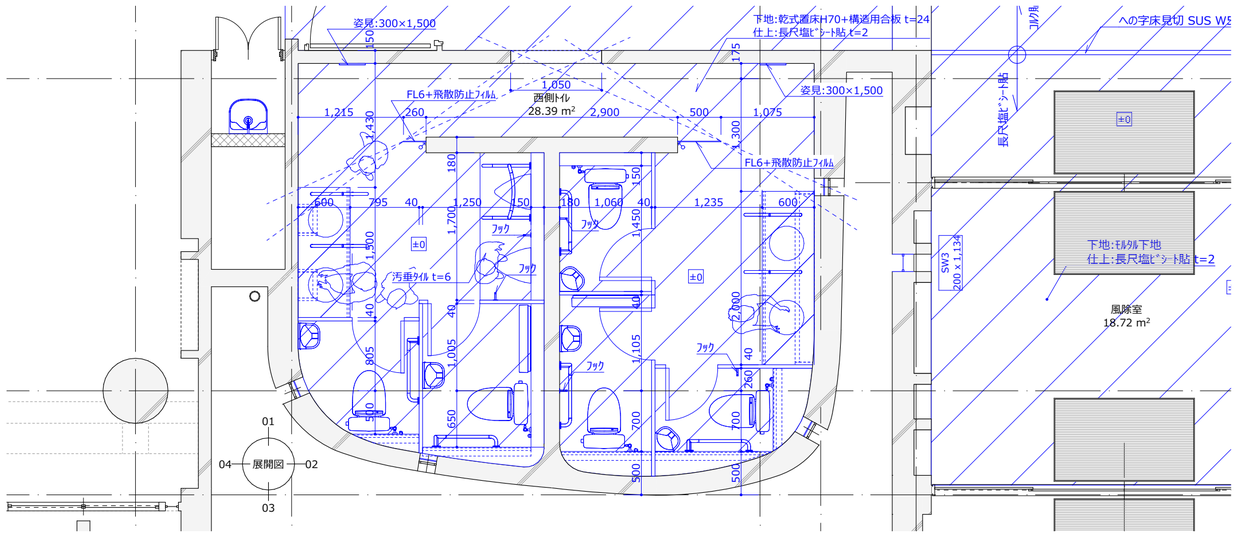


03 1:50

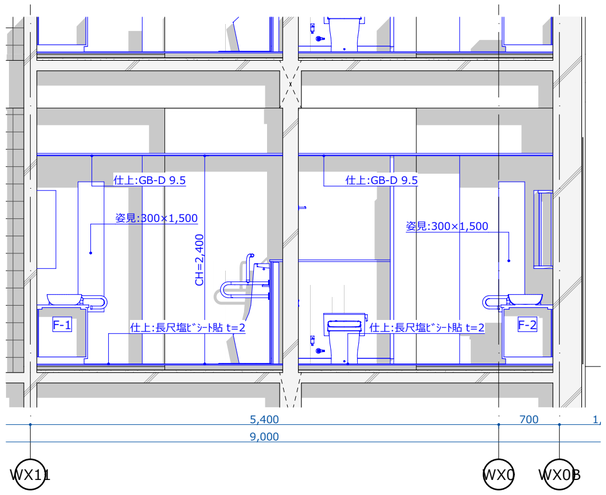


04 1:50

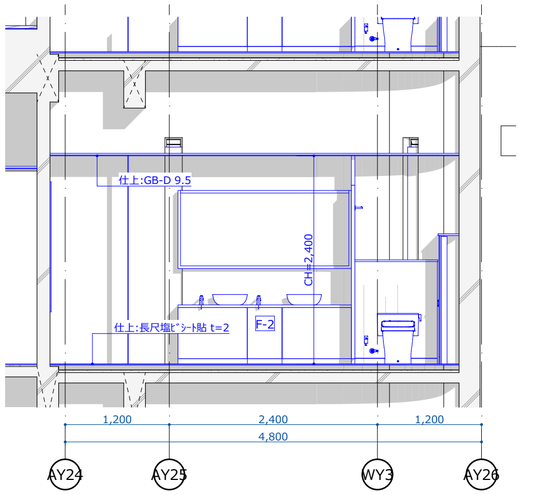
改修後



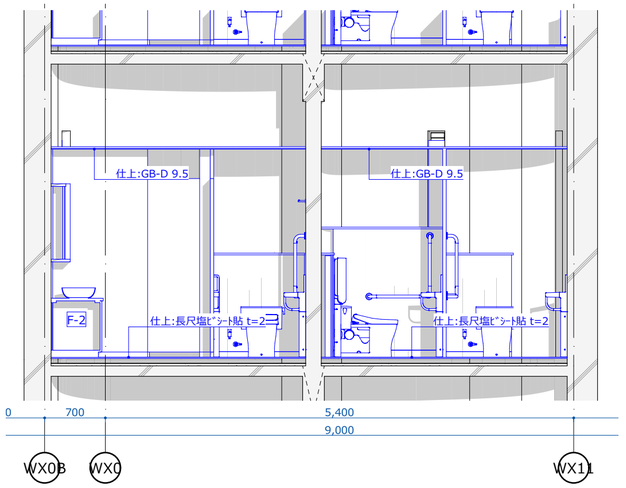
平面図 1:50



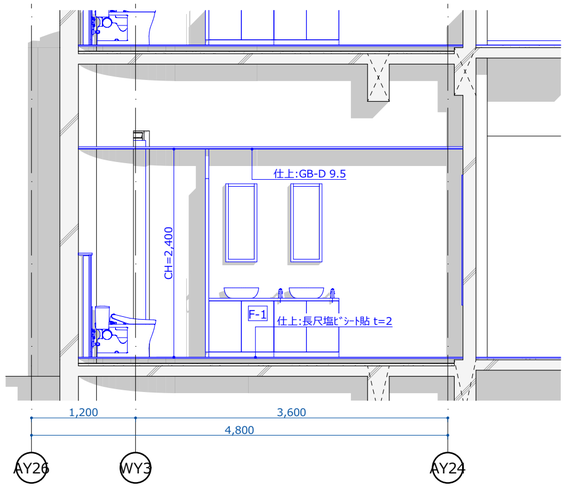
01 1:50



02 1:50



03 1:50



04 1:50

	設計 香山・タニ設計業務共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事 第12399号 香山建築研究所		鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち建築工事	A-31
		一級建築士 第289714号 長谷川祥久	date:2025.07	1階西側便所改修図 scale: A2 1:50 | A3:71%縮小	

改修前

平面図 1:70

01 1:70

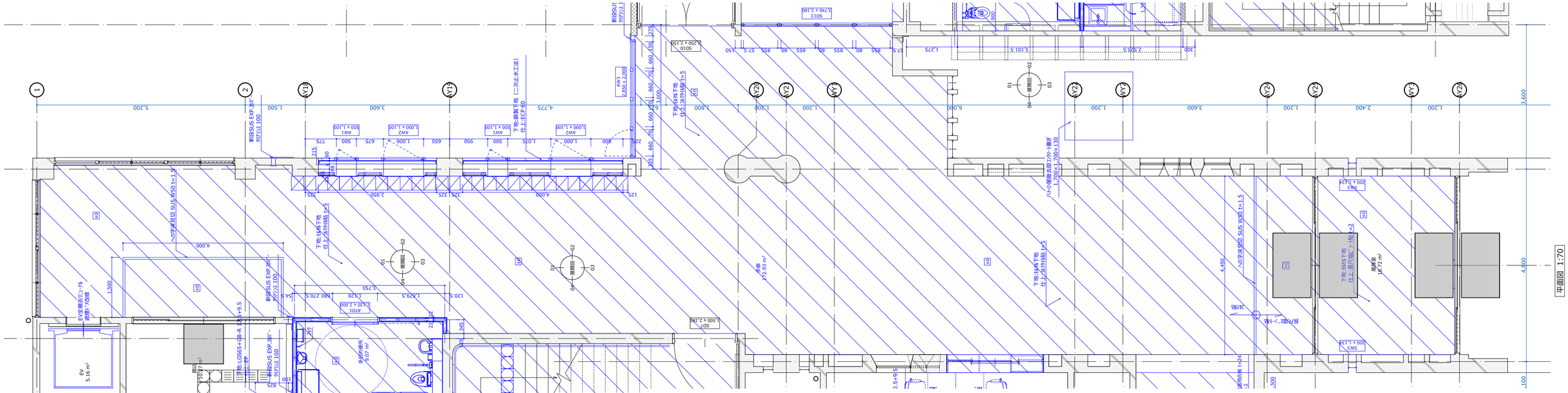
03 1:70

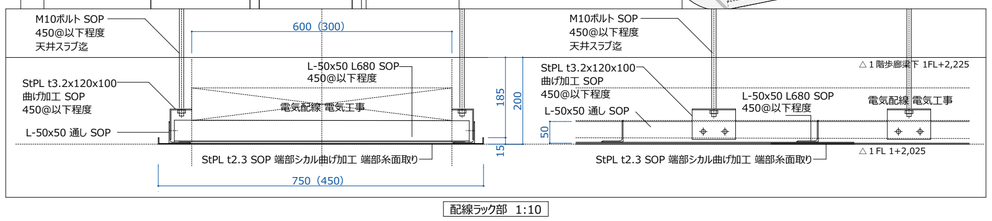
02 1:70

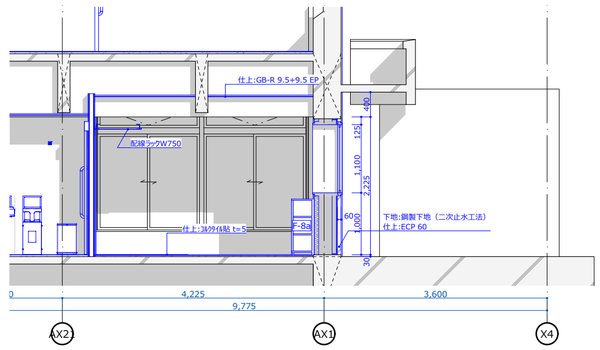
04 1:70

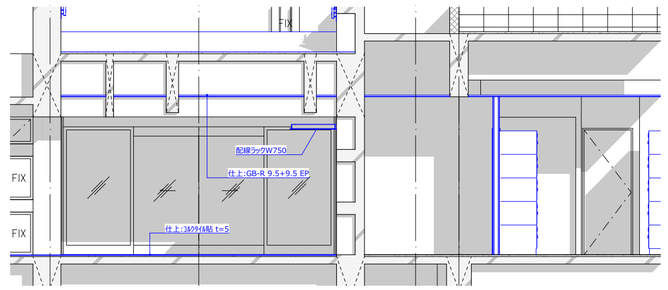
設計 香山・タニ設計業務共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事 第12399号 香山建築研究所 一級建築士 第289714号 長谷川祥久		鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち建築工事 1階歩廊改修図（改修前）	A-32 date:2025.07 scale: A2 1:70 | A3:71%縮小

改修後

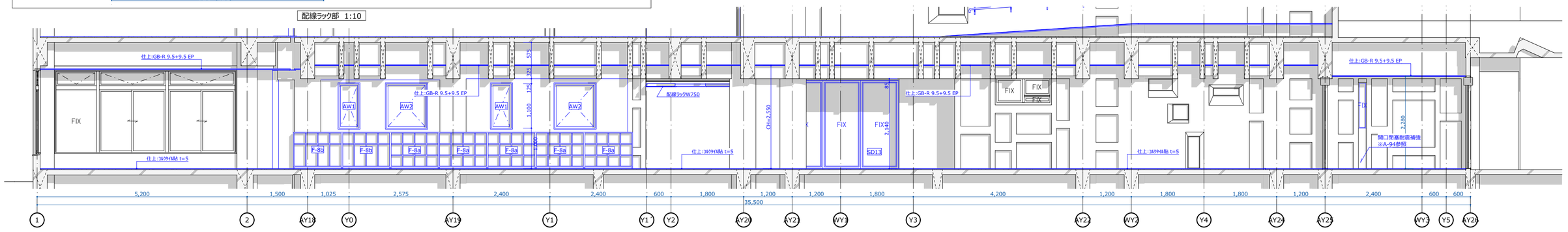


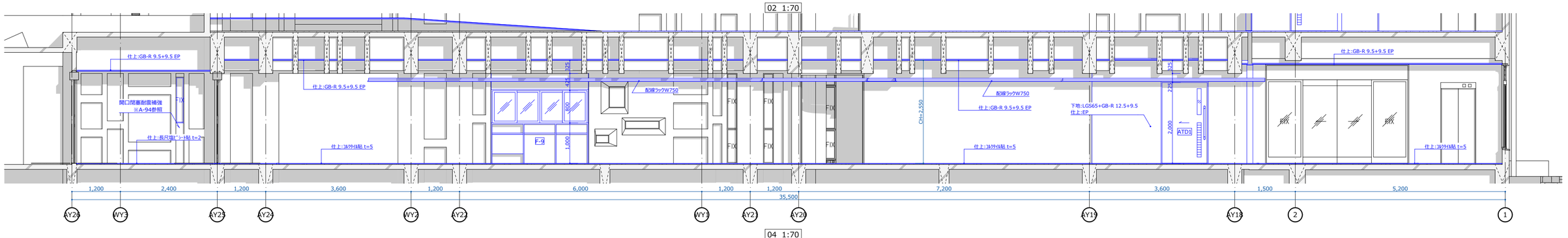






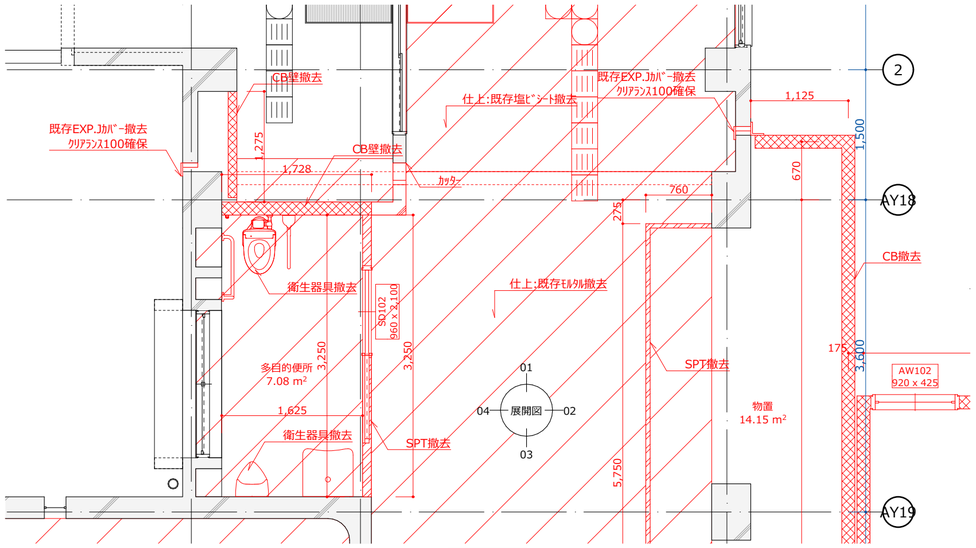
配線ラック部 1:10



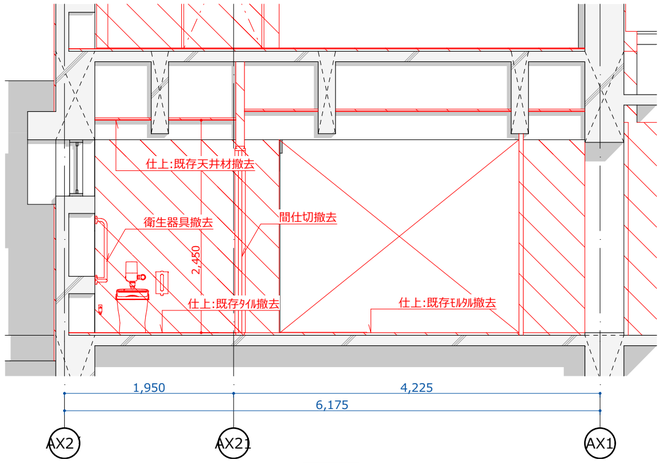


	設計 香山・タニ設計業務共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事 第12399号 香山建築研究所		鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち建築工事	A-33
		一級建築士 第289714号 長谷川祥久	date:2025.07	1階歩廊改修図（改修後） scale: A2 1:70 | A3:71%縮小	

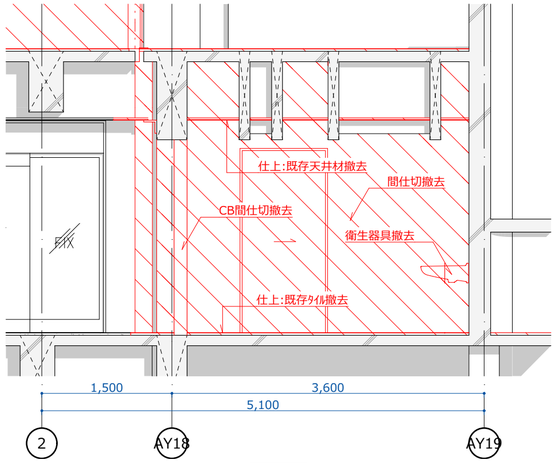
改修前



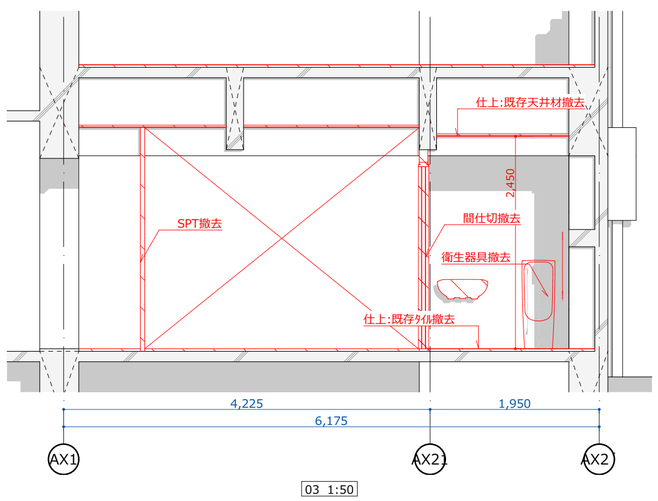
平面図 1:50



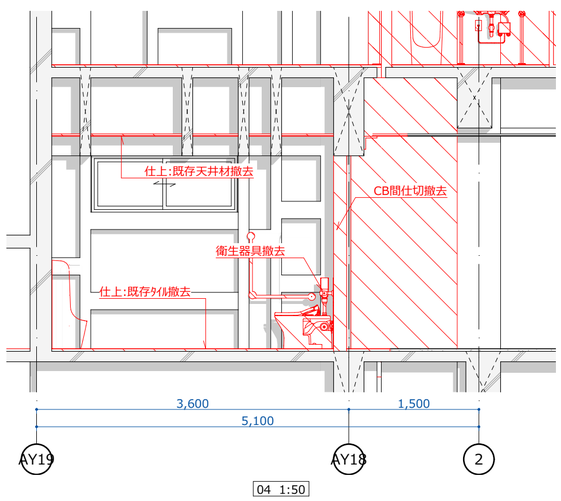
01 1:50



02 1:50

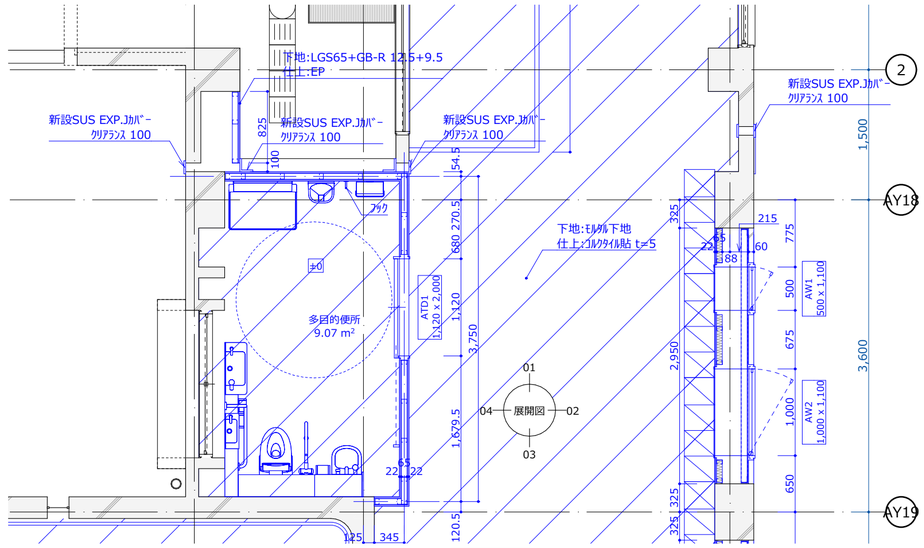


03 1:50

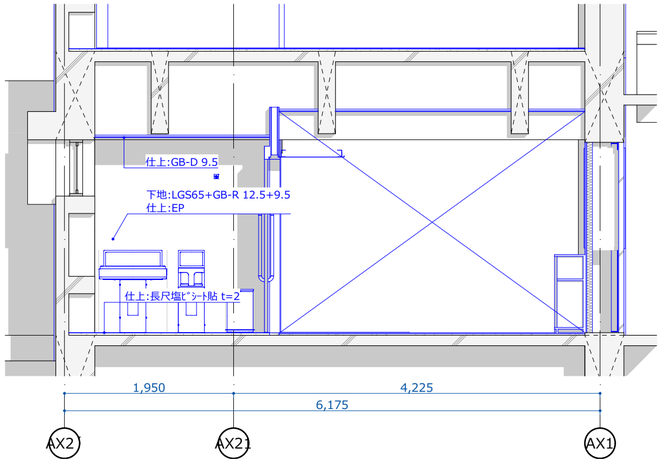


04 1:50

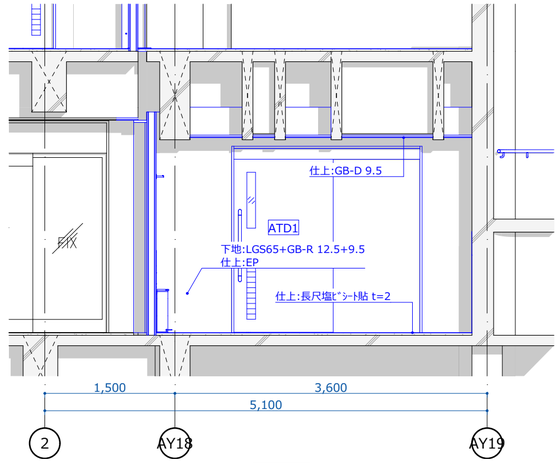
改修後



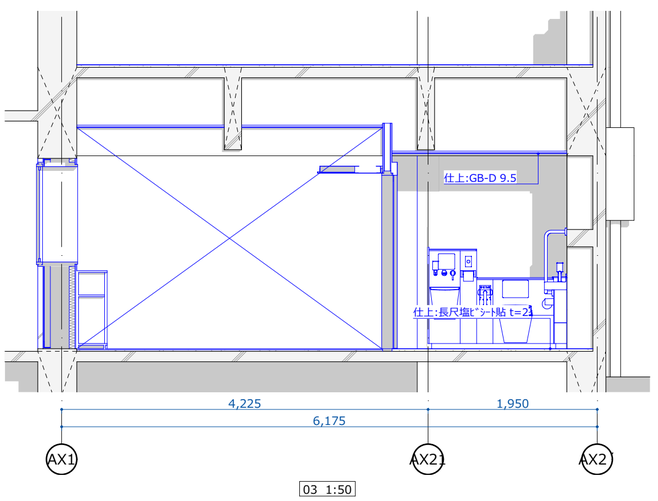
平面図 1:50



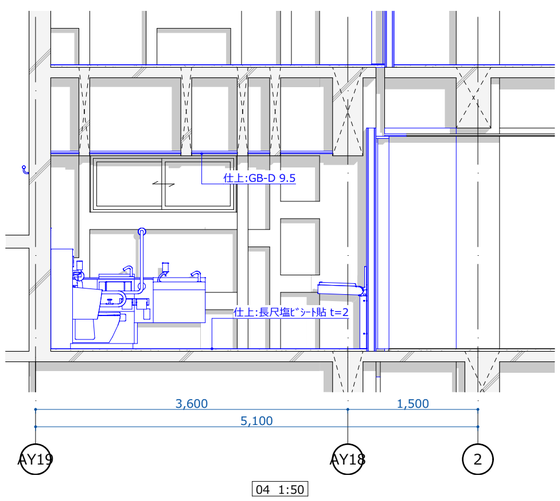
01 1:50



02 1:50



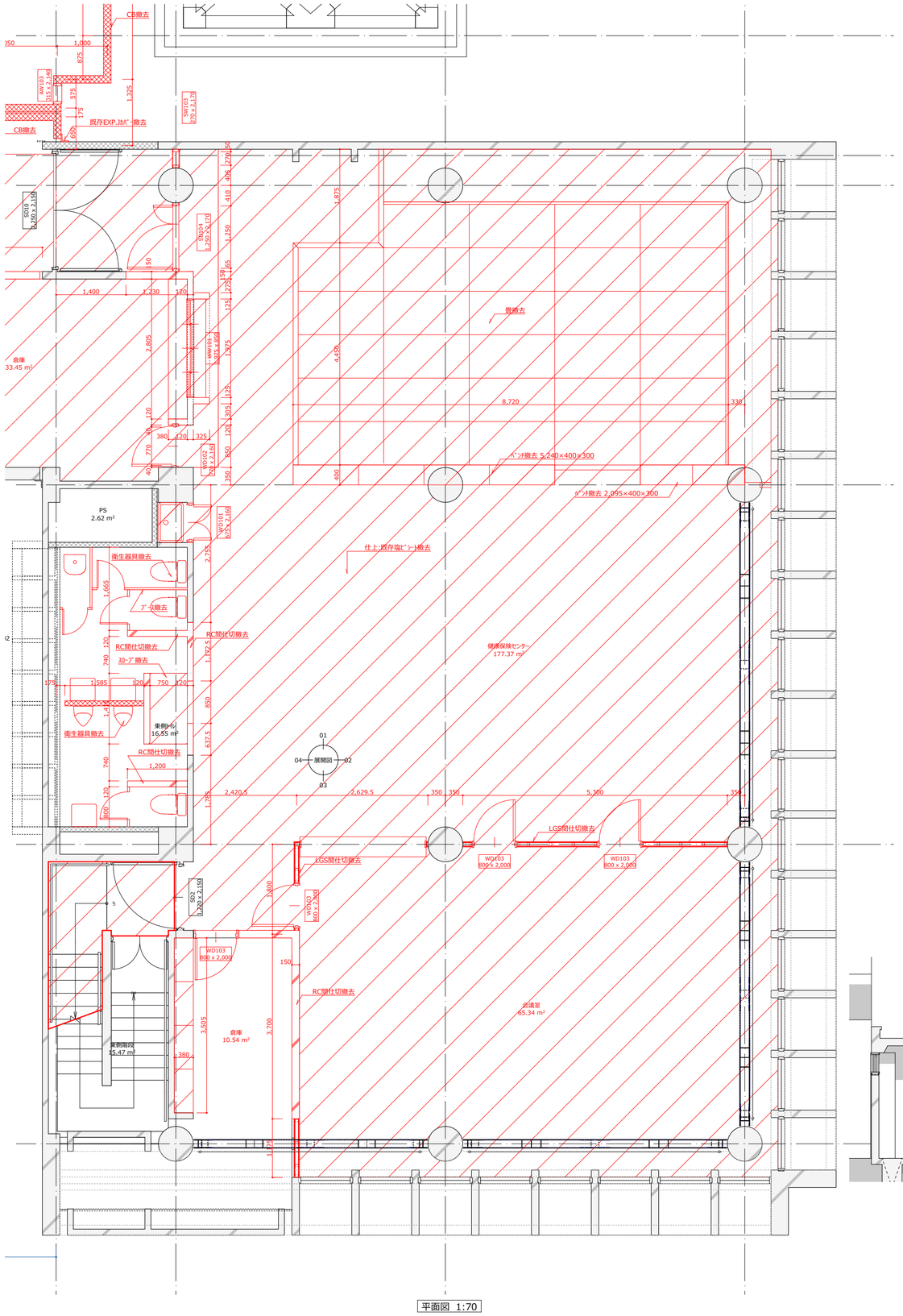
03 1:50



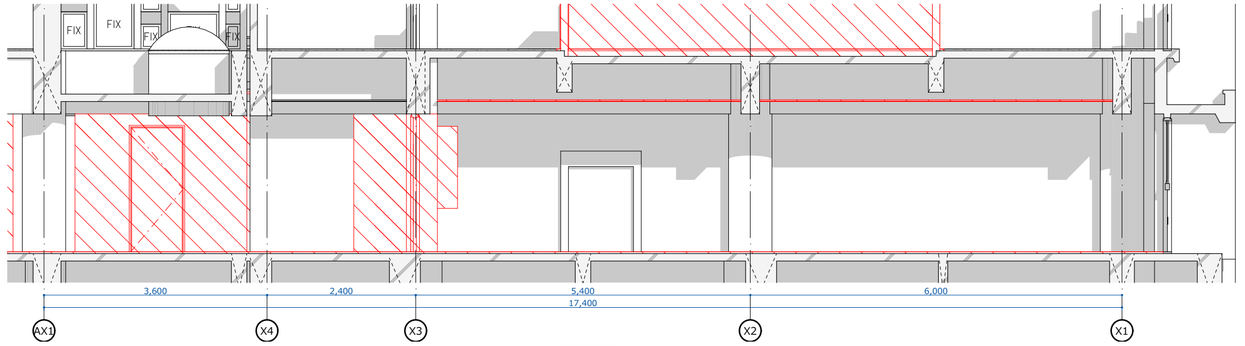
04 1:50

	設計 香山・タニ設計業務共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事 第12399号 香山建築研究所		鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち建築工事	A-34
		一級建築士 第289714号 長谷川祥久	date:2025.07	1階多目的便所改修図 scale: A2 1:50 | A3:71%縮小	

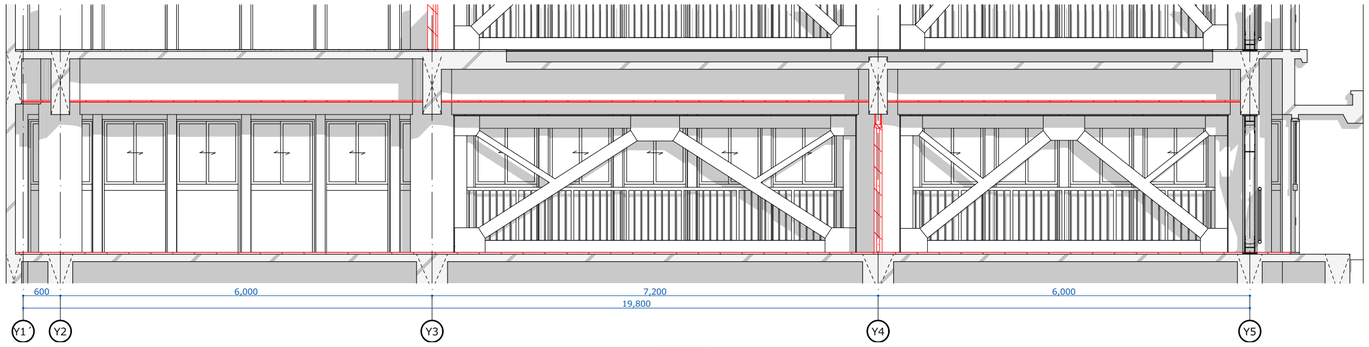
改修前



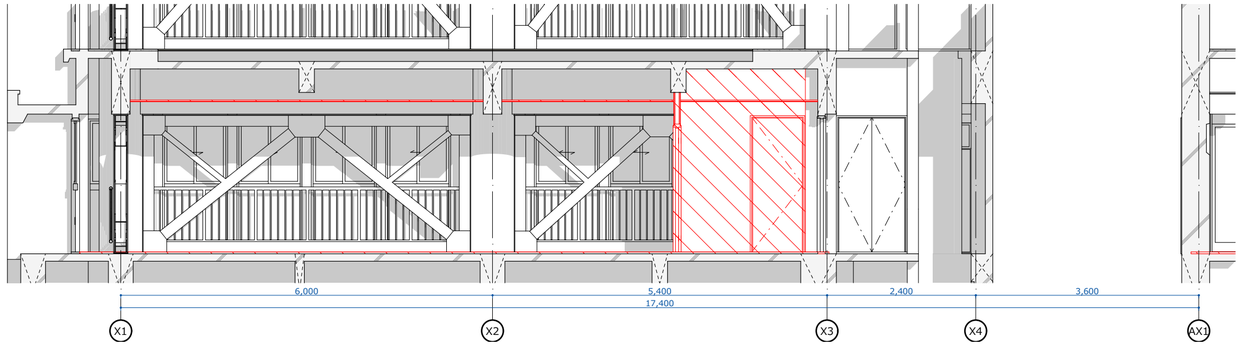
平面図 1:70



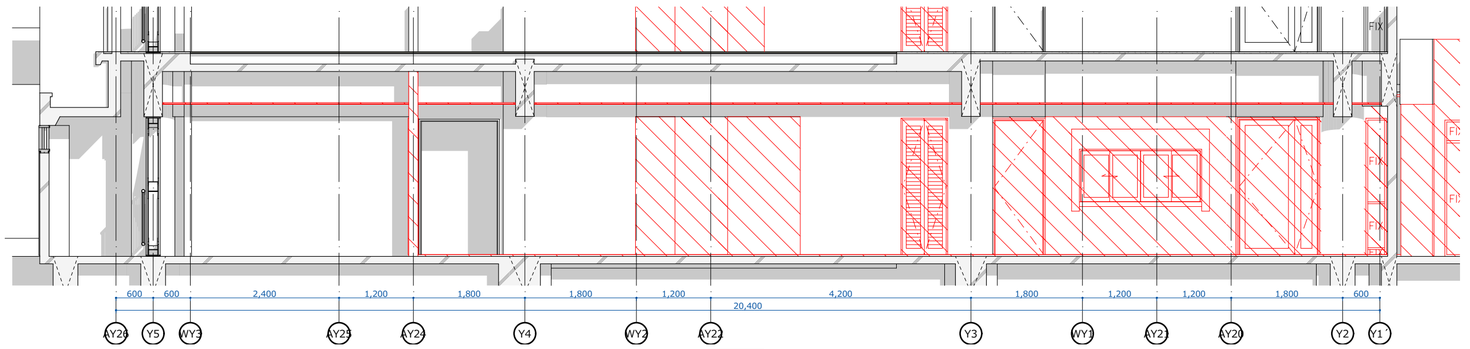
01 1:70



02 1:70



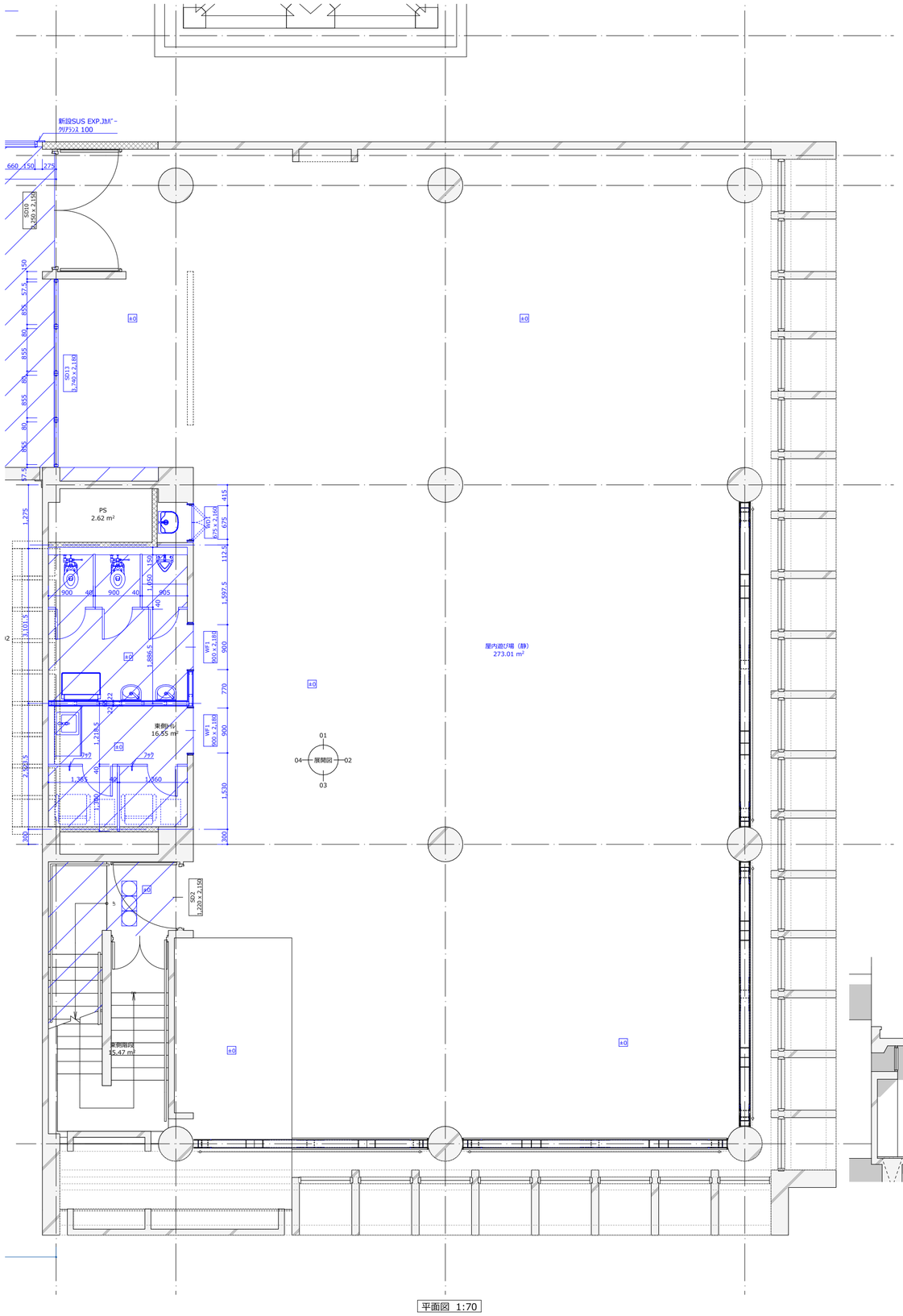
03 1:70



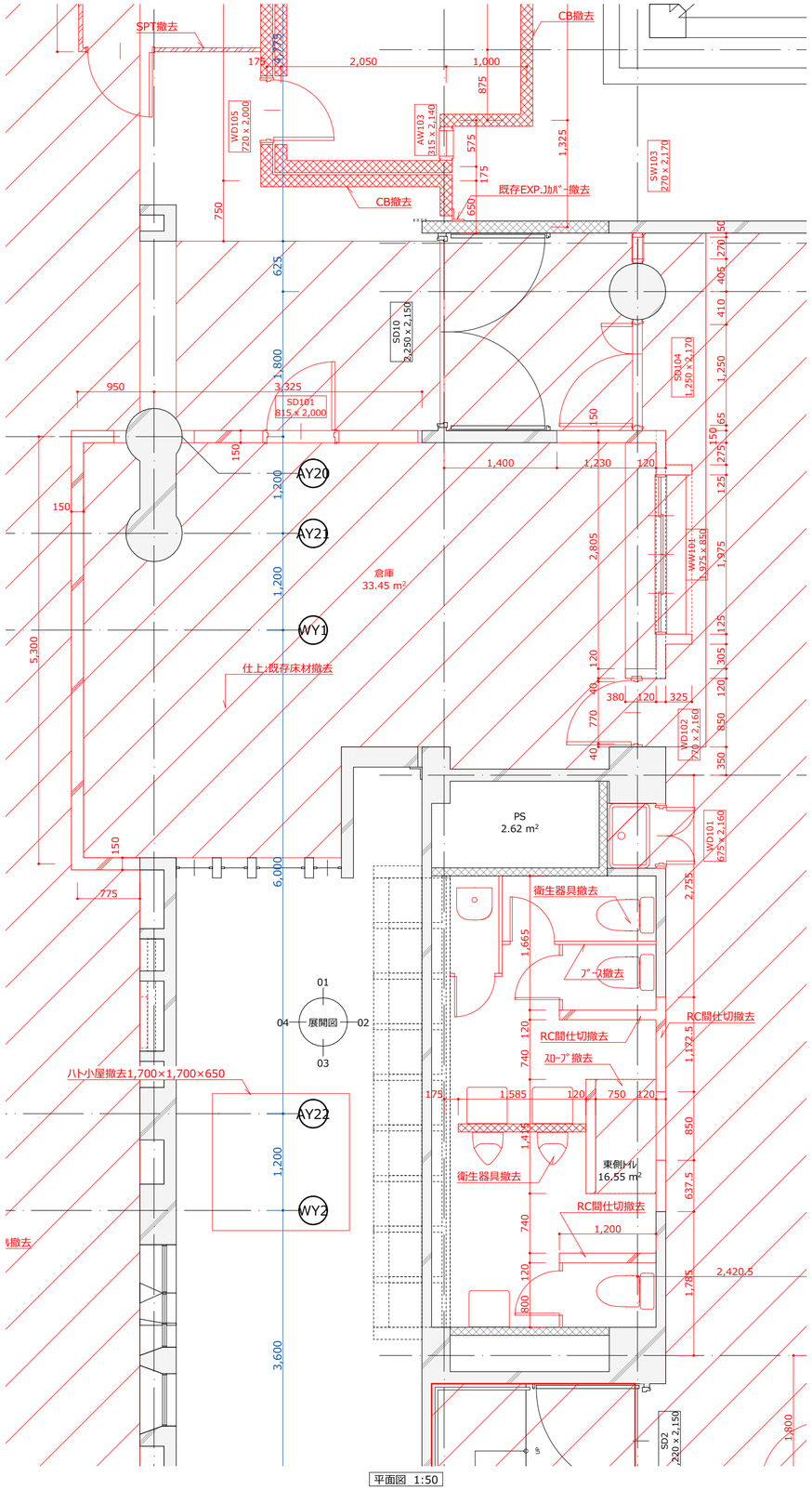
04 1:70

	設計 香山・タニ設計業務共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事 第12399号 香山建築研究所		鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち建築工事	A-35
		一級建築士 第289714号 長谷川祥久	date:2025.07	1階屋内遊び場（静）改修図（改修前） scale: A2 1:70 | A3:71%縮小	

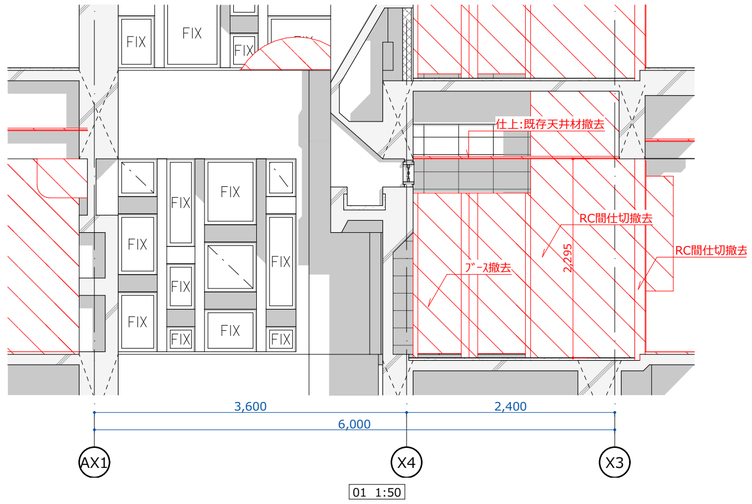
改修後


新設SUS EXP.ｼﾞｮｲﾝﾄ－
ｶﾊﾞｰｼｰﾄ 100
SD10
2,000 x 2,188
SD11
1,740 x 2,188
PS
2.62 m²
WD1
825 x 2,188
WF1
850 x 2,188
WF1
850 x 2,188
東側ﾎｰﾙ
16.65 m²
WF1
2,228 x 2,188
屋内遊び場（静）
273.01 m²
東側階段
15.47 m²
01
04 展開図 02
03
±0
660
150
275
1,275
415
675
112.5
1,597.5
3,101.5
1,886.5
770
890
1,530
300
900
40
1,218.5
1,365
1,260
2,892.5
2,228
150
1,740
2,000
2,188
850
855
80
87.5
1,275
900
865
1,150
1,050
1,220
1,360
1,280
1,365
2,228
150
2,150
2,188
2,188
2,188

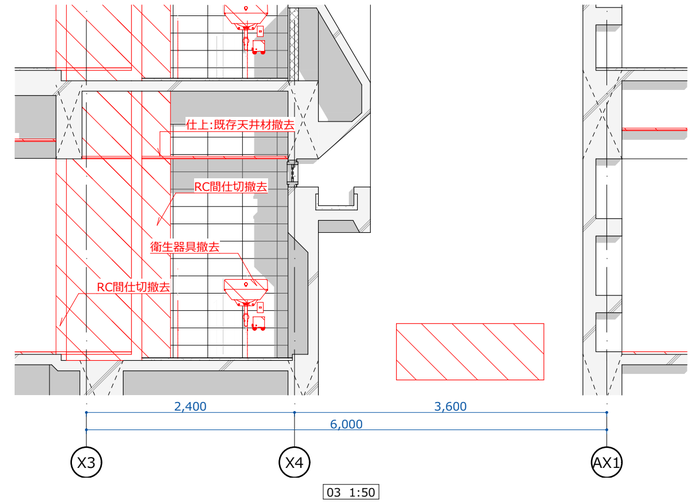
改修前



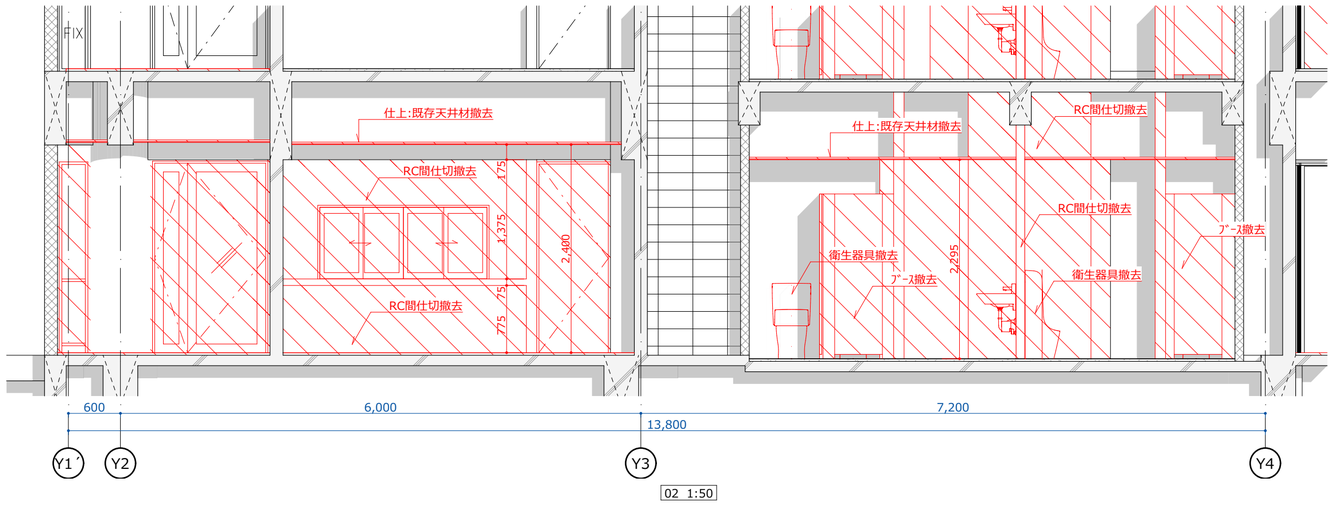
平面図 1:50



01 1:50



03 1:50

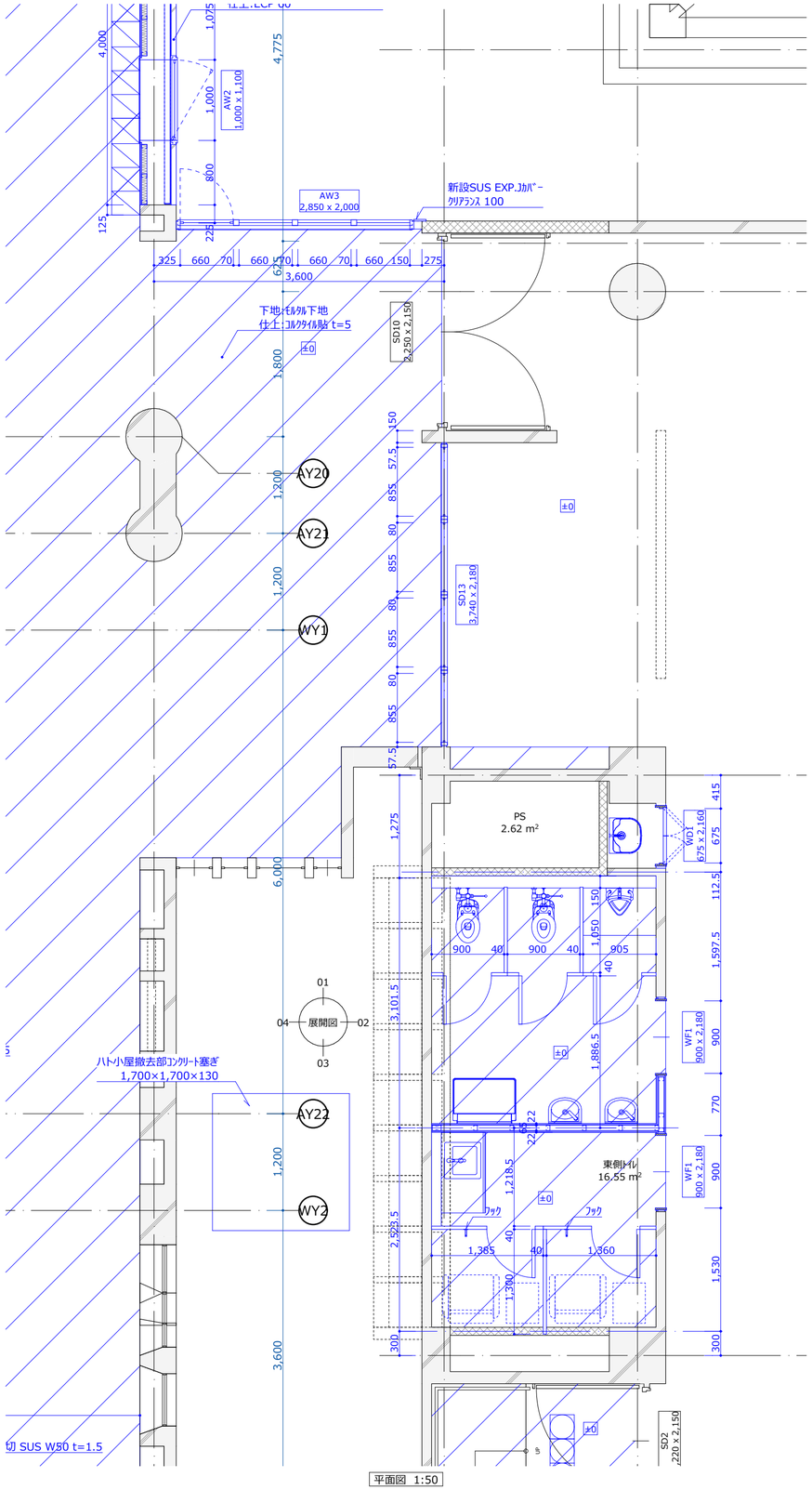


02 1:50

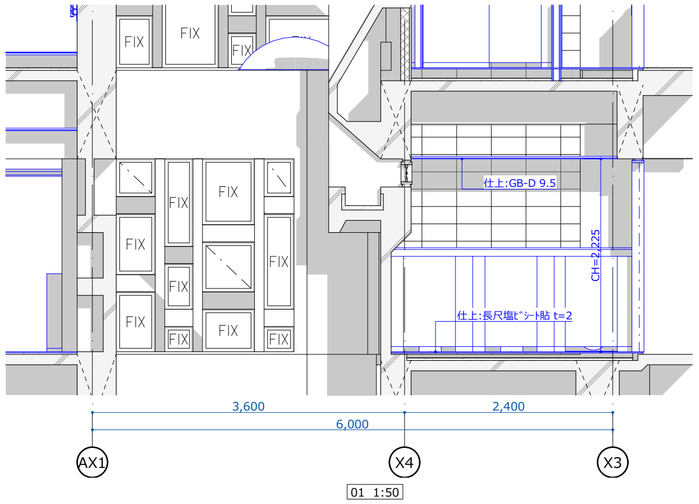
04 1:50

	設計 香山・タニ設計業務共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事 第12399号 香山建築研究所		鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち建築工事	A-37
		一級建築士 第289714号 長谷川祥久	date:2025.07	1階東側便所改修図（改修前） scale: A2 1:50 | A3:71%縮小	

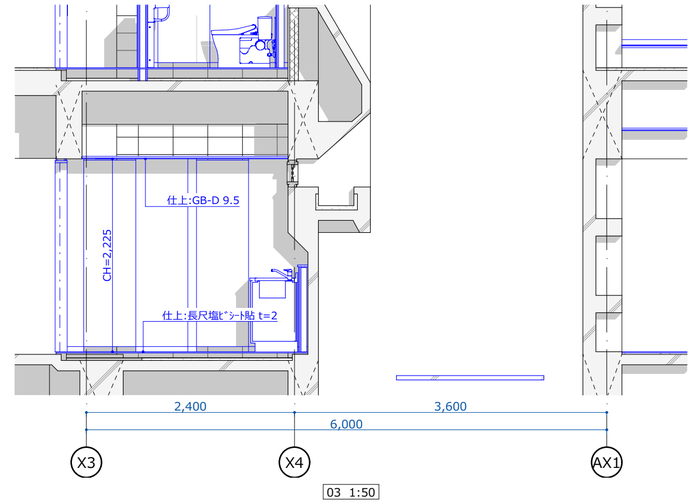
改修後



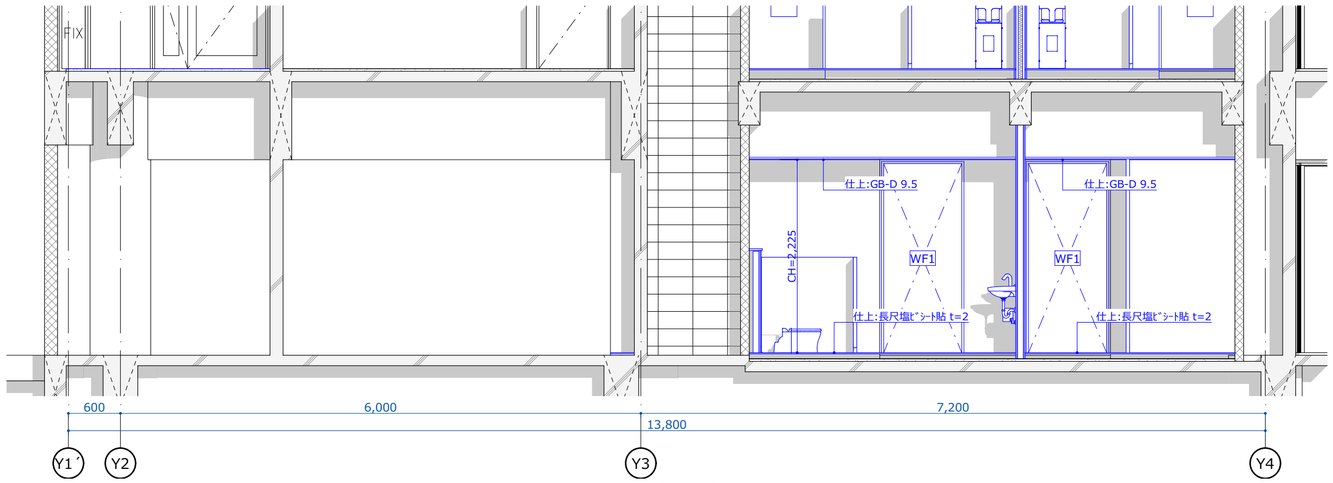
平面図 1:50



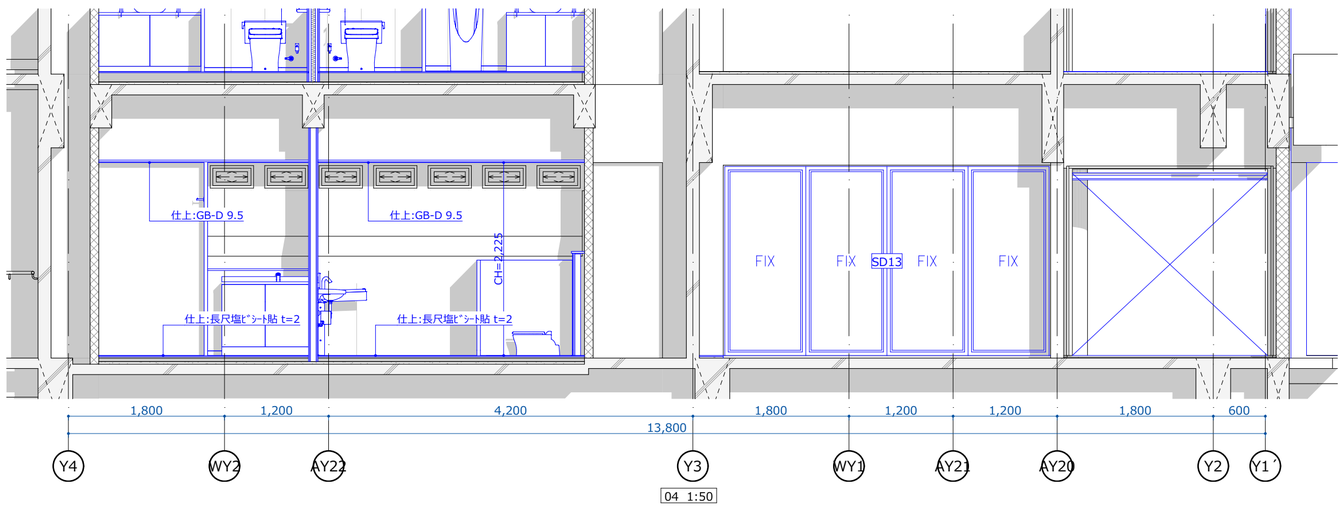
01 1:50



03 1:50



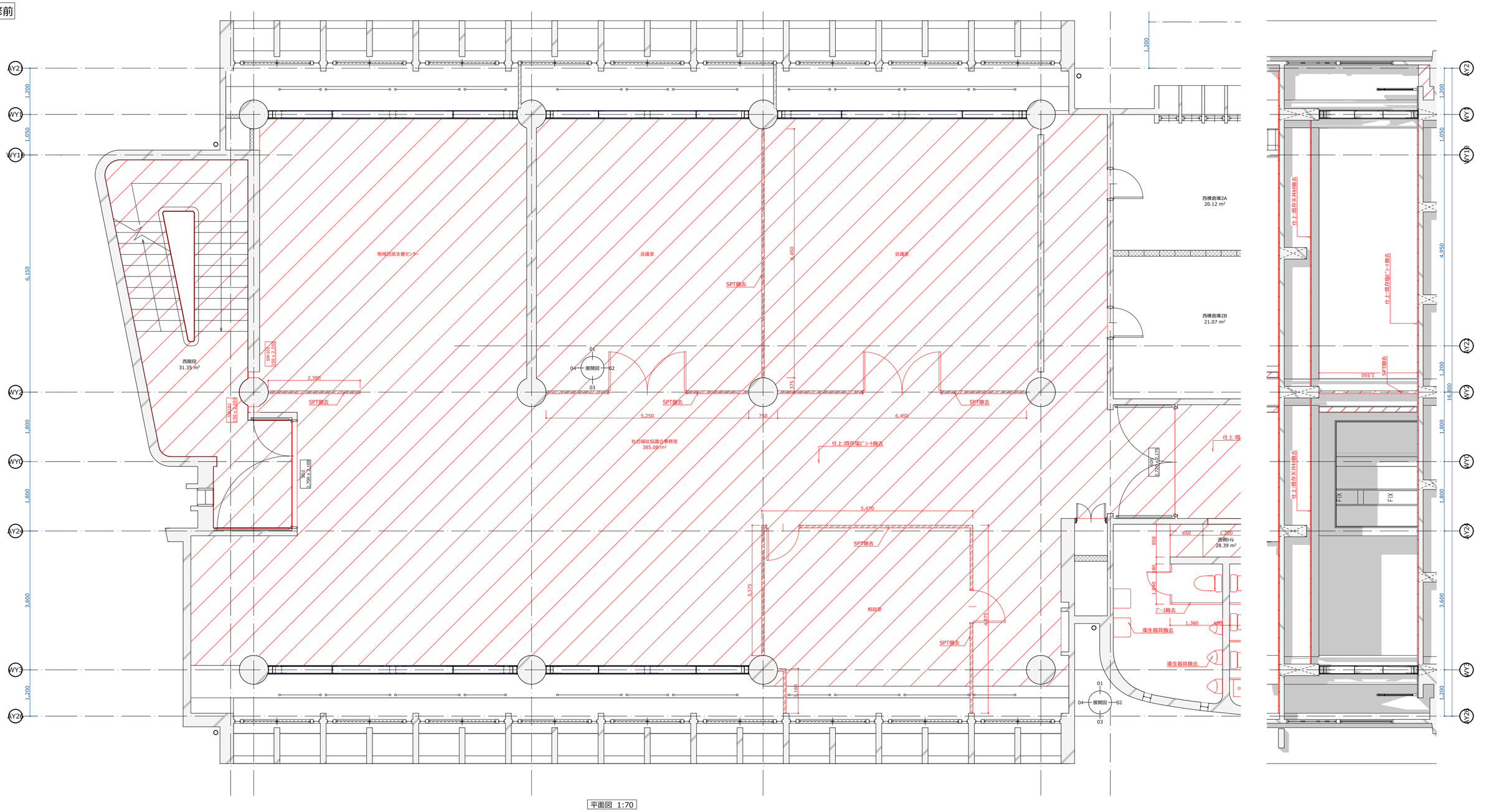
02 1:50



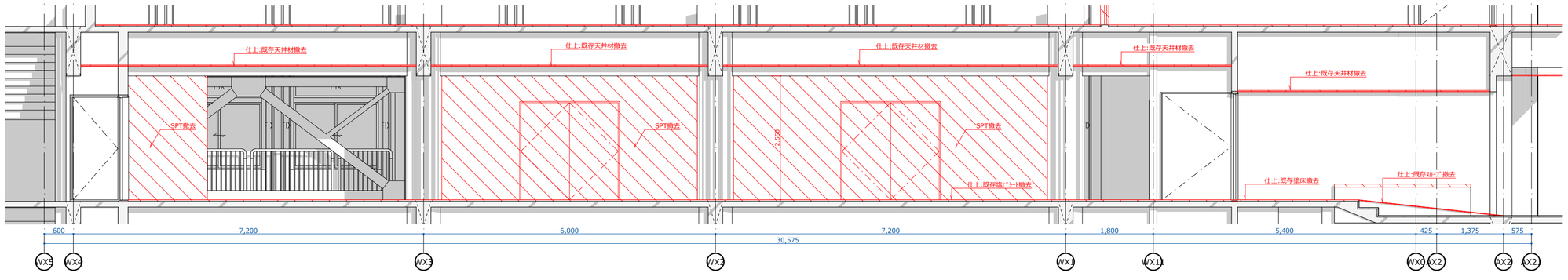
04 1:50

	設計 香山・タニ設計業務共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事 第12399号 香山建築研究所		鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち建築工事	A-38
		一級建築士 第289714号 長谷川祥久	date:2025.07	1階東側便所改修図（改修後） scale: A2 1:50 | A3:71%縮小	

改修前



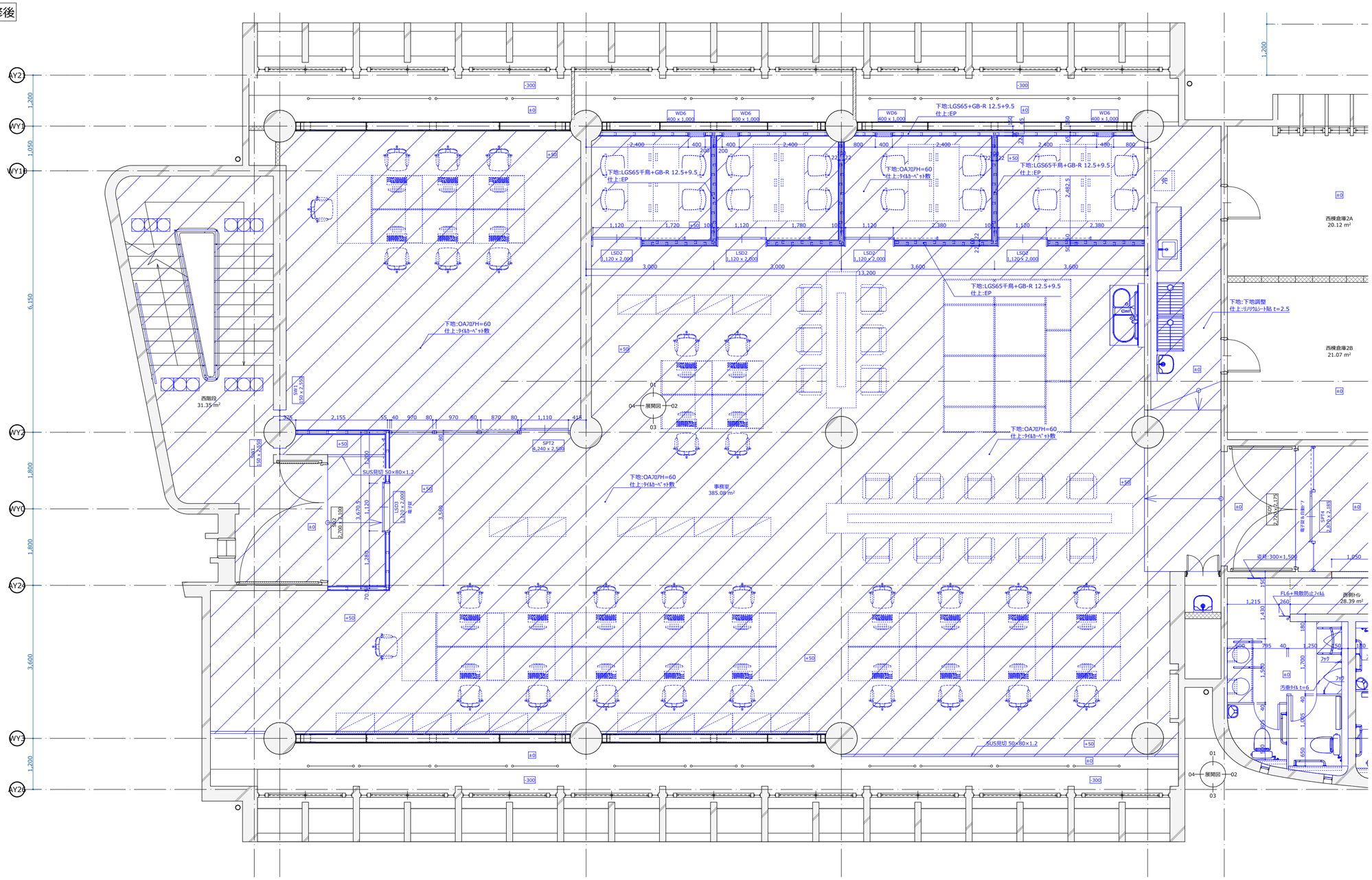
平面図 1:70



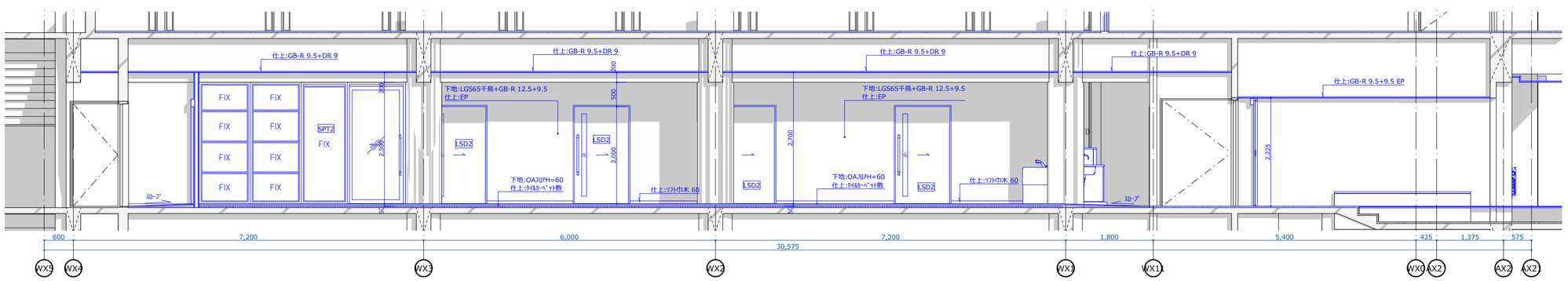
01 1:70

設計	香山・タニ設計業務共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事 第12399号 香山建築研究所		鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち建築工事	A-39
		一級建築士 第289714号 長谷川祥久	date:2025.07	2階事務室改修図（改修前） scale: A2 1:70 | A3:71%縮小	

改修後



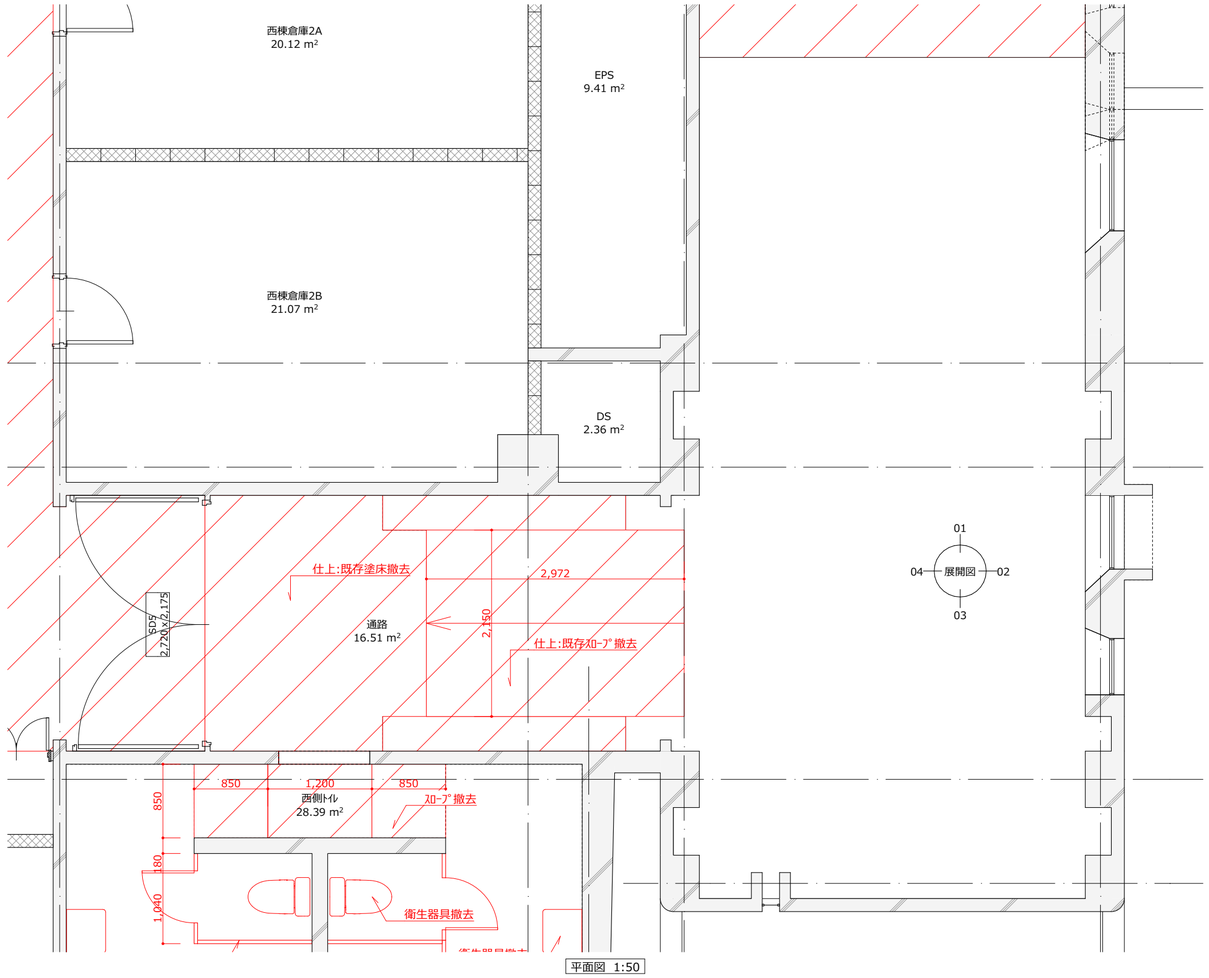
平面図 1:70



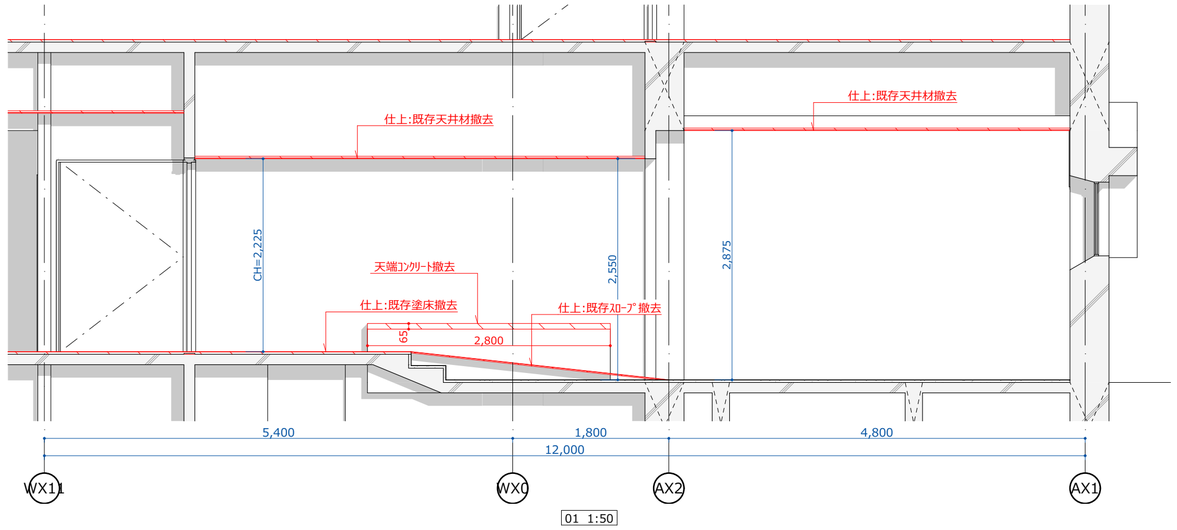
01 1:70

	設計 香山・タニ設計業務共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事 第12399号 香山建築研究所		鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち建築工事	A-40
		一級建築士 第289714号 長谷川祥久	date:2025.07	2階事務室改修図（改修後） scale: A2 1:70 | A3:71%縮小	

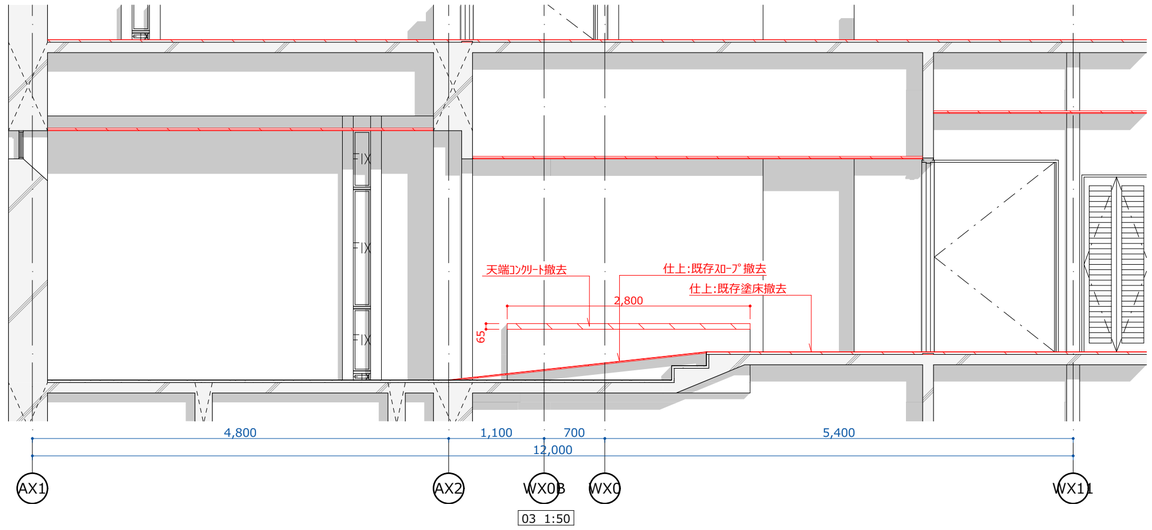
改修後



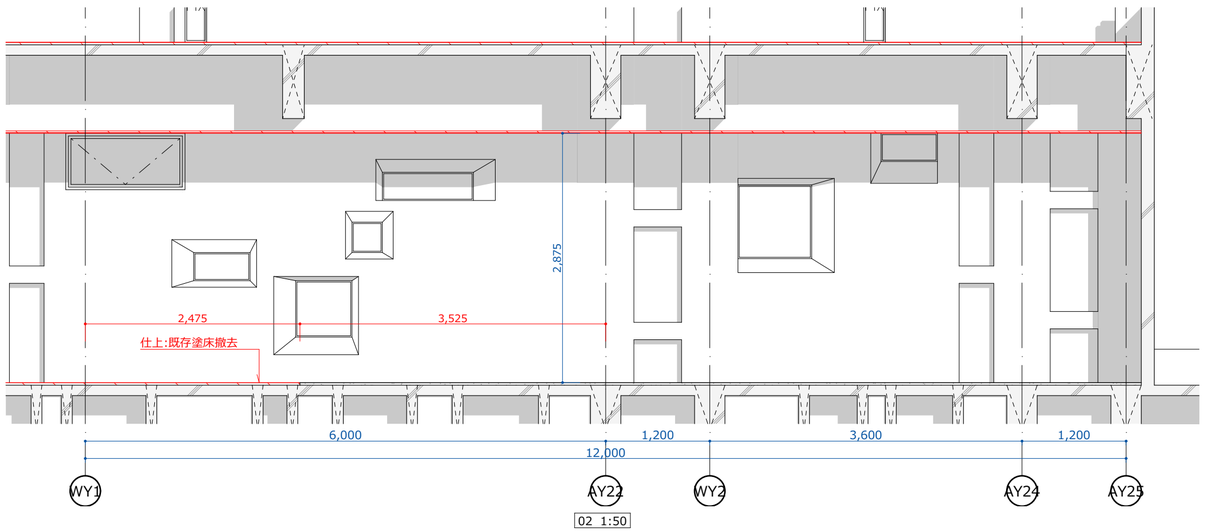
平面図 1:50



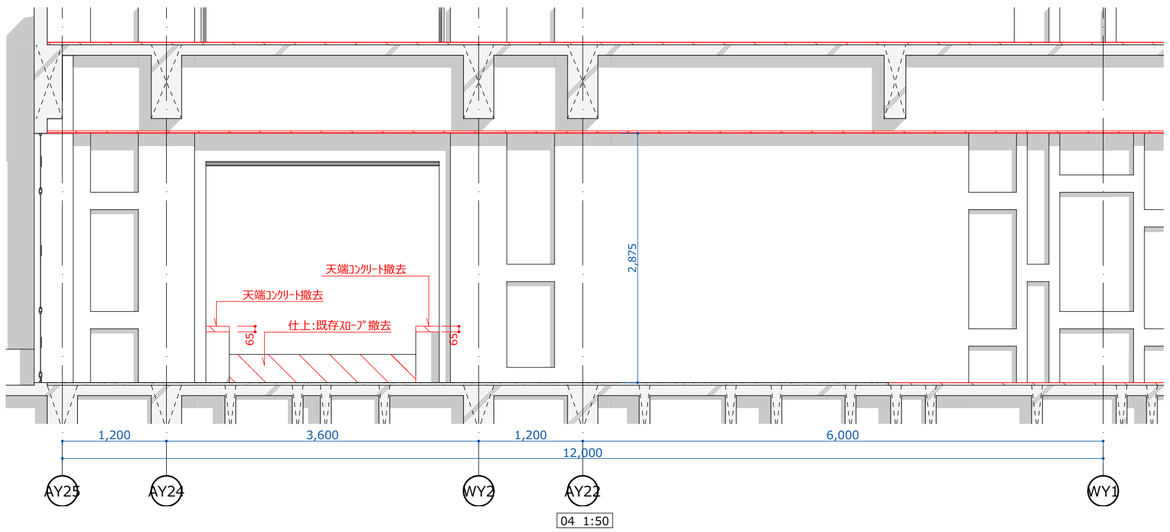
01 1:50



03 1:50



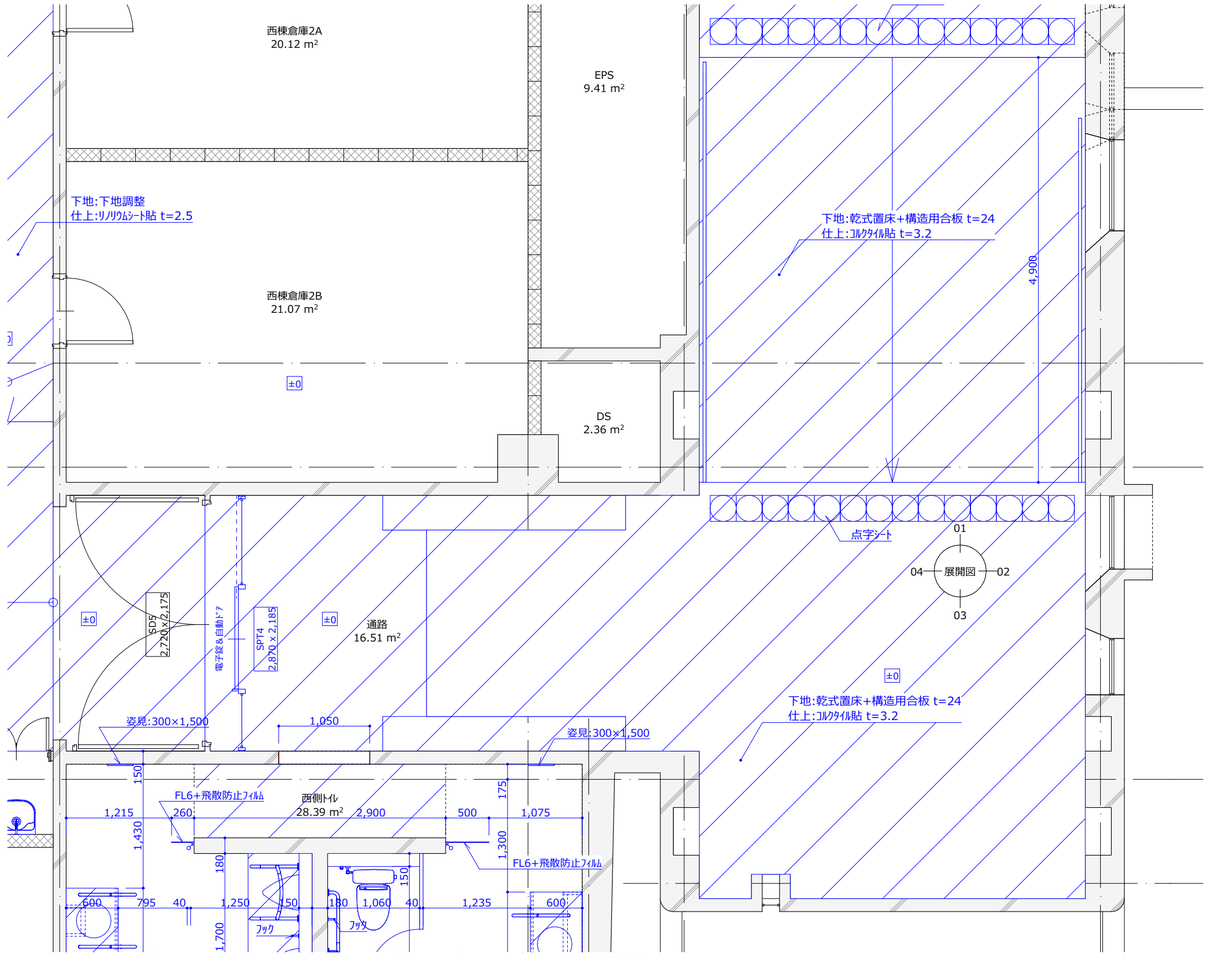
02 1:50



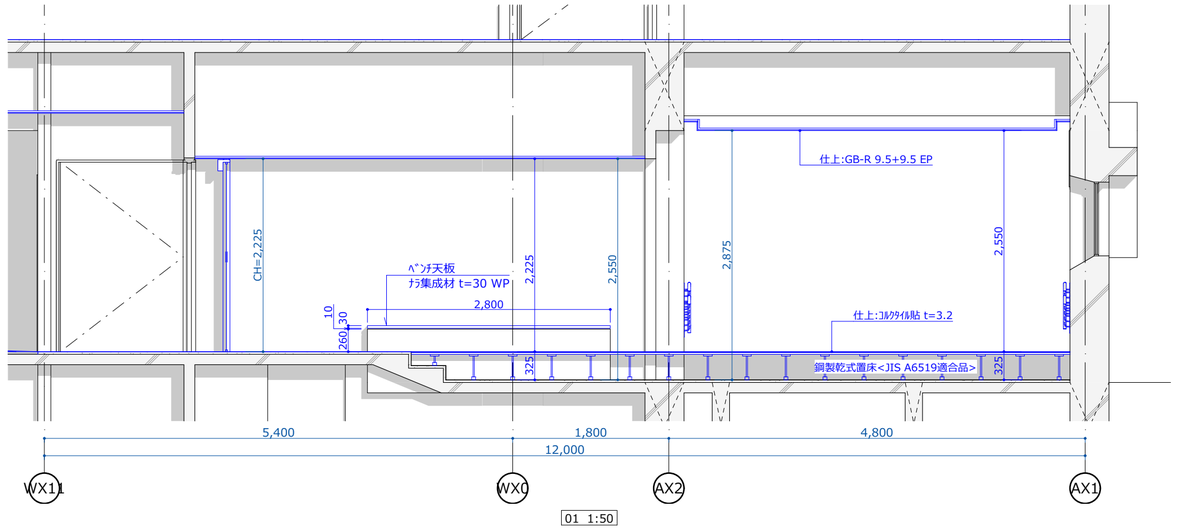
04 1:50

	設計 香山・タニ設計業務共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事 第12399号 香山建築研究所		鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち建築工事	A-41
		一級建築士 第289714号 長谷川祥久	date:2025.07	2階スロープ部改修図（改修前） scale: A2 1:50 | A3:71%縮小	

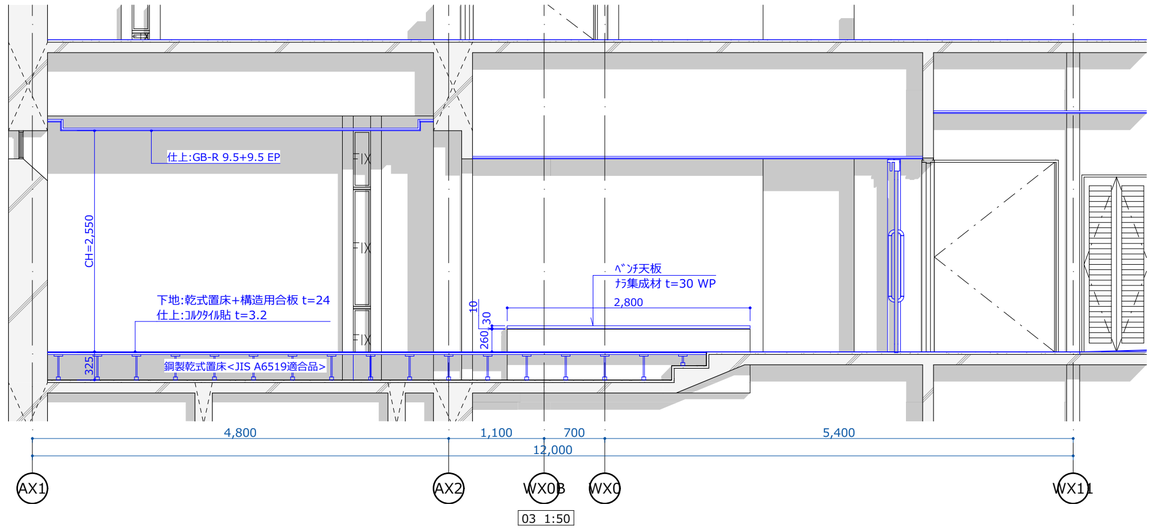
改修後



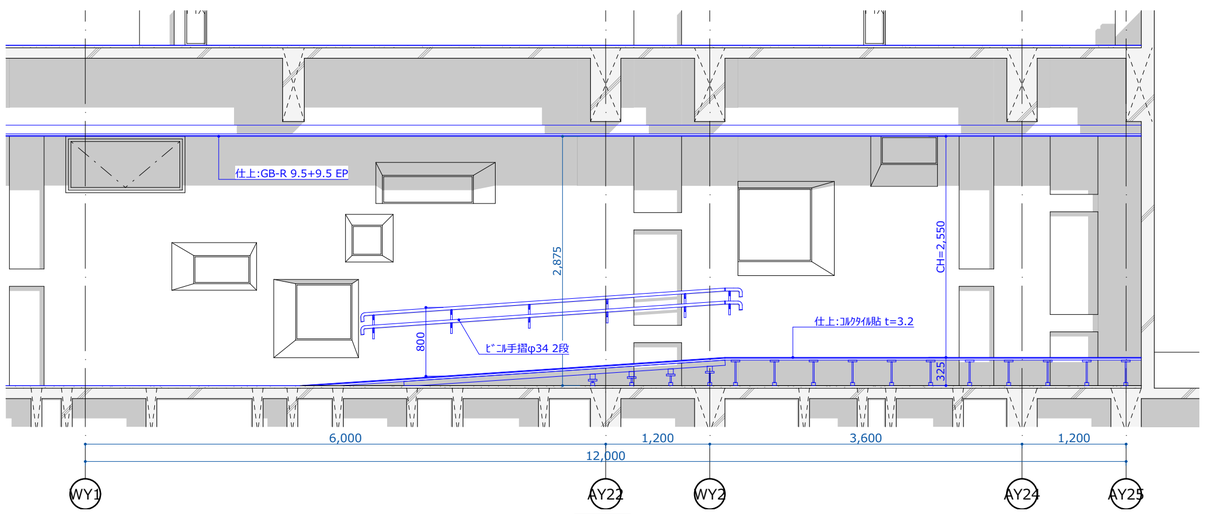
平面図 1:50



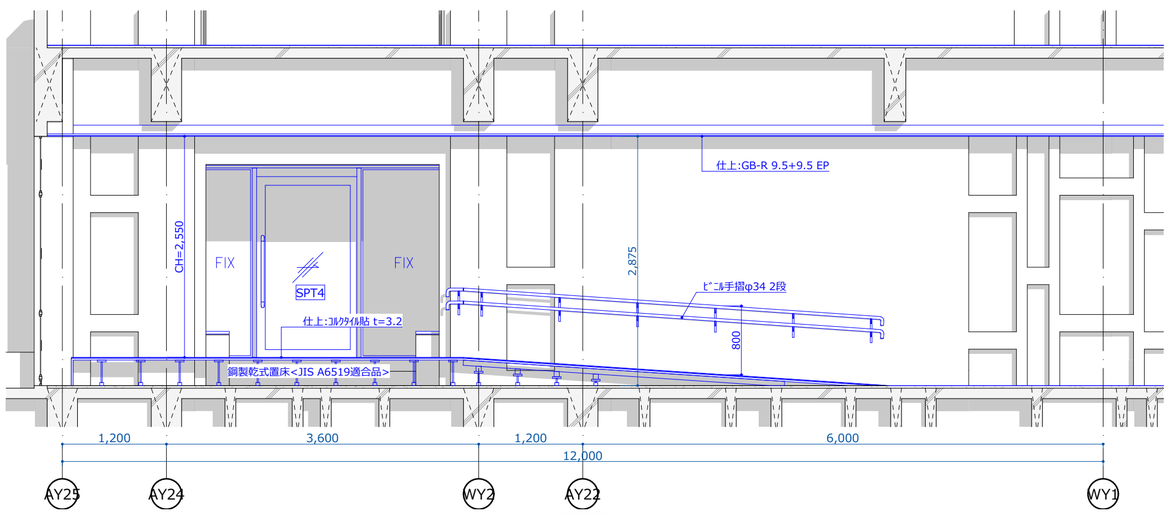
01 1:50



03 1:50



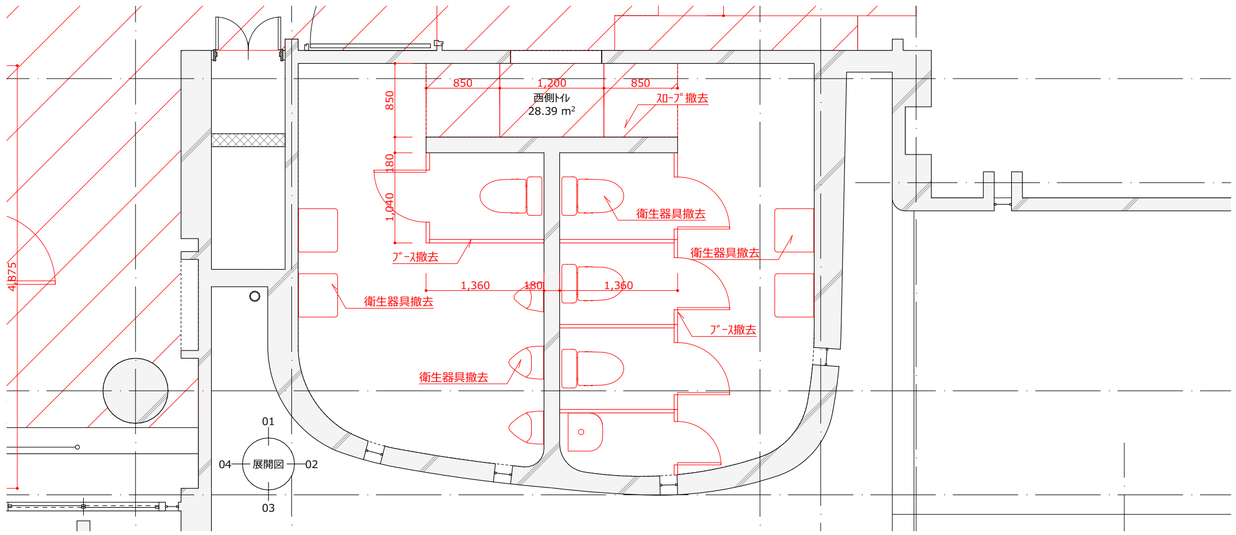
02 1:50



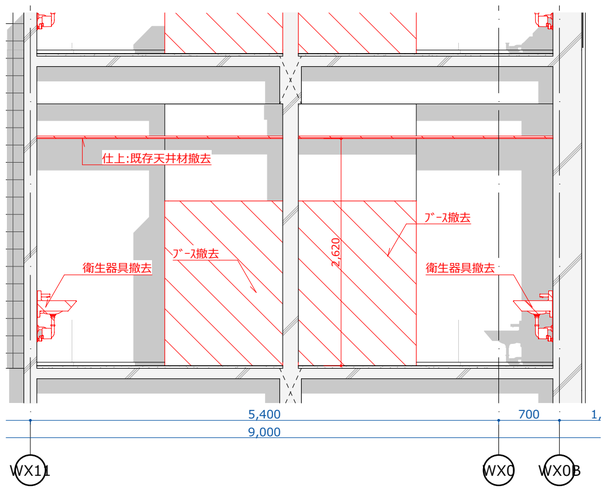
04 1:50

	設計 香山・タニ設計業務共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事 第12399号 香山建築研究所		鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち建築工事	A-42
		一級建築士 第289714号 長谷川祥久	date:2025.07	2階スロープ部改修図（改修後） scale: A2 1:50 | A3:71%縮小	

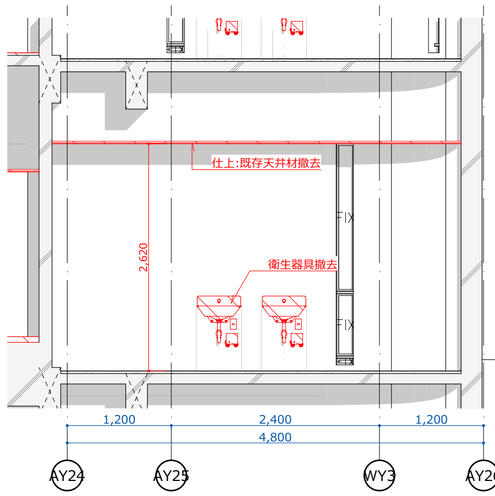
改修前



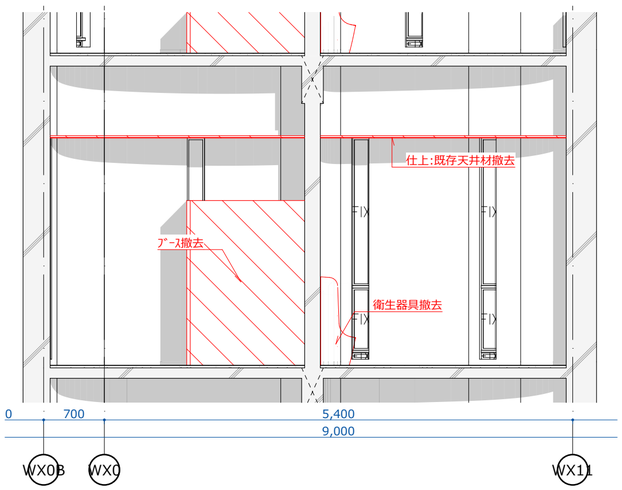
平面図 1:50



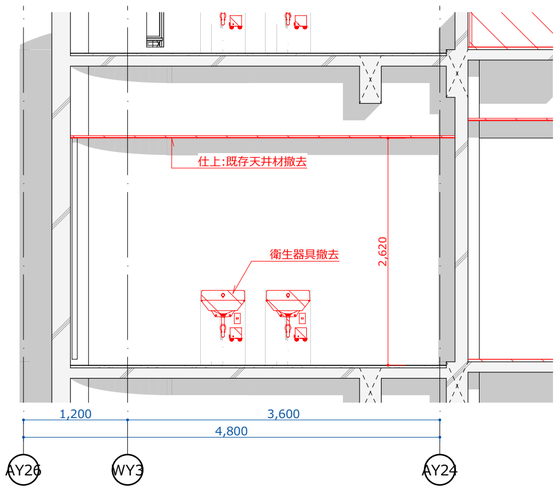
01 1:50



02 1:50

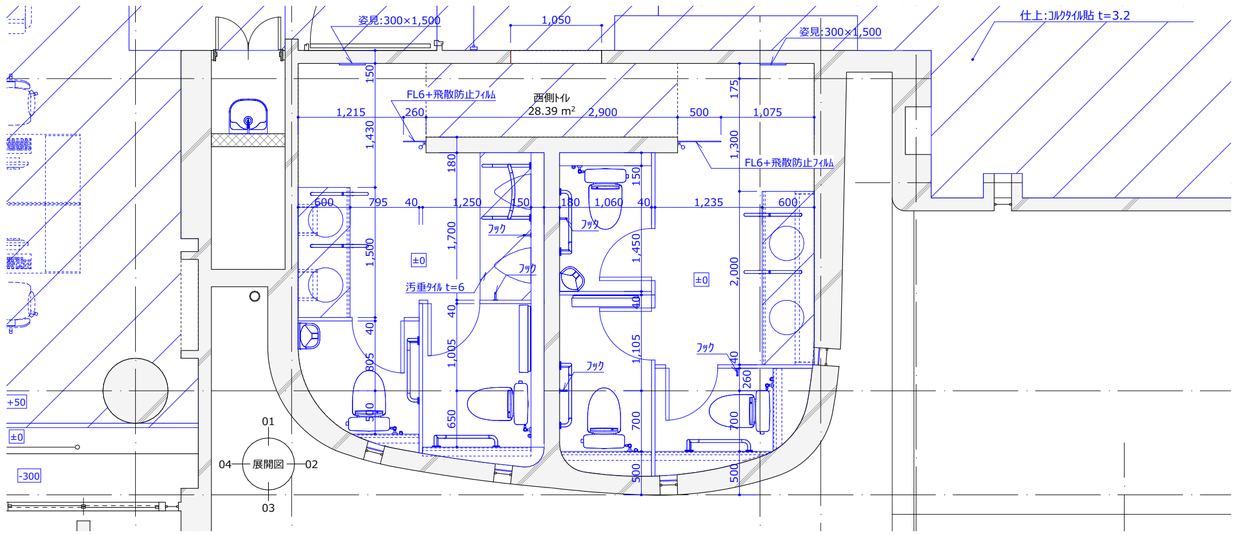


03 1:50

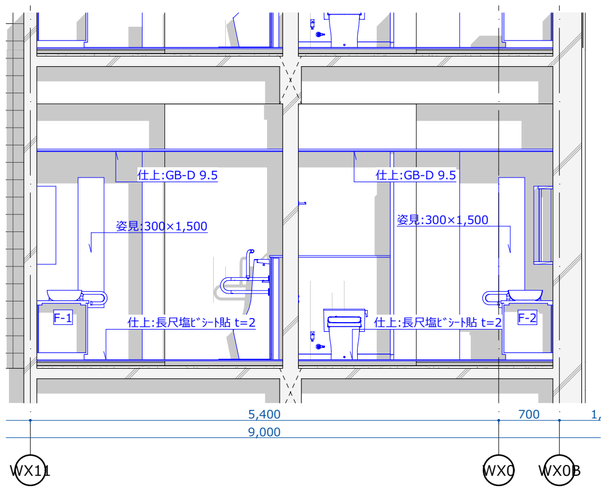


04 1:50

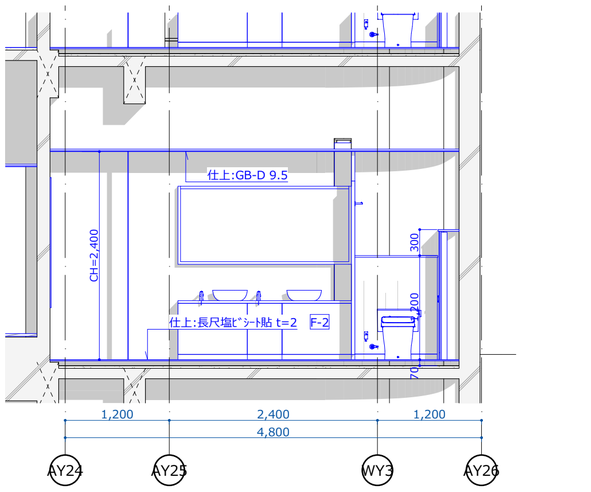
改修後



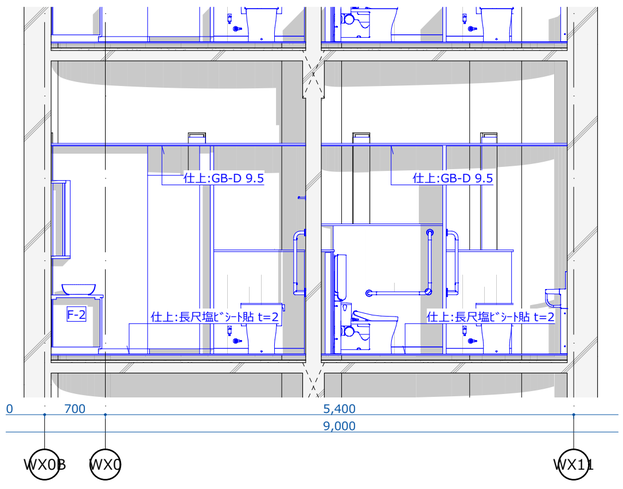
平面図 1:50



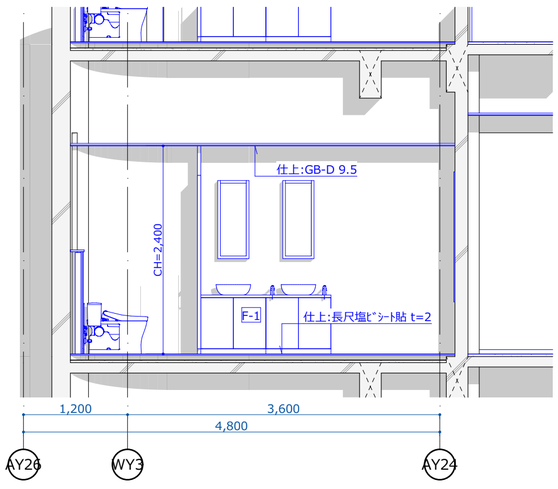
01 1:50



02 1:50



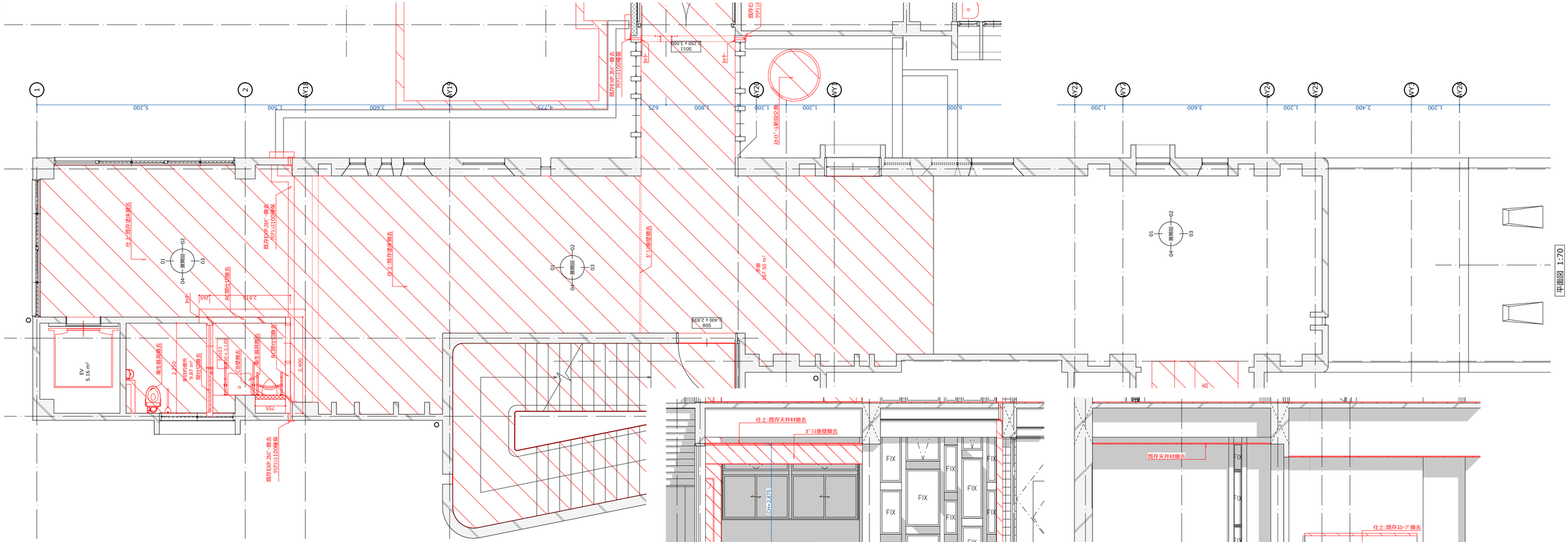
03 1:50



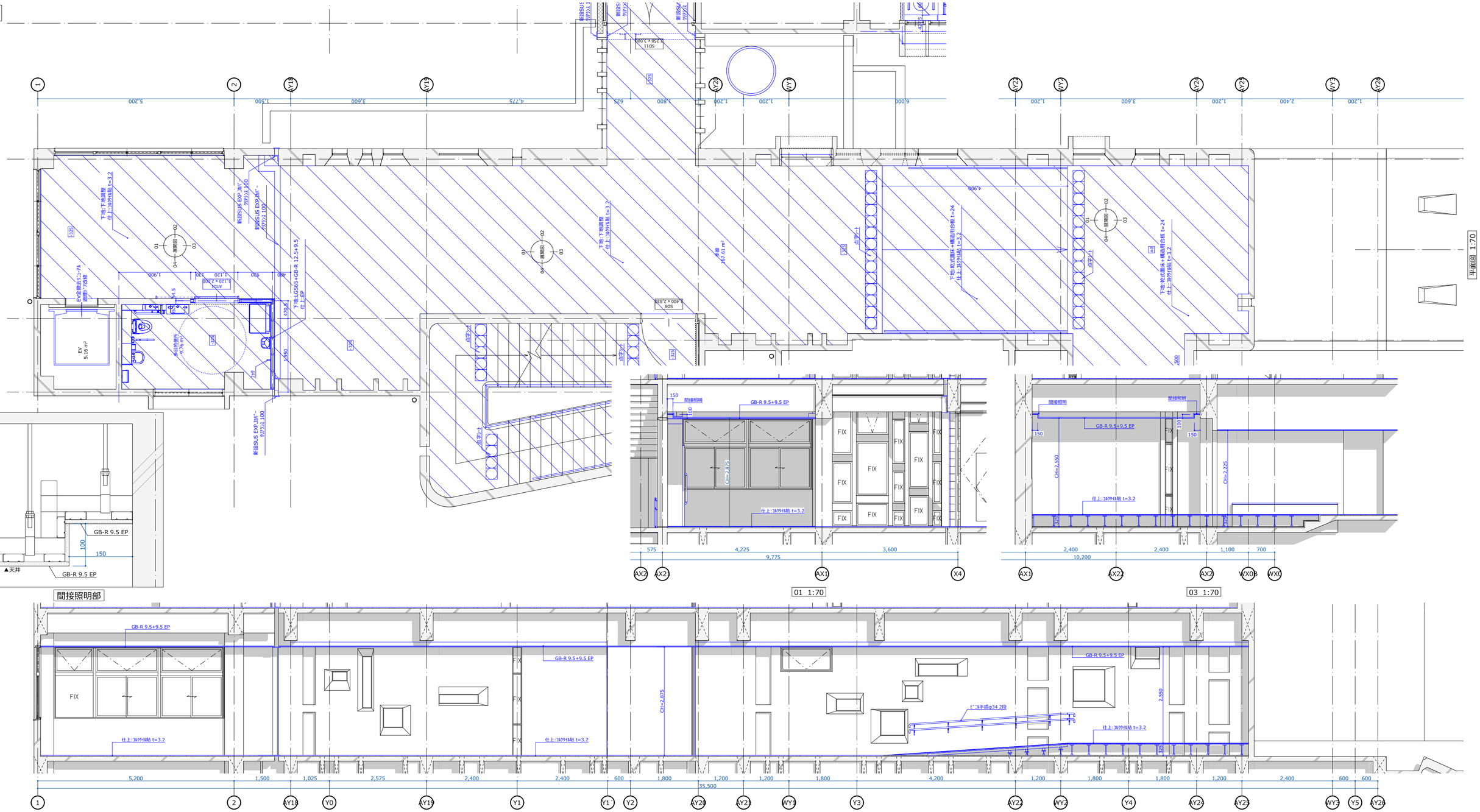
04 1:50

	設計 香山・タニ設計業務共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事 第12399号 香山建築研究所		鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち建築工事	A-43
		一級建築士 第289714号 長谷川祥久	date:2025.07	2階西側便所改修図 scale: A2 1:50 | A3:71%縮小	

改修前


1
2
AY18
AY19
AY20
AY21
AY22
AY23
AY24
AY25
WY1
WY2
WY3
WY4
WY5
WY6
WY7
WY8
5,200
1,500
3,600
1,800
1,200
6,000
2,400
600
35,500
EV
5.16 m²
多目的便所
9.47 m²
既存EXP.JW"一撤去
ｱﾙﾐｻｯｼ2100掲保
既存ｶﾞﾗｽ撤去
既存ｶﾞﾗｽ撤去
既存ｶﾞﾗｽ撤去

改修後

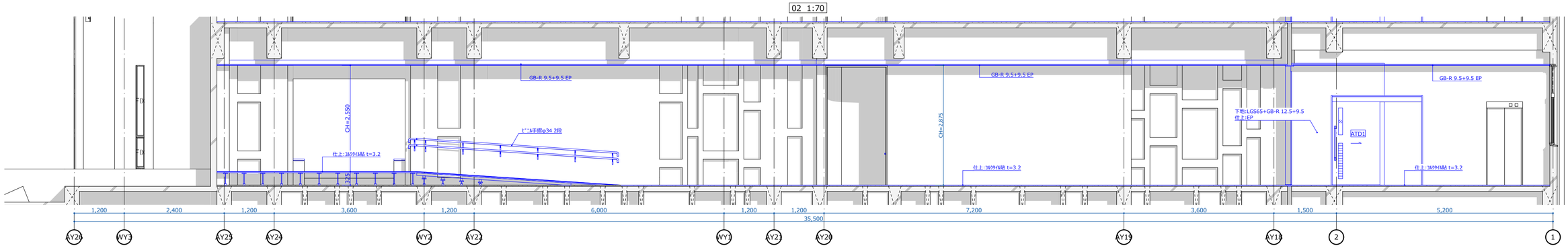


間接照明部

01 1:70

03 1:70

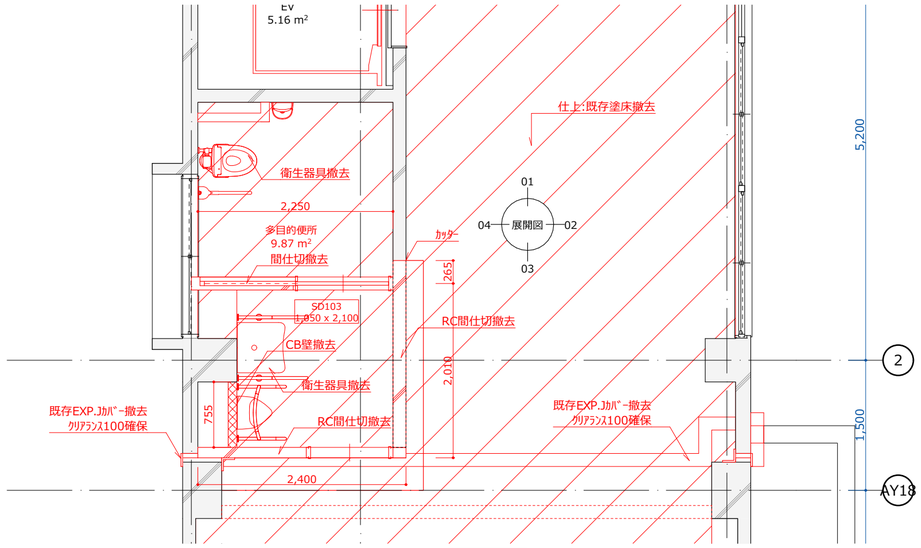
02 1:70



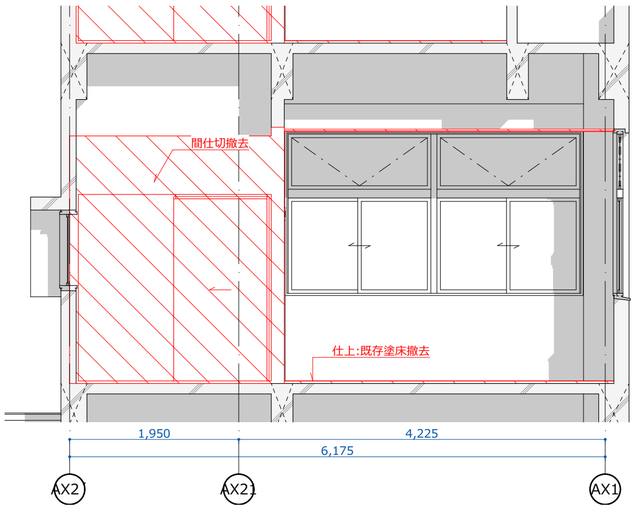
04 1:70

	設計 香山・タニ設計業務共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事 第12399号 香山建築研究所		鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち建築工事	A-45
		一級建築士 第289714号 長谷川祥久	date:2025.07	2階歩廊改修図（改修後） scale: A2 1:70 | A3:71%縮小	

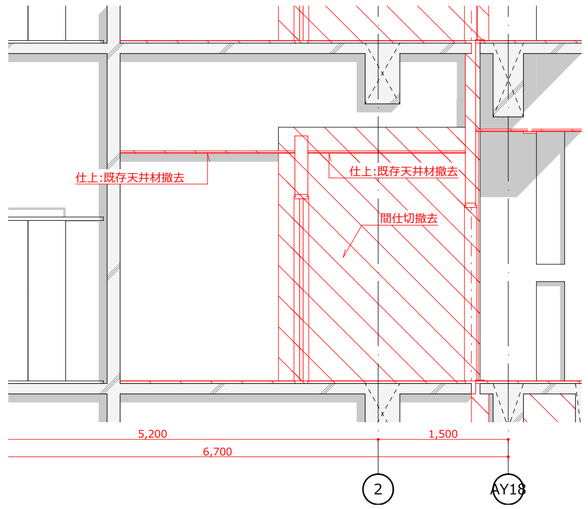
改修前



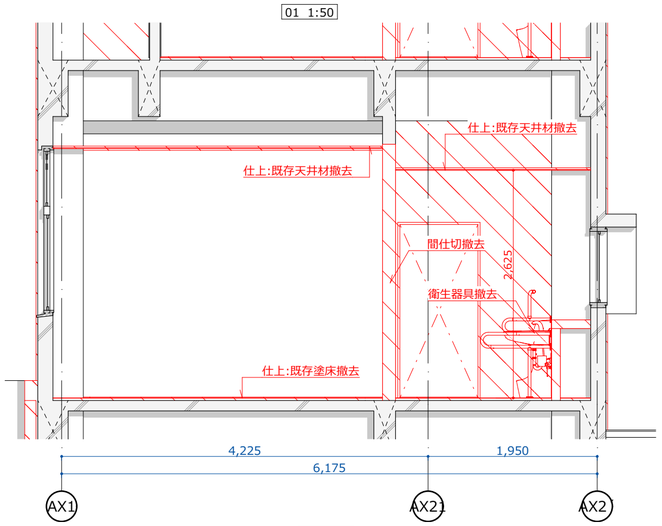
平面図 1:50



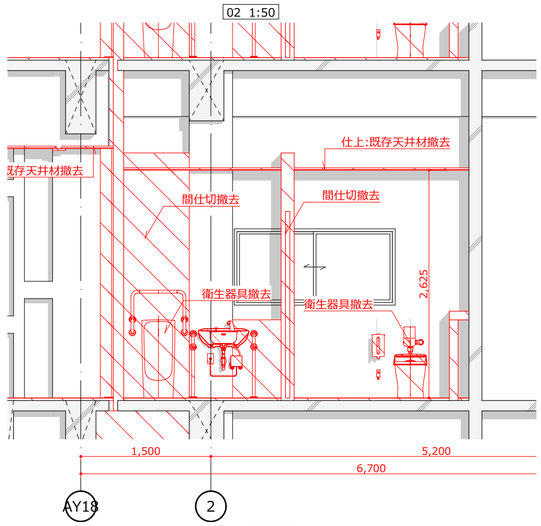
01 1:50



02 1:50

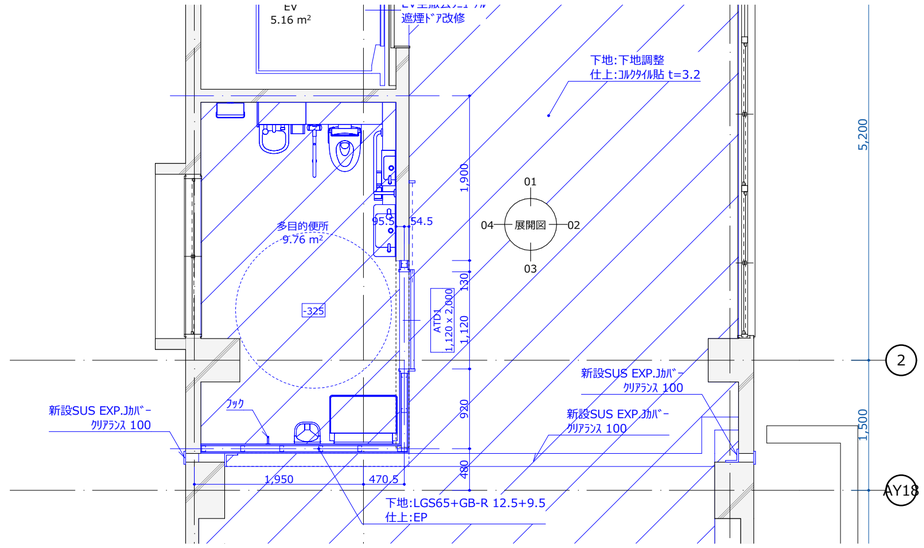


03 1:50

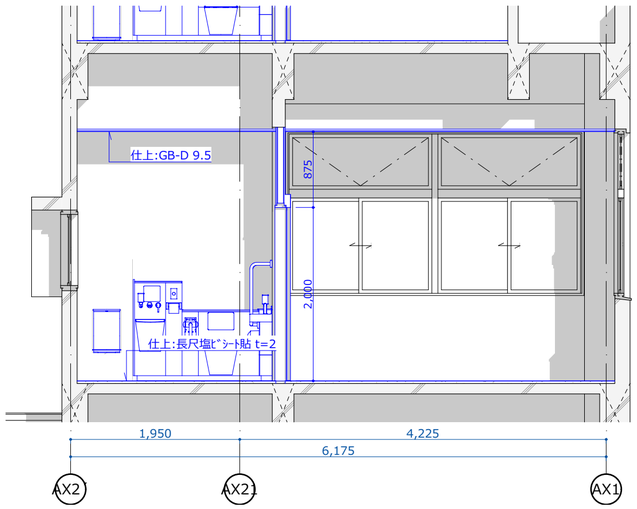


04 1:50

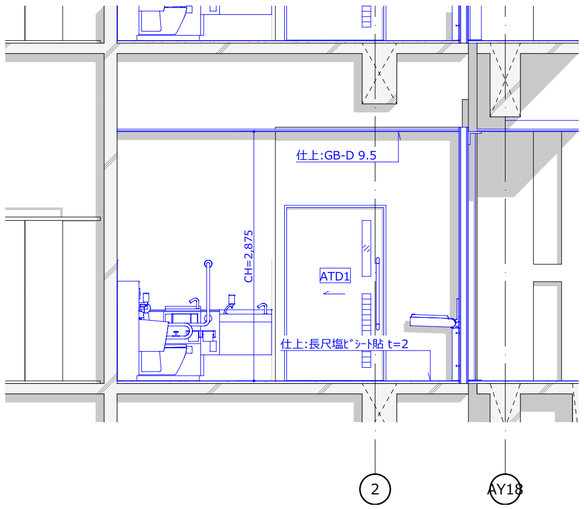
改修後



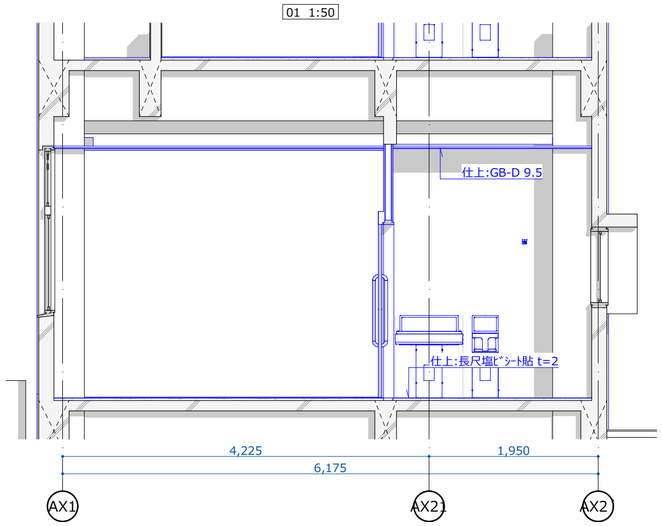
平面図 1:50



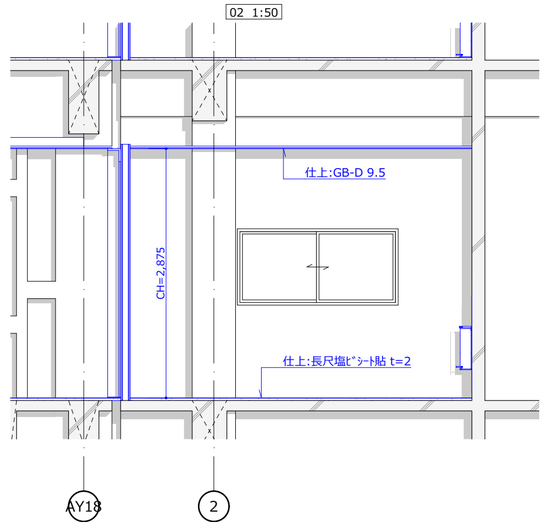
01 1:50



02 1:50



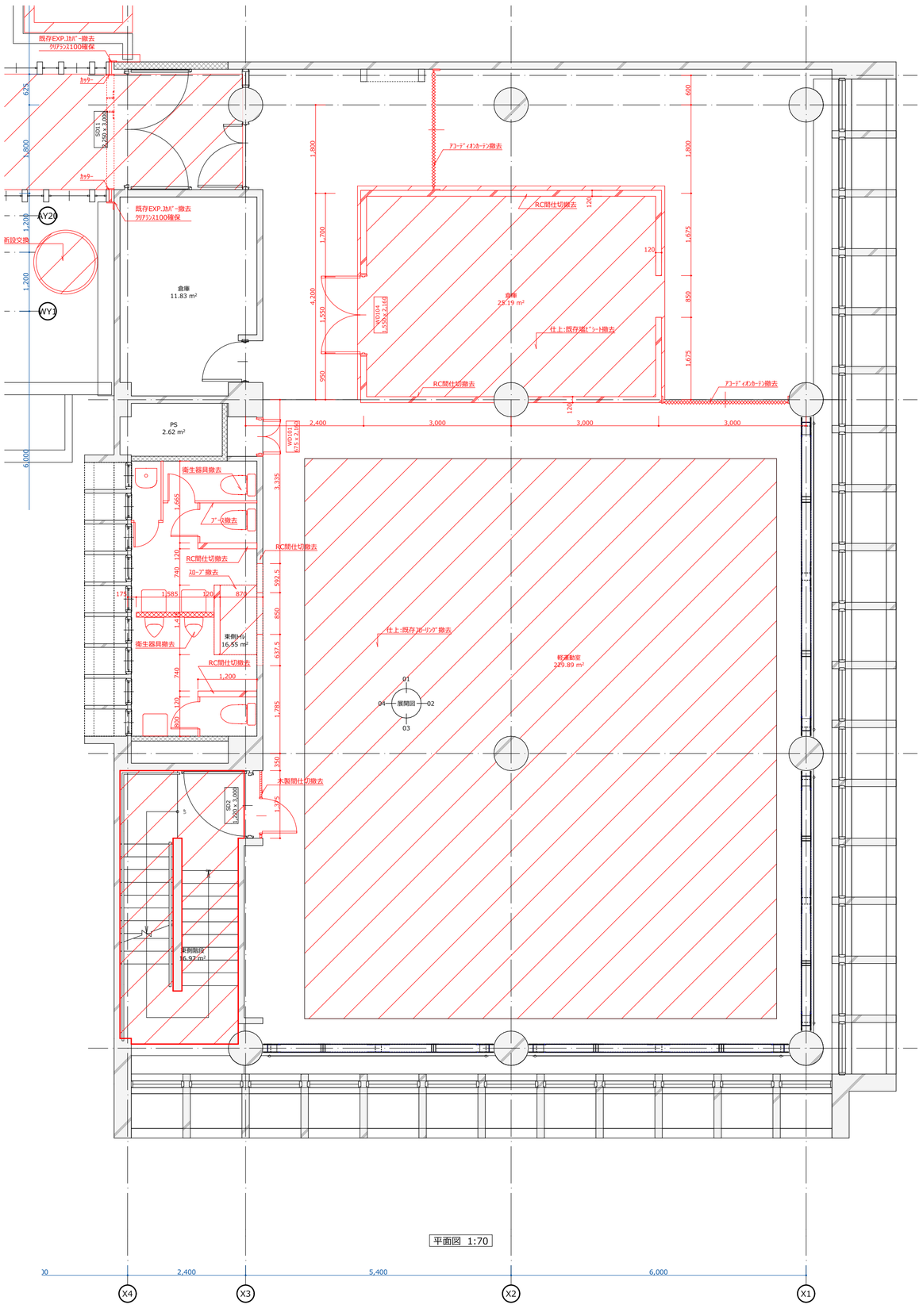
03 1:50

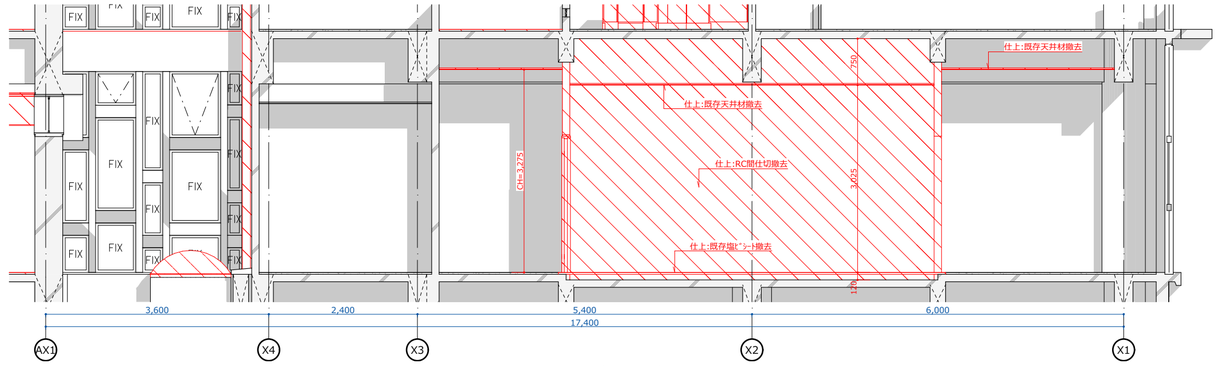


04 1:50

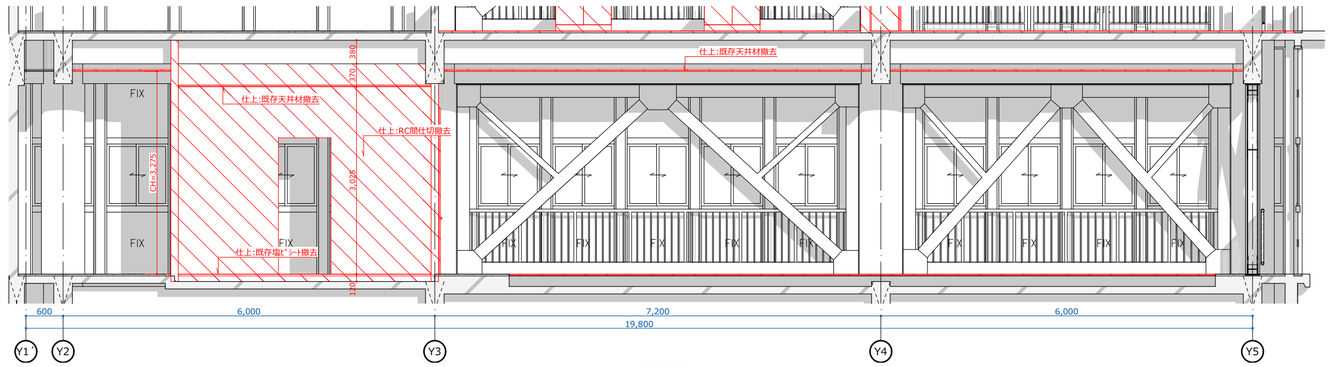
	設計 香山・タニ設計業務共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事 第12399号 香山建築研究所		鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち建築工事	A-46
		一級建築士 第289714号 長谷川祥久	date:2025.07	2階多目的便所改修図 scale: A2 1:50 | A3:71%縮小	

改修前

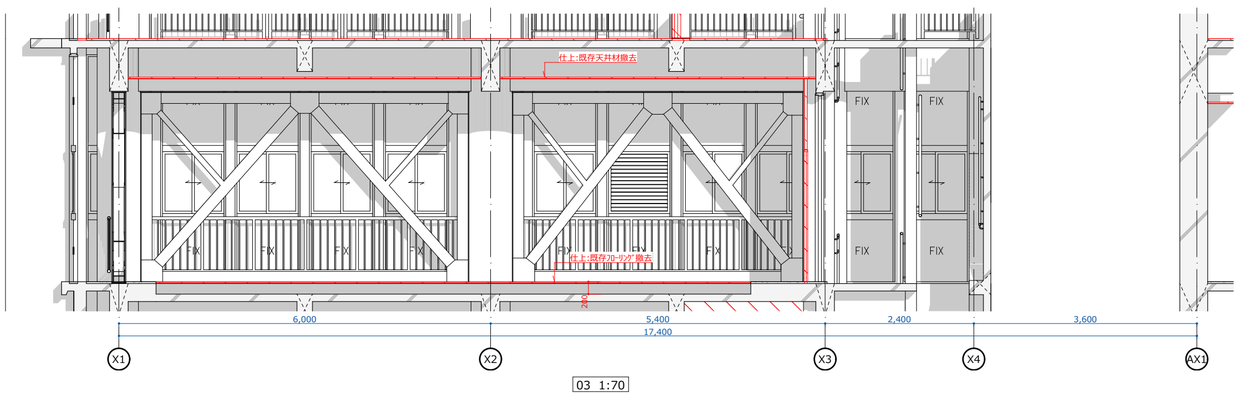




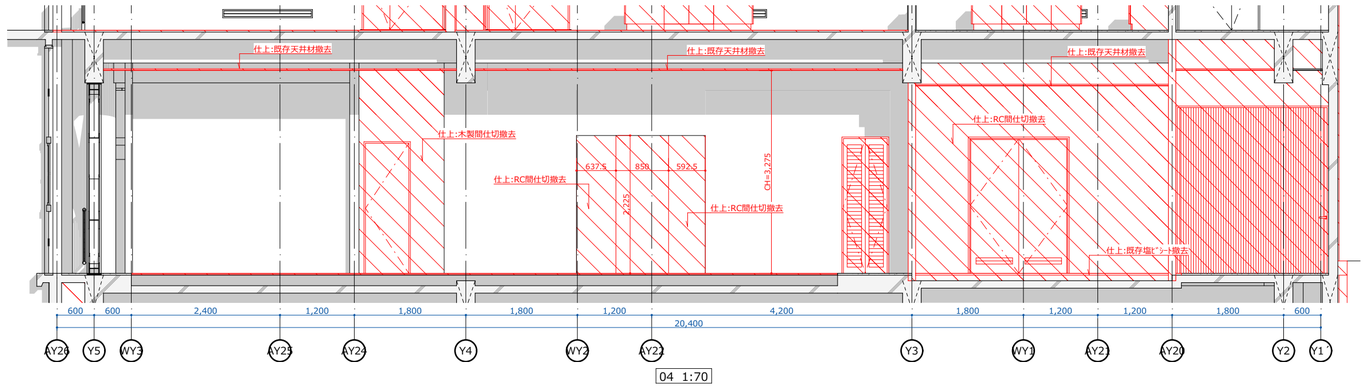
01 1:70



02 1:70



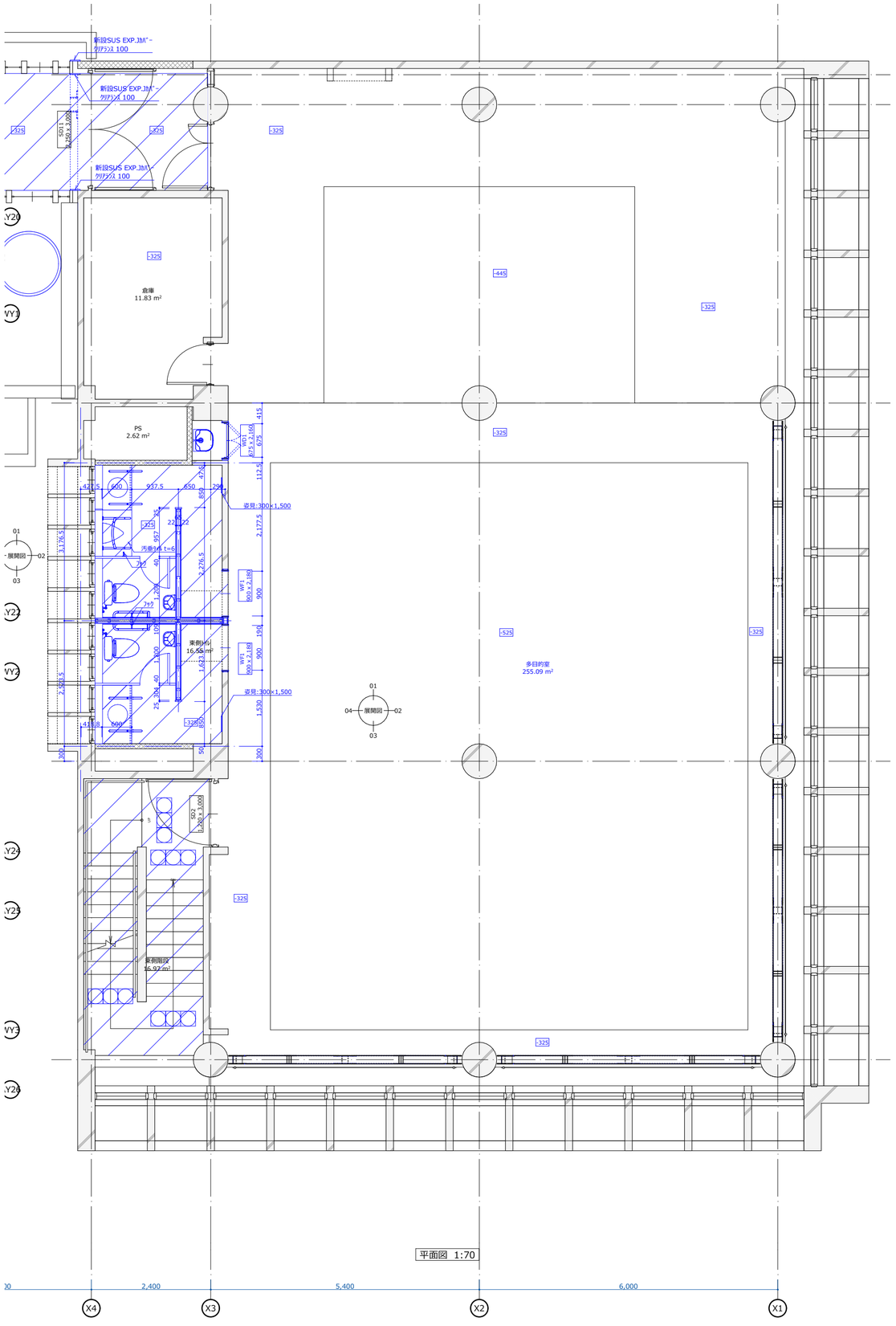
03 1:70

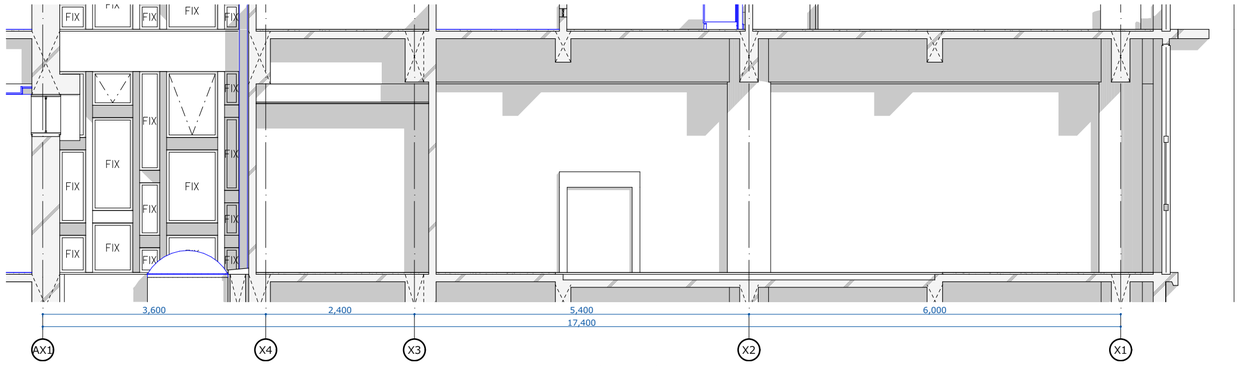


04 1:70

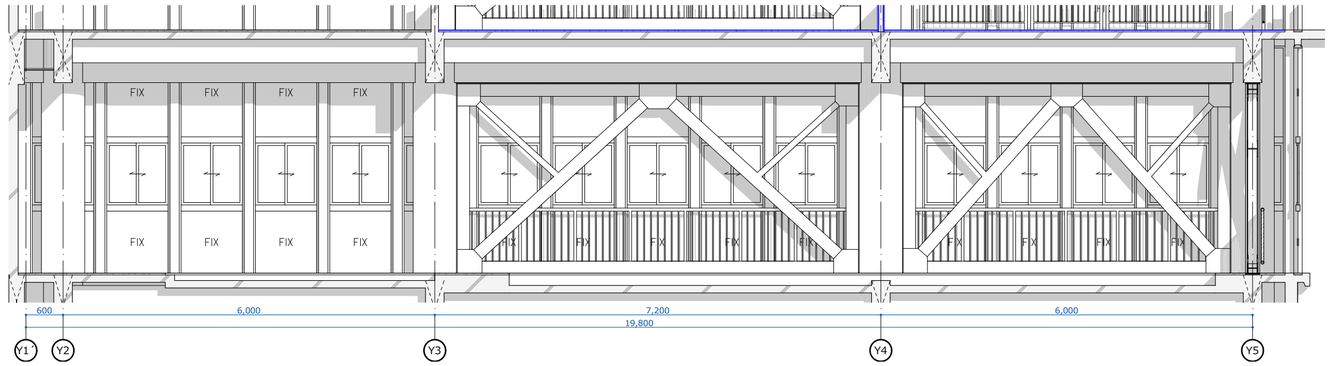
	設計 香山・タニ設計業務共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事 第12399号 香山建築研究所		鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち建築工事	A-47
		一級建築士 第289714号 長谷川祥久	date:2025.07	2階多目的室改修図（改修前） scale: A2 1:70 | A3:71%縮小	

改修後

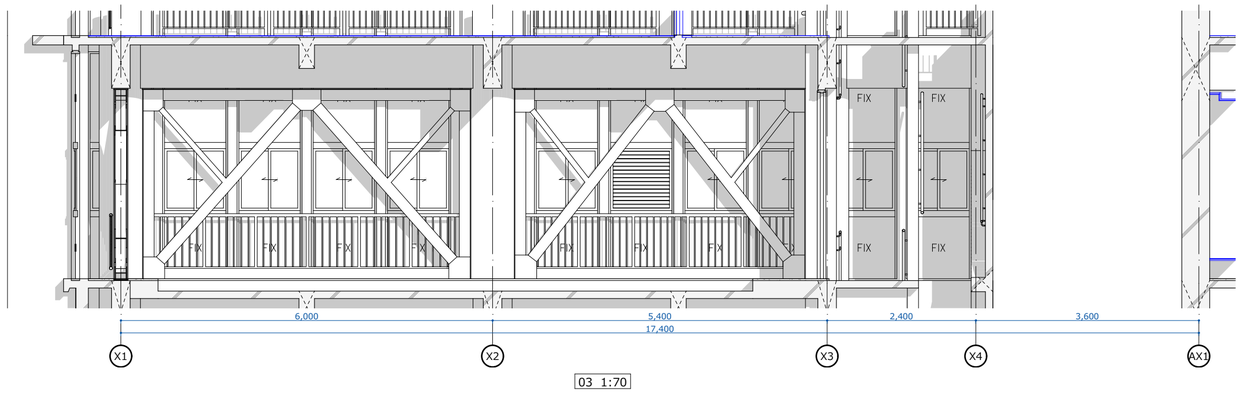




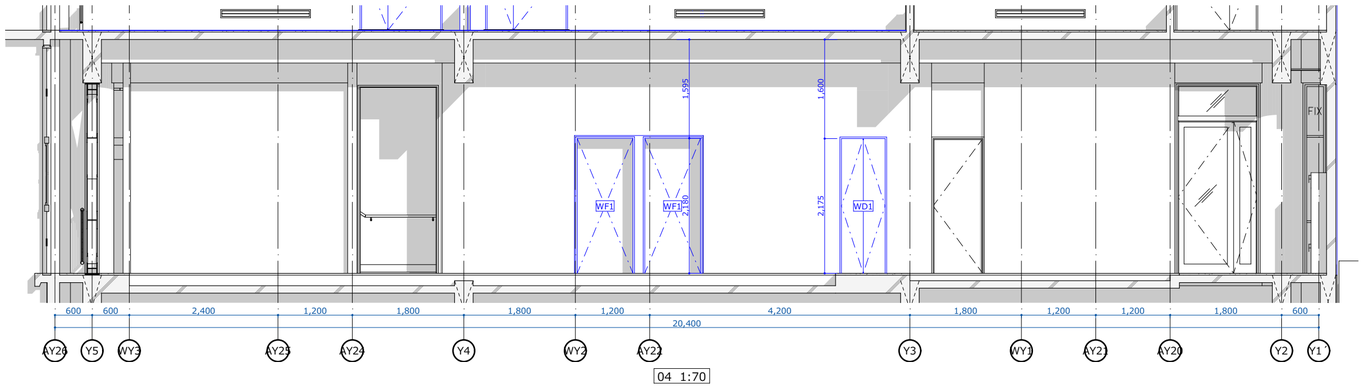
01 1:70



02 1:70



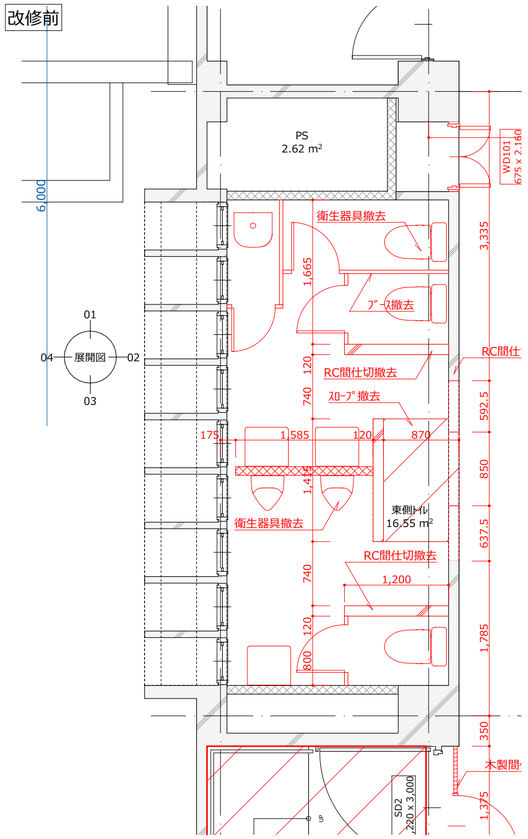
03 1:70



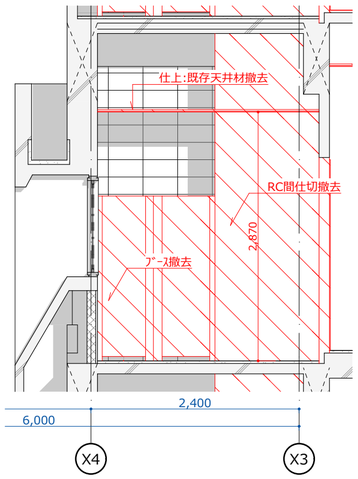
04 1:70

設計	香山・タニ設計業務共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事 第12399号 香山建築研究所		鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち建築工事	A-48
		一級建築士 第289714号 長谷川祥久	date:2025.07	2階多目的室改修図（改修後） scale: A2 1:70 | A3:71%縮小	

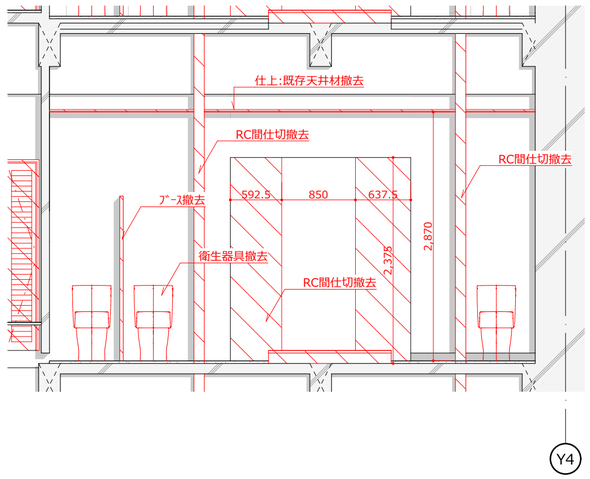
改修前



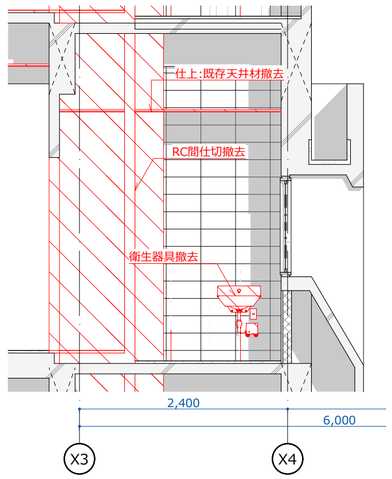
平面図 1:50



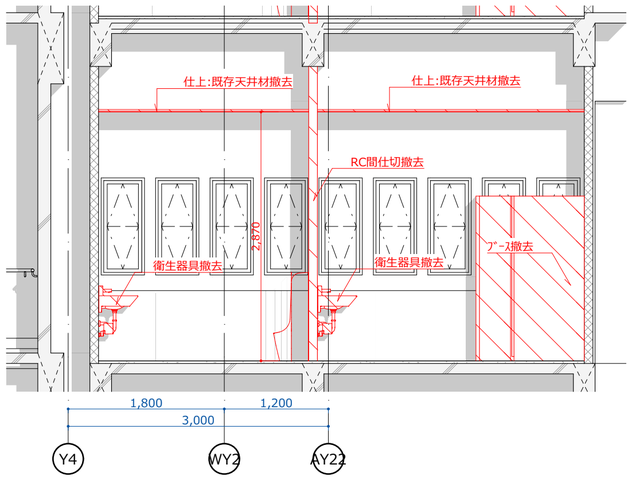
01 1:50



02 1:50

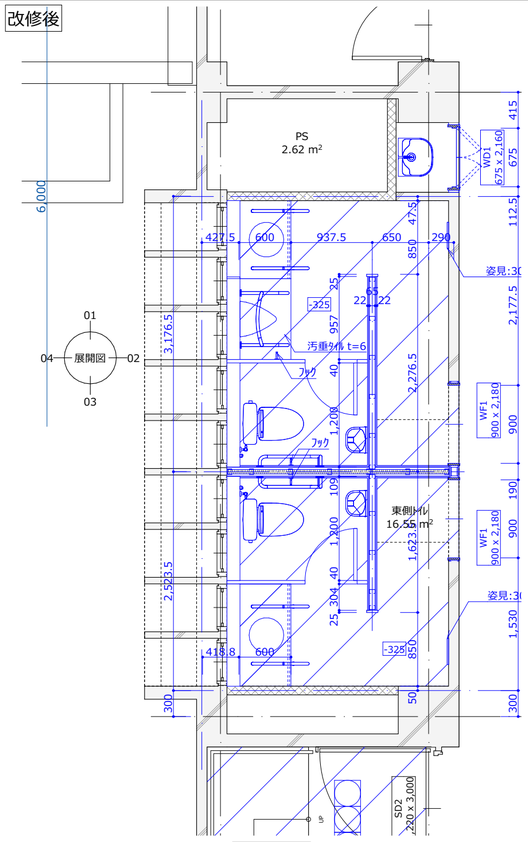


03 1:50

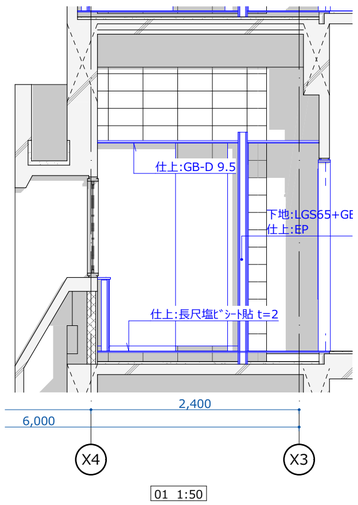


04 1:50

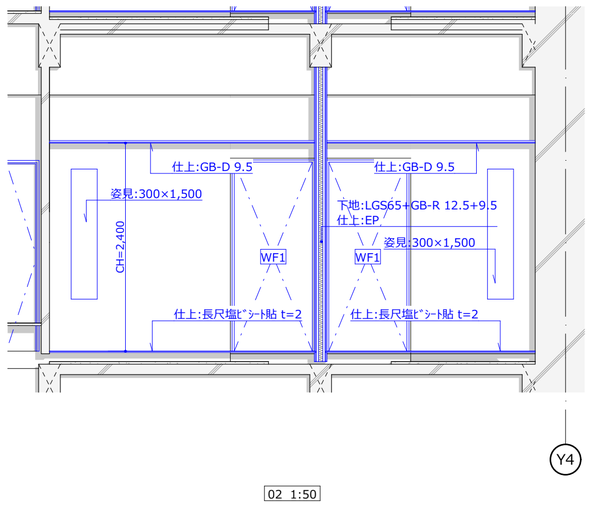
改修後



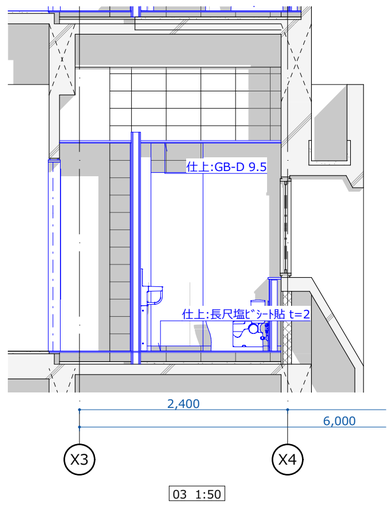
平面図 1:50



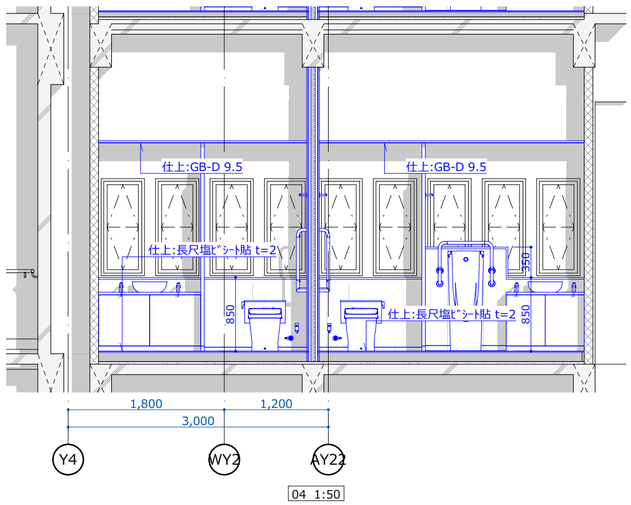
01 1:50



02 1:50



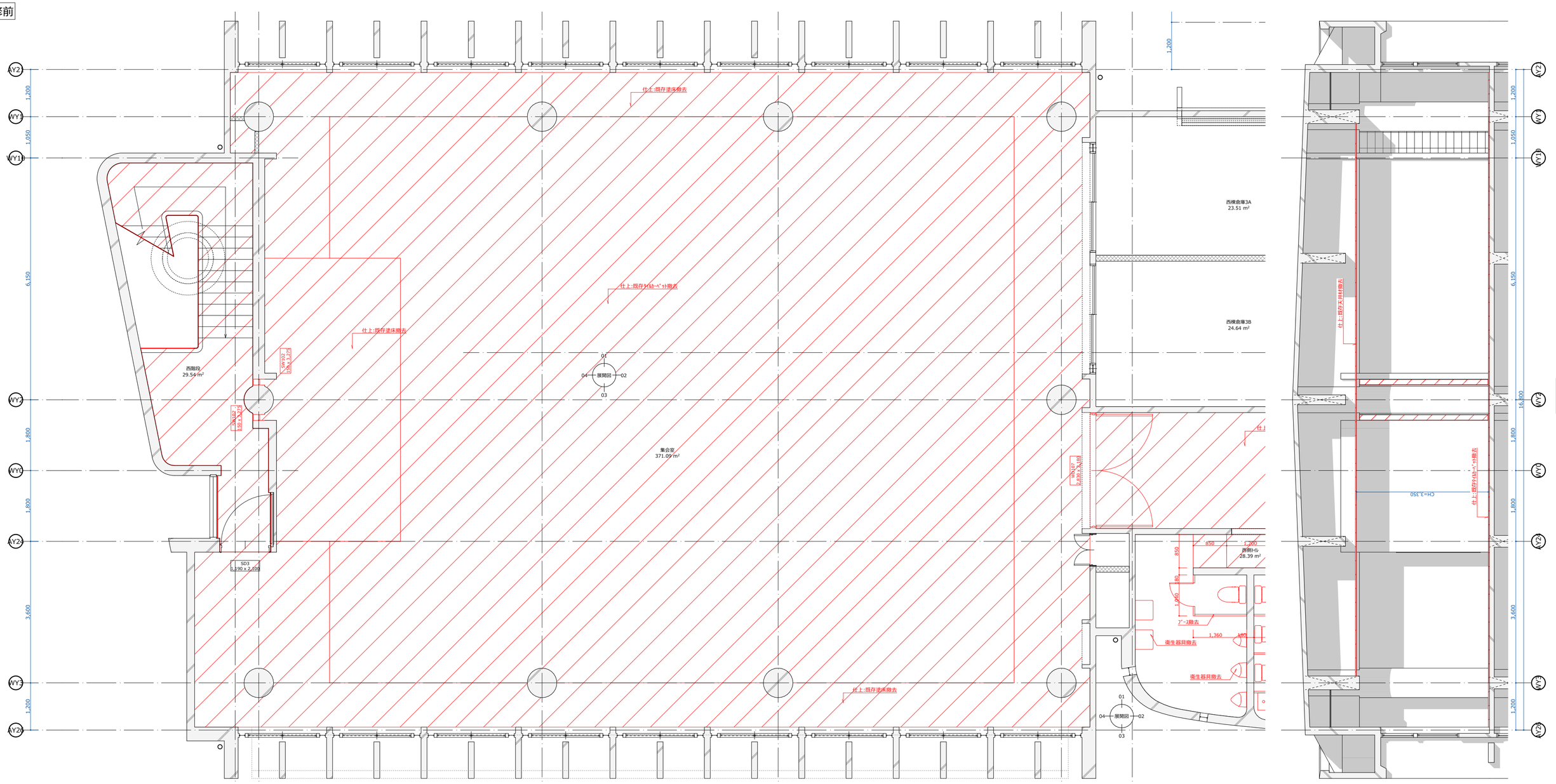
03 1:50



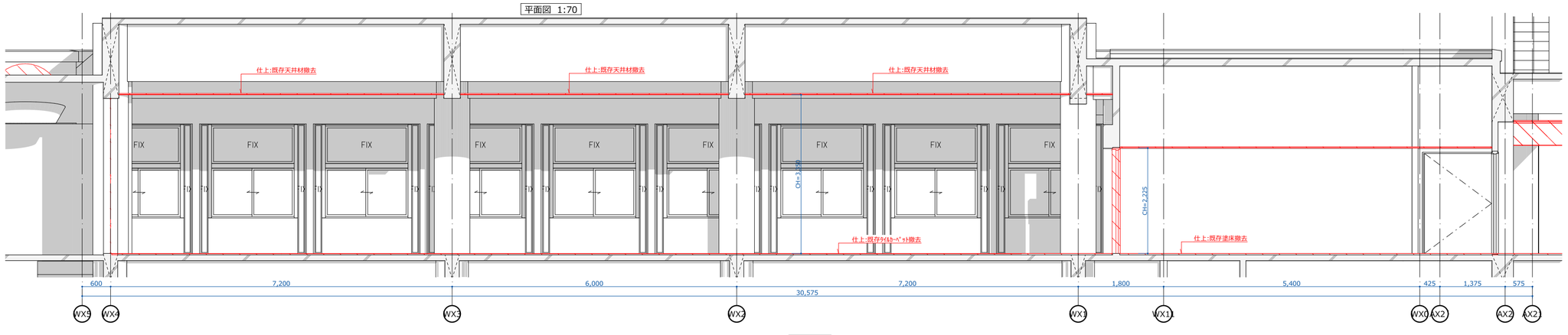
04 1:50

設計 香山・タニ設計業務共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事 第12399号 香山建築研究所 一級建築士 第289714号 長谷川祥久		鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち建築工事	A-49
		date:2025.07	2階東側便所改修図	scale: A2 1:50 | A3:71%縮小

改修前



平面図 1:70

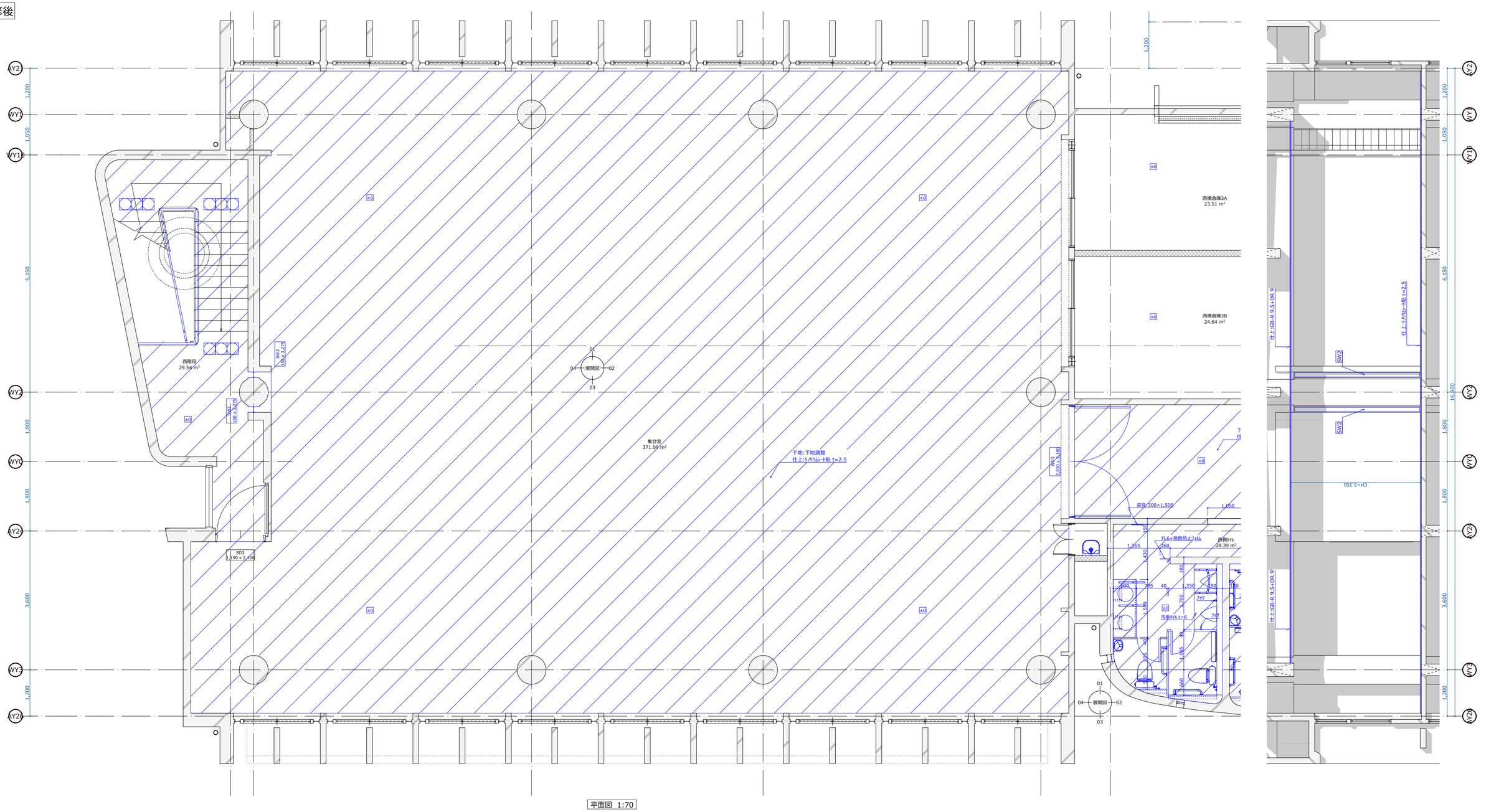


01 1:70

04 1:70

設計	香山・タニ設計業務共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事 第12399号 香山建築研究所		鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち建築工事	A-50
		一級建築士 第289714号 長谷川祥久	date:2025.07	3階集会室改修図（改修前） scale: A2 1:70 | A3:71%縮小	

改修後



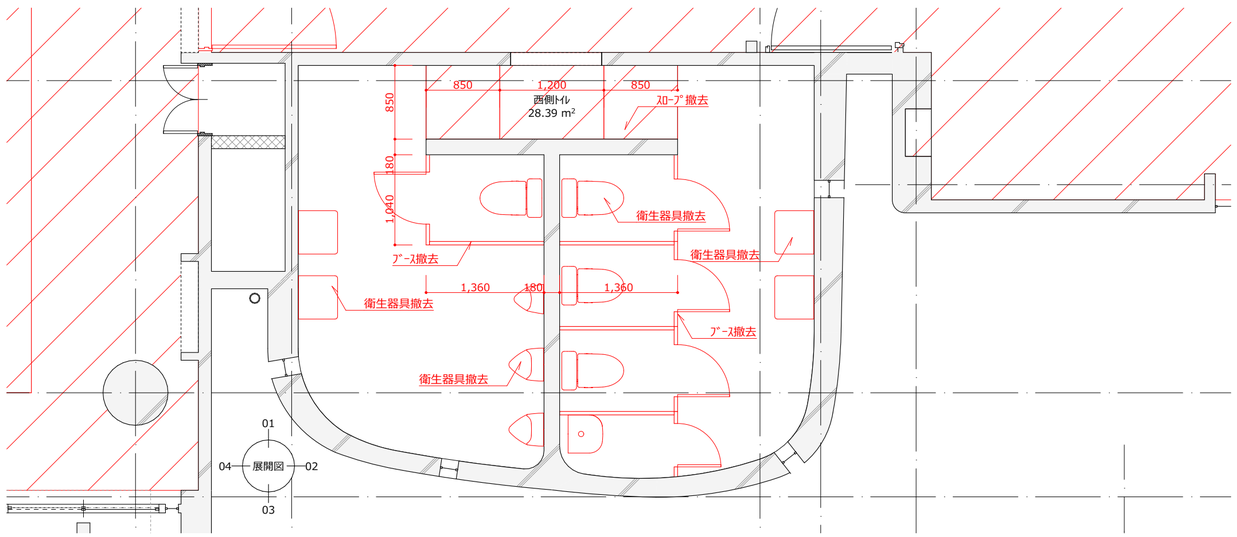
平面図 1:70

01 1:70

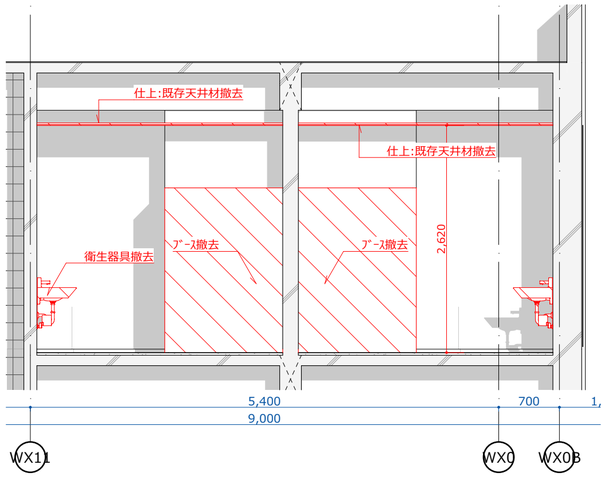
04 1:70

設計	香山・タニ設計業務共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事 第12399号 香山建築研究所		鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち建築工事	A-51
		一級建築士 第289714号 長谷川祥久	date:2025.07	3階集会室改修図（改修後） scale: A2 1:70 | A3:71%縮小	

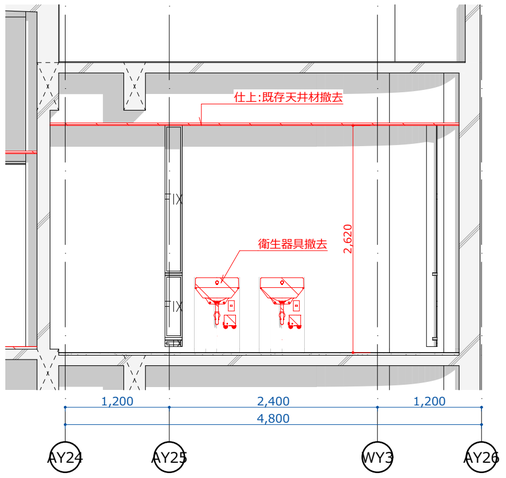
改修前



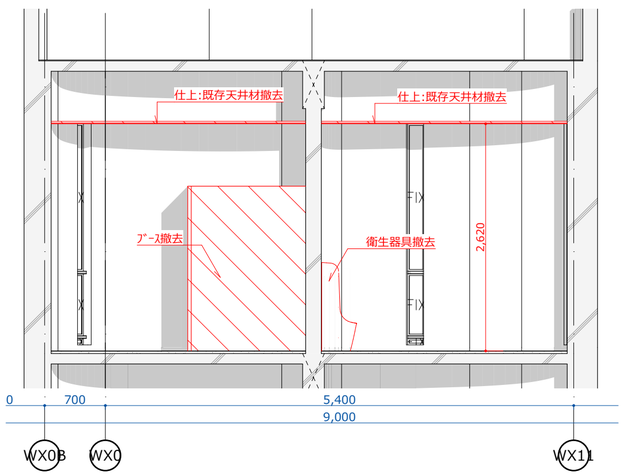
平面図 1:50



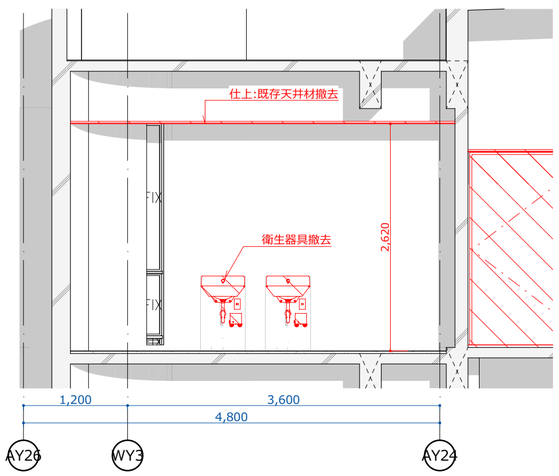
01 1:50



02 1:50

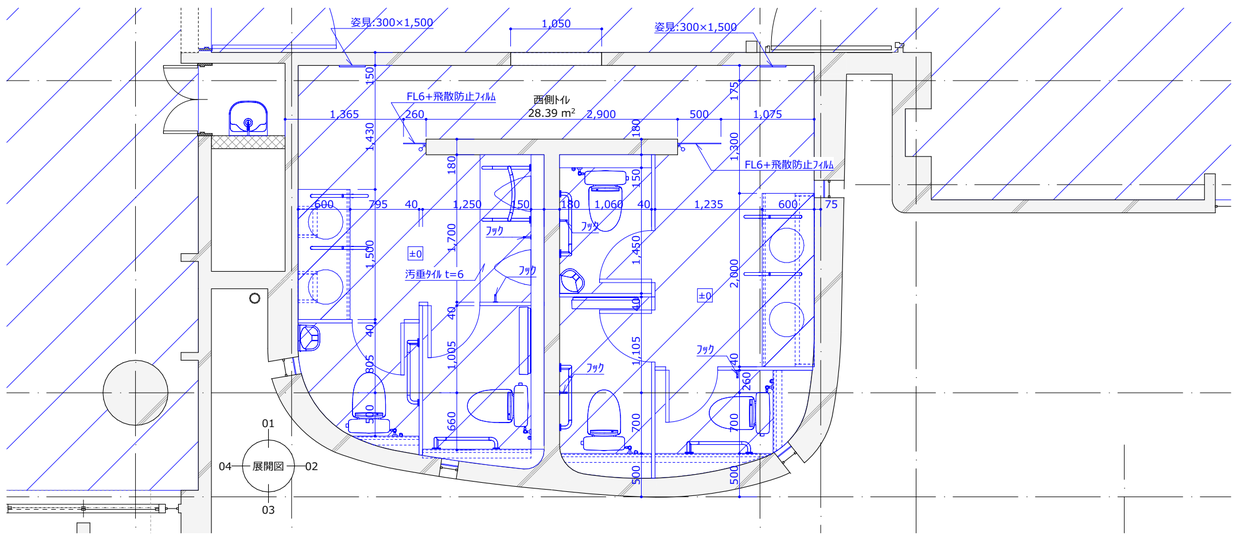


03 1:50

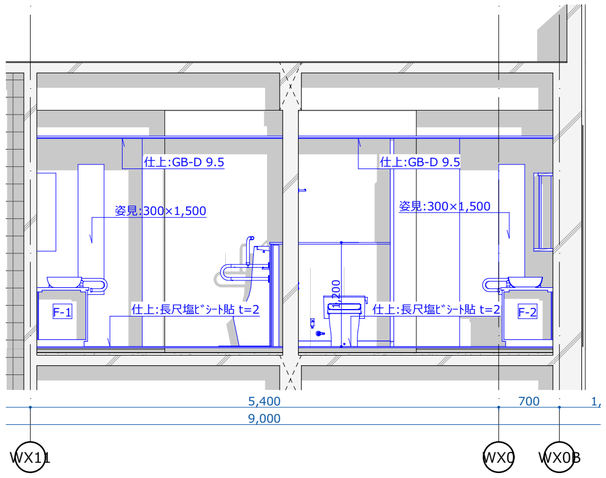


04 1:50

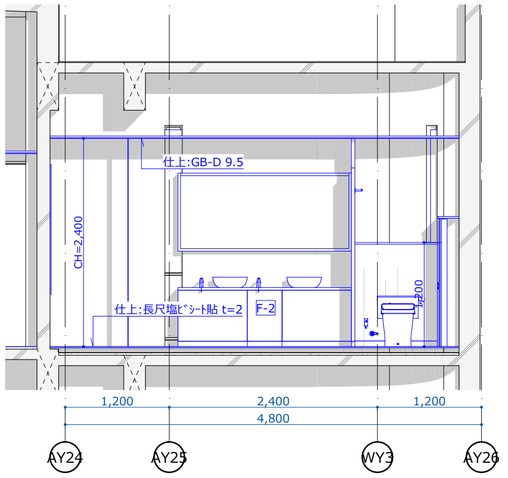
改修後



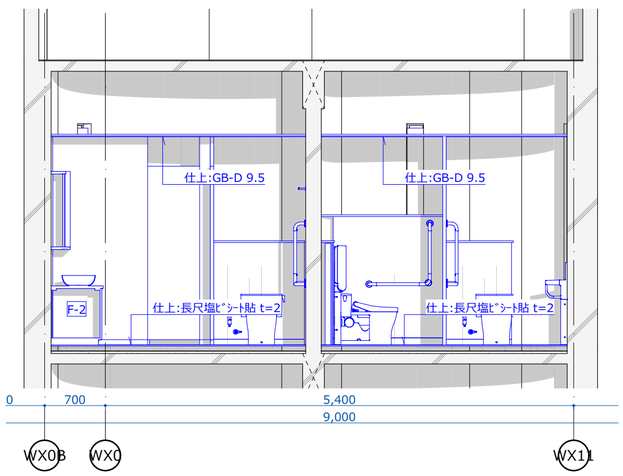
平面図 1:50



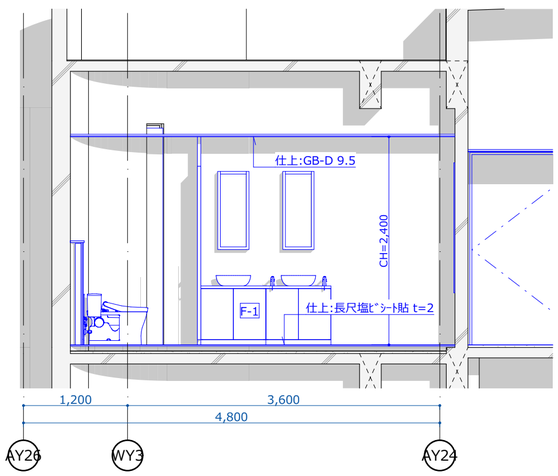
01 1:50



02 1:50



03 1:50

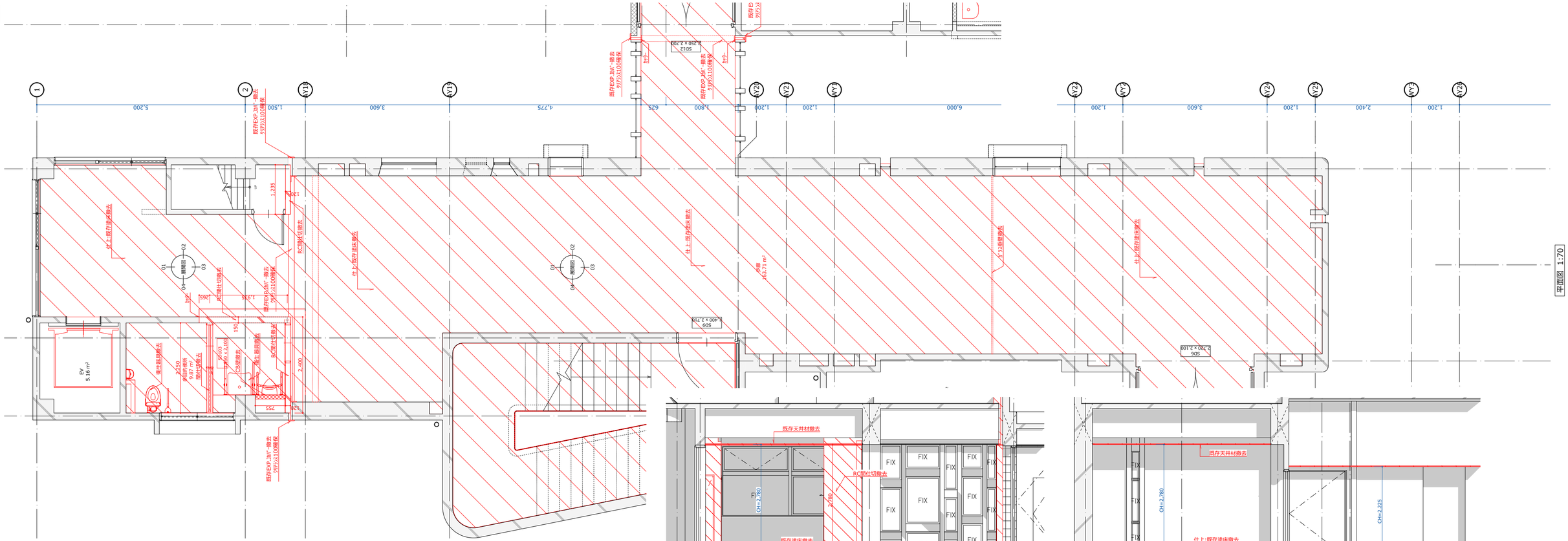


04 1:50

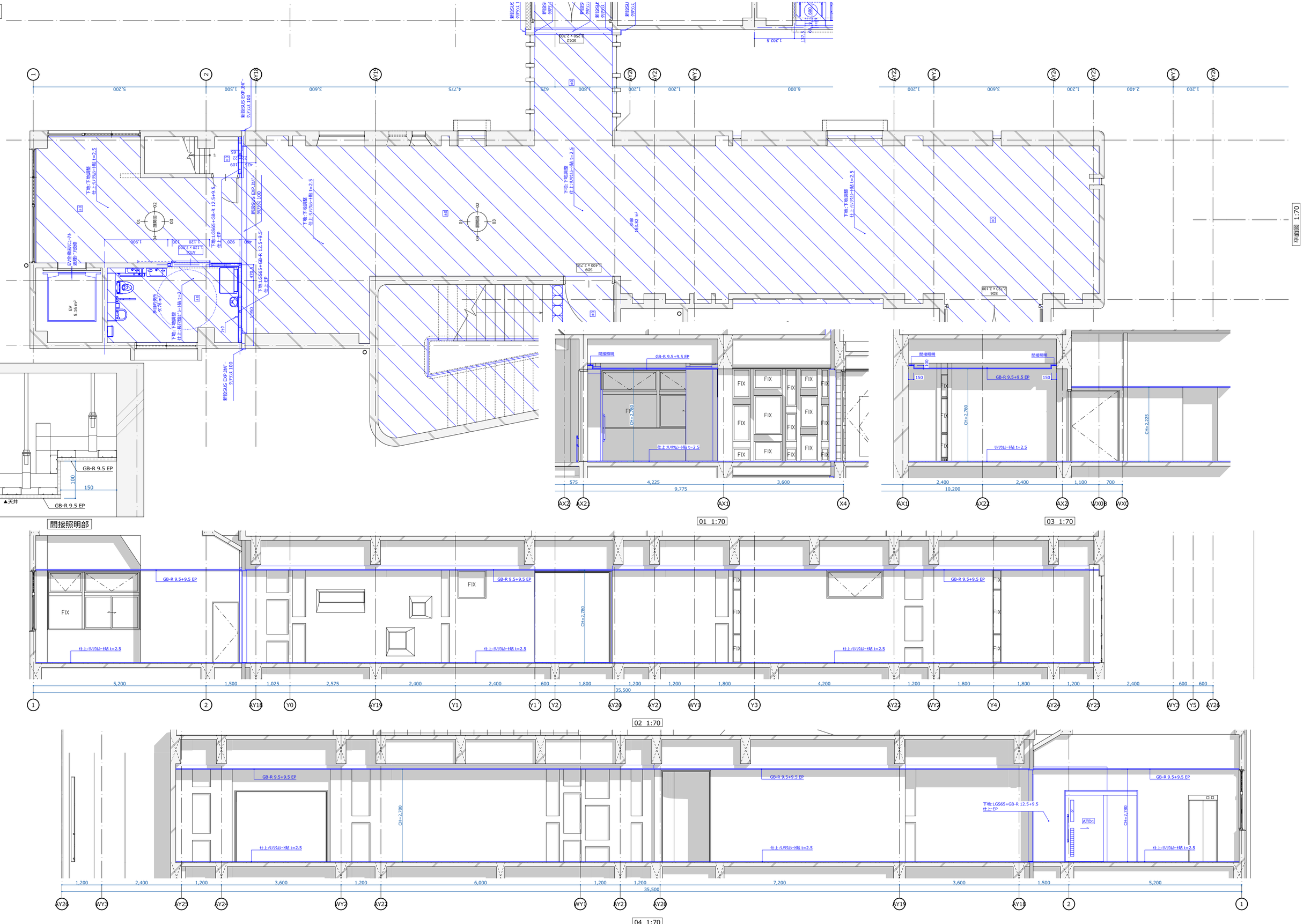
	設計 香山・タニ設計業務共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事 第12399号 香山建築研究所		鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち建築工事	A-52
		一級建築士 第289714号 長谷川祥久	date:2025.07	3階西側便所改修図 scale: A2 1:50 | A3:71%縮小	

改修前

平面図 1:70

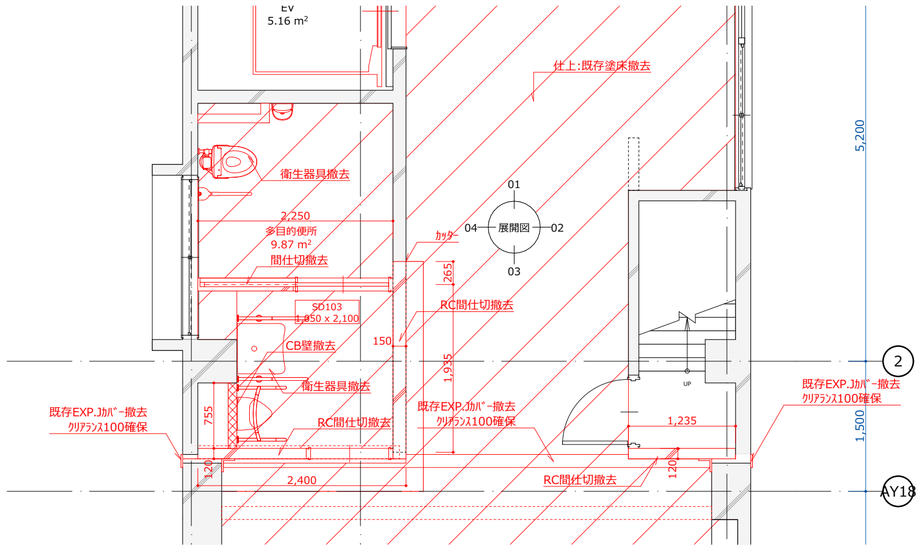

EV
5.16 ㎡
多目的便所
9.87 ㎡
既存EXP.J撤去
ｶﾞﾗｽ入扉撤去
既存天井材撤去
仕上:既存塗床撤去
RC間仕切撤去
既存ｶﾞﾗｽ入扉撤去
既存ｶﾞﾗｽ入ﾊﾟﾈﾙ

改修後

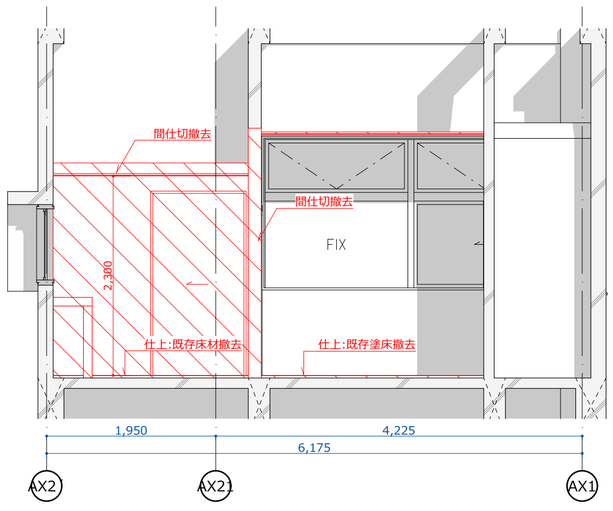


	設計 香山・タニ設計業務共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事 第12399号 香山建築研究所		鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち建築工事	A-54
		一級建築士 第289714号 長谷川祥久	date:2025.07	3階歩廊改修図（改修後） scale: A2 1:70 | A3:71%縮小	

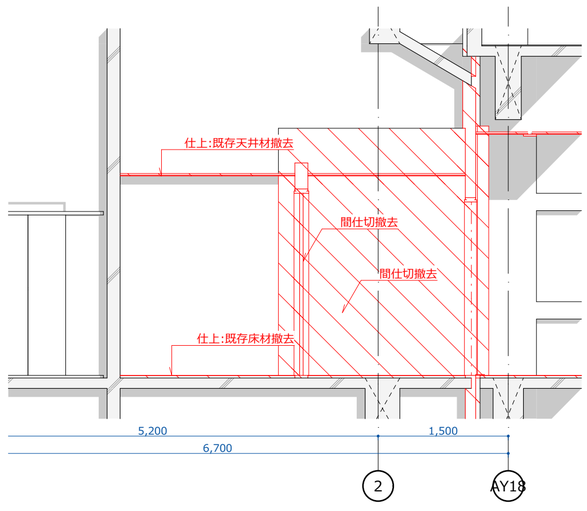
改修前



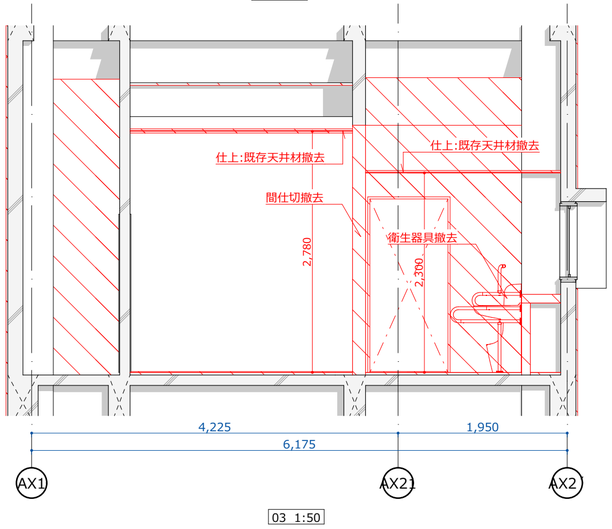
平面図 1:50



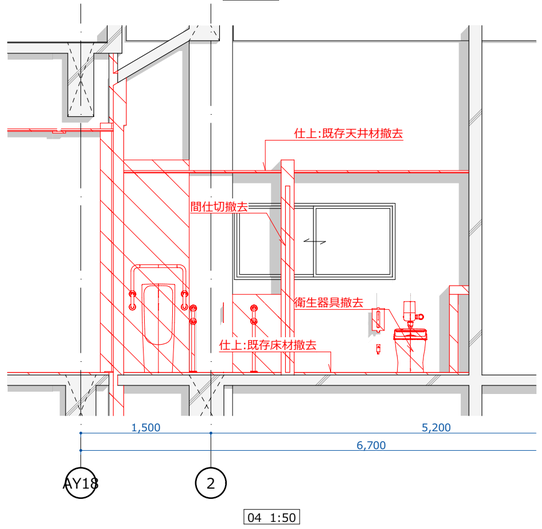
01 1:50



02 1:50

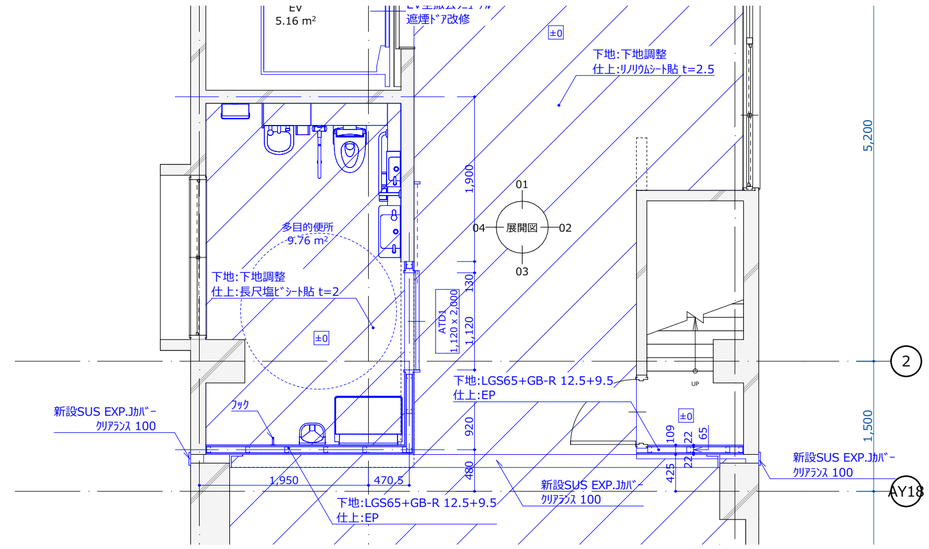


03 1:50

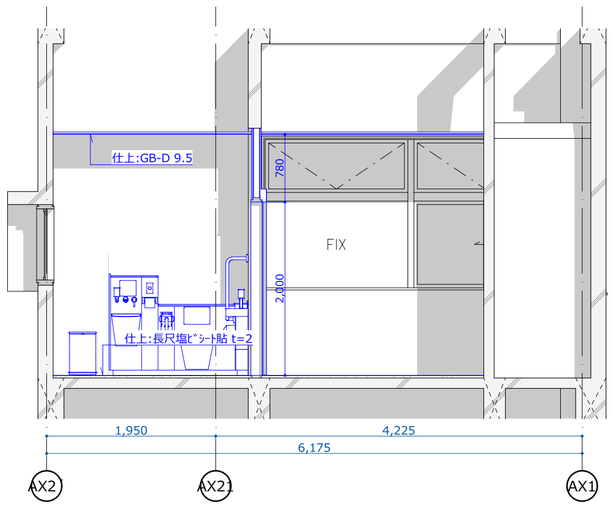


04 1:50

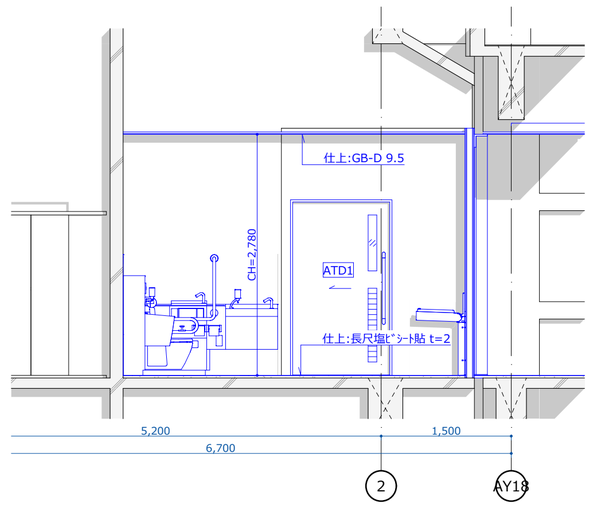
改修後



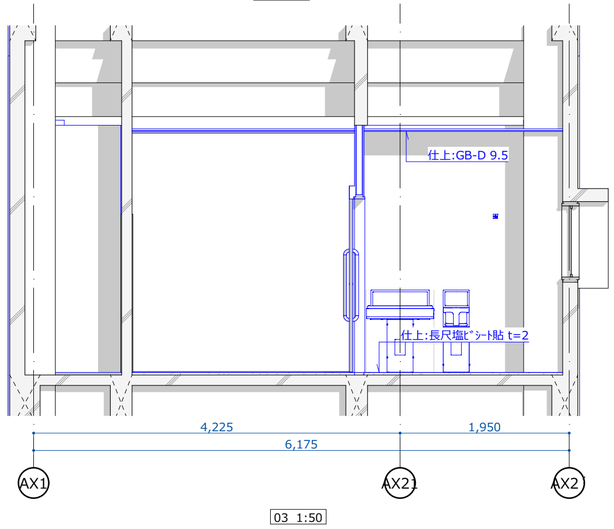
平面図 1:50



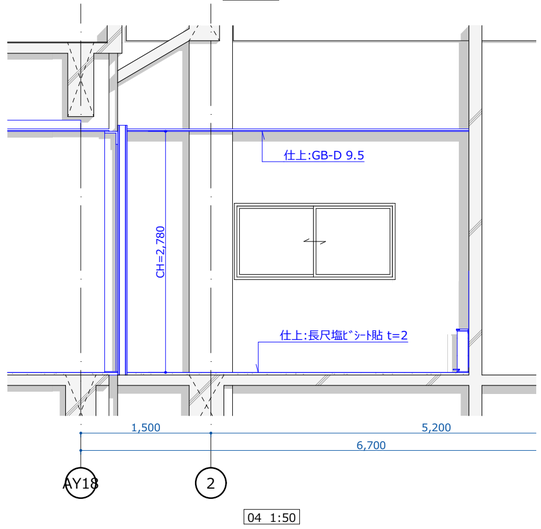
01 1:50



02 1:50



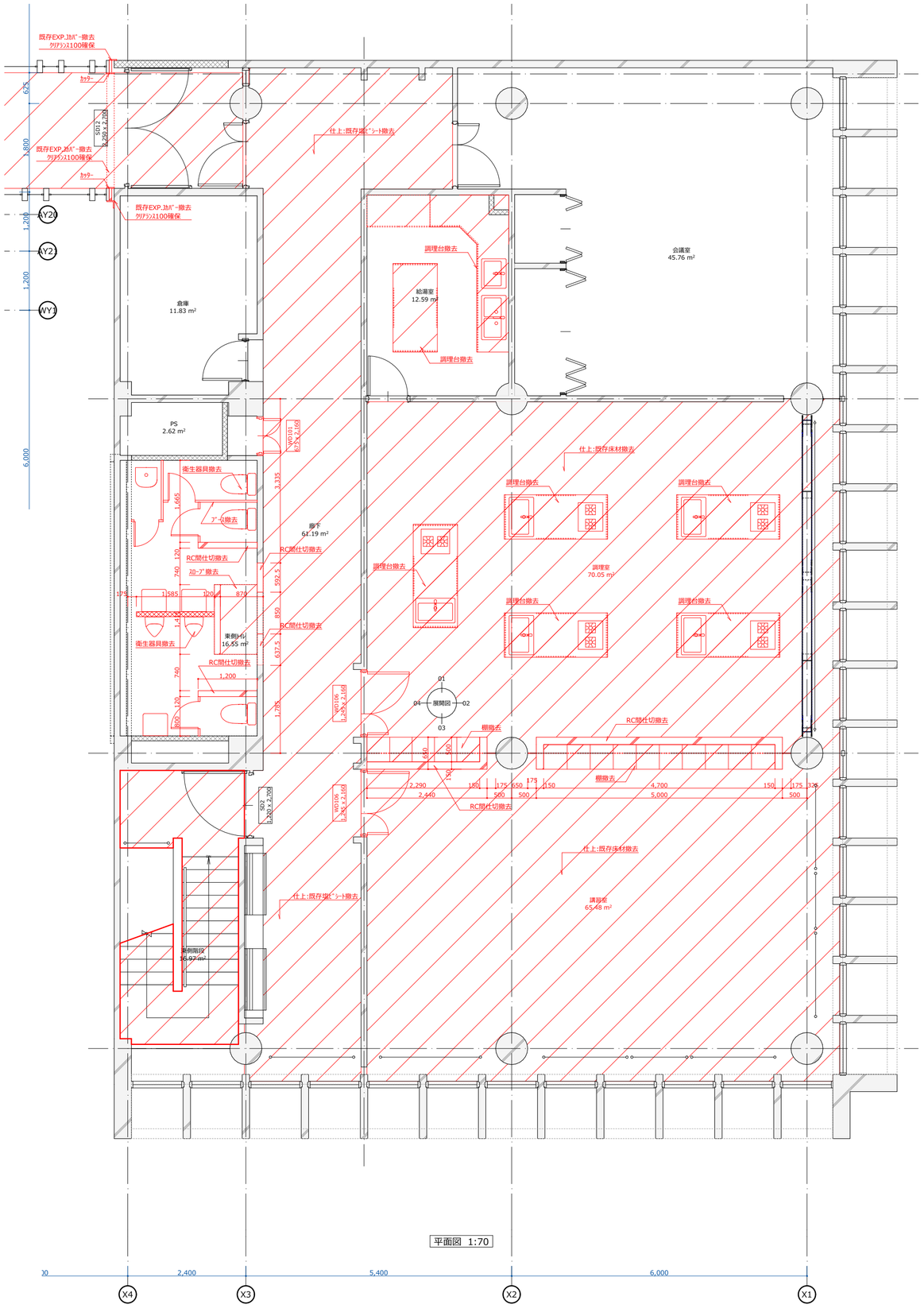
03 1:50



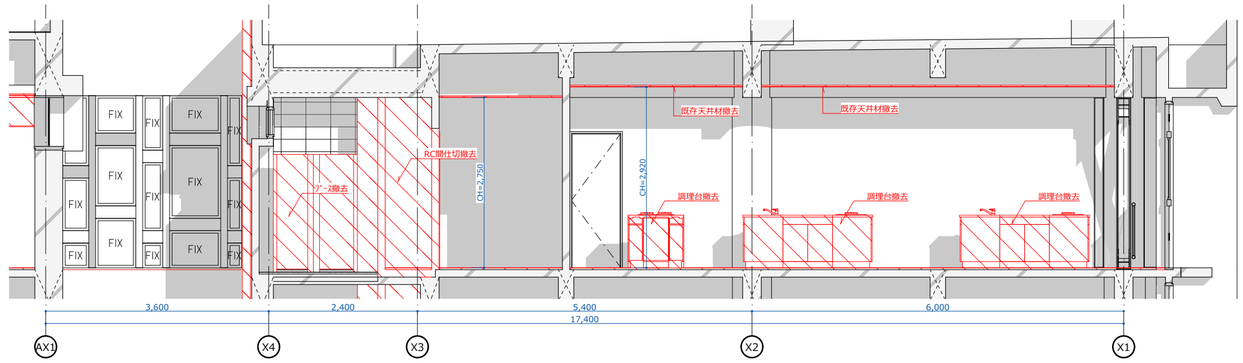
04 1:50

	設計 香山・タニ設計業務共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事 第12399号 香山建築研究所		鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち建築工事	A-55
		一級建築士 第289714号 長谷川祥久	date:2025.07	3階多目的便所改修図 scale: A2 1:50 | A3:71%縮小	

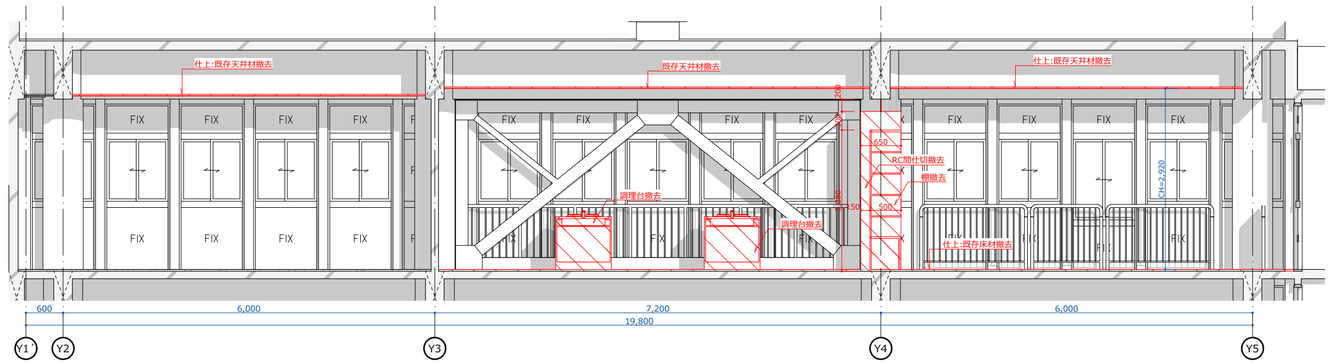
改修前



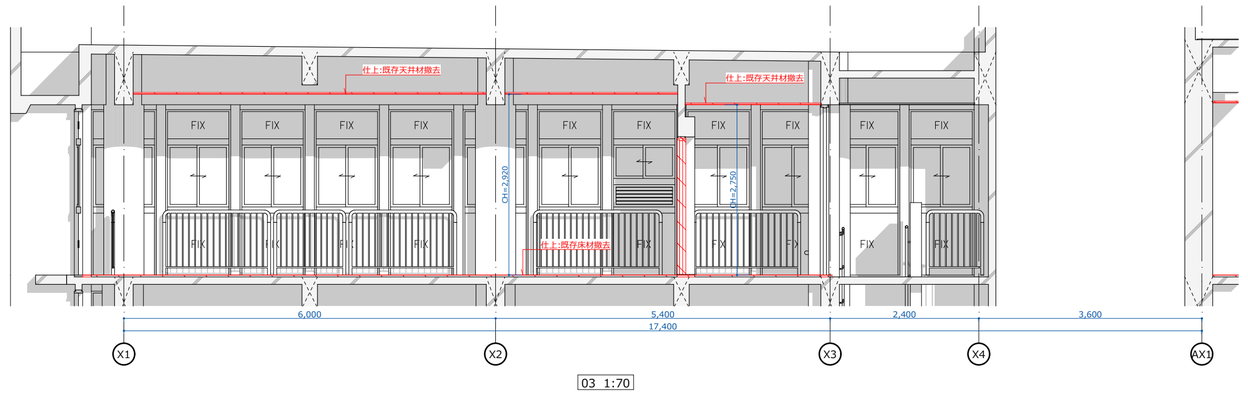
平面図 1:70



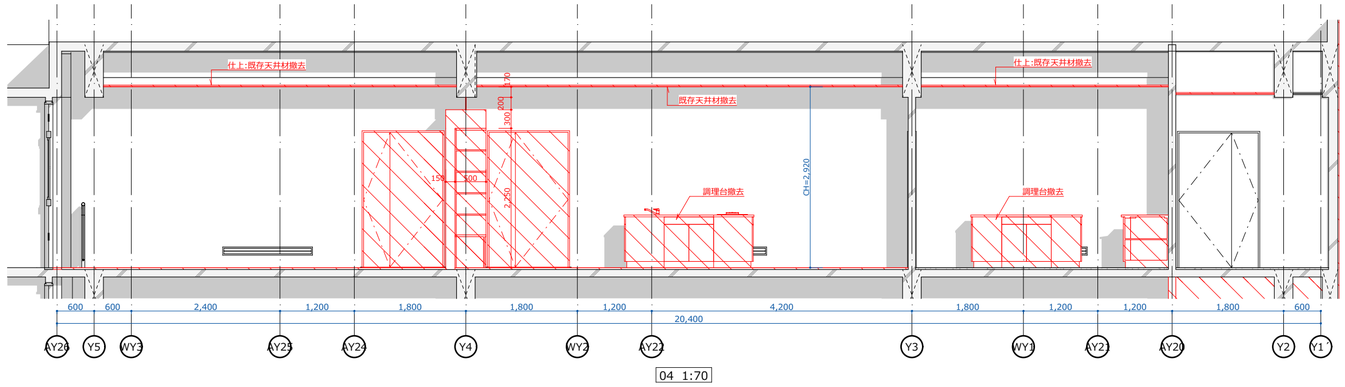
01 1:70



02 1:70



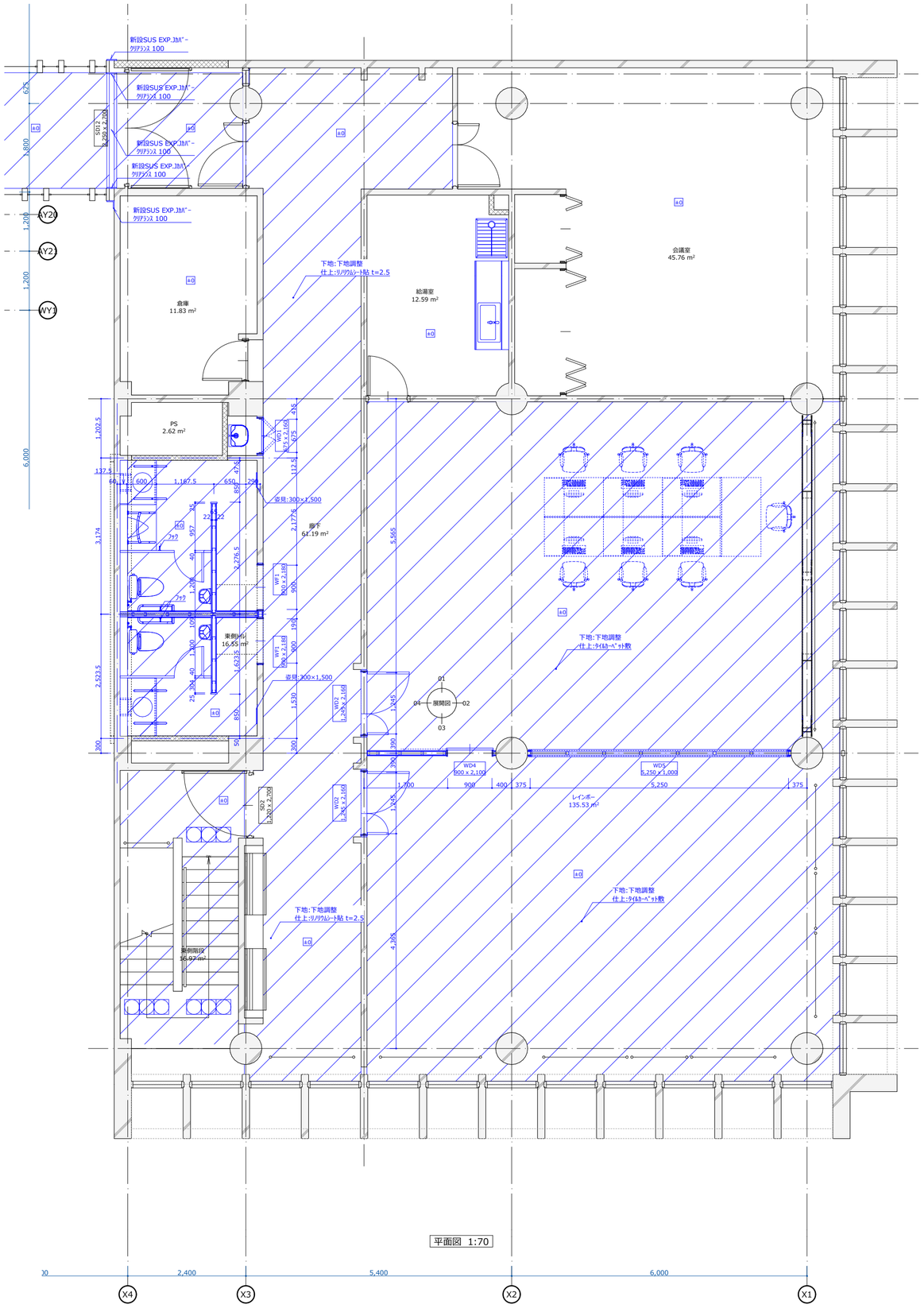
03 1:70

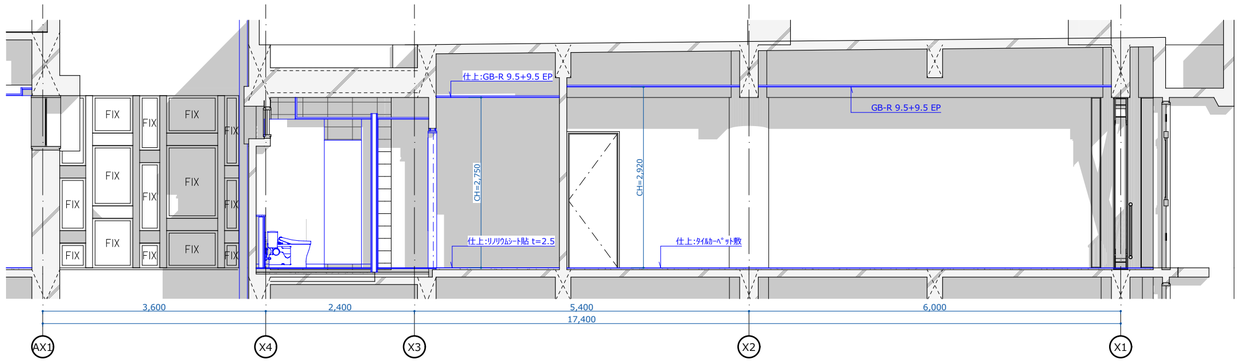


04 1:70

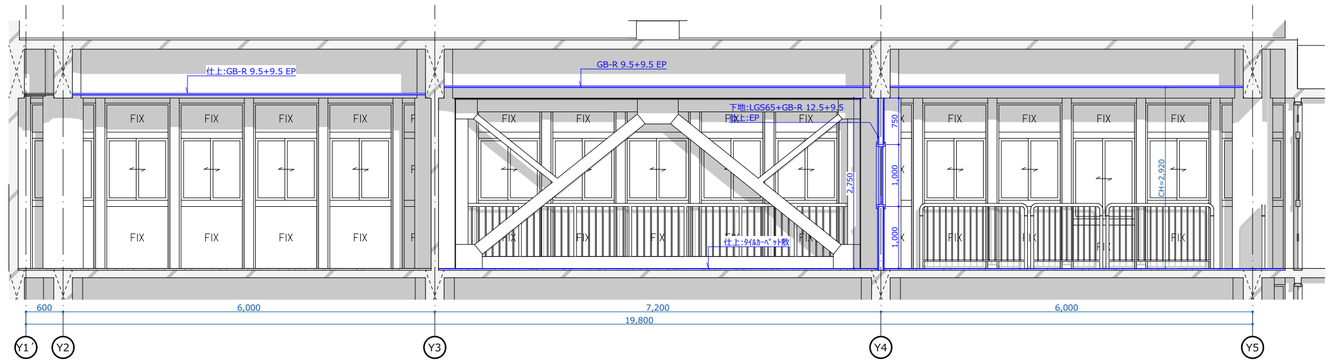
	設計 香山・タニ設計業務共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事 第12399号 香山建築研究所		鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち建築工事	A-56
		一級建築士 第289714号 長谷川祥久	date:2025.07	3階レインボー事務室改修図（改修前） scale: A2 1:70 | A3:71%縮小	

改修後

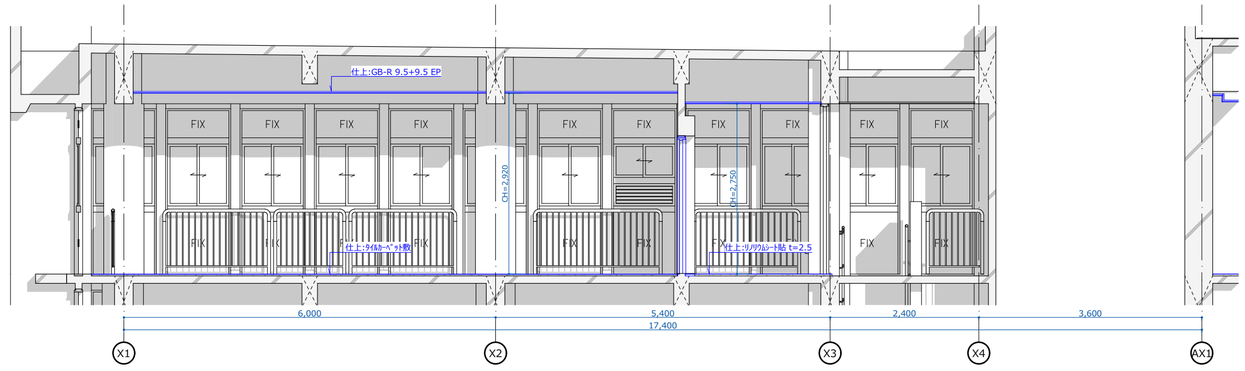




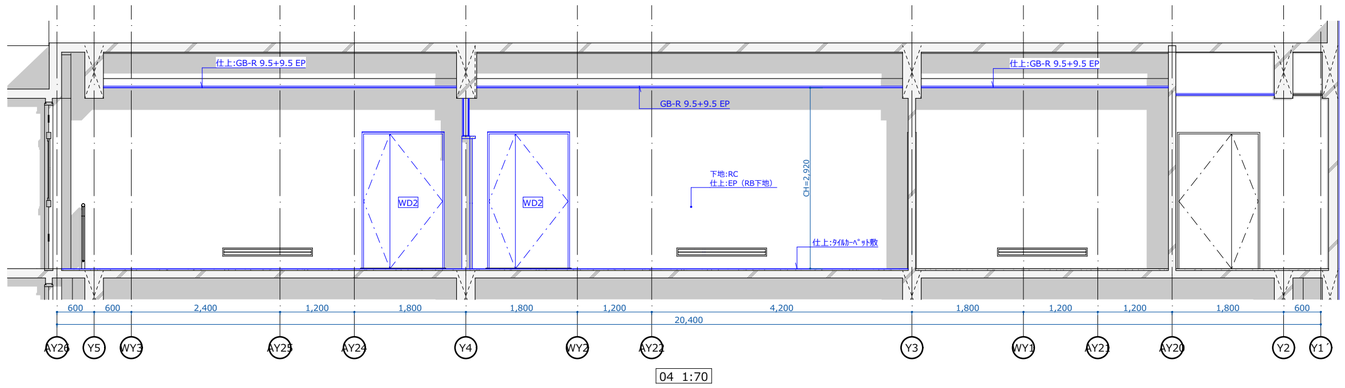
01 1:70



02 1:70



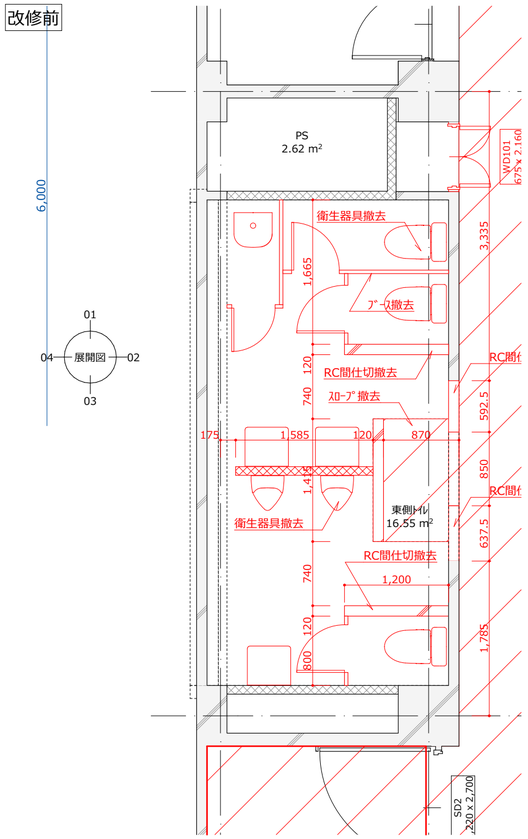
03 1:70



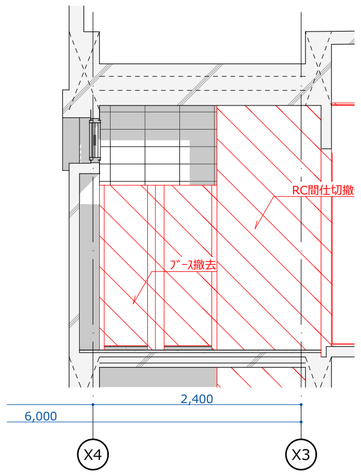
04 1:70

	設計 香山・タニ設計業務共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事 第12399号 香山建築研究所		鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち建築工事	A-57
		一級建築士 第289714号 長谷川祥久	date:2025.07	3階レインボー事務室改修図（改修後） scale: A2 1:70 | A3:71%縮小	

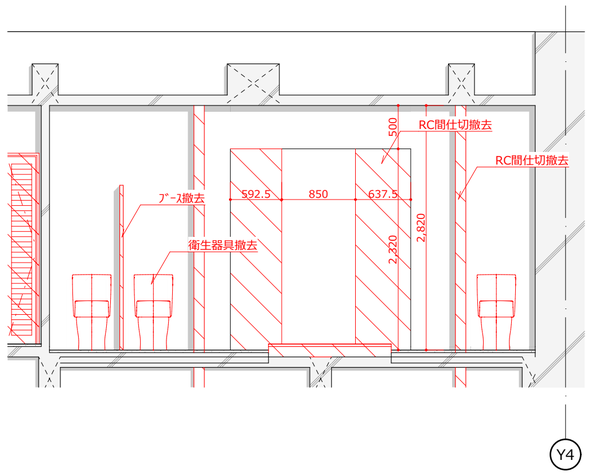
改修前



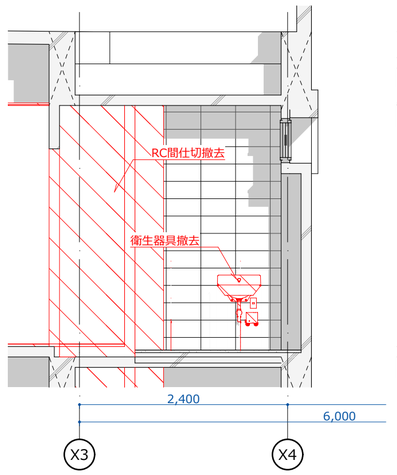
平面図 1:50



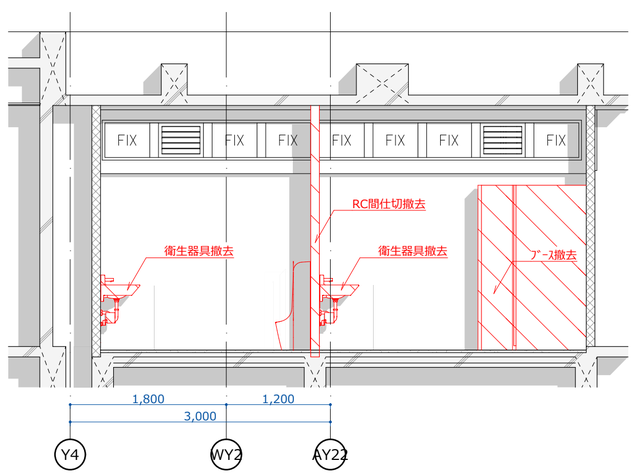
01 1:50



02 1:50

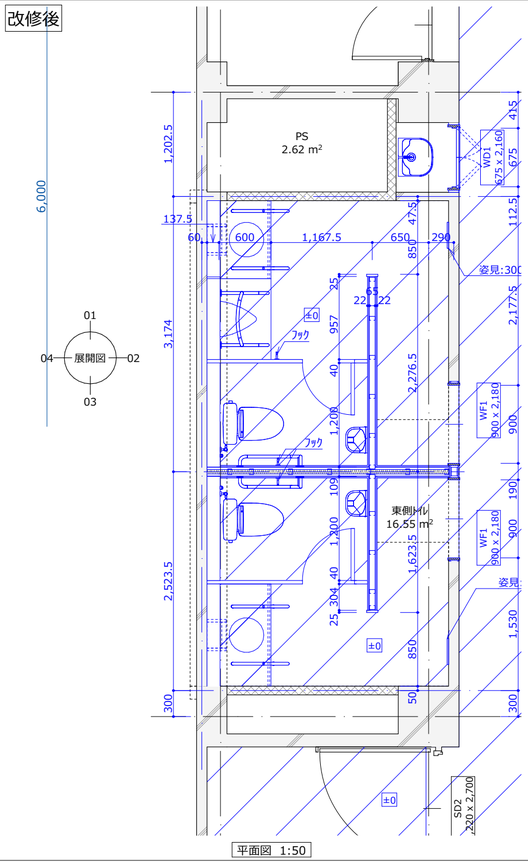


03 1:50

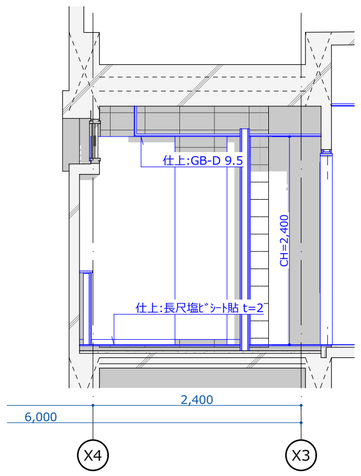


04 1:50

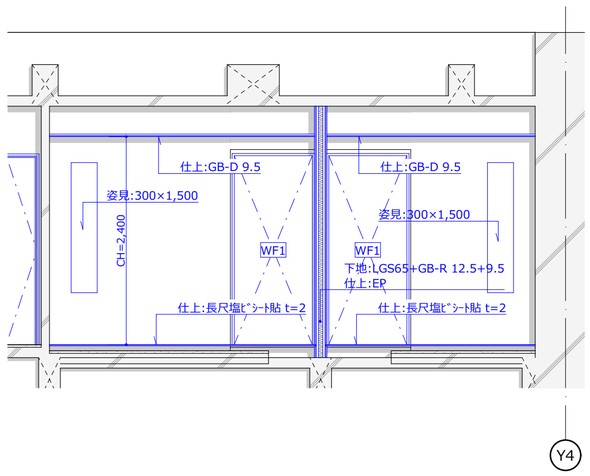
改修後



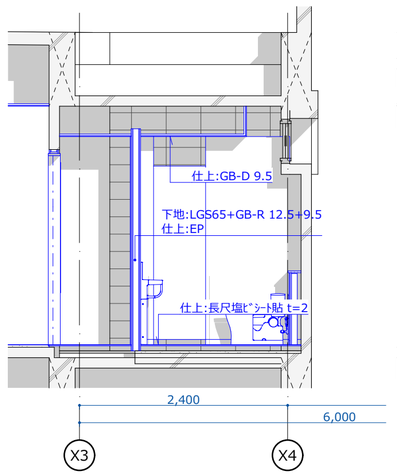
平面図 1:50



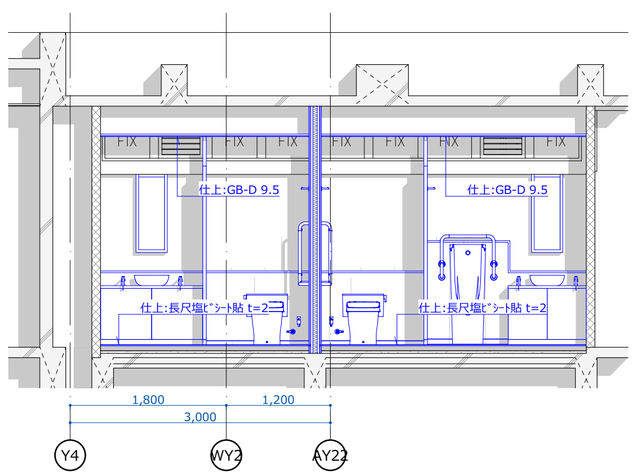
01 1:50



02 1:50

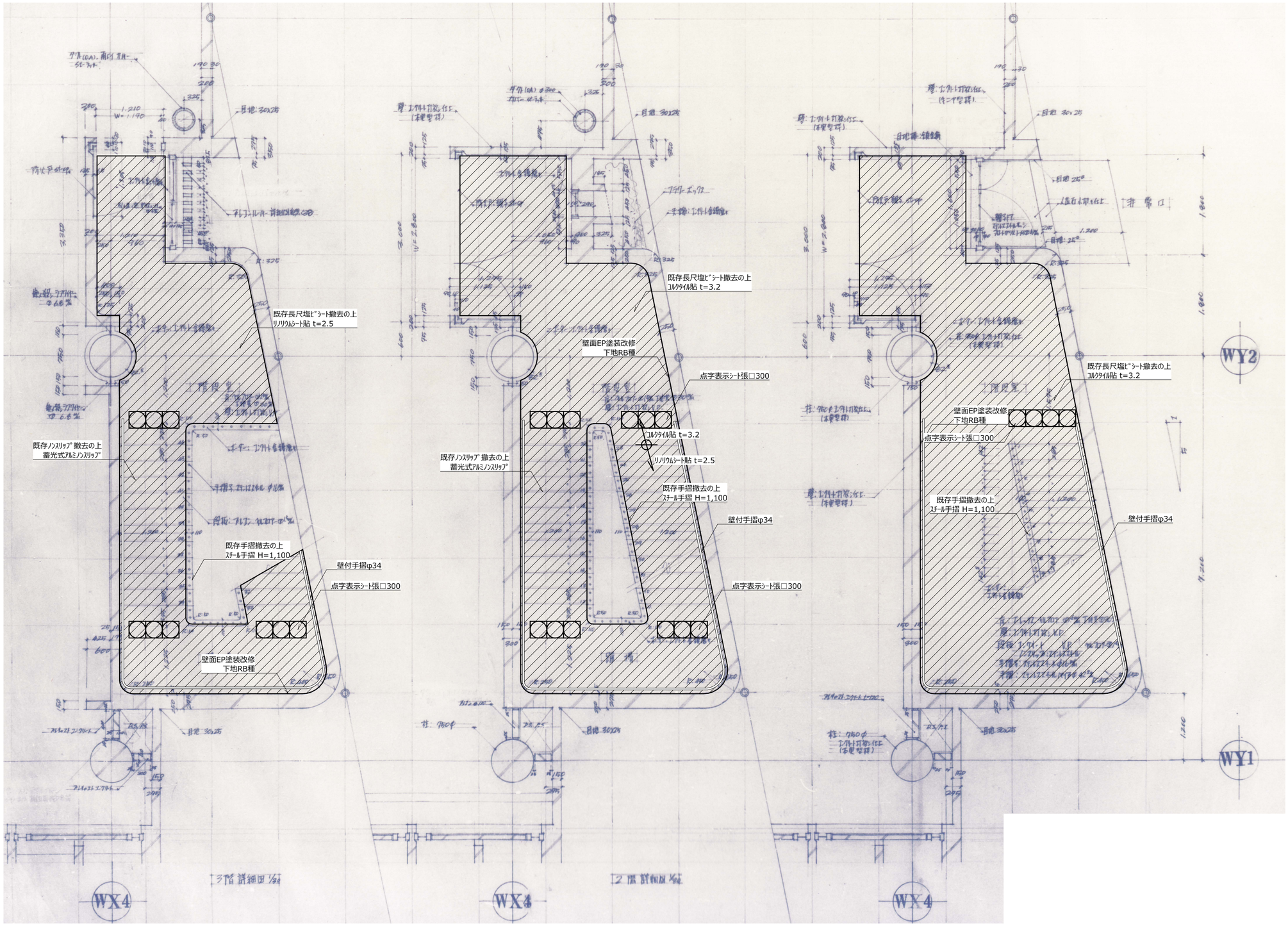


03 1:50



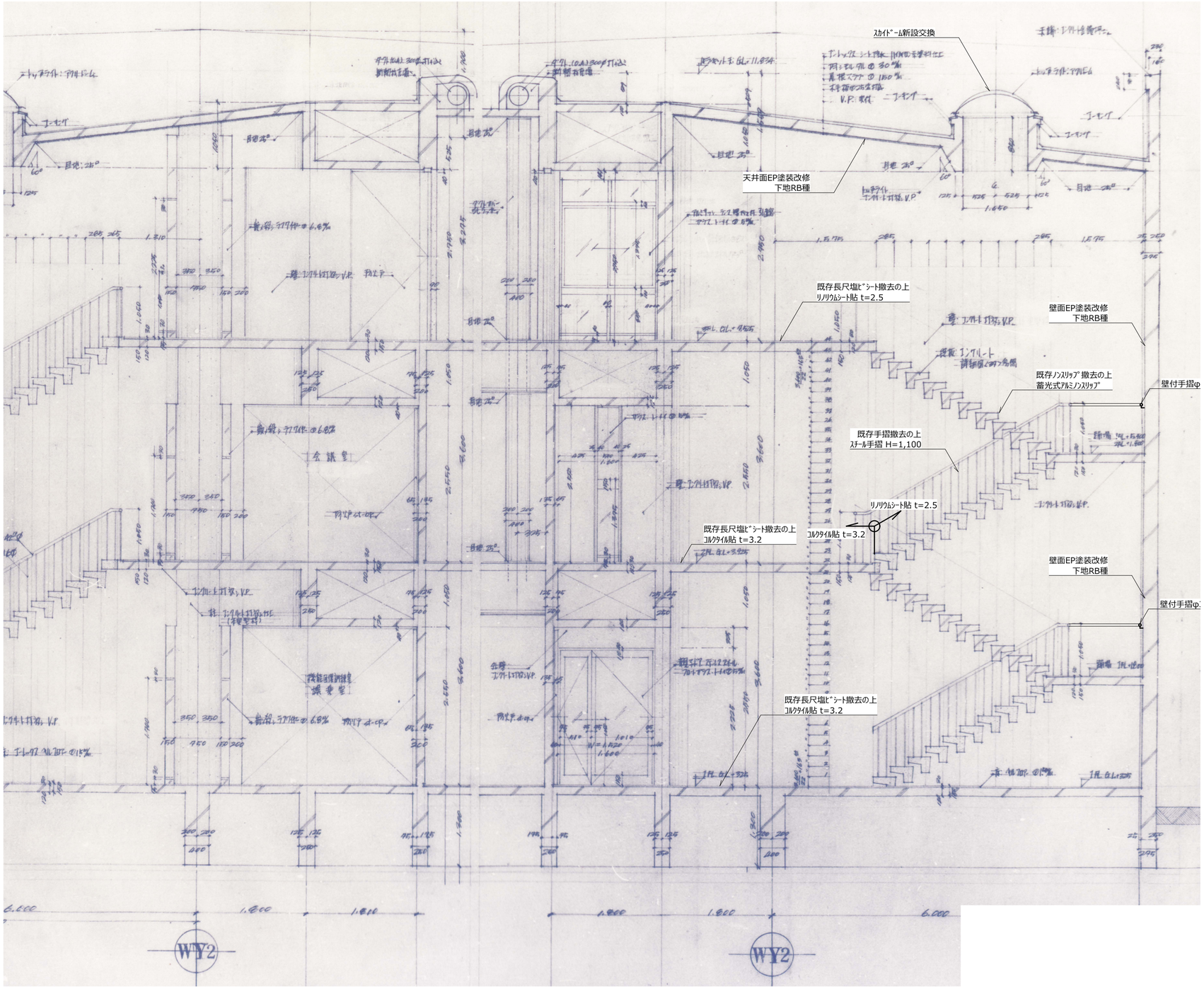
04 1:50

設計 香山・タニ設計業務共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事 第12399号 香山建築研究所 一級建築士 第289714号 長谷川祥久		鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち建築工事	**A-58**
		date:2025.07	3階東側便所改修図 scale: A2 1:50 | A3:71%縮小	

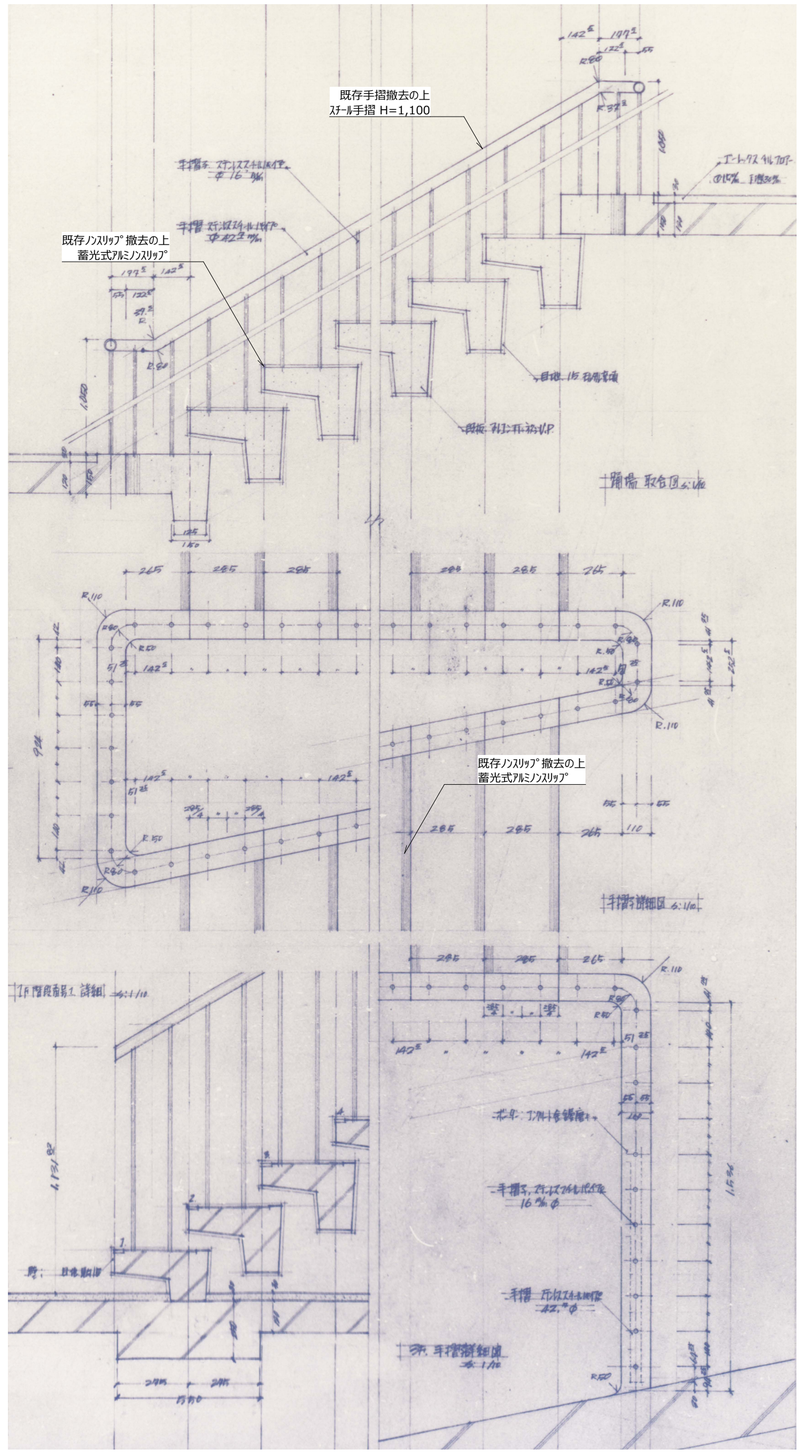


西側階段改修図 1:50

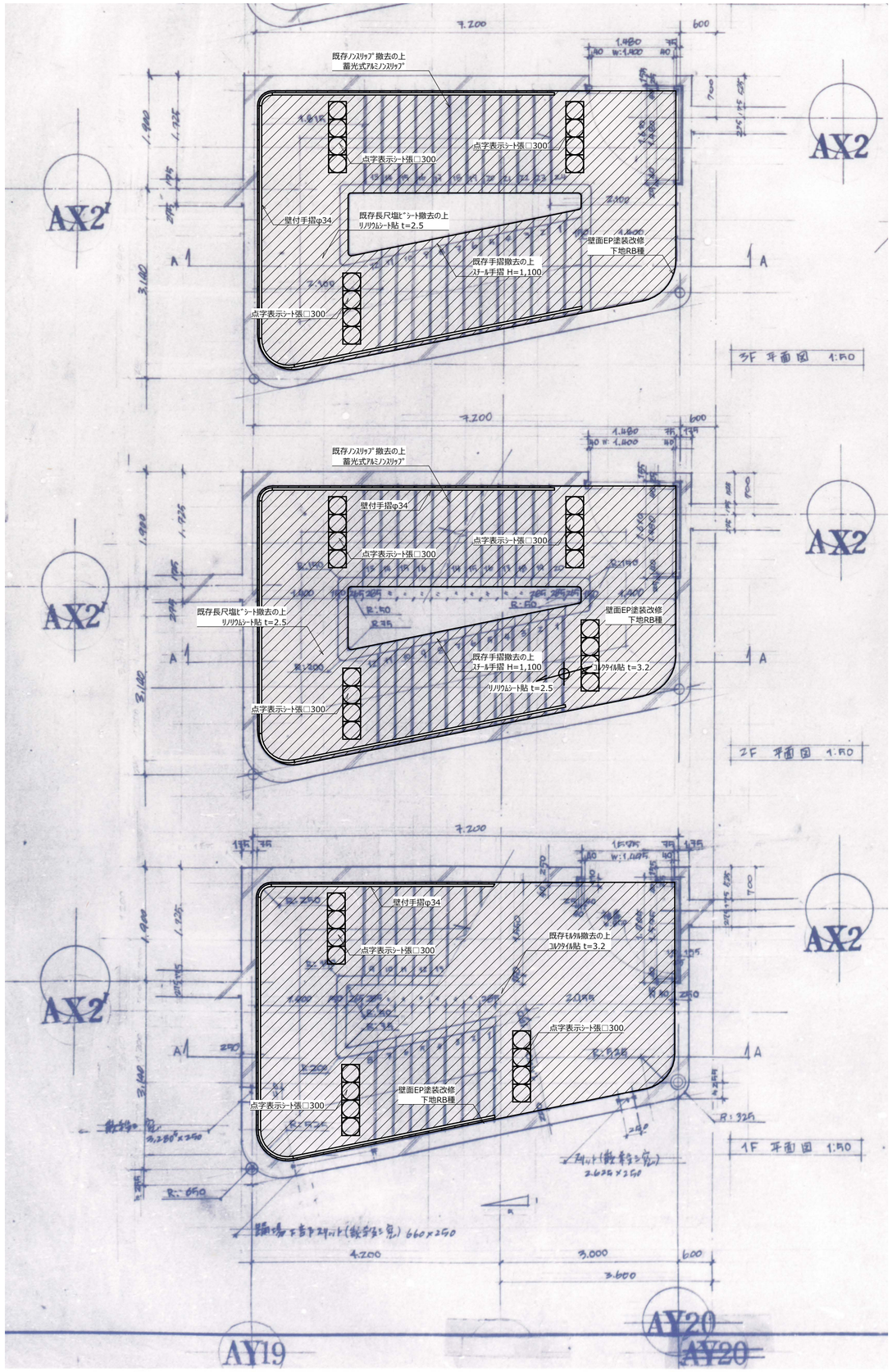
	設計 香山・タニ設計業務共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事 第12399号 香山建築研究所		鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち建築工事	A-59
		一級建築士 第289714号 長谷川祥久	date:2025.07	西側階段改修図1 scale: A2 1:50 | A3:71%縮小	

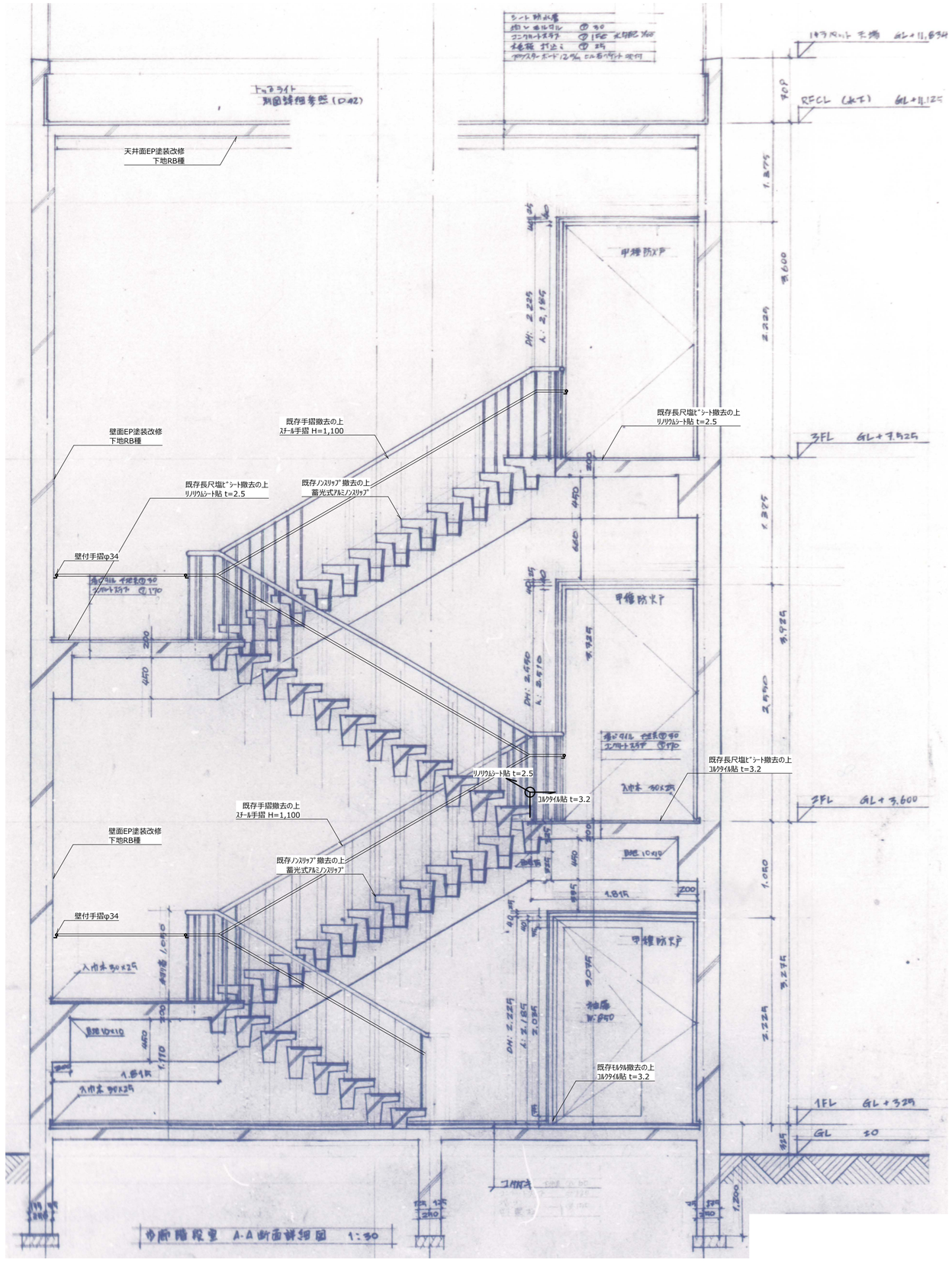


西側階段改修図 1:50



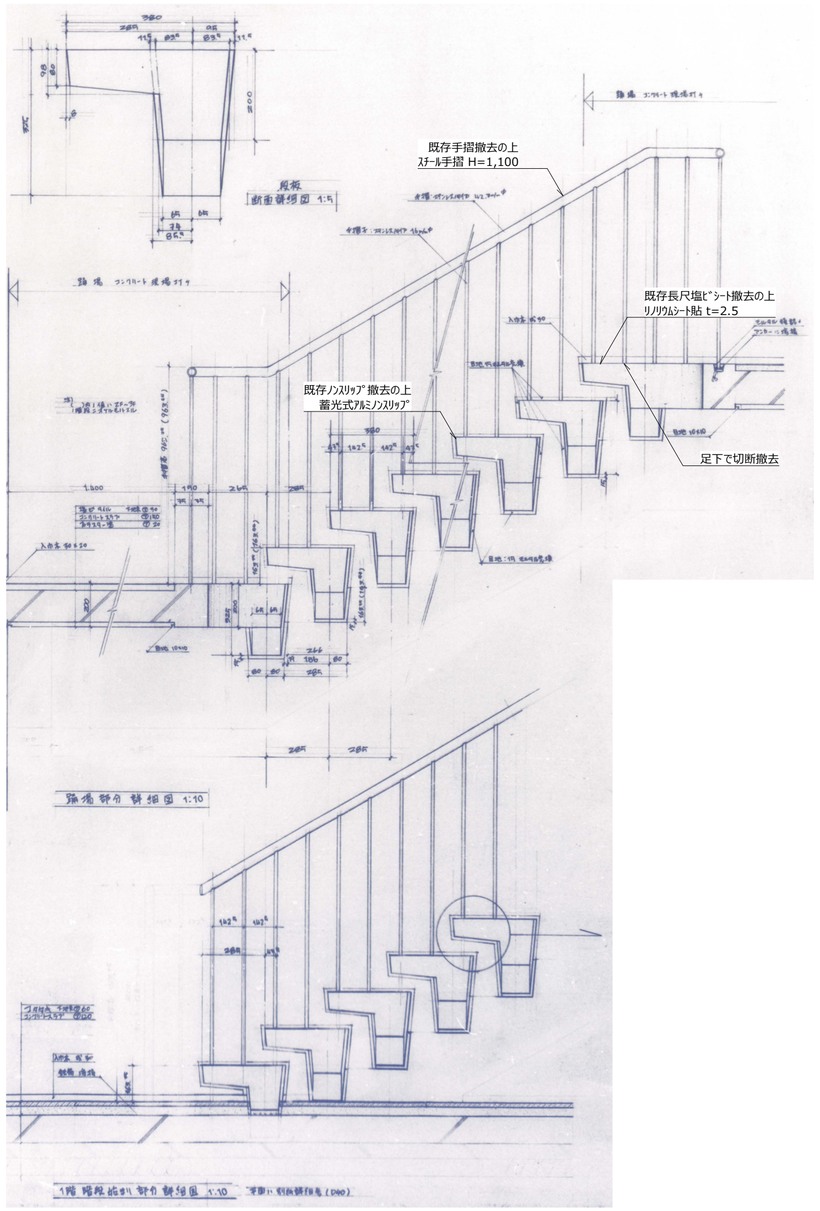
	設計 香山・タニ設計業務共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事 第12399号 香山建築研究所		鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち建築工事	A-60
		一級建築士 第289714号 長谷川祥久	date:2025.07	西側階段改修図2 scale: A2 1:50 | A3:71%縮小	

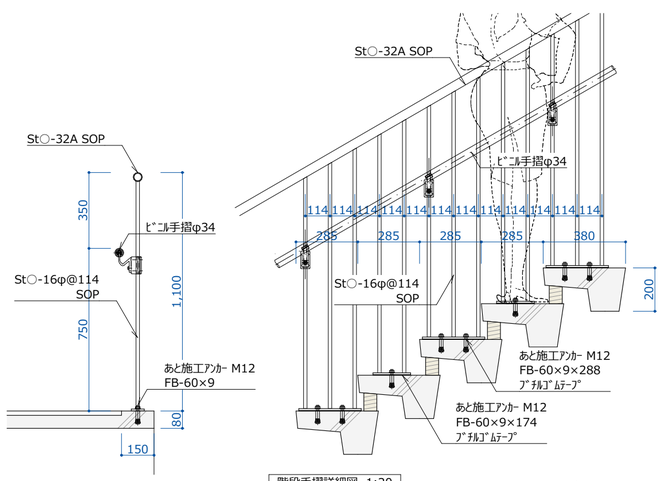




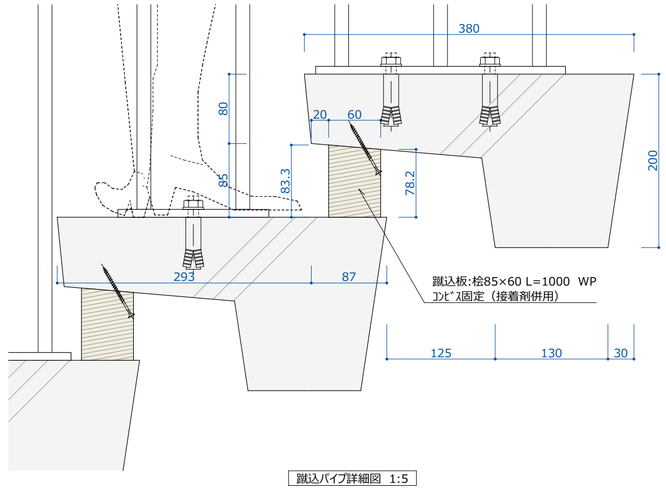
中央階段改修図 1:60

	設計 香山・タニ設計業務共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事 第12399号 香山建築研究所		鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち建築工事	A-61
		一級建築士 第289714号 長谷川祥久	date:2025.07	中央階段改修図1 scale: A2 1:60 | A3:71%縮小	

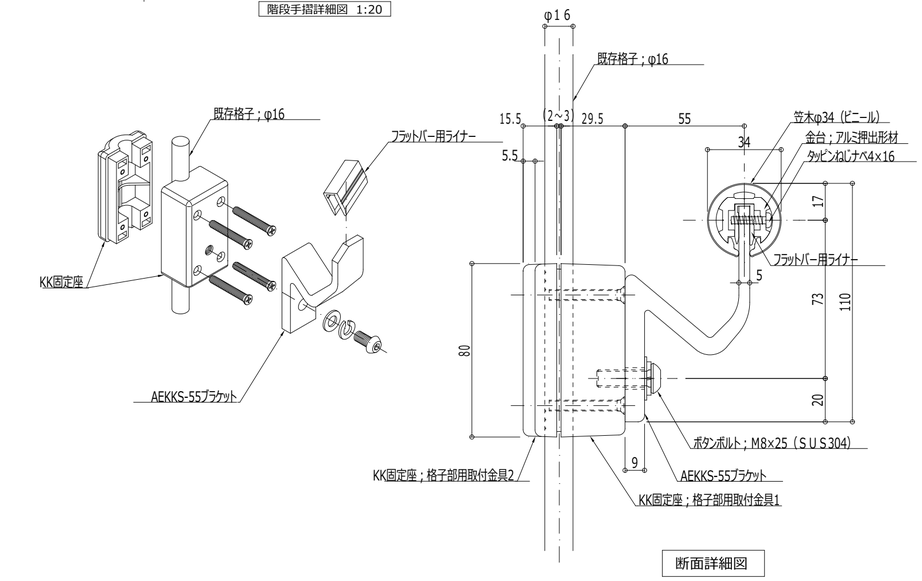




階段手摺詳細図 1:20



蹴込パイプ詳細図 1:5



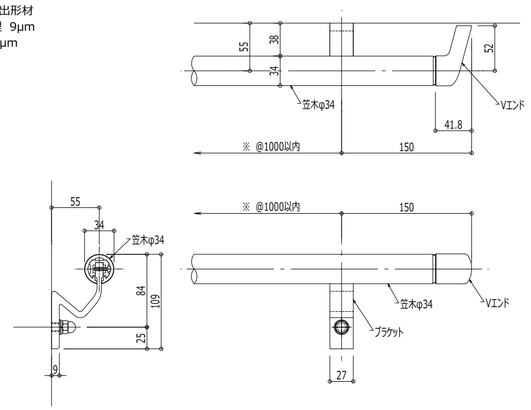
断面詳細図　　正面詳細図

手摺子付ハンドレール詳細図 1:2

AES-５５ブラケット　【BL認定品】

●室内用ブラケット
アルミニウム押出形材
アルマイト処理 6μm

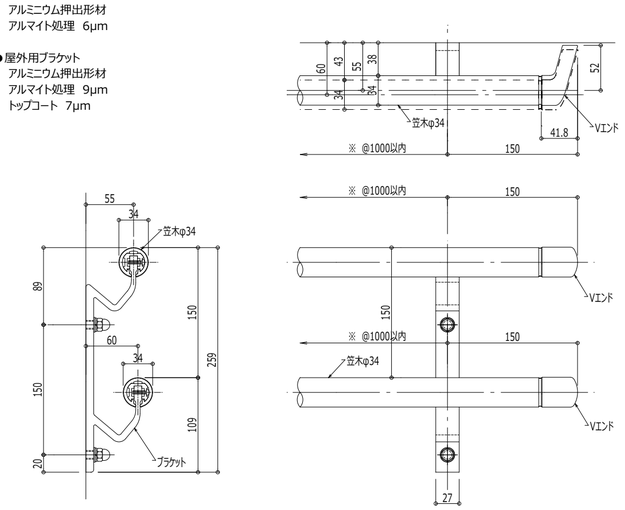
●屋外用ブラケット
アルミニウム押出形材
アルマイト処理 9μm
トップコート 7μm



AES-５５６０ブラケット　【BL認定外】

●室内用ブラケット
アルミニウム押出形材
アルマイト処理 6μm

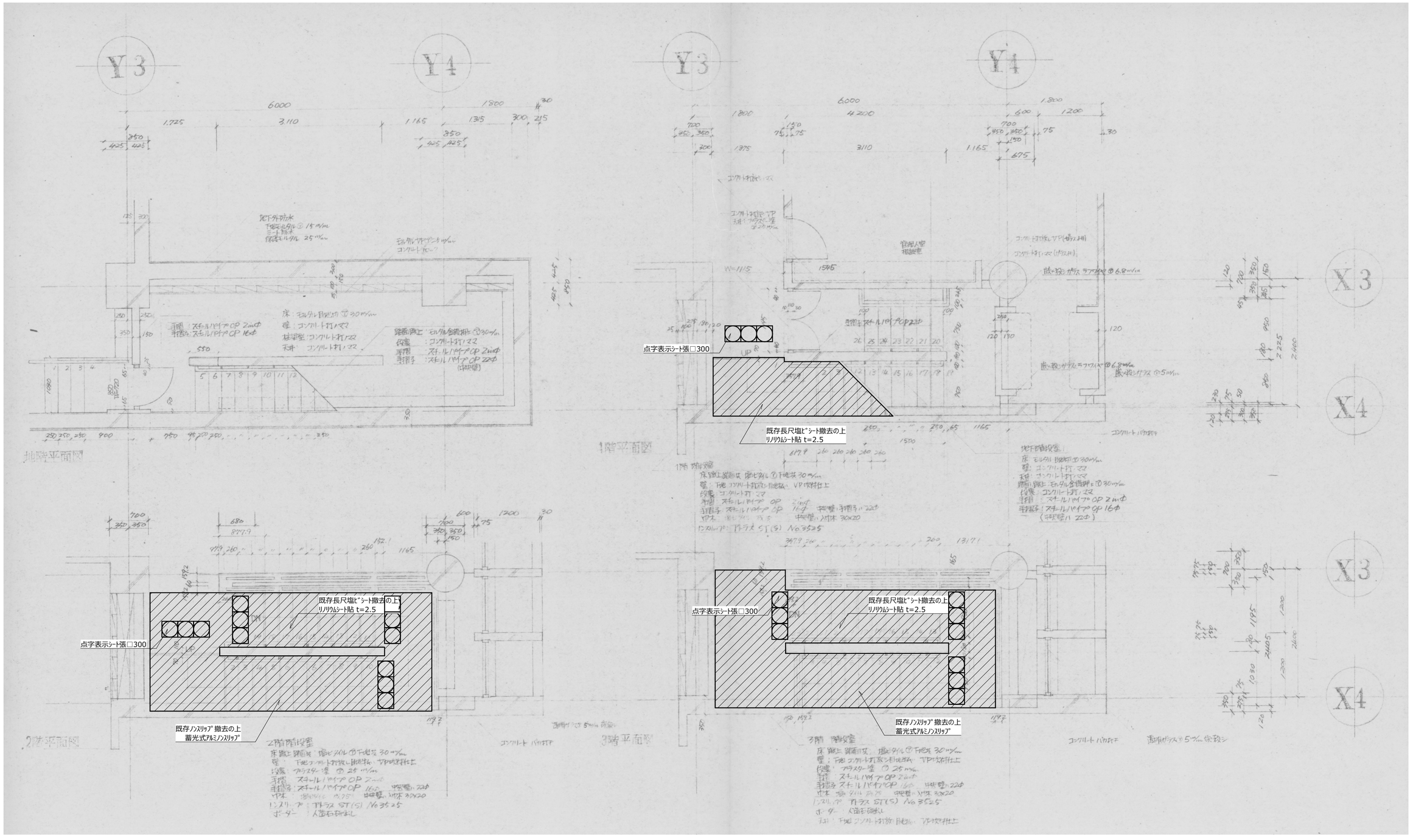
●屋外用ブラケット
アルミニウム押出形材
アルマイト処理 9μm
トップコート 7μm



※：BL認定品は、ブラケットピッチ@910以内とする。

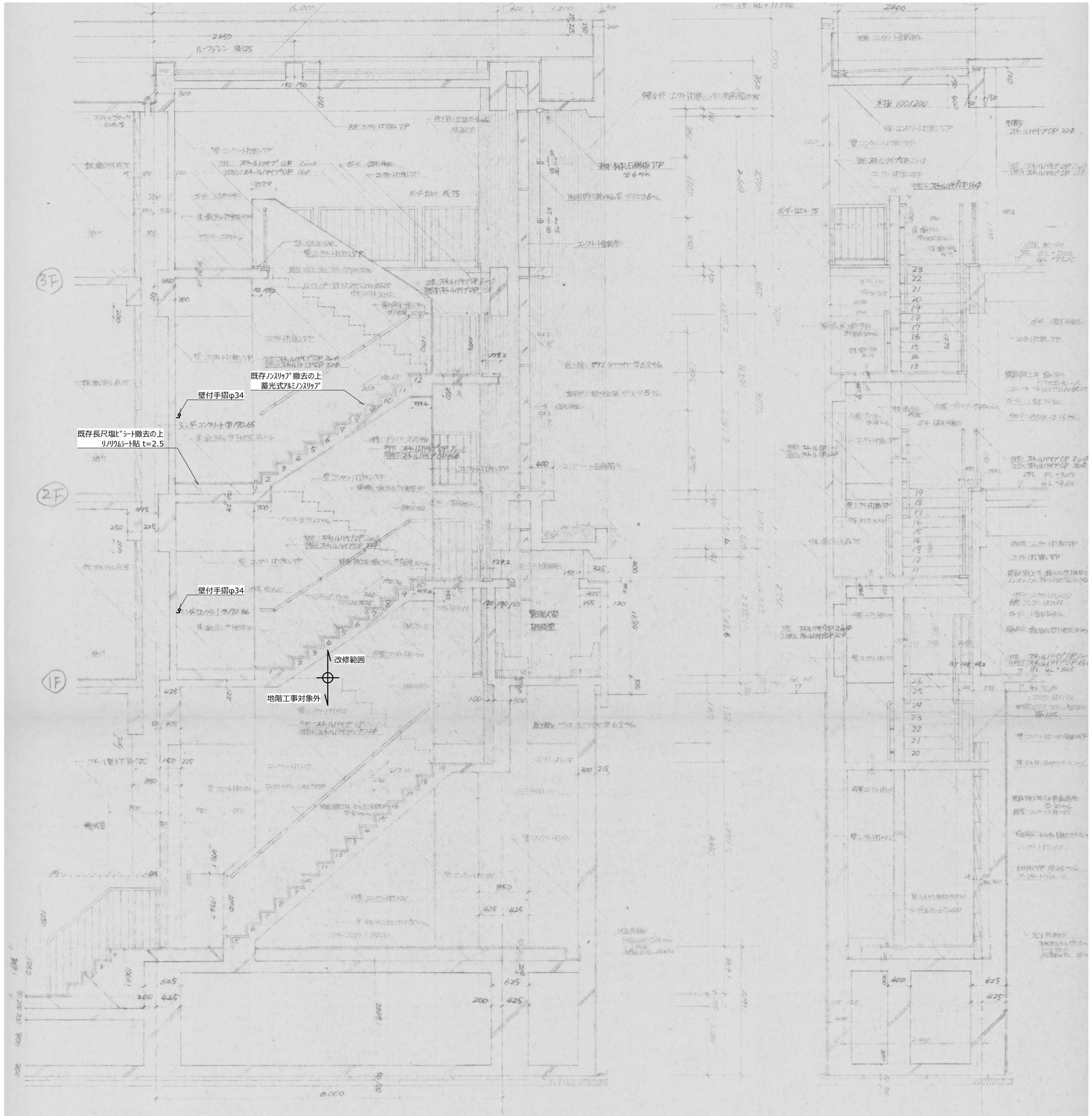
壁付ハンドレール詳細図 1:5

	設計 香山・タニ設計業務共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事 第12399号 香山建築研究所		鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち建築工事	A-62
		一級建築士 第289714号 長谷川祥久	date:2025.07	中央階段改修図2 scale: A2 1:20, 1:2, 1:5 | A3:71%縮小	



東側階段改修図 1:50

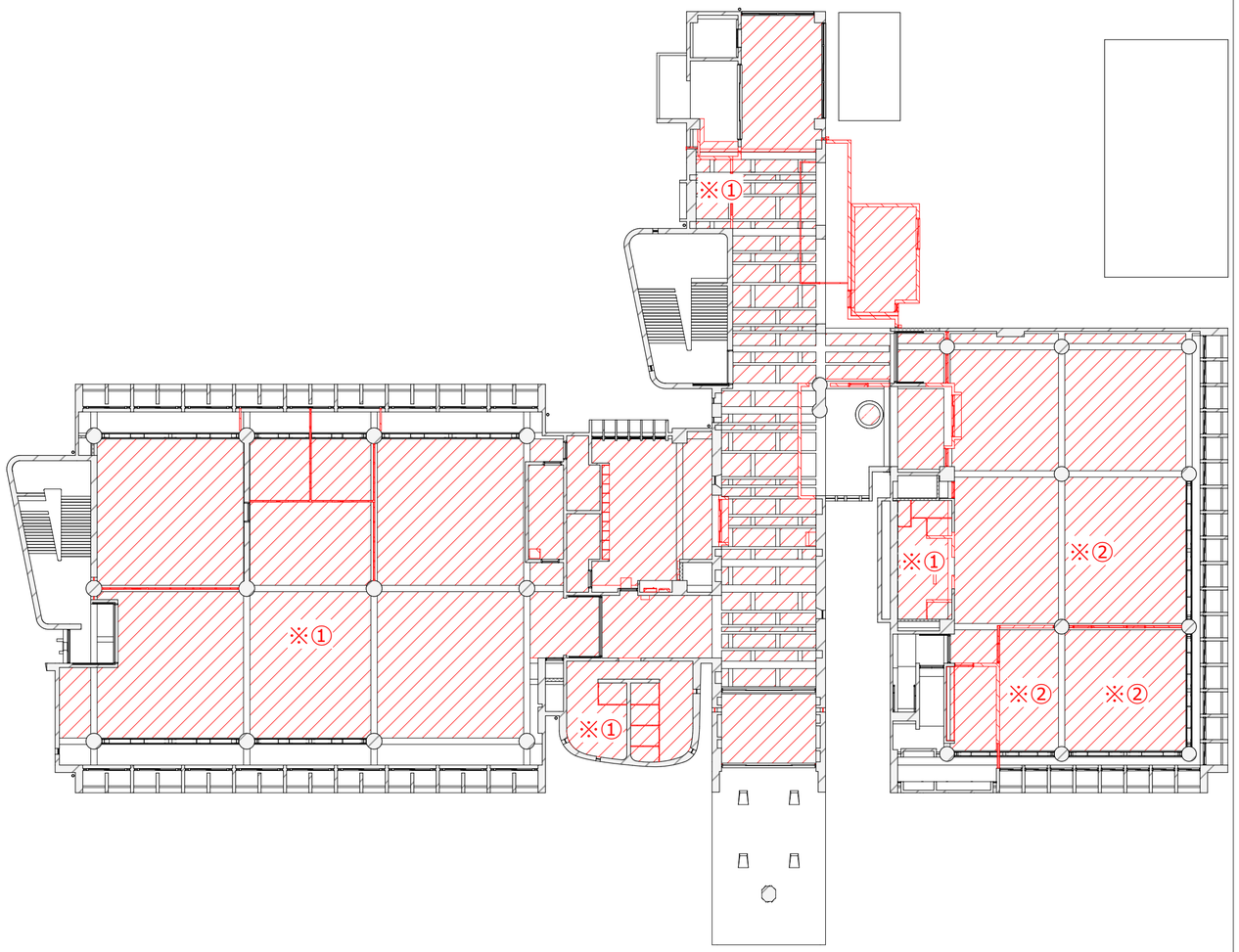
設計 香山・タニ設計業務共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事 第12399号 香山建築研究所		鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち建築工事		A-63
	一級建築士 第289714号 長谷川祥久	date:2025.07	東側階段改修図1	scale: A2 1:50 | A3:71%縮小	



東側階段改修図 1:50

	設計 香山・タニ設計業務共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事 第12399号 香山建築研究所		鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち建築工事	A-64
		一級建築士 第289714号 長谷川祥久	date:2025.07	東側階段改修図2 scale: A2 1:50 | A3:71%縮小	

改修前

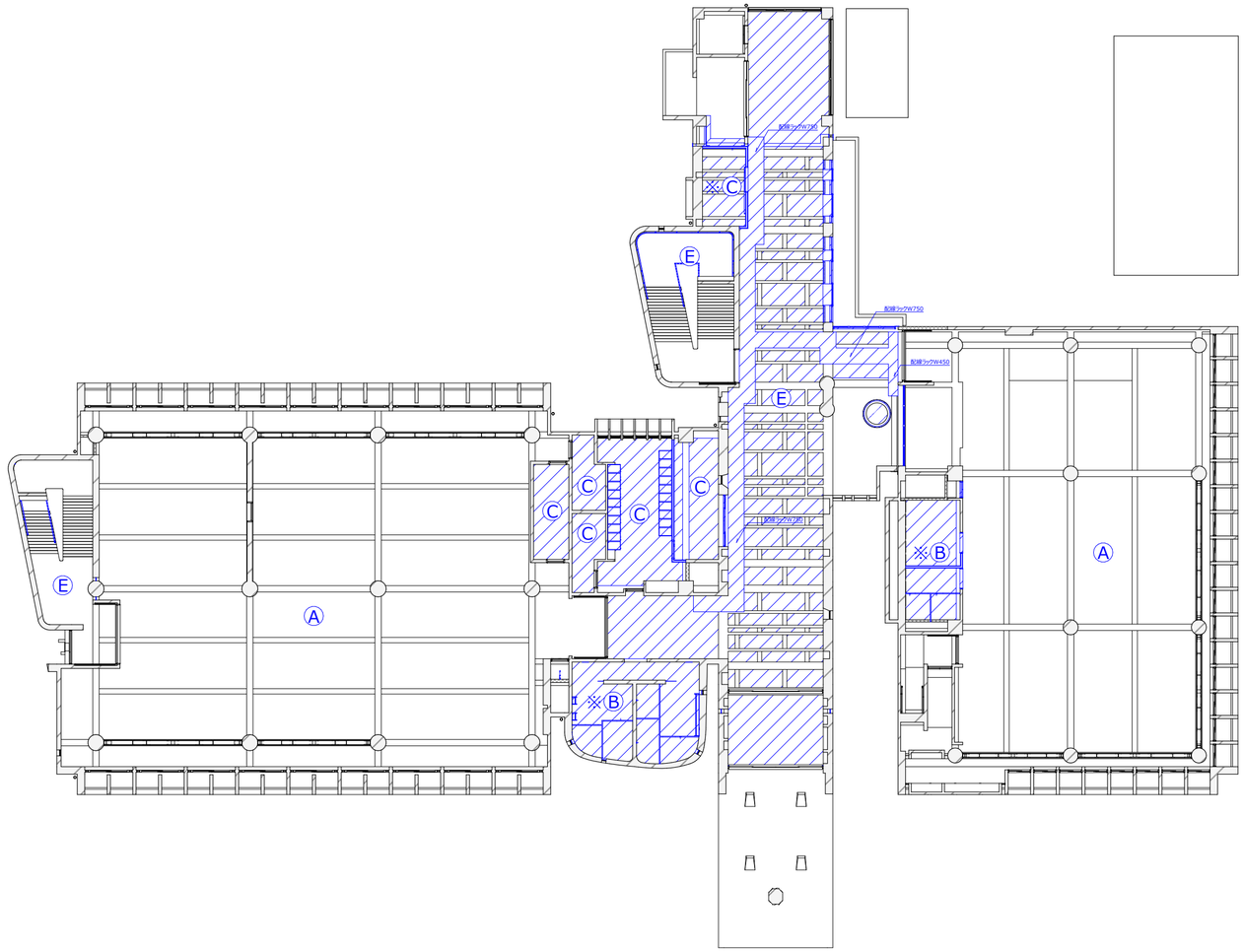


1階天井伏図 1:200

凡例	
①	LGS下地 GB-R 9.5＋軽量骨材ﾊﾟｰﾗｲﾄ
②	LGS下地 GB-R 12.5＋薄付仕上塗材
③	LGS下地 GB-R 9.5＋ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ

※･･･下地共撤去

改修後



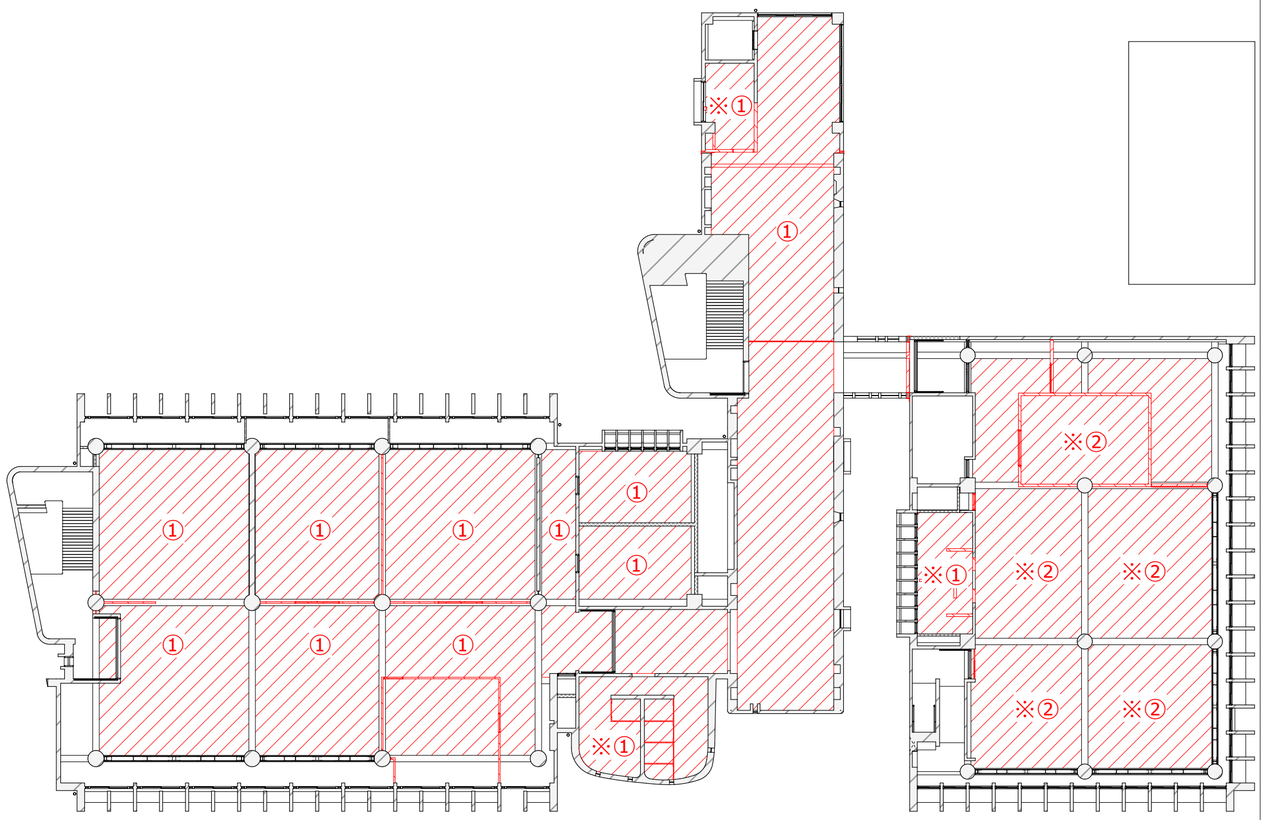
1階天井伏図 1:200

凡例	
Ⓐ	天井裏露出仕上
Ⓑ	LGS下地 GB-R 9.5＋9.5 EP
Ⓒ	LGS下地 GB-D 9.5
Ⓓ	GB-R 12.5 EP
Ⓔ	全面EP塗装改修
Ⓕ	GB-R 9.5+DR 9

※･･･下地共

	設計 香山･タニ設計業務共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事 第12399号 香山建築研究所 一級建築士 第289714号 長谷川祥久		鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち建築工事 1階天井伏図	A-65
			date:2025.07	scale: A2 1:200｜A3:71%縮小	

改修前

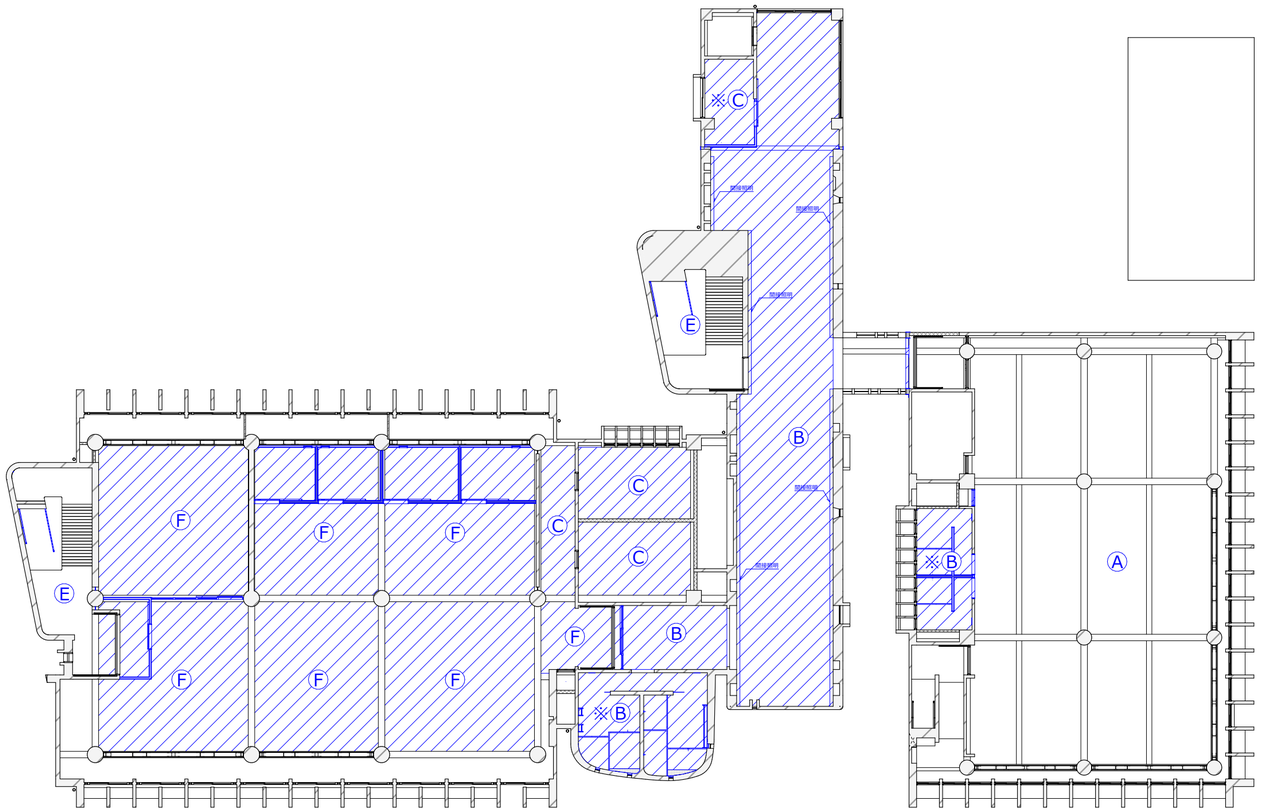


2階天井伏図 1:200

凡例	
①	LGS下地 GB-R 9.5＋軽量骨材ﾊﾟｰﾗｲﾄ
②	LGS下地 GB-R 12.5＋薄付仕上塗材
③	LGS下地 GB-R 9.5＋ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ

※･･･下地共撤去

改修後



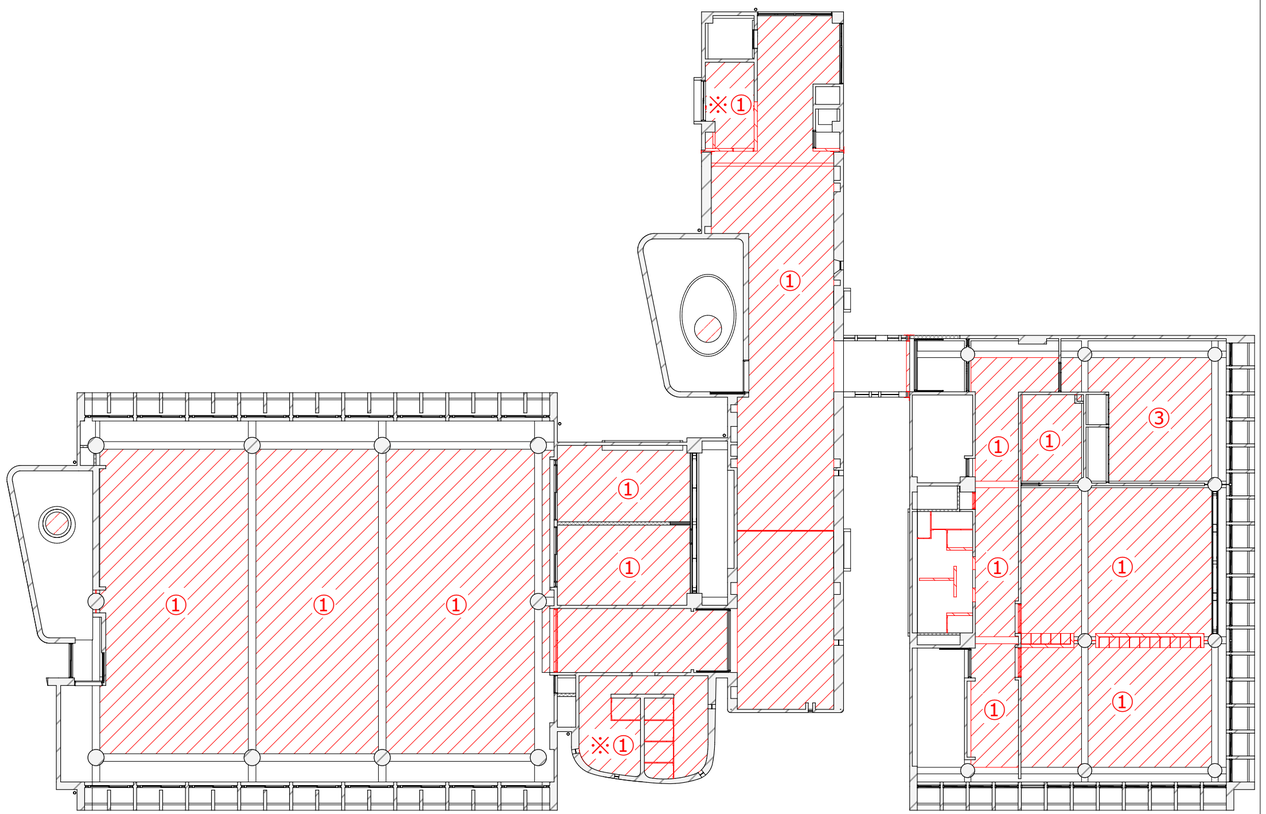
2階天井伏図 1:200

凡例	
Ⓐ	天井裏露出仕上
Ⓑ	LGS下地 GB-R 9.5+9.5 EP
Ⓒ	LGS下地 GB-D 9.5
Ⓓ	GB-R 12.5 EP
Ⓔ	全面EP塗装改修
Ⓕ	GB-R 9.5+DR 9

※･･･下地共

	設計 香山･タニ設計業務共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事 第12399号 香山建築研究所		鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち建築工事	A-66
		一級建築士 第289714号 長谷川祥久	date:2025.07	2階天井伏図 scale: A2 1:200 | A3:71%縮小	

改修前

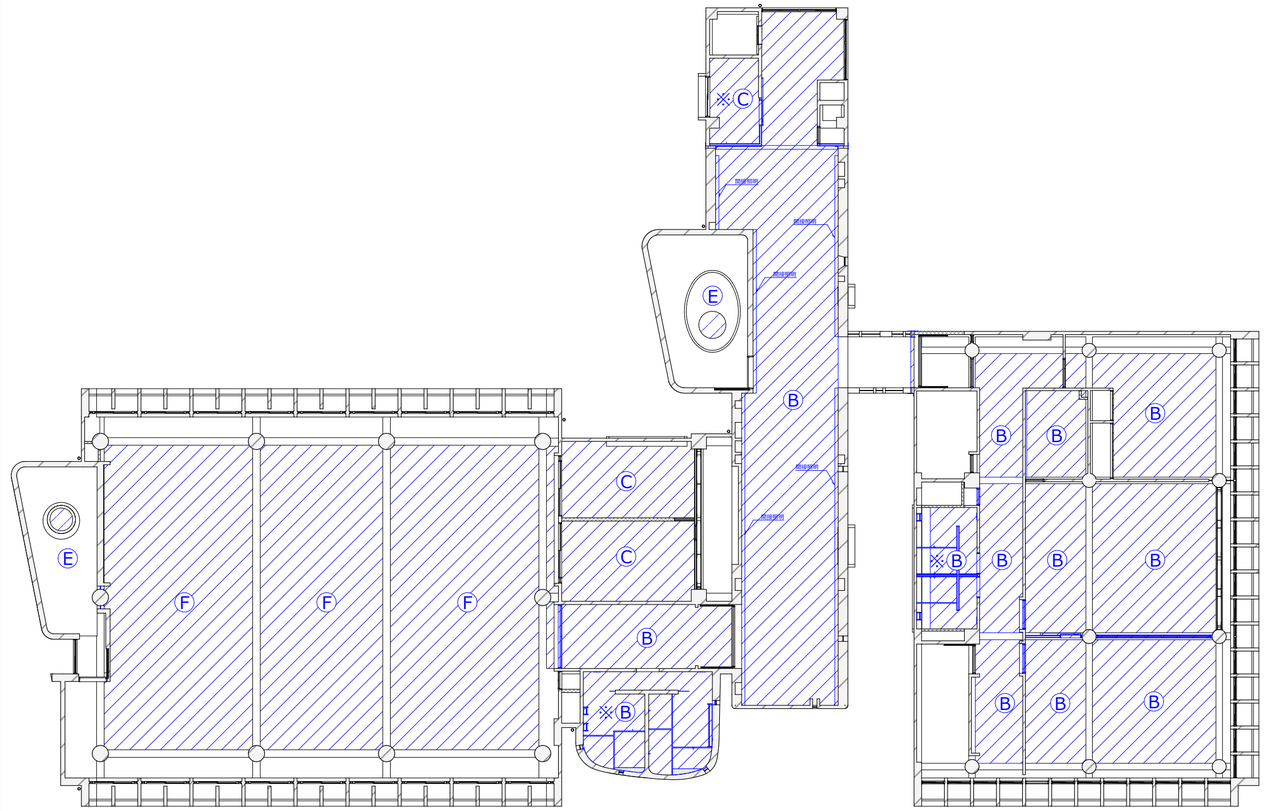


3階天井伏図 1:200

凡例	
①	LGS下地 GB-R 9.5＋軽量骨材ﾊﾟｰﾗｲﾄ
②	LGS下地 GB-R 12.5＋薄付仕上塗材
③	LGS下地 GB-R 9.5＋ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ

※･･･下地共撤去

改修後



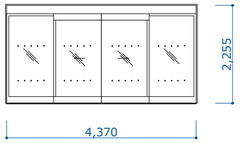
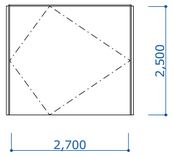
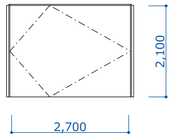
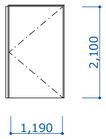
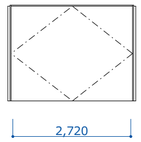
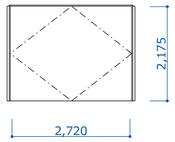
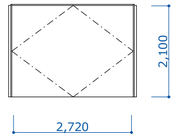
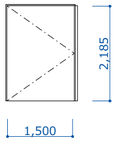
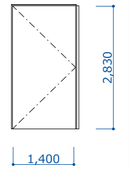
3階天井伏図 1:200

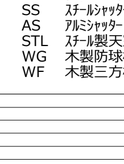
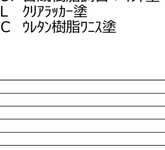
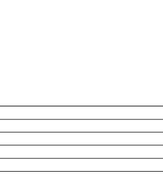
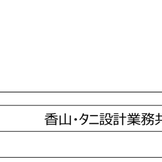
凡例	
Ⓐ	天井裏露出仕上
Ⓑ	LGS下地 GB-R 9.5＋9.5 EP
Ⓒ	LGS下地 GB-D 9.5
Ⓓ	GB-R 12.5 EP
Ⓔ	全面EP塗装改修
Ⓕ	GB-R 9.5+DR 9

※･･･下地共

	設計 香山･タニ設計業務共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事 第12399号 香山建築研究所		鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち建築工事	A-67
		一級建築士 第289714号 長谷川祥久	date:2025.07	3階天井伏図 scale: A2 1:200 | A3:71%縮小	

既存建具表（改修）

符号		ATD1	SD1	SD2	SD3	SD4	SD5	SD6	SD7	SD8
位置		風除室	1階西階段	2階西階段	3階西階段	1階通路	2階通路	3階通路	1階中階段	2階中階段
形状		自動ﾄﾞｱ								
数量		2	1	1	1	1	1	1	1	1
姿図										
寸法	幅x高さ	4,370×2,255	2,700×2,500	2,700×2,100	1,190×2,100	2,720×2,175	2,720×2,175	2,720×2,100	1,500×2,185	1,400×2,830
	FL+	0	0	0	200	0	0	0	0	-325
枠見込/扉厚										
材質			ｽﾁｰﾙ	ｽﾁｰﾙ	ｽﾁｰﾙ	ｽﾁｰﾙ	ｽﾁｰﾙ	ｽﾁｰﾙ	ｽﾁｰﾙ	ｽﾁｰﾙ
仕上			SOP	SOP	SOP	SOP	SOP	SOP	SOP	SOP
改修概要		衝突防止ｻｲﾝ貼付け	開閉調整の上塗装改修RB種	開閉調整の上塗装改修RB種	開閉調整の上塗装改修RB種	開閉調整の上塗装改修RB種	開閉調整の上塗装改修RB種	開閉調整の上塗装改修RB種	開閉調整の上塗装改修RB種	開閉調整の上塗装改修RB種
備考										

符号		SD9	SD10	SD11	SD12
位置		3階中階段	1階歩廊	2階歩廊	3階歩廊
形状					
数量		1	1	1	1
姿図					
寸法	幅x高さ	1,400×2,710	2,250×2,150	2,250×3,000	2,250×2,700
	FL+	0	0	-325	0
枠見込/扉厚					
材質		ｽﾁｰﾙ	ｽﾁｰﾙ	ｽﾁｰﾙ	ｽﾁｰﾙ
仕上		SOP	SOP	SOP	SOP
改修概要		開閉調整の上塗装改修RB種	開閉調整の上塗装改修RB種	開閉調整の上塗装改修RB種	開閉調整の上塗装改修RB種
備考					

一般事項

建具符号

ATD	自動ﾄﾞｱ	WW	木製窓
AW	ｱﾙﾐ製窓	WD	木製ﾄﾞｱ
AD	ｱﾙﾐ製ﾄﾞｱ	WPT	木製ﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝ
AG	ｱﾙﾐ製ｶﾞﾗﾘ		
ACW	ｱﾙﾐ製ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ	MPT	移動ﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝ
STD	ｽﾃﾝﾚｽ製ﾄﾞｱ	SPT	ｽﾁｰﾙﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝ
STW	ｽﾃﾝﾚｽ製窓	TP	ﾄｲﾚﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝ
ATL	ｱﾙﾐ製天窓	SS	ｽﾁｰﾙｼｬｯﾀｰ
SD	ｽﾁｰﾙ製ﾄﾞｱ	AS	ｱﾙﾐｼｬｯﾀｰ
SG	ｽﾁｰﾙ製防球格子	STL	ｽﾁｰﾙ製天窓
LSD	軽量ｽﾁｰﾙﾄﾞｱ	WG	木製防球格子
SF	ｽﾃﾝﾚｽ三方枠	WF	木製三方枠

ｶﾞﾗｽ符号

FL	透明ｶﾞﾗｽ	KFL	熱線吸収ｶﾞﾗｽ
F	型板ｶﾞﾗｽ	HFL	熱線反射ｶﾞﾗｽ
SG	摺ｳｶﾞﾗｽ	TFL	強化ｶﾞﾗｽ
PW	網入透明ｶﾞﾗｽ	TF	型板強化ｶﾞﾗｽ
FW	網入型板ｶﾞﾗｽ		

その他

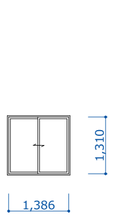
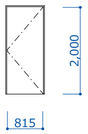
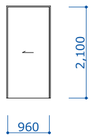
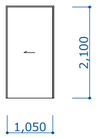
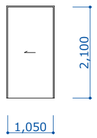
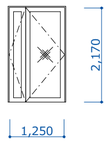
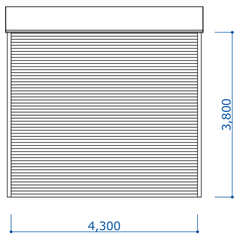
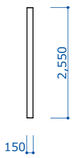
SOP	合成樹脂調合ﾍﾟｲﾝﾄ塗
CL	ｸﾘｱﾗｯｶｰ塗
UC	ｳﾚﾀﾝ樹脂ﾜﾆｽ塗

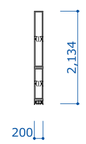
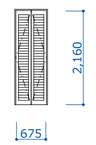
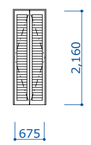
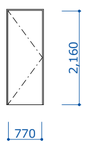
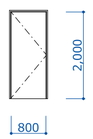
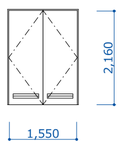
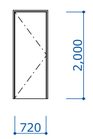
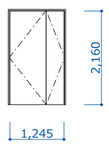
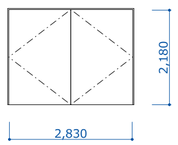
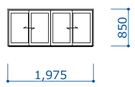
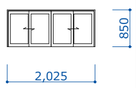
特記事項

01 建具金物はｽﾃﾝﾚｽ製とし、見本品提出の上承認を得ること
02 すべて製作図作成の上承認を得ること
03 構造上、美観上による軽微な変更は本工事範囲とする
04 内部手摺を取付けるｱﾙﾐ製窓には、方立・ｱﾙﾐ製額縁部に取付補強を行うこと

部材ﾘｽﾄ

既存建具表（撤去）

符号		AW101	AW102	AW103	SD101	SD102	SD103	SD103	SD104	SS1	SW101	SW102	SW103
位置		会議室（解体）	会議室（解体）	会議室（解体）	1階倉庫	1階多目的便所	2階多目的便所	3階多目的便所	健康保険センター		西階段	西階段	健康保険センター
形状					片開き	片引き戸	片引戸	片引戸	親子開き戸		FIX	FIX	FIX
数量		1	1	1	1	1	1	1	1	1	4	2	1
姿図													
寸法	幅x高さ	1,386×1,310	920×425	315×2,140	815×2,000	960×2,100	1,050×2,100	1,050×2,100	1,250×2,170	4,300×3,800	150×2,550	150×3,275	270×2,170
	FL+	850	325	0	0	0	-325	0	0	-80	0	0	0
枠見込/扉厚		70	70	70	170/40	120/40	120/40	120/40	145/40				145
材質		ｱﾙﾐ	ｱﾙﾐ	ｱﾙﾐ	ｽﾁｰﾙ	ｽﾁｰﾙ	ｽﾁｰﾙ	ｽﾁｰﾙ	ｽﾁｰﾙ		ｽﾁｰﾙ	ｽﾁｰﾙ	ｽﾁｰﾙ
仕上													
解体概要													
備考													

符号		SW104	WD101	WD101	WD102	WD103	WD104	WD105	WD106	WD107	WW101	WW102
位置		風除室	給湯室	給湯室	健康保険センター	健康保険センター	2階倉庫	1階会議室	3階調理室 他	3階集会室	健康保険センター	受付事務室
形状		FIX	両開き戸	両開き戸	片開き戸	片開き戸	両開き戸	片開き戸	親子開き戸	両開き戸	4枚引違い窓	4枚引違い窓
数量		2	2	1	1	4	1	1	2	1	1	1
姿図												
寸法	幅x高さ	200×2,134	675×2,160	675×2,160	770×2,160	800×2,000	1,550×2,160	720×2,000	1,245×2,160	2,830×2,180	1,975×850	2,025×850
	FL+	0	0	-325	0	0	-325	0	10	0	850	850
枠見込/扉厚			140/30	140/30	140/40	130/40	140/40	170/40	140/40	170/40	146/30	150/30
材質		ｽﾁｰﾙ	木製	木製	木製	木製	木製	木製	木製	木製	木製	木製
仕上												
解体概要												
備考									枠残し	枠残し		

一般事項

建具符号

ATD	自動ﾄﾞｱ	WW	木製窓
AW	ｱﾙﾐ製窓	WD	木製ﾄﾞｱ
AD	ｱﾙﾐ製ﾄﾞｱ	WPT	木製ﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝ
AG	ｱﾙﾐ製ｶﾞﾗﾘ		
ACW	ｱﾙﾐ製ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ	MPT	移動ﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝ
STD	ｽﾃﾝﾚｽ製ﾄﾞｱ	SPT	ｽﾁｰﾙﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝ
STW	ｽﾃﾝﾚｽ製窓	TP	ﾄｲﾚﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝ
ATL	ｱﾙﾐ製天窓	SS	ｽﾁｰﾙｼｬｯﾀｰ
SD	ｽﾁｰﾙ製ﾄﾞｱ	AS	ｱﾙﾐｼｬｯﾀｰ
SG	ｽﾁｰﾙ製防球格子	STL	ｽﾁｰﾙ製天窓
LSD	軽量ｽﾁｰﾙﾄﾞｱ	WG	木製防球格子
SF	ｽﾃﾝﾚｽ三方枠	WF	木製三方枠

ｶﾞﾗｽ符号

FL	透明ｶﾞﾗｽ	KFL	熱線吸収ｶﾞﾗｽ
F	型板ｶﾞﾗｽ	HFL	熱線反射ｶﾞﾗｽ
SG	摺ｳｶﾞﾗｽ	TFL	強化ｶﾞﾗｽ
PW	網入透明ｶﾞﾗｽ	TF	型板強化ｶﾞﾗｽ
FW	網入型板ｶﾞﾗｽ		

その他

SOP	合成樹脂調合ﾍﾟｲﾝﾄ塗
CL	ｸﾘｱﾗｯｶｰ塗
UC	ｳﾚﾀﾝ樹脂ﾜﾆｽ塗

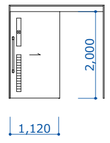
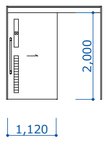
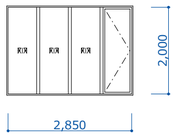
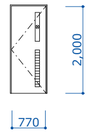
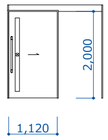
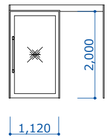
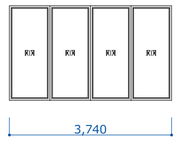
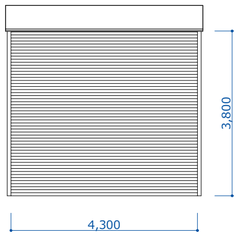
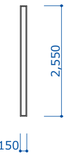
特記事項

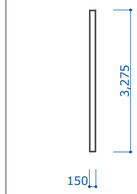
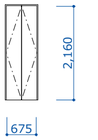
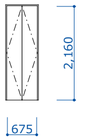
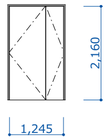
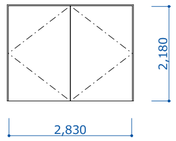
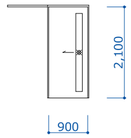
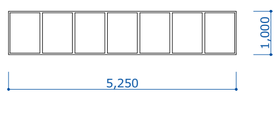
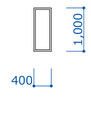
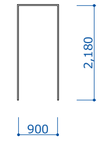
01 建具金物はｽﾃﾝﾚｽ製とし、見本品提出の上承認を得ること
02 すべて製作図作成の上承認を得ること
03 構造上、美観上による軽微な変更は本工事範囲とする
04 内部手摺を取付けるｱﾙﾐ製窓には、方立・ｱﾙﾐ製額縁部に取付補強を行うこと

部材ﾘｽﾄ

		設計	香山・タニ設計業務共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事 第12399号 香山建築研究所		鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち建築工事	A-69
				一級建築士 第289714号 長谷川祥久	date:2025.07	改修建具表2	scale: A2 1:100 | A3:71%縮小

建具表（新設）

符号		ATD1	ATD1	AW1	AW2	AW3	LSD1	LSD2	LSD3	SD13	SS1	SW1
位置		1･3階多目的便所	2階多目的便所	1階歩廊	1階歩廊	1階歩廊	1階事務室	2階事務室	2階事務室	1階歩廊	地下機械室	西階段
形状		片引き自動ﾄﾞｱ	片引き自動ﾄﾞｱ	縦すべり出し窓	縦すべり出し窓	4連FIX一部片開き	片開き戸	自閉式片引きﾄﾞｱ	自閉式片引きﾄﾞｱ	4連FIX	電動ｽﾁｰﾙｼｬｯﾀｰ	FIX
数量		2	1	2	2	1	1	4	1	1	1	4
姿図												
寸法	幅x高さ	1,120×2,000	1,120×2,000	500×1,100	1,000×1,100	2,850×2,000	770×2,000	1,120×2,000	1,120×2,000	3,740×2,180	4,300×3,800	150×2,550
	FL+	0	-325	1,000	1,000	100	0	50	50	0	-80	0
防火設備				防火設備	防火設備					特定防火設備		特定防火設備
遮音性能		未設定	未設定	未設定	未設定	未設定	未設定	未設定	未設定	未設定	未設定	未設定
気密性能												
枠見込/扉厚		130/40	130/40	70	70	70	130/40	130/40	130/40	100		100
材質		亜鉛ﾒｯｷ鋼板	亜鉛ﾒｯｷ鋼板	ｱﾙﾐ	ｱﾙﾐ	ｱﾙﾐ	ｽﾁｰﾙ	亜鉛ﾒｯｷ鋼板	亜鉛ﾒｯｷ鋼板	ｽﾁｰﾙ	ｽﾁｰﾙ	ｽﾁｰﾙ
仕上		焼付塗装	焼付塗装	ｼﾙﾊﾞｰ	ｼﾙﾊﾞｰ	ｼﾙﾊﾞｰ	焼付塗装	焼付塗装	焼付塗装	SOP	SOP	SOP
沓摺/水切	種類											
	材質											
ガラス		TF4	TF4	PW6.8	PW6.8	TFL-5	TF4	TF4	TF4	耐熱強化ｶﾞﾗｽ t=10		耐熱強化ｶﾞﾗｽ t=8
金物		自動ﾄﾞｱｴﾝｼﾞﾝ、開閉ﾎﾞﾀﾝ、安全装置	自動ﾄﾞｱｴﾝｼﾞﾝ、開閉ﾎﾞﾀﾝ、安全装置	丁番、ｶﾑﾗｯﾁ、ｱﾙﾐ額縁	丁番、ｶﾑﾗｯﾁ、ｱﾙﾐ額縁	ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ錠、丁番	丁番、ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ錠	自閉装置、引手、鎌錠	自閉装置、引手、鎌錠	飛散防止ﾌｨﾙﾑ（ｸﾞﾗﾃﾞｰｼｮﾝ）貼	電動開閉器、安全装置、ｼｬｯﾀｰﾎﾞｯｸｽ	
備考				ALC枠	ALC枠							

符号		SW2	SW3	WD1	WD1	WD2	WD3	WD4	WD5	WD6	WF1	WF1
位置		西階段	風除室	東棟PS	東棟PS	レインボー	集会室	レインボー	レインボー	2階事務室	東棟トイレ	東棟トイレ
形状		FIX	FIX	両開き戸	両開き戸	親子開き	両開き	自閉式片引戸	7連FIX窓	FIX窓	三方枠	三方枠
数量		2	2	2	1	2	1	1	1	4	2	4
姿図												
寸法	幅x高さ	150×3,275	200×1,134	675×2,160	675×2,160	1,245×2,160	2,830×2,180	900×2,100	5,250×1,000	400×1,000	900×2,180	900×2,180
	FL+	0	1,000	0	-325	0	0	0	1,000	800	-325	0
防火設備		特定防火設備										
遮音性能		未設定	未設定	未設定	未設定	未設定	未設定	未設定	未設定	未設定	未設定	未設定
気密性能												
枠見込/扉厚		100		130/40	130/40	140/40	170/45	140/40	150	150	140	140
材質		ｽﾁｰﾙ	ｽﾁｰﾙ	ﾒﾗﾐﾝ合板ﾌﾗｯｼｭ	ﾒﾗﾐﾝ合板ﾌﾗｯｼｭ	ﾗﾜﾝ合板ﾌﾗｯｼｭ	ﾗﾜﾝ合板ﾌﾗｯｼｭ	ﾗﾜﾝ合板ﾌﾗｯｼｭ	ﾅﾗ集成材	ﾅﾗ集成材	ﾅﾗ集成材	ﾅﾗ集成材
仕上		SOP	SOP			OSCL	OSCL	OSCL	OSCL	OSCL	OSCL	OSCL
沓摺/水切	種類											
	材質											
ガラス		耐熱強化ｶﾞﾗｽ t=8	TF4					TF4	ﾎﾟﾘｶ t=5	ﾎﾟﾘｶ t=5		
金物				丁番、引手、ﾗｯﾁ	丁番、引手、ﾗｯﾁ			吊金物、引手、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠				
備考				既存枠に扉のみ新調	既存枠に扉のみ新調	既存枠に扉のみ新調	既存枠に扉のみ新調					

一般事項

建具符号

ATD	自動ﾄﾞｱ	WW	木製窓
AW	ｱﾙﾐ製窓	WD	木製ﾄﾞｱ
AD	ｱﾙﾐ製ﾄﾞｱ	WPT	木製ﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝ
AG	ｱﾙﾐ製ｶﾞﾗﾘ		
ACW	ｱﾙﾐ製ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ	MPT	移動ﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝ
STD	ｽﾃﾝﾚｽ製ﾄﾞｱ	SPT	ｽﾁｰﾙﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝ
STW	ｽﾃﾝﾚｽ製窓	TP	ﾄｲﾚﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝ
ATL	ｱﾙﾐ製天窓	SS	ｽﾁｰﾙｼｬｯﾀｰ
SD	ｽﾁｰﾙ製ﾄﾞｱ	AS	ｱﾙﾐｼｬｯﾀｰ
SG	ｽﾁｰﾙ製防球格子	STL	ｽﾁｰﾙ製天窓
LSD	軽量ｽﾁｰﾙﾄﾞｱ	WG	木製防球格子
SF	ｽﾃﾝﾚｽ三方枠	WF	木製三方枠

ｶﾞﾗｽ符号

FL	透明ｶﾞﾗｽ	KFL	熱線吸収ｶﾞﾗｽ
F	型板ｶﾞﾗｽ	HFL	熱線反射ｶﾞﾗｽ
SG	摺ｳｶﾞﾗｽ	TFL	強化ｶﾞﾗｽ
PW	網入透明ｶﾞﾗｽ	TF	型板強化ｶﾞﾗｽ
FW	網入型板ｶﾞﾗｽ		

その他

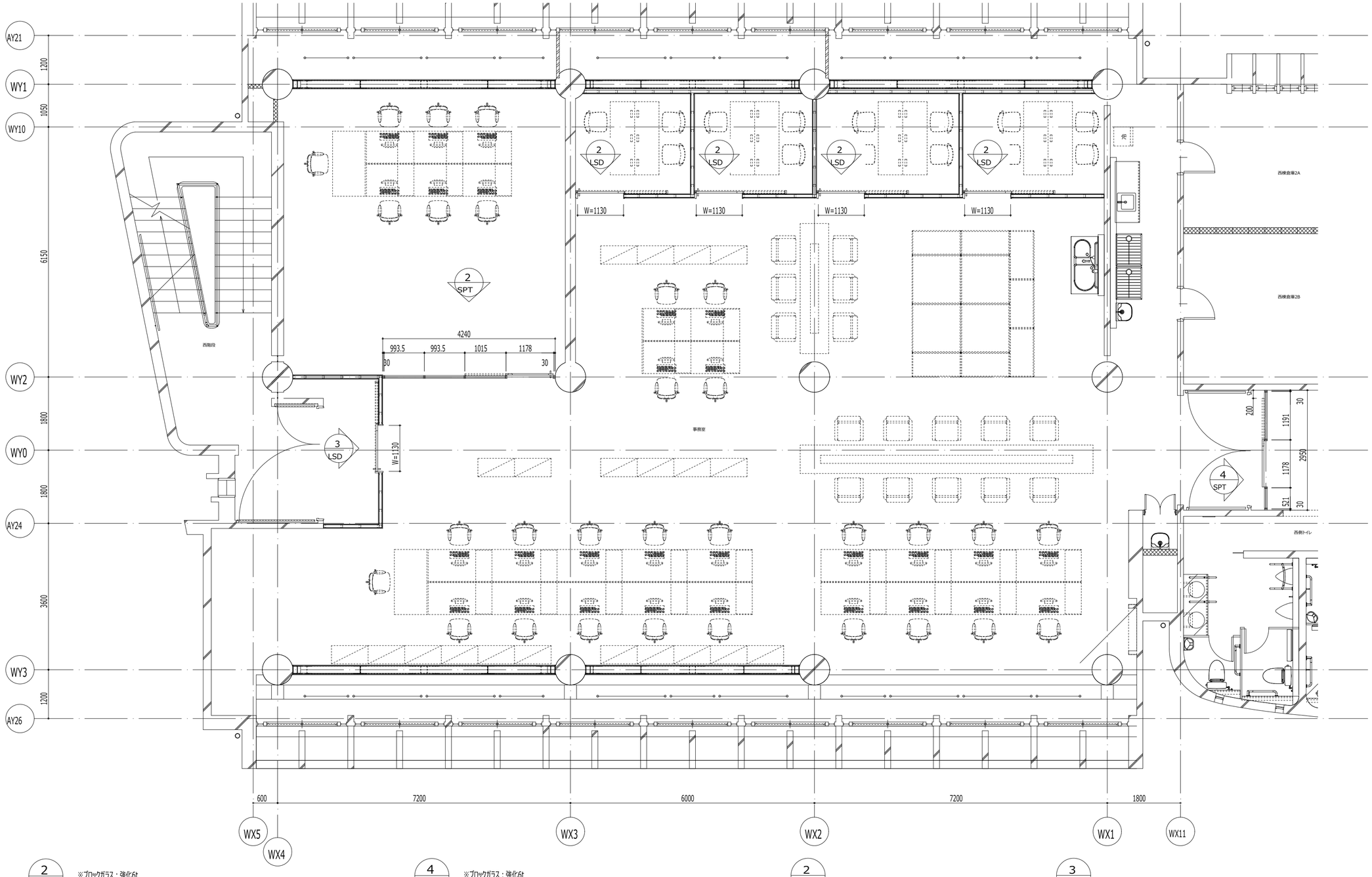
SOP	合成樹脂調合ﾍﾟｲﾝﾄ塗
CL	ｸﾘｱﾗｯｶｰ塗
UC	ｳﾚﾀﾝ樹脂ﾜﾆｽ塗

特記事項

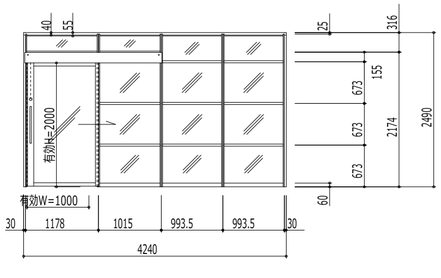
01 建具金物はｽﾃﾝﾚｽ製とし、見本品提出の上承認を得ること
02 すべて製作図作成の上承認を得ること
03 構造上、美観上による軽微な変更は本工事範囲とする
04 内部手摺を取付けるｱﾙﾐ製窓には、方立･ｱﾙﾐ製額縁部に取付補強を行うこと

部材ﾘｽﾄ

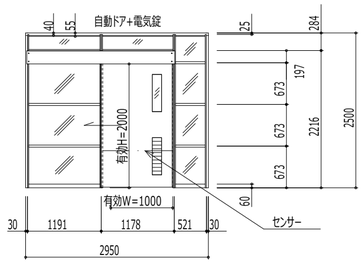
設計	香山･タニ設計業務共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事 第12399号 香山建築研究所		鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち建築工事	A-70
		一級建築士 第289714号 長谷川祥久	date:2025.07	改修建具表3	scale: A2 1:100 | A3:71%縮小



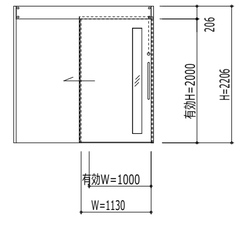
2 SPT ※ブロックガラス：強化6t ※框ドアガラス：強化8t



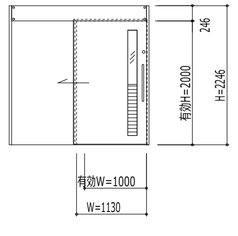
4 SPT ※ブロックガラス：強化6t ※切窓ガラス：強化5t



2 LSD

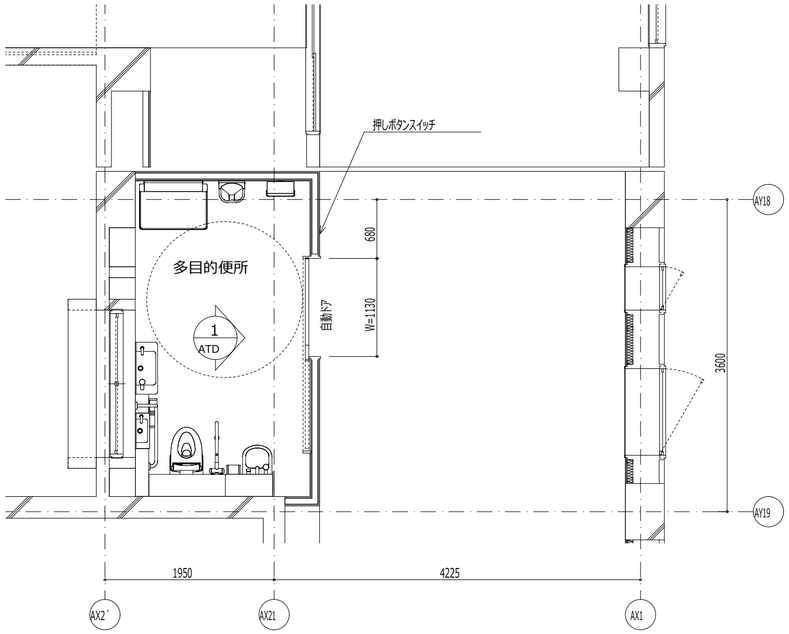


3 LSD

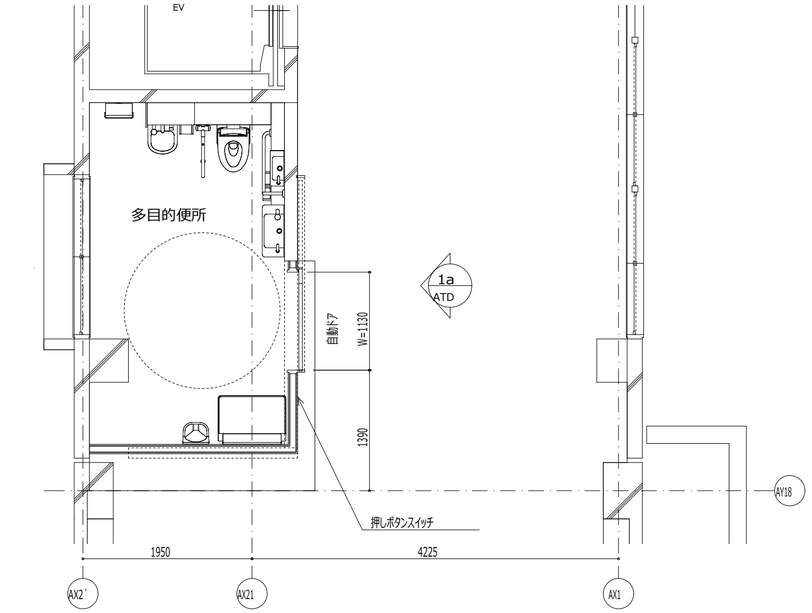


	設計 香山・タニ設計業務共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事 第12399号 香山建築研究所		鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち建築工事	A-71
		一級建築士 第289714号 長谷川祥久	date:2025.07	建具詳細図1	scale: A2 1:70 | A3:71%縮小

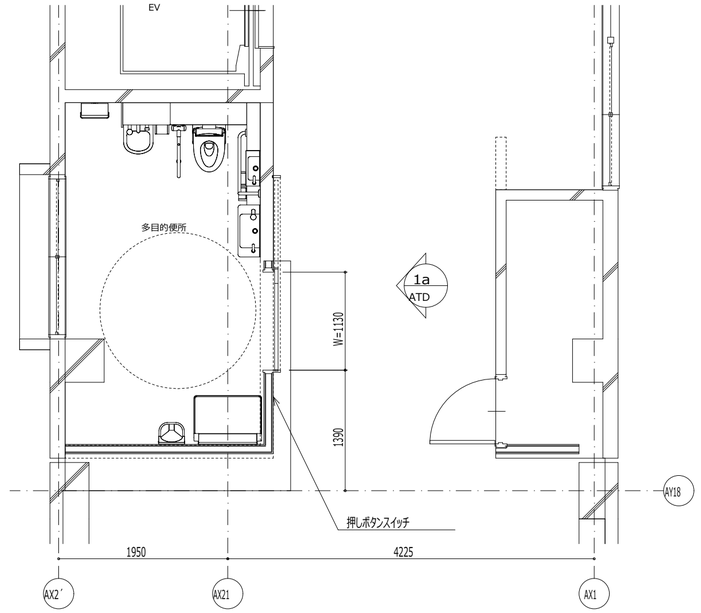
1階 多目的便所



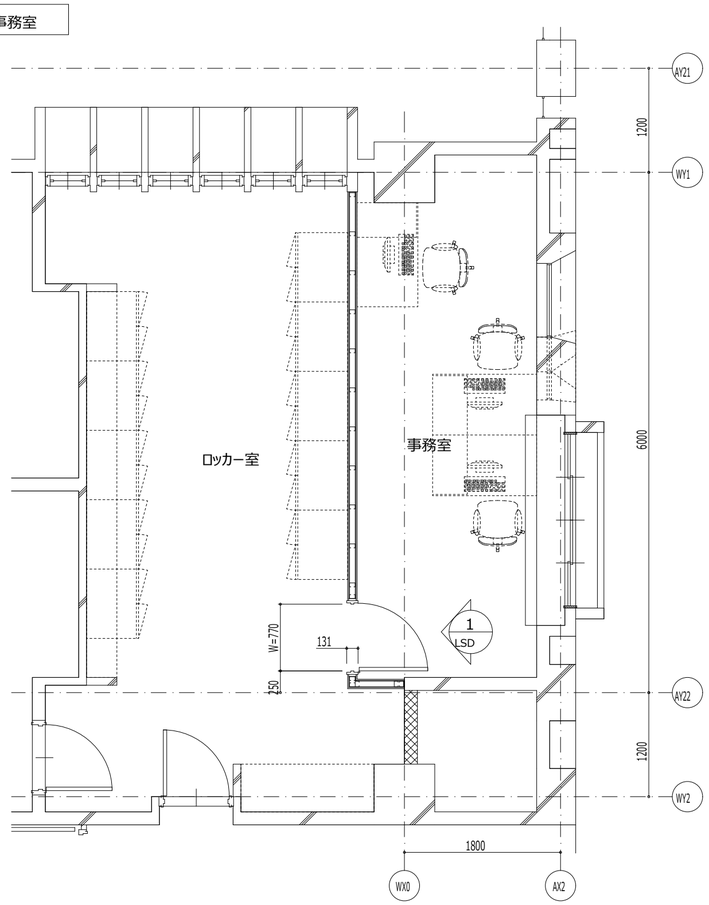
2階 多目的便所



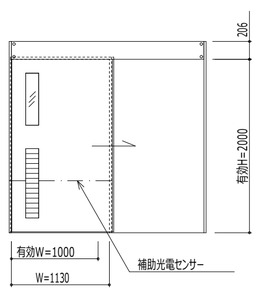
3階 多目的便所



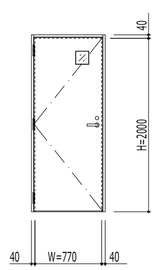
1階 事務室



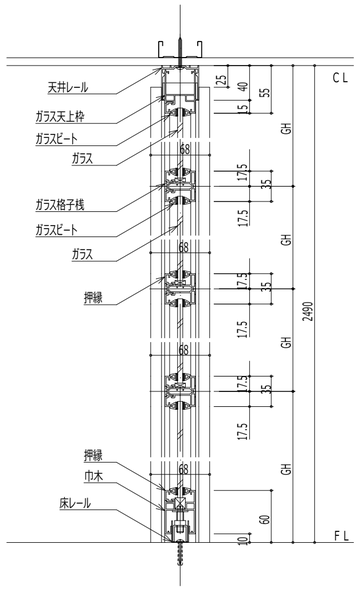
※切窓ガラス：強化5t

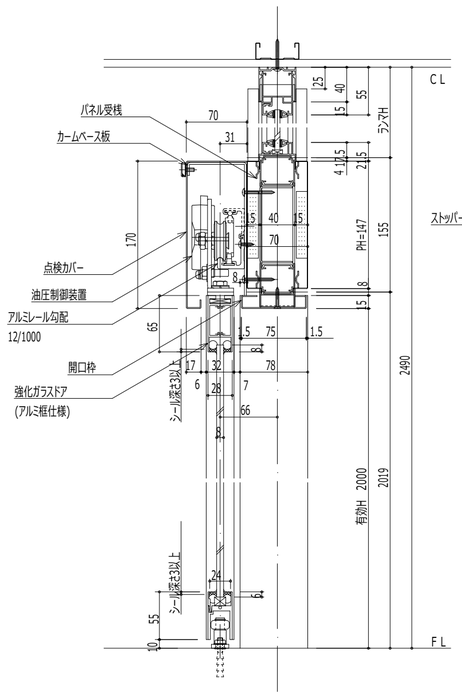


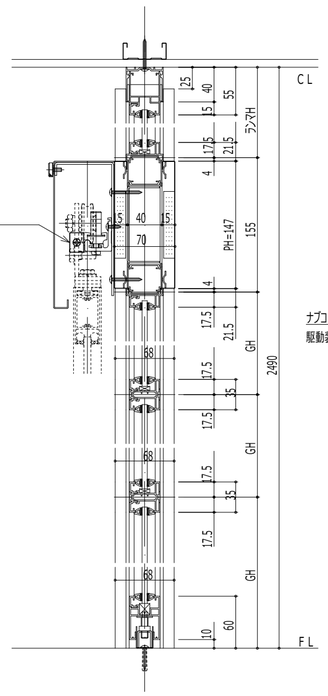
※切窓ガラス：強化5t

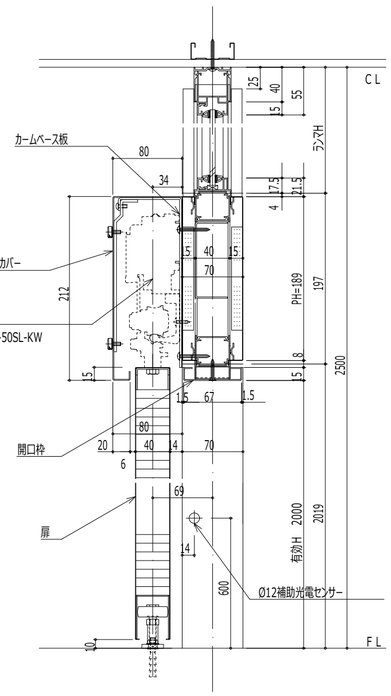


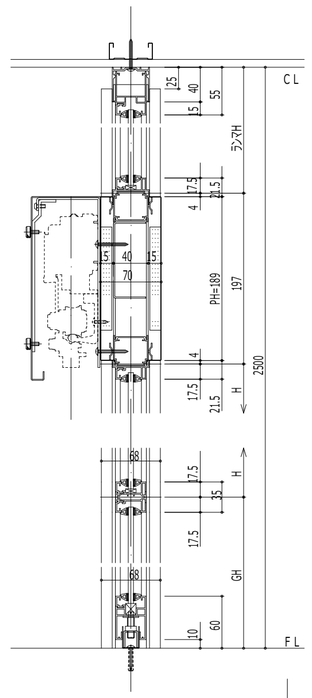
	設計 香山・タニ設計業務共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事 第12399号 香山建築研究所		鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち建築工事	A-72
		一級建築士 第289714号 長谷川祥久	date:2025.07	建具詳細図2 scale: A2 1:50 | A3:71%縮小	

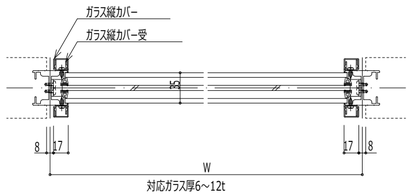


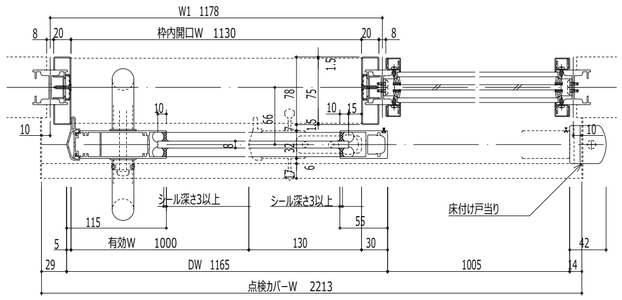


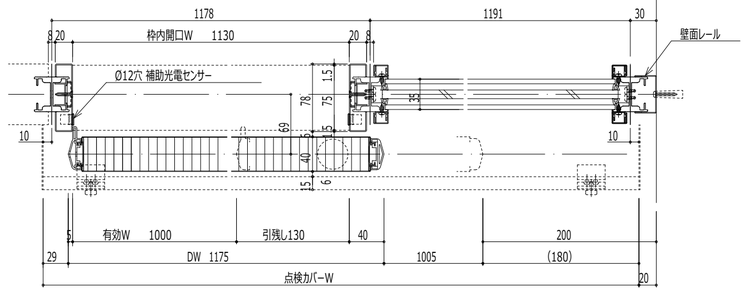












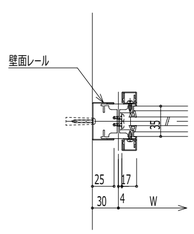
◇仕様表

(小松ウオール工業 マイティーＧＷＡＬＬ同等品)

項目	部材	材料(板厚mm)
骨材	天井レール	アルミ押出形材 <焼付塗装仕上>
	床レール(ガラス用)	冷間圧延鋼板 0.8mm <焼付塗装仕上>
	床レール(パネル用)	アルミ押出形材 <焼付塗装仕上>
	ポール(支柱)	アルミ押出形材 <焼付塗装仕上>
	下桟	アルミ押出形材 <アルマイト処理仕上>
	パネル受桟	アルミ押出形材 <焼付塗装仕上>
	ガラス天上枠・押縁	アルミ押出形材 <焼付塗装仕上>
	ガラス桟・格子桟	アルミ押出形材 <焼付塗装仕上>
	ガラス縦カバー・受	アルミ押出形材 <焼付塗装仕上>
	巾木(ガラス用)	アルミ押出形材 <焼付塗装仕上>
	巾木(パネル用)	冷間圧延鋼板 0.8mm <焼付塗装仕上>
	エンドフィニッシュ	亜鉛めっき鋼板 0.5mm <焼付塗装仕上>
	コーナーカバー	アルミ押出形材 <焼付塗装仕上>
	壁面レール	冷間圧延鋼板 0.8mm <焼付塗装仕上>
ガラス	ガラス(ガラス工事)	フロートガラス 6mm・10mm・12mm(片面飛散防止フィルム貼)
	ガラスビート	ポリ塩化ビニル 対応ガラス厚6～12mm <グレー色>
	ジョイント	樹脂 対応ガラス厚10～12mm <半透明色>
パネル	パネル表面材	亜鉛めっき鋼板 0.5mm <焼付塗装仕上>
	芯材	せっこうボード 12.5mm

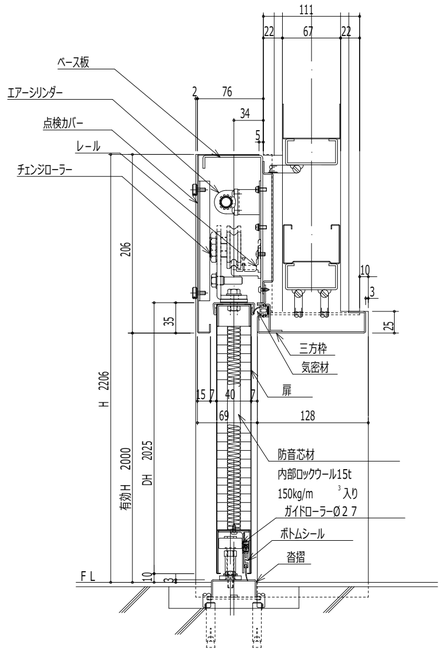
項目	部材	材料(板厚mm)
自閉式吊戸	パネル表面材	亜鉛めっき鋼板 0.5mm <焼付塗装仕上>
	芯材	ペーパーコア
	ベース板	亜鉛めっき鋼板 2.3mm <焼付塗装仕上>
	点検カバー	冷間圧延鋼板 1.2mm <焼付塗装仕上>
	フロントゴム	ポリ塩化ビニル <ブラック色>
	カームレール	アルミ押出型材 <アルマイト処理仕上>
	自閉装置	ナブコ自動ドア装置（電気錠）
	スイッチ	タッチスイッチ等
	補助光電センサー	NP-01
	保護センサー	無目センサー等
自閉式吊戸(ガラス)	ガラスフレーム	アルミ押出形材 <焼付塗装仕上>
	ガラス(ガラス工事)	強化ガラス 8mm
	ベース板	亜鉛めっき鋼板 2.3mm <焼付塗装仕上>
	点検カバー	冷間圧延鋼板 1.2mm <焼付塗装仕上>
	フロントゴム	ポリ塩化ビニル <ブラック色>
	カームレール	アルミ押出型材 <アルマイト処理仕上>
	自閉装置	油圧制御装置
	ロック	美和ロック POSTE錠/ゴール AD錠
	引手	※ユニオンG5602-S70S(ステンHL) Ø25 L=600
	床付戸当り	亜鉛ダイキャスト(ベストDW-10)

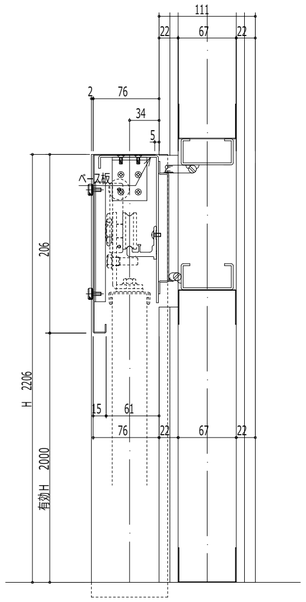
項目	部材	材料(板厚mm)
切窓ガラリ	※切窓・ガラリ（枠無し）	アルミ押出形材 <焼付塗装仕上>
	切窓ビート	ポリ塩化ビニル 対応ガラス厚3～6mm <グレー色>
備考	※焼付塗装は、メラミン樹脂焼付塗装仕上(3分艶)	
	※焼付塗装の色は、単色30色以上から選択できること。	

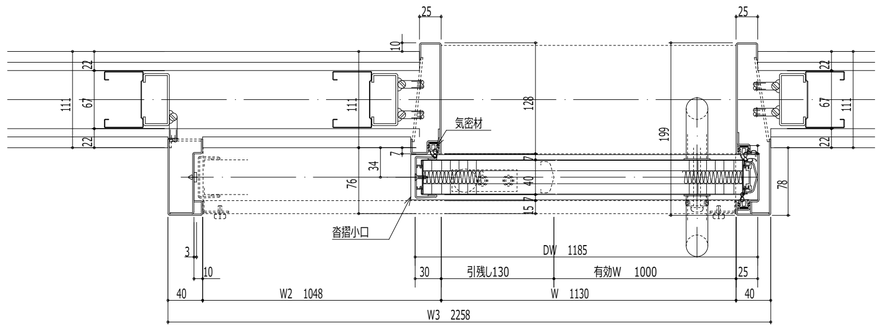


ガラス壁面納まり

	設計 香山・タニ設計業務共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事 第12399号 香山建築研究所		鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち建築工事	A-73
		一級建築士 第289714号 長谷川祥久	date:2025.07	建具詳細図3 scale: A2 1:5 | A3:71%縮小	



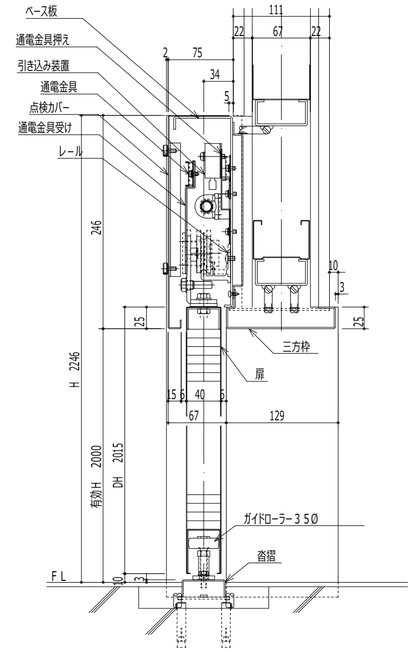


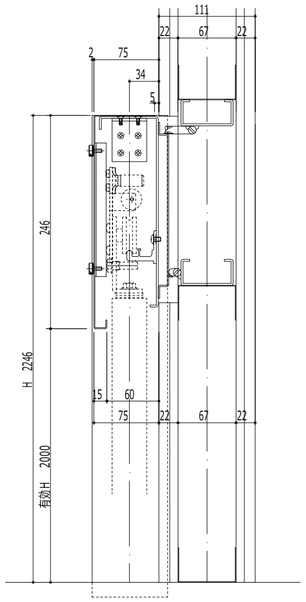


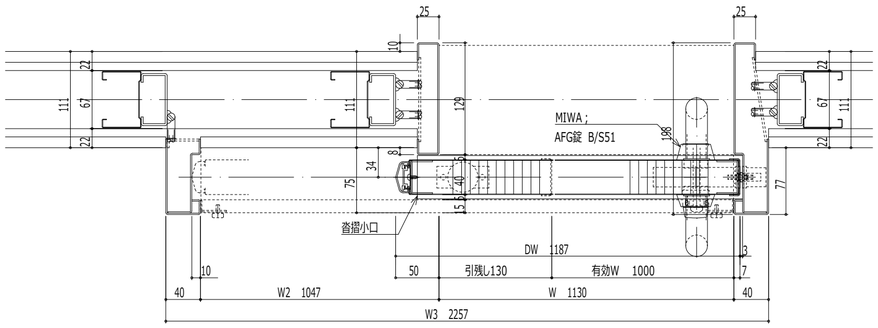
◇仕様表

(小松ウオール カームドア外付け枠タイプ 簡易気密型)

項 目	部 材	材 料（板厚mm）
駆動装置	駆動方式	傾斜レール 制御装置エアダンパ
	カームベース板	亜鉛めっき鋼板 2.3mm <防錆塗装仕上>
	カームレール	アルミ押出形材 <アルマイト処理仕上>
	ハンガー戸車	樹脂製戸車 ブラケットはめっき仕上
枠	先付け枠	亜鉛めっき鋼板 1.6mm <焼付塗装仕上>
	沓摺	ステンレス <ヘアライン>
	点検カバー	冷間圧延鋼板 1.2mm <焼付塗装仕上>
扉	パネル表面材	亜鉛めっき鋼板 0.6mm <焼付塗装仕上>
	芯 材	ペーパーコア
	フロントゴム	ポリ塩化ビニル <ブラック色>
金物	ロック	美和 ＰＯＳＴＥ錠
	取 手	ステンレス鏡面ハンドルØ25 L=600
切窓	※切窓（枠無し）	アルミ押出形材 <焼付塗装仕上>
	ガラス押え	ポリ塩化ビニル 対応ガラス厚3～6mm<グレー色>
備考	※焼付塗装は、メラミン樹脂焼付塗装仕上(3分艶)	
	※焼付塗装の色は、単色30色以上から選択できること。	





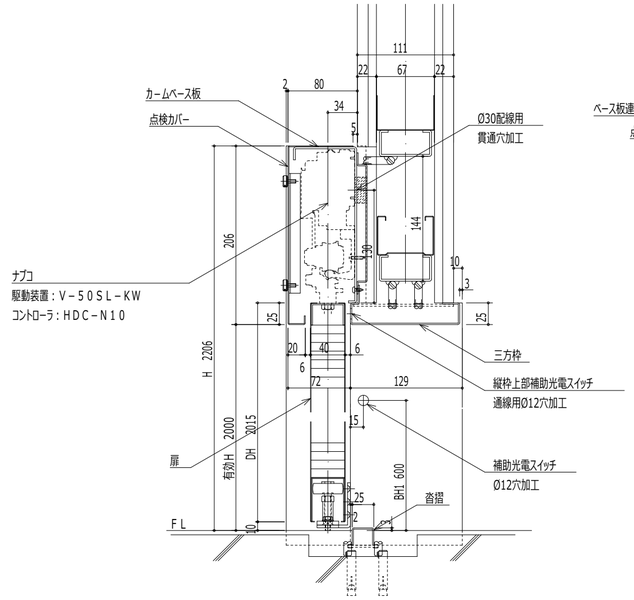


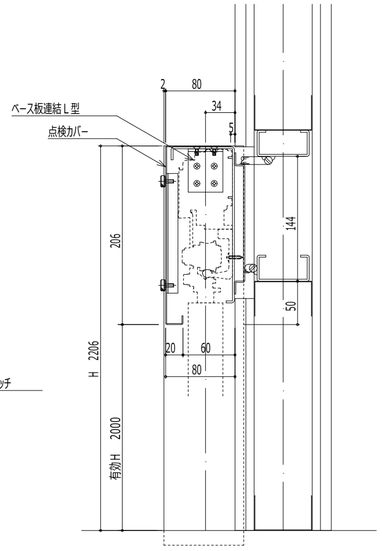
◇仕様表

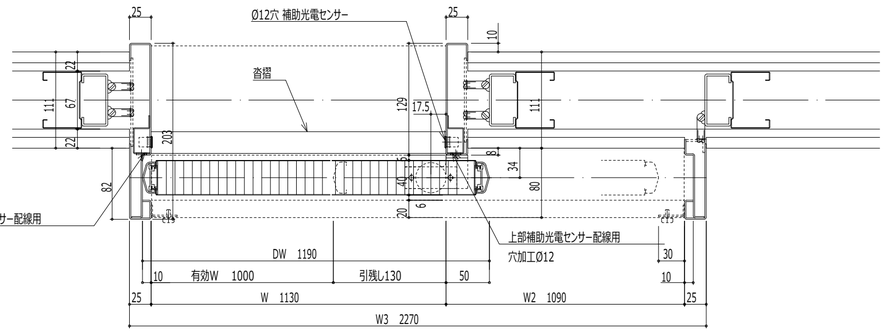
(小松ウオール カームドア外付け枠タイプ 電気錠)

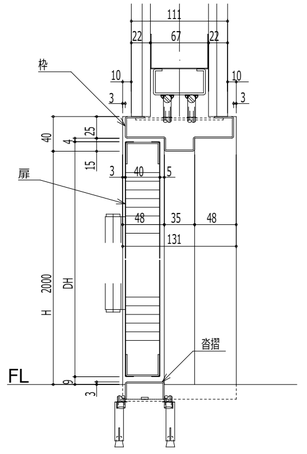
項 目	部 材	材 料（板厚mm）
駆動装置	駆動方式	傾斜レール 制御装置エアダンパ
	カームベース板	亜鉛めっき鋼板 2.3mm <防錆塗装仕上>
	カームレール	アルミ押出形材 <アルマイト処理仕上>
	ハンガー戸車	樹脂製戸車 ブラケットはめっき仕上
枠	先付け枠	亜鉛めっき鋼板 1.6mm <焼付塗装仕上>
	沓摺	ステンレス <ヘアライン>
	点検カバー	冷間圧延鋼板 1.2mm <焼付塗装仕上>
扉	パネル表面材	亜鉛めっき鋼板 0.6mm <焼付塗装仕上>
	芯 材	ペーパーコア
	フロントゴム	ポリ塩化ビニル <ブラック色>
金物	ロック	美和 AFG錠
	取 手	ステンレス鏡面ハンドルØ25 L=600
切窓 ガラリ	※切窓・ガラリ（枠無し）	アルミ押出形材 <焼付塗装仕上>
	ガラス押え	ポリ塩化ビニル 対応ガラス厚3～6mm<グレー色>
備考	※焼付塗装は、メラミン樹脂焼付塗装仕上(3分艶)	
	※焼付塗装の色は、単色30色以上から選択できること。	

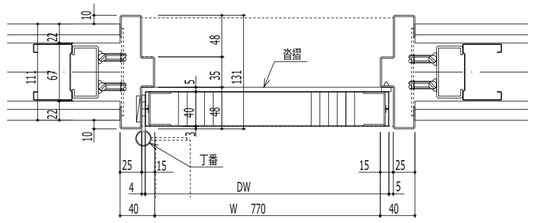
	設計 香山・タニ設計業務共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事 第12399号 香山建築研究所		鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち建築工事	A-74
		一級建築士 第289714号 長谷川祥久	date:2025.07	建具詳細図4 scale: A2 1:5 | A3:71%縮小	











◇仕様表

(小松ウオール　LSドア 開き戸)

項 目	部 材	材 料（板厚mm）
枠	ドア枠	亜鉛めっき鋼板 1.6mm <焼付塗装仕上>
	沓摺	ステンレス
扉	パネル表面材	亜鉛めっき鋼板 0.6mm <焼付塗装仕上>
	芯 材	ペーパーコア
金物	ロック	美和 ＬＡ錠／ゴール ＬＸ錠
	ドアクローザ	ニュースター 7000シリーズ
	吊り金物	旗丁番（ステンレス）
	戸当り	床付け戸当り
切窓 ガラリ	※切窓・ガラリ（枠無し）	アルミ押出形材 <焼付塗装仕上>
	ガラス押え	ポリ塩化ビニル 対応ガラス厚3～6mm<グレー色>
備考	※焼付塗装は、メラミン樹脂焼付塗装仕上(3分艶)	
	※焼付塗装の色は、単色30色以上から選択できること。	

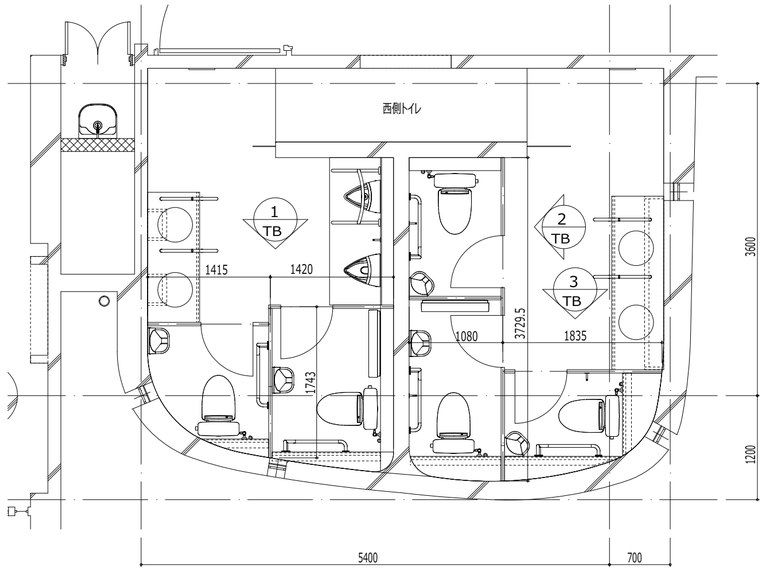
	有効W+引残し 最小寸法
HDC－N10+PL－T20Uプーリーロック	1030mm
HDC－N10+SKD－T10電気錠	1030mm

◇仕様表

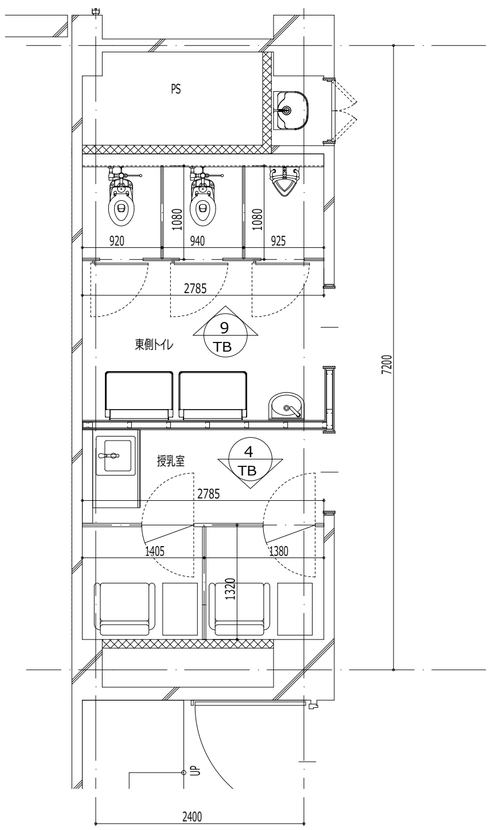
(小松ウオール カームドア外付け枠タイプ 自動ドア)

項 目	部 材	材 料（板厚mm）
駆動 装置	駆動方式	ナブコドア：V－50SL－KW
	カームベース板	亜鉛めっき鋼板 2.3mm <防錆塗装仕上>
枠	先付け枠	亜鉛めっき鋼板 1.6mm <焼付塗装仕上>
	点検カバー	冷間圧延鋼板 1.2mm <焼付塗装仕上>
扉	パネル表面材	亜鉛めっき鋼板 0.6mm <焼付塗装仕上>
	芯 材	ペーパーコア
	フロントゴム	ポリ塩化ビニル <ブラック色>
センサー	スイッチ	HDS-4ig押しボタンスイッチ
	補助光電センサー	NP-01
切窓 ガラリ	※切窓・ガラリ（枠無し）	アルミ押出形材 <焼付塗装仕上>
	ガラス押え	ポリ塩化ビニル 対応ガラス厚3～6mm<グレー色>
備考	※焼付塗装は、メラミン樹脂焼付塗装仕上(3分艶)	
	※焼付塗装の色は、単色30色以上から選択できること。	

	設計 香山・タニ設計業務共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事 第12399号 香山建築研究所		鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち建築工事	A-75
		一級建築士 第289714号 長谷川祥久	date:2025.07	建具詳細図5 scale: A2 1:5｜A3:71%縮小	

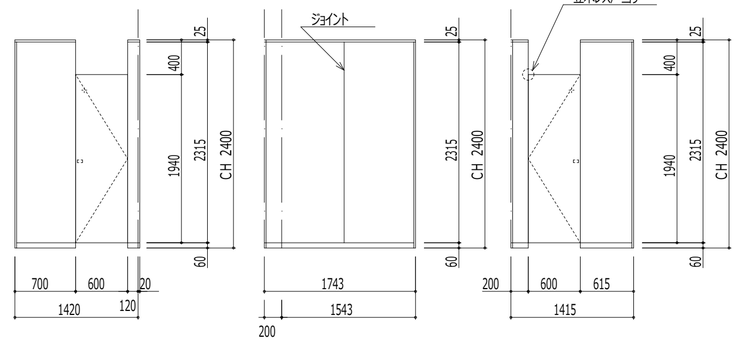


1～3階西側便所　平面図　S=1/50

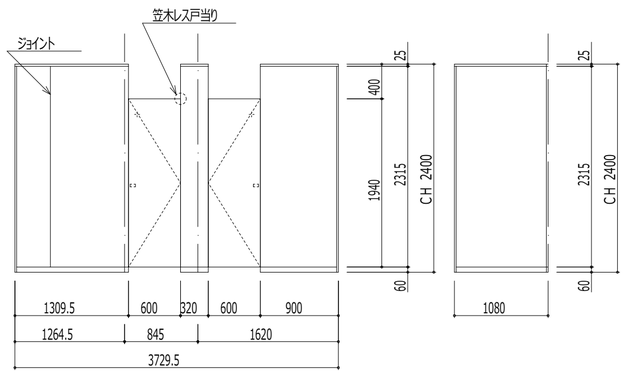


1階東側便所　平面図　S=1/50

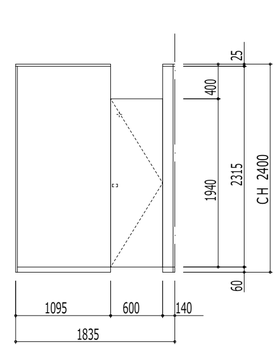
1
TB
X3ヶ所
TB-TP



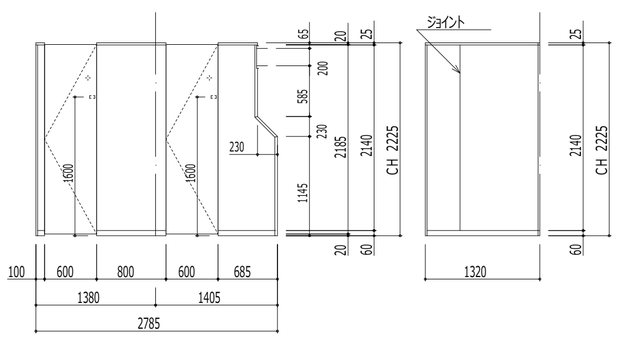
2
TB
X3ヶ所
TB-TP



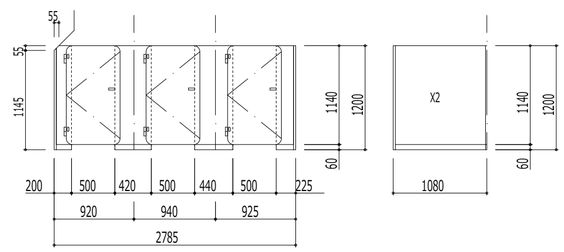
3
TB
X3ヶ所
TB-TP



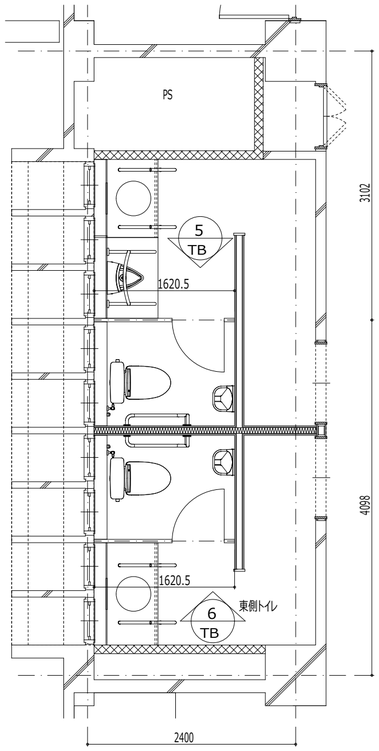
4
TB
TB-SCTP



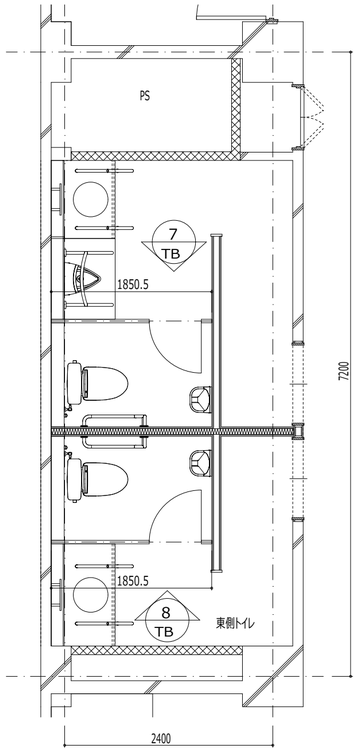
9
TB
TB-YP



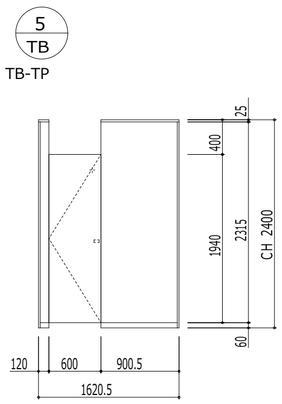
	設計 香山・タニ設計業務共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事 第12399号　香山建築研究所 一級建築士 第289714号 長谷川祥久		鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち建築工事 建具詳細図6	A-76
			date:2025.07	scale:　A2 1:50｜A3:71%縮小	

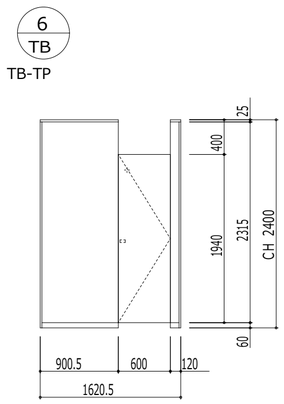


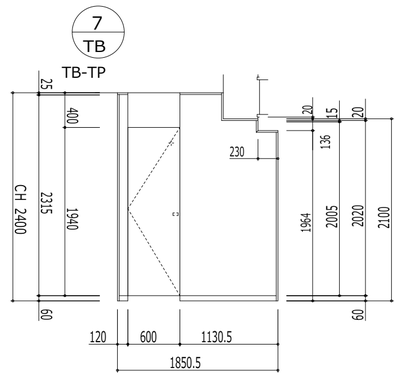
2階東側便所　平面図　S=1/50

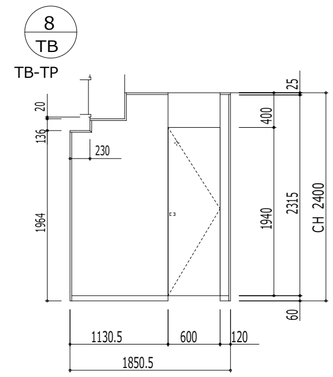


3階東側便所　平面図　S=1/50

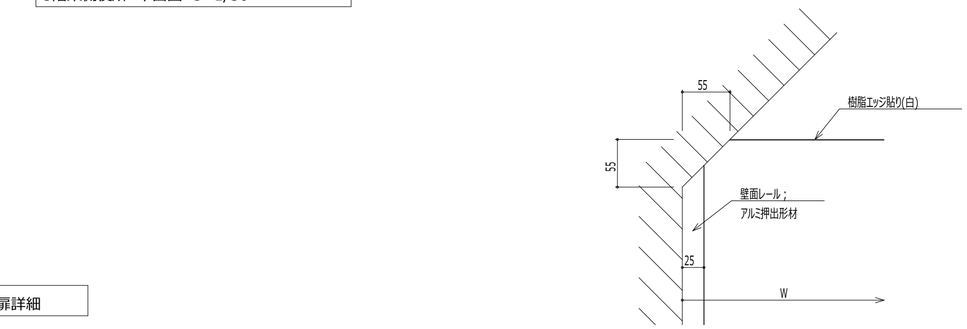






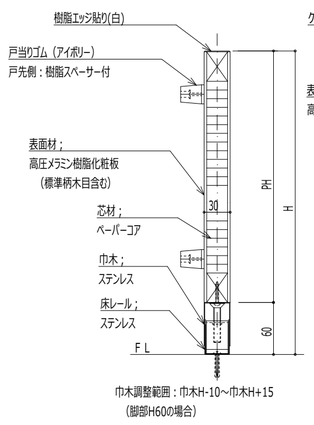


トイレブース断面詳細図　S=1/5

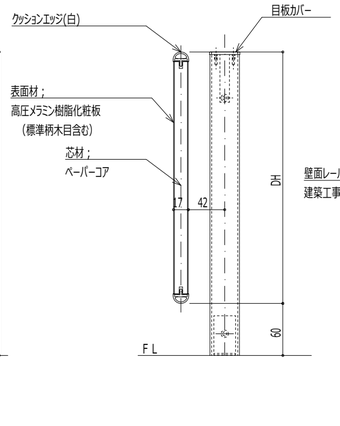


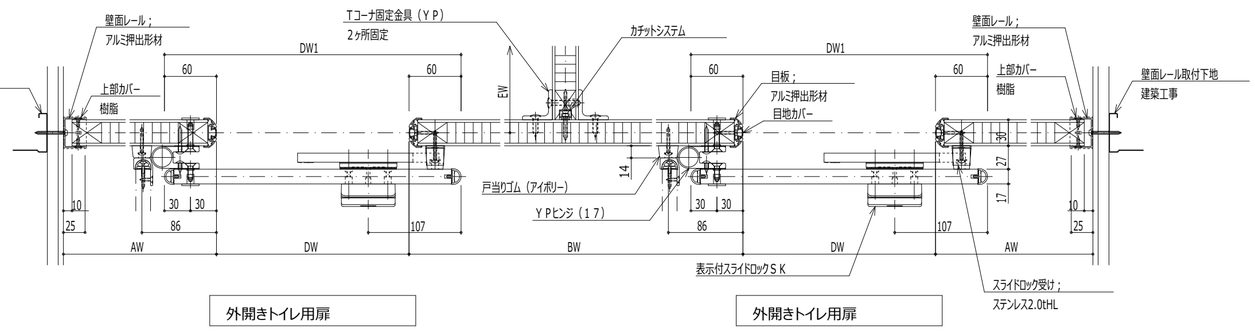
TB-11　壁面上部詳細

パネル詳細



扉詳細





外開きトイレ用扉

外開きトイレ用扉

◇仕様表　(小松ウォール サニティＴＢ－ＹＰタイプ)

項 目	部 材	材 料（板厚mm）
パネル	パネル表面材	高圧メラミン樹脂化粧板(下地：MDF)（標準柄木目含む）
	芯 材	ペーパーコア
	エッジ	アルミ押出形材 <アルマイトクリア処理仕上>
ドア	パネル表面材	高圧メラミン樹脂化粧板
	芯 材	パーチクルボード15mm
付属品	巾木／床レール	ステンレス0.8mm <ヘアライン仕上>
	ロック	表示付スライドロックSK
	ヒンジ	ＹＰヒンジ
	その他金物	亜鉛ダイキャスト

※木目柄は２０柄以上から選択できることとする。

	設計 香山・タニ設計業務共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事 第12399号 香山建築研究所		鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち建築工事	A-77
		一級建築士 第289714号 長谷川祥久	date:2025.07	建具詳細図7 scale: A2 1:50｜A3:71%縮小	

トイレブース断面詳細図 S=1/5

◇仕様表

(小松ウオール セキュリティブース)

項 目	部 材	材 料（板厚mm）
パネル	パネル表面材	高圧メラミン樹脂化粧板(下地：MDF)
	芯 材	ペーパーコア
	目板／戸当り	アルミ押出形材 <焼付塗装仕上>
付属品	巾木／床レール	ステンレス 0.8mm <ヘアライン仕上>
	天井レール	亜鉛めっき鋼板 1.2mm <焼付塗装仕上>
	壁面レール／エンドカバー	アルミ押出形材 <焼付塗装仕上>
	ヒンジ	セキュリティヒンジ
	ロック	非常時用表示付スライドロックHK
	その他金物	戸当り帽子掛けHG

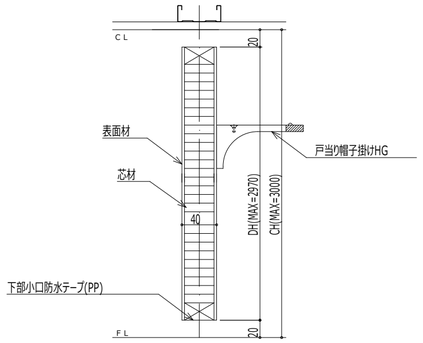
◇仕様表

(小松ウオール サニティＴＢ－ＴＰタイプ)

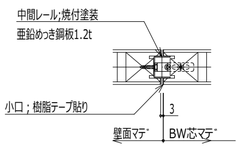
項 目	部 材	材 料（板厚mm）
パネル	パネル表面材	高圧メラミン樹脂化粧板(下地：MDF)
	芯 材	ペーパーコア
	目板／戸当り	アルミ押出形材 <焼付塗装仕上>
付属品	巾木／床レール	ステンレス 0.8mm <ヘアライン仕上>
	天井レール	亜鉛めっき鋼板 1.2mm <焼付塗装仕上>
	笠木	アルミ押出形材 <焼付塗装仕上>
	壁面レール／エンドカバー	アルミ押出形材 <焼付塗装仕上>
	ヒンジ ／SKヒンジ	中心吊グレビティヒンジ ／中心吊ヒンジ
	ロック	非常時用表示付スライドロックHK
	その他金物	戸当り帽子掛けHG ／引手HK

※木目柄は２０柄以上から選択できることとする。

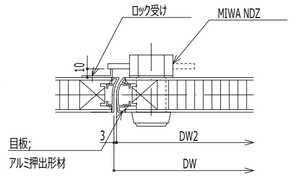
扉詳細（授乳室）



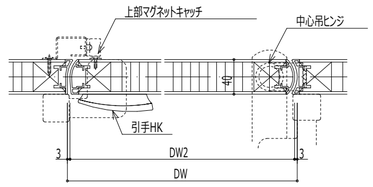
ドア上下チリ(MIN：15mm)



ジョイント

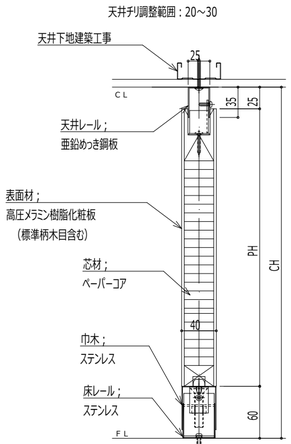


MIWA NDZ詳細



ＳＫ･物入れ用片開き扉

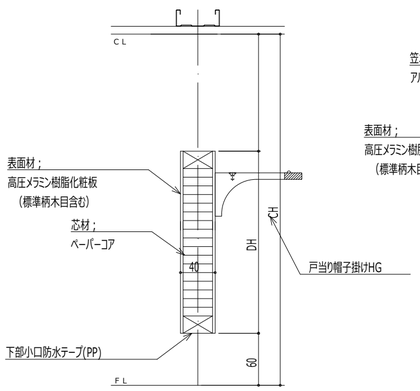
パネル詳細



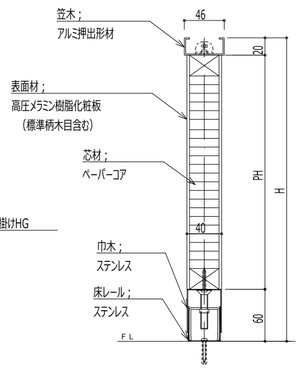
天井チリ調整範囲：20～30

巾木調整範囲：巾木H-10～巾木H+15

扉詳細

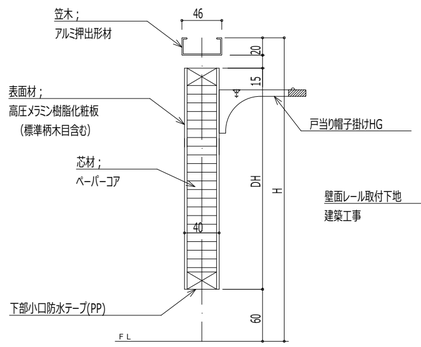


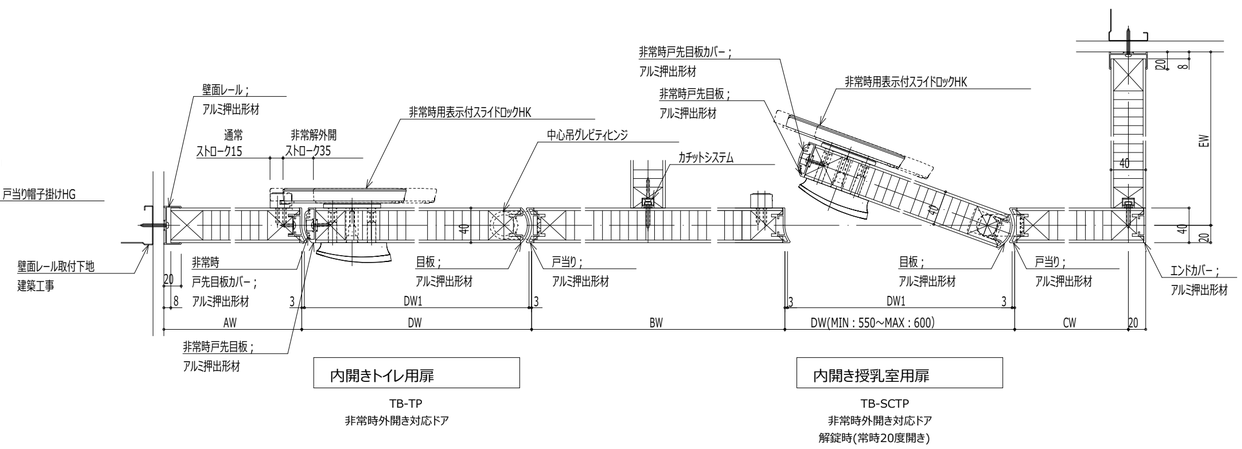
パネル詳細



巾木調整範囲：巾木H-10～巾木H+15

扉詳細



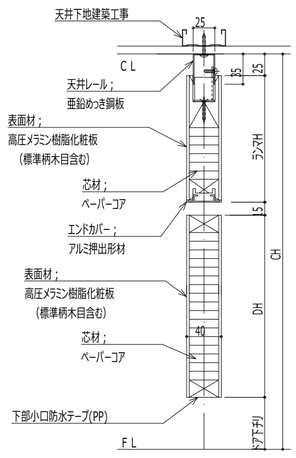


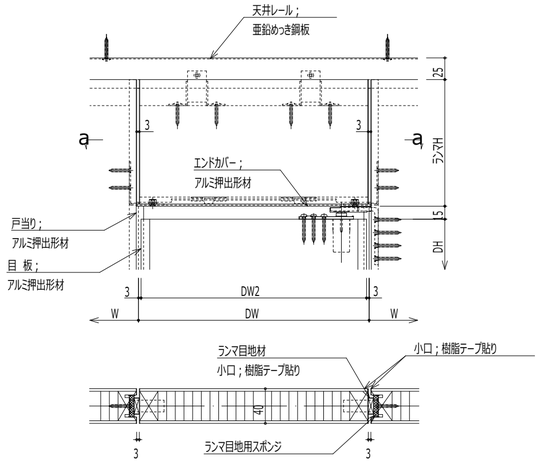
内開きトイレ用扉

TB-TP
非常時外開き対応ドア

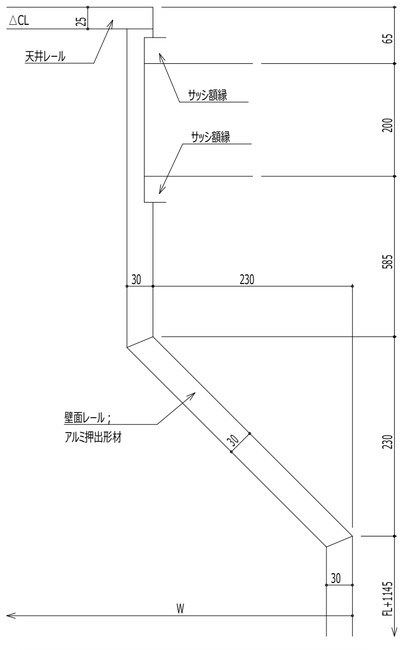
内開き授乳室用扉

TB-SCTP
非常時外開き対応ドア
解錠時(常時20度開き)

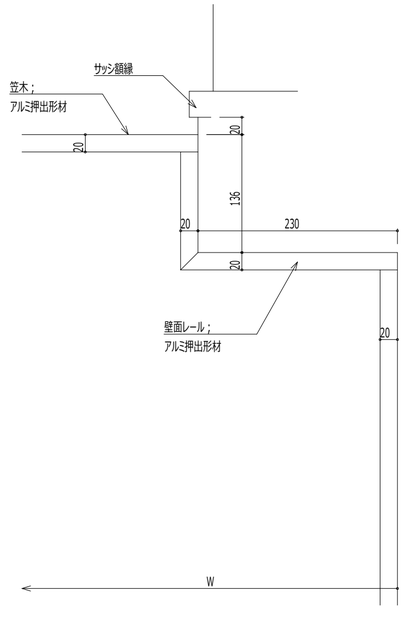




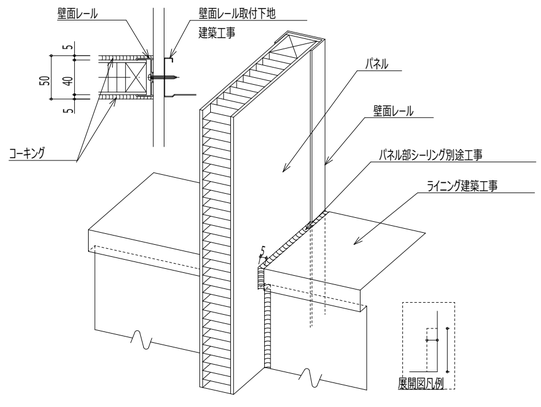
a-a断面



TB-4 サッシ額縁下壁面部詳細

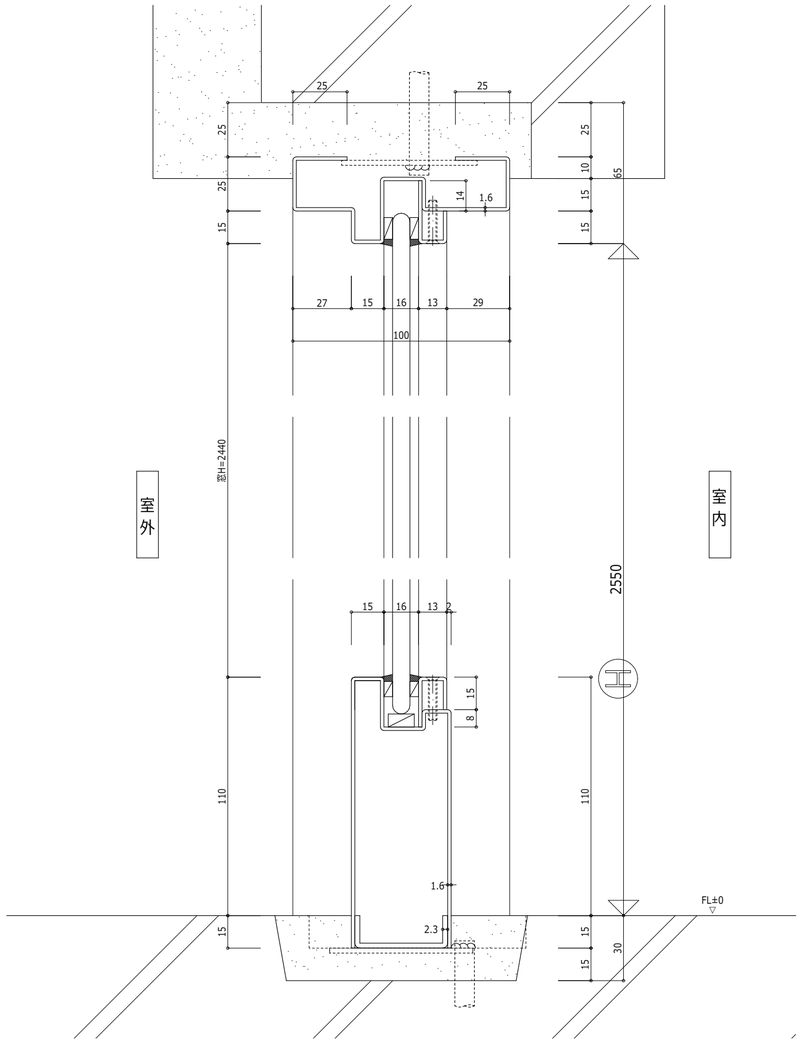


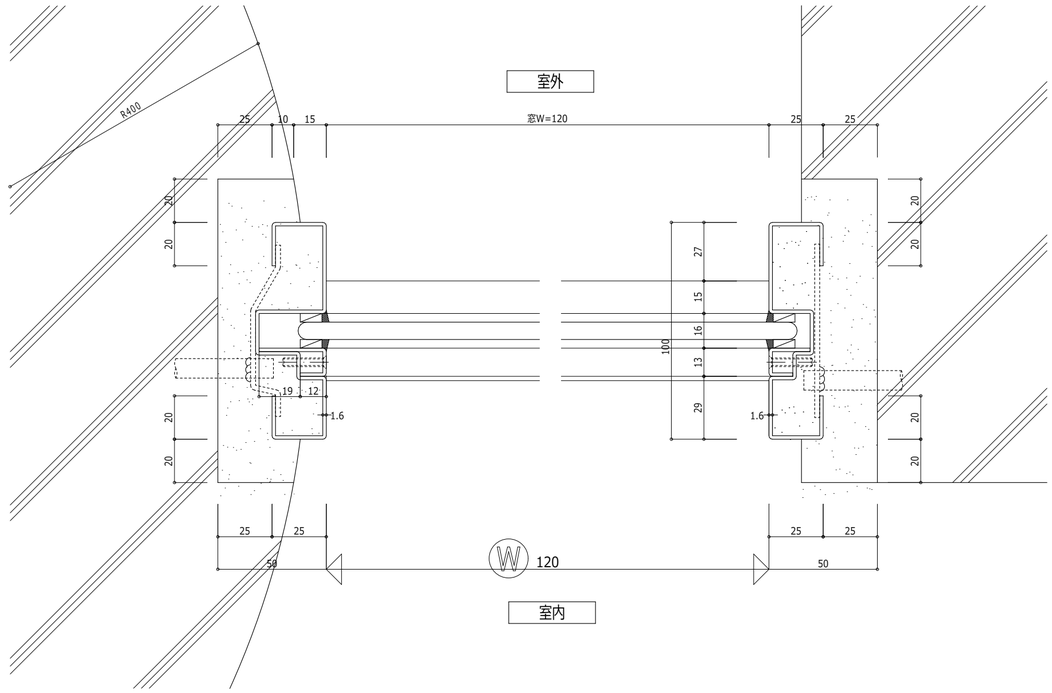
TB-7･8 サッシ額縁下壁面部詳細



パネル優先ライニング分割納まり

	設計 香山･タニ設計業務共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事 第12399号 香山建築研究所		鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち建築工事	A-78
		一級建築士 第289714号 長谷川祥久	date:2025.07	建具詳細図8 scale: A2 1:5 | A3:71%縮小	





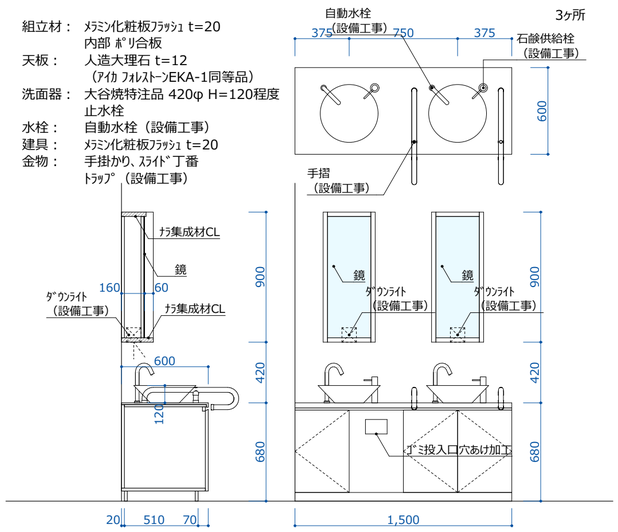
SW詳細図 1:2

設計	香山・タニ設計業務共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事 第12399号 香山建築研究所		鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち建築工事	A-79
		一級建築士 第289714号 長谷川祥久	date:2025.07	建具詳細図9 scale: A2 1:2 | A3:71%縮小	

F-1 洗面化粧台 1:30

3ヶ所

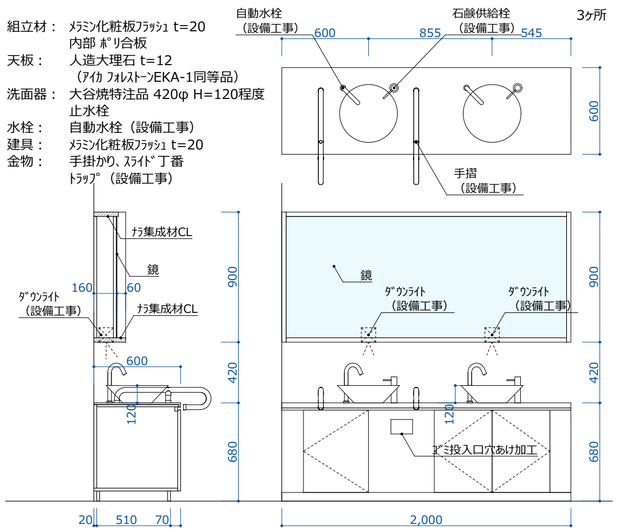
組立材： ﾒﾗﾐﾝ化粧板ﾌﾗｯｼｭ t=20
内部 ﾎﾟﾘ合板
天板： 人造大理石 t=12
（ｱｲｶ ﾌｫﾚｽﾄｰﾝEKA-1同等品）
洗面器： 大谷焼特注品 420φ H=120程度
止水栓
水栓： 自動水栓（設備工事）
建具： ﾒﾗﾐﾝ化粧板ﾌﾗｯｼｭ t=20
金物： 手掛かり、ｽﾗｲﾄﾞ丁番
ﾄﾗｯﾌﾟ（設備工事）



F-2 洗面化粧台 1:30

3ヶ所

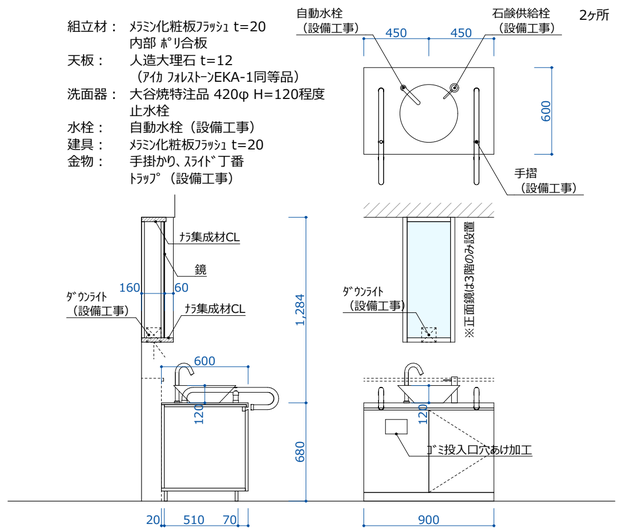
組立材： ﾒﾗﾐﾝ化粧板ﾌﾗｯｼｭ t=20
内部 ﾎﾟﾘ合板
天板： 人造大理石 t=12
（ｱｲｶ ﾌｫﾚｽﾄｰﾝEKA-1同等品）
洗面器： 大谷焼特注品 420φ H=120程度
止水栓
水栓： 自動水栓（設備工事）
建具： ﾒﾗﾐﾝ化粧板ﾌﾗｯｼｭ t=20
金物： 手掛かり、ｽﾗｲﾄﾞ丁番
ﾄﾗｯﾌﾟ（設備工事）



F-3 洗面化粧台 1:30

2ヶ所

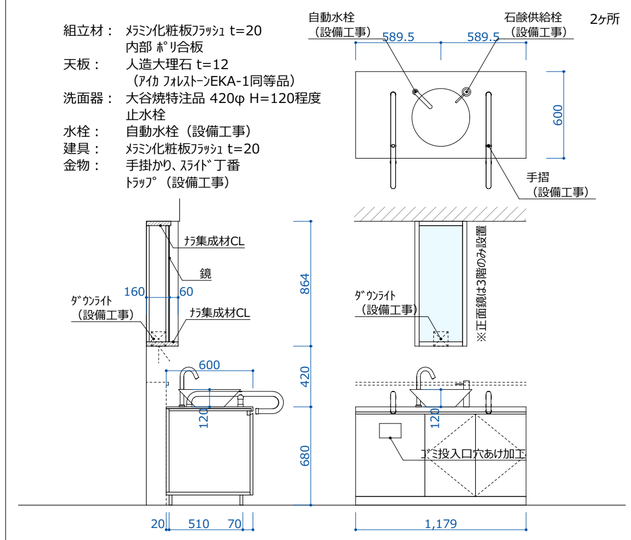
組立材： ﾒﾗﾐﾝ化粧板ﾌﾗｯｼｭ t=20
内部 ﾎﾟﾘ合板
天板： 人造大理石 t=12
（ｱｲｶ ﾌｫﾚｽﾄｰﾝEKA-1同等品）
洗面器： 大谷焼特注品 420φ H=120程度
止水栓
水栓： 自動水栓（設備工事）
建具： ﾒﾗﾐﾝ化粧板ﾌﾗｯｼｭ t=20
金物： 手掛かり、ｽﾗｲﾄﾞ丁番
ﾄﾗｯﾌﾟ（設備工事）



F-4 洗面化粧台 1:30

2ヶ所

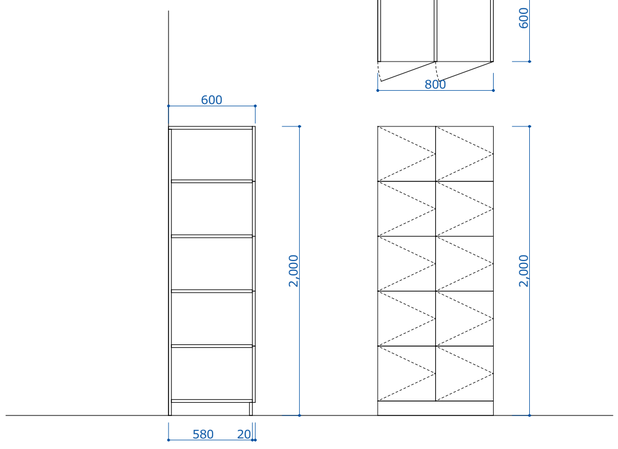
組立材： ﾒﾗﾐﾝ化粧板ﾌﾗｯｼｭ t=20
内部 ﾎﾟﾘ合板
天板： 人造大理石 t=12
（ｱｲｶ ﾌｫﾚｽﾄｰﾝEKA-1同等品）
洗面器： 大谷焼特注品 420φ H=120程度
止水栓
水栓： 自動水栓（設備工事）
建具： ﾒﾗﾐﾝ化粧板ﾌﾗｯｼｭ t=20
金物： 手掛かり、ｽﾗｲﾄﾞ丁番
ﾄﾗｯﾌﾟ（設備工事）



F-5 ﾛｯｶｰ 1:30

10ヶ所

組立材： ﾒﾗﾐﾝ化粧板ﾌﾗｯｼｭ t=20
天板： ﾒﾗﾐﾝ化粧板ﾌﾗｯｼｭ t=20
棚板： ﾒﾗﾐﾝ化粧板ﾌﾗｯｼｭ t=20
金物： ｷｰ式ﾛｯｶｰ錠

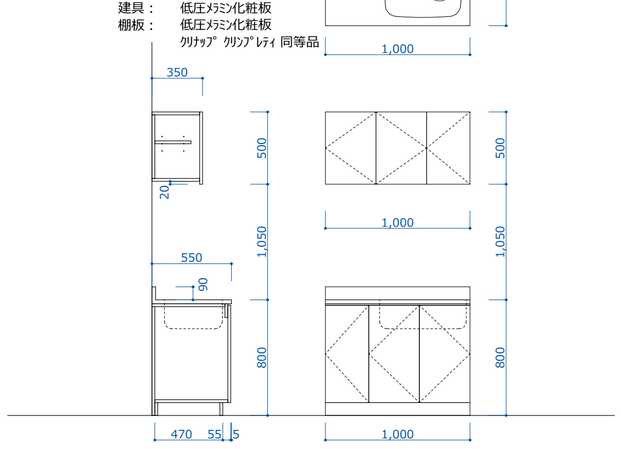


F-6 流し台 1:30

1ヶ所

組立材： 低圧ﾒﾗﾐﾝ化粧板
天板： SUS 430
シンク： SUS 430

建具： 低圧ﾒﾗﾐﾝ化粧板
棚板： 低圧ﾒﾗﾐﾝ化粧板
ｸﾘﾅｯﾌﾟ ｸﾘﾝﾌﾟﾚﾃｨ 同等品

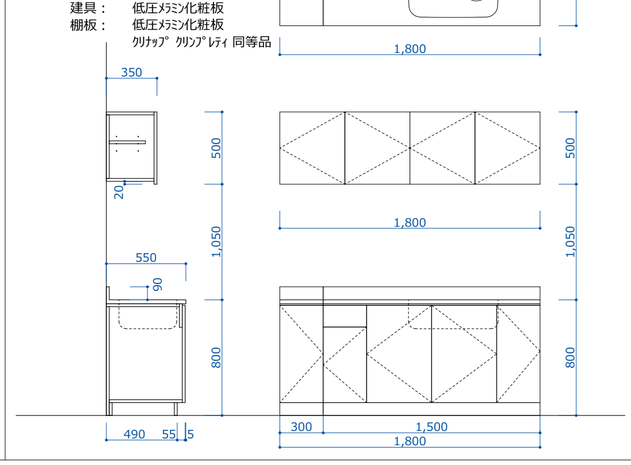


F-7 流し台 1:30

1ヶ所

組立材： 低圧ﾒﾗﾐﾝ化粧板
天板： SUS 430
シンク： SUS 430

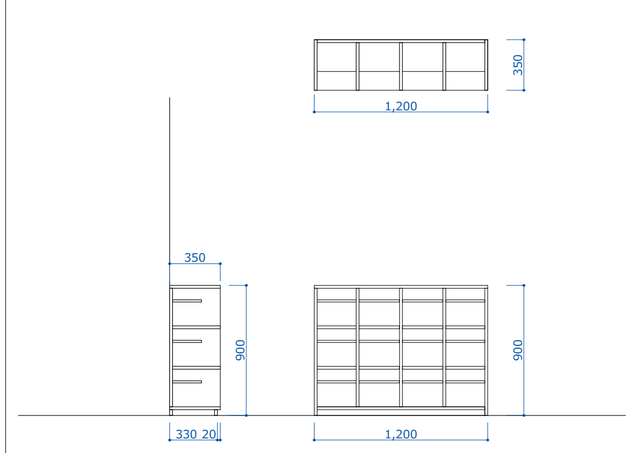
建具： 低圧ﾒﾗﾐﾝ化粧板
棚板： 低圧ﾒﾗﾐﾝ化粧板
ｸﾘﾅｯﾌﾟ ｸﾘﾝﾌﾟﾚﾃｨ 同等品



F-8a 下足入 1:30

5ヶ所

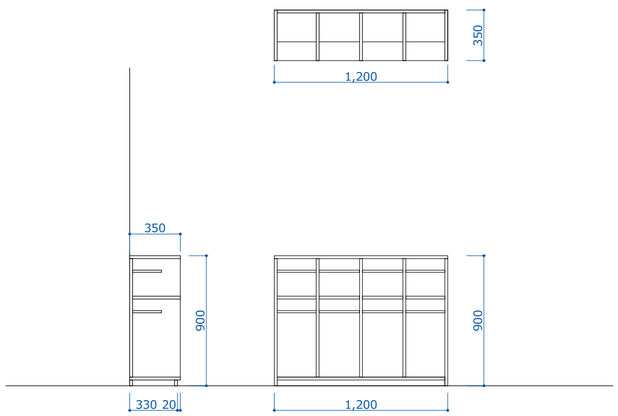
組立材： ﾒﾗﾐﾝ化粧板ﾌﾗｯｼｭ t=20
天板： ﾒﾗﾐﾝ化粧板ﾌﾗｯｼｭ t=20
棚板： ﾒﾗﾐﾝ化粧板ﾌﾗｯｼｭ t=20
中棚： ﾒﾗﾐﾝ化粧板ﾌﾗｯｼｭ t=15



F-8b 下足入 1:30

2ヶ所

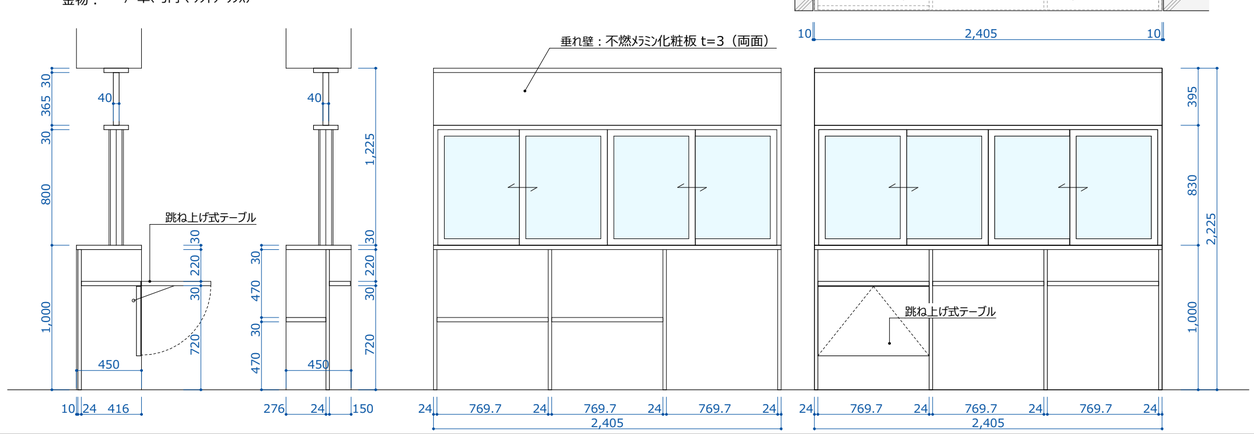
組立材： ﾒﾗﾐﾝ化粧板ﾌﾗｯｼｭ t=20
天板： ﾒﾗﾐﾝ化粧板ﾌﾗｯｼｭ t=20
棚板： ﾒﾗﾐﾝ化粧板ﾌﾗｯｼｭ t=20
中棚： ﾒﾗﾐﾝ化粧板ﾌﾗｯｼｭ t=15



F-9 受付 1:30

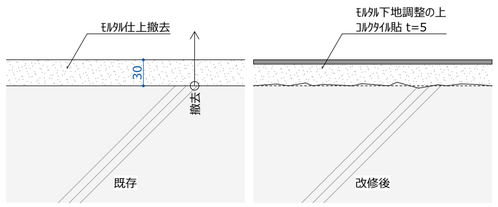
1ヶ所

垂れ壁： 不燃ﾒﾗﾐﾝ化粧板 t=3
組立材： ﾅﾗ集成板 t=24
天板： ﾅﾗ集成板 t=30
棚板： ﾅﾗ集成板 t=30
建具： ﾅﾗ框戸 t=40 ｶﾞﾗｽ TFL4
金物： 戸車、引手、ｿﾌﾄﾀﾞｳﾝｽﾃｰ

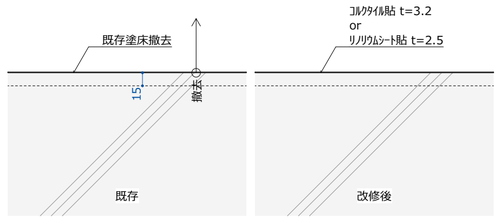


設計 香山・タニ設計業務共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事 第12399号 香山建築研究所		鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち建築工事	A-80
	一級建築士 第289714号 長谷川祥久	date:2025.07	家具詳細図	scale: A2 1:30 | A3:71%縮小

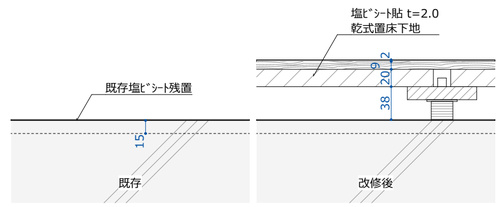
D-1 床改修詳細1 1:5



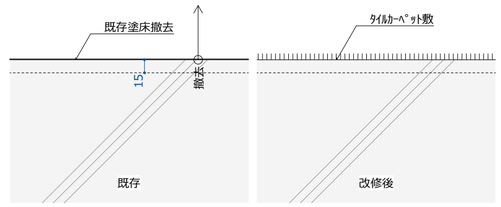
D-2 床改修詳細2 1:5



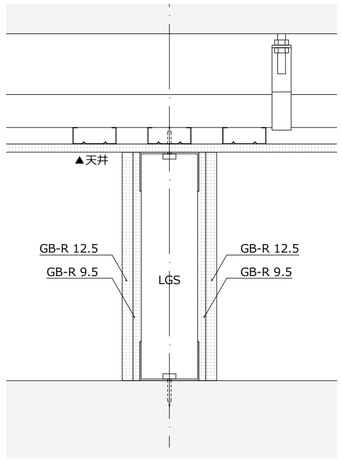
D-3 床改修詳細3 1:5



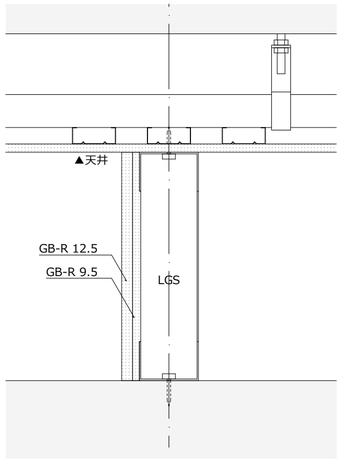
D-4 床改修詳細4 1:5



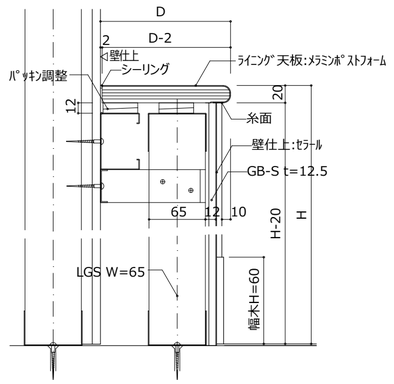
D-5 間仕切詳細1 1:5



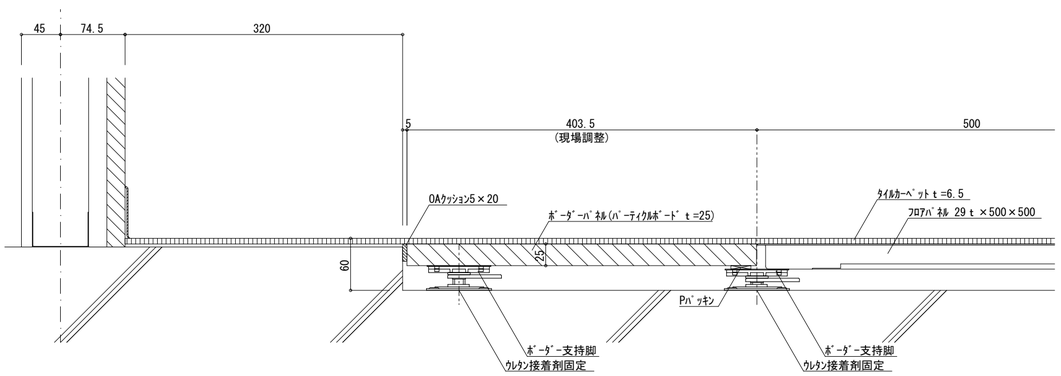
D-6 間仕切詳細2 1:5



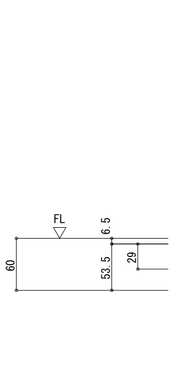
D-7 間仕切詳細2 1:5

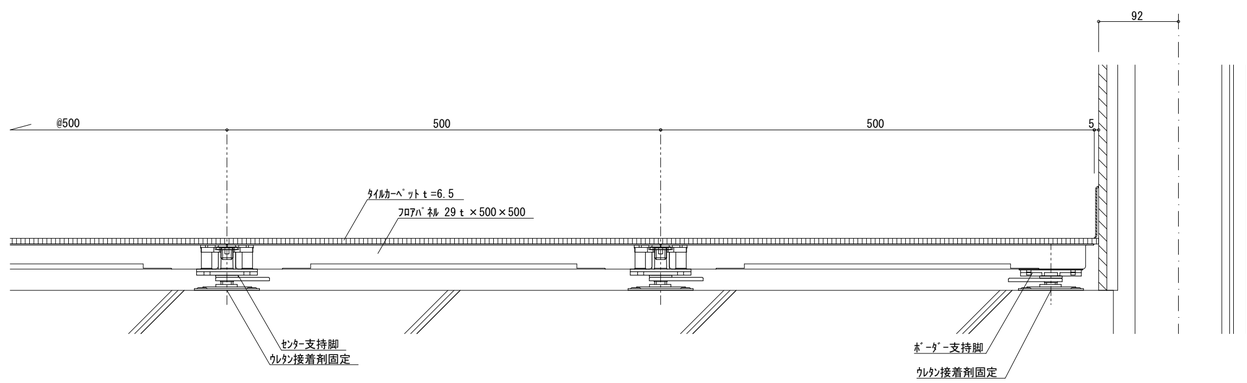


D-8 OAフロア詳細 1:5



床段差部(ﾎﾞｰﾀﾞｰﾊﾟﾈﾙ貼仕舞い)詳細図 S=1/5



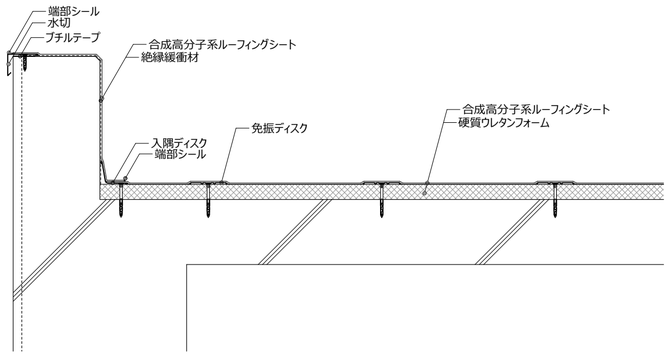


壁取合い部(ﾌﾛｱﾊﾟﾈﾙ貼始め)詳細図 S=1/5

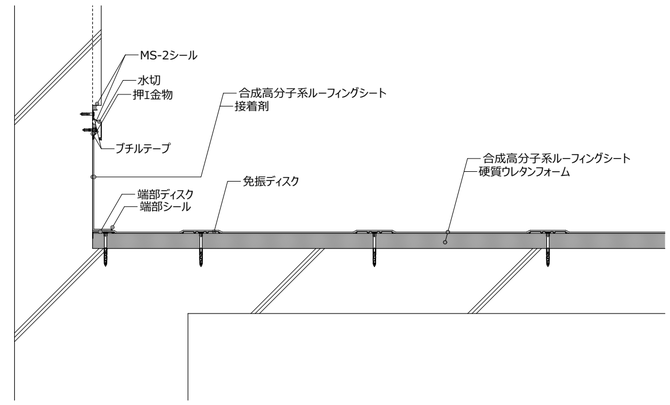
ｻﾝｱｸｾｽ300T同等品

	設計 香山・タニ設計業務共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事 第12399号 香山建築研究所		鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち建築工事	A-81
		一級建築士 第289714号 長谷川祥久	date:2025.07	部分詳細図1 scale: A2 1:5 | A3:71%縮小	

防-1　一般部／立上り／平場：断熱機械的固定工法／立上り：機械的固定工法／端末塩ビ被覆鋼板プレート　1:10

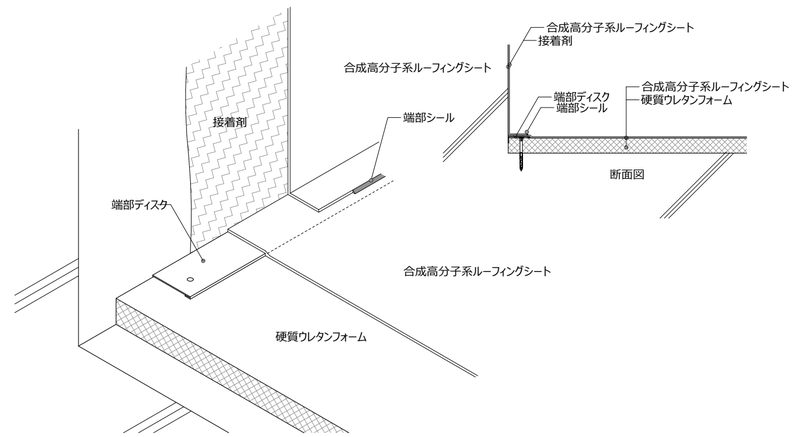


防-2　一般部／壁立上り／平場：断熱機械的固定工法／立上り：接着工法　1:10

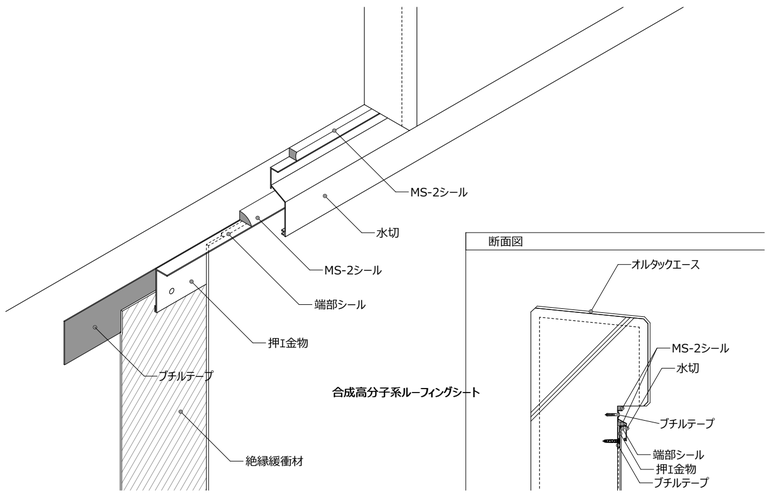


防-3　入隅部／平場：断熱機械的固定工法／立上り：接着工法　1:10

平場：断熱機械的固定工法　立上り：接着工法

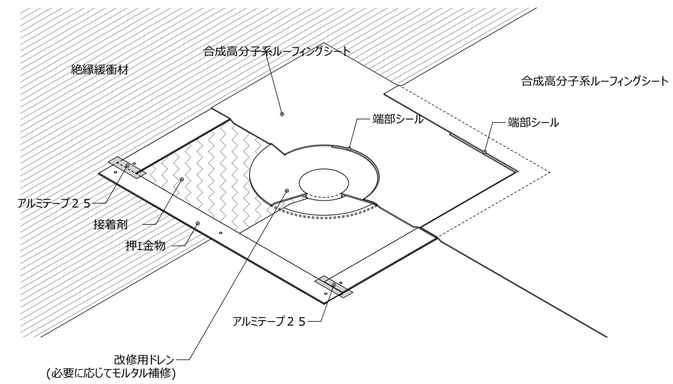


防-4　立上り／水切り目地無し／立上り：機械的固定工法　1:10

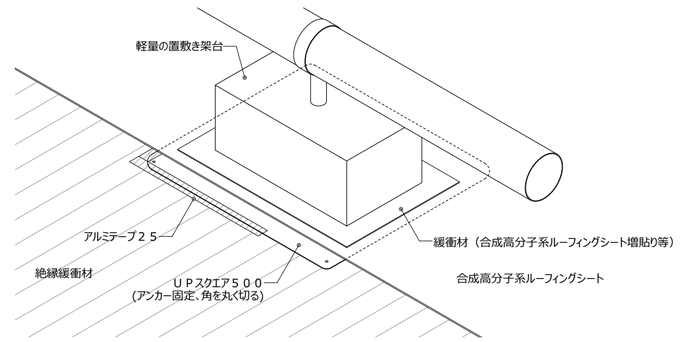


防-5　改修ドレンたて／機械的固定工法／ＶＴドレン　1:10

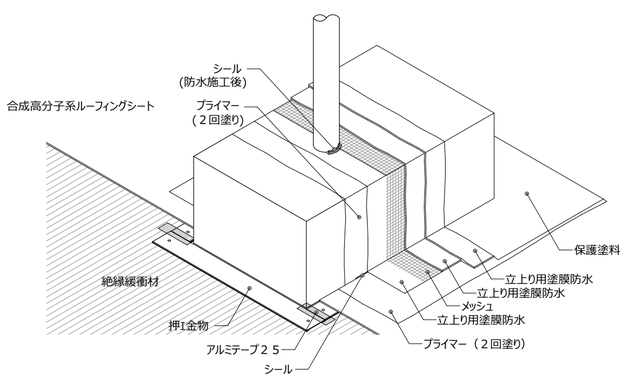
※改修用ドレンを先付けで納める場合
※改修用ドレンキャップは省略



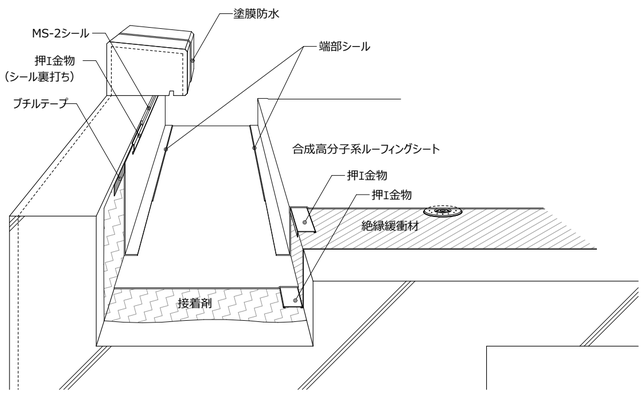
防-6　置敷き架台／機械的固定工法／ＵＰスクエア　1:10



防-7　架台基礎／ウレタン塗膜防水併用／平場：機械的固定工法　1:10

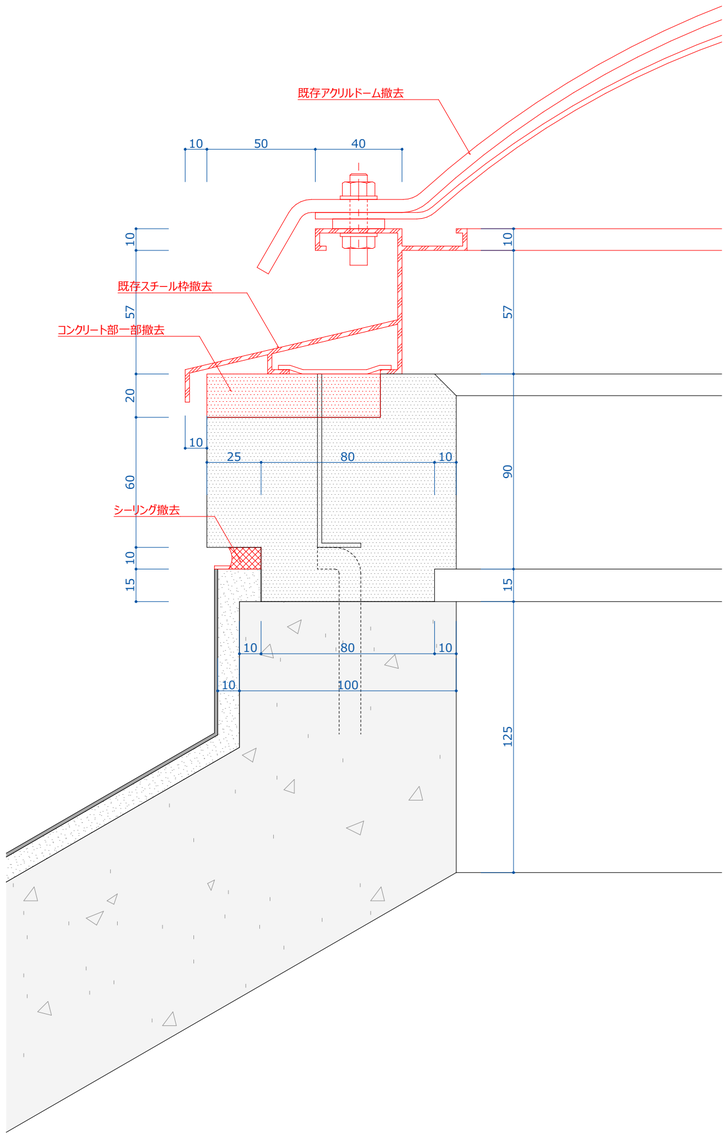


防-8　一般部／立上り／側溝部／側溝部：接着工法／平場：機械的固定工法／立上り：接着工法　1:10

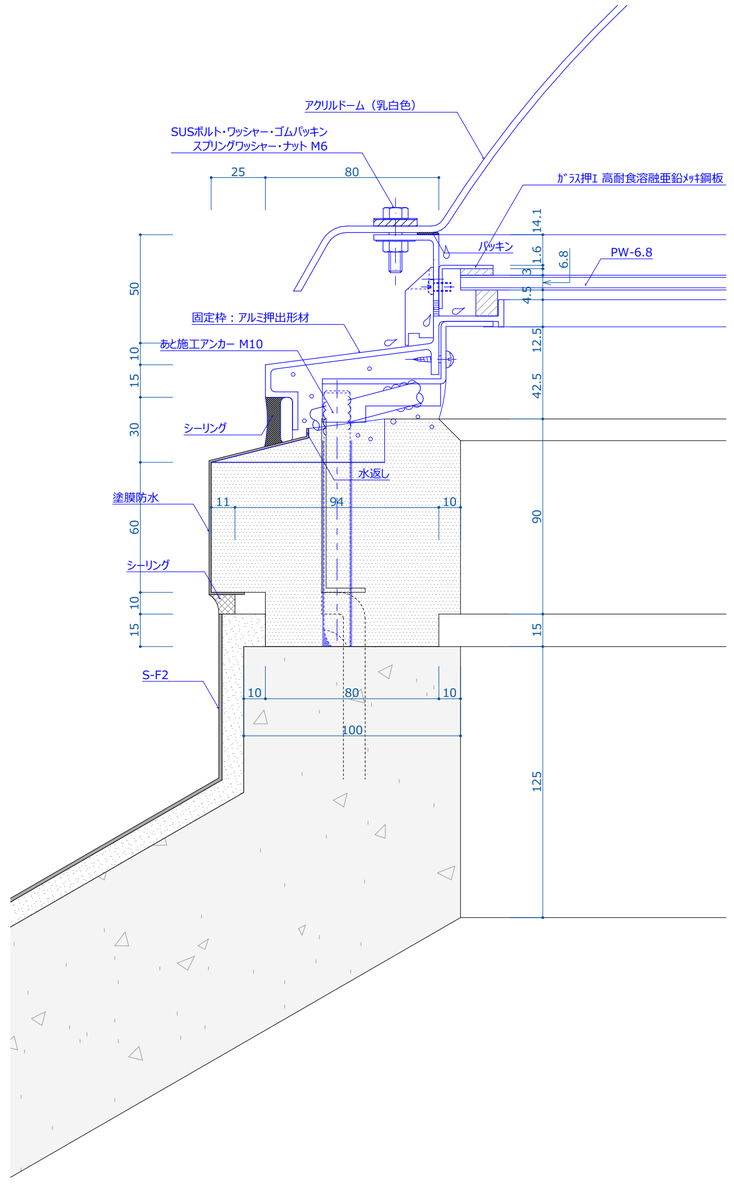


	設計 香山・タニ設計業務共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事 第12399号　香山建築研究所		鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち建築工事	A-82
		一級建築士 第289714号 長谷川祥久	date:2025.07	部分詳細図2　scale: A2 1:10 | A3:71%縮小	

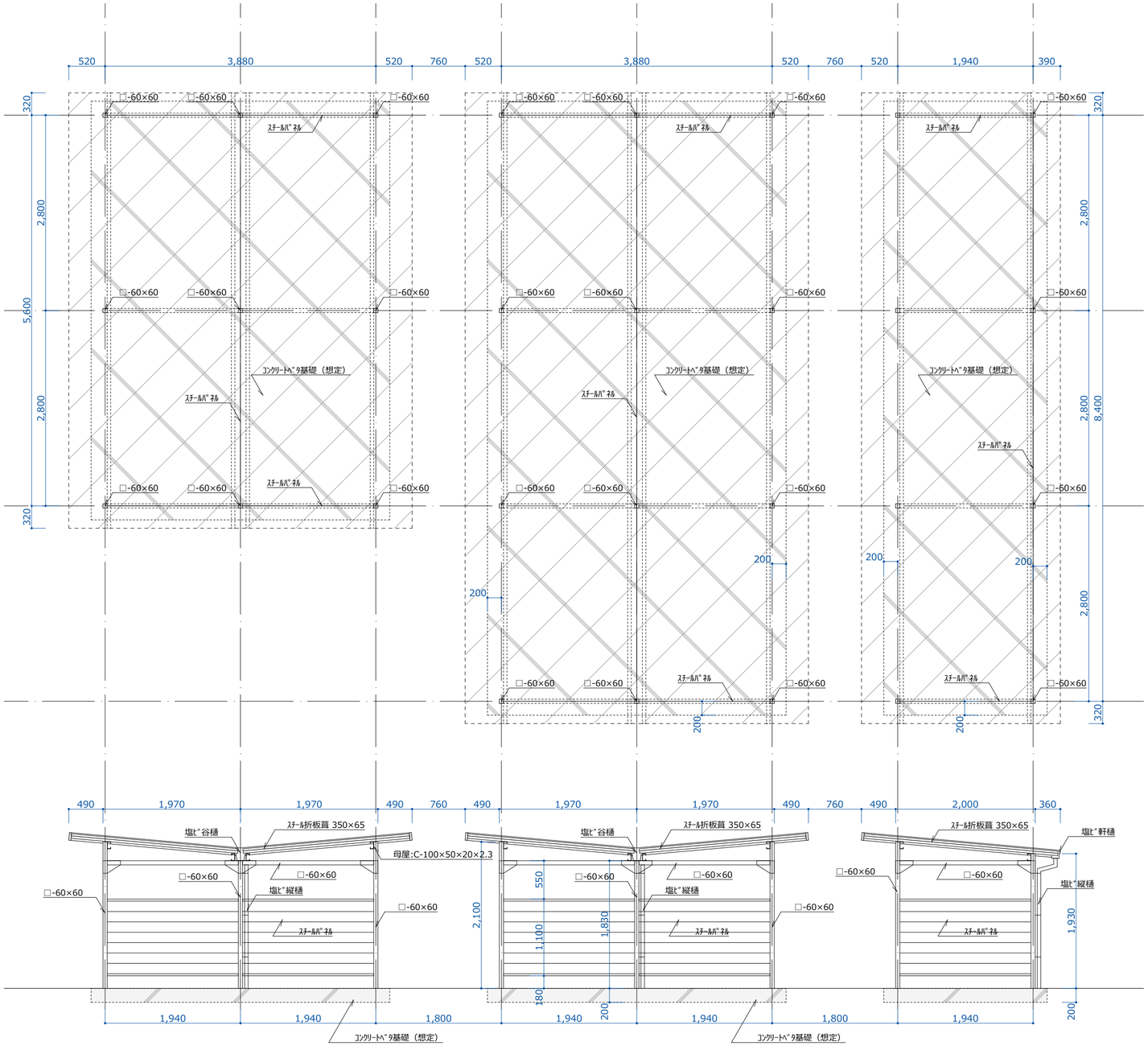
改修前



改修後

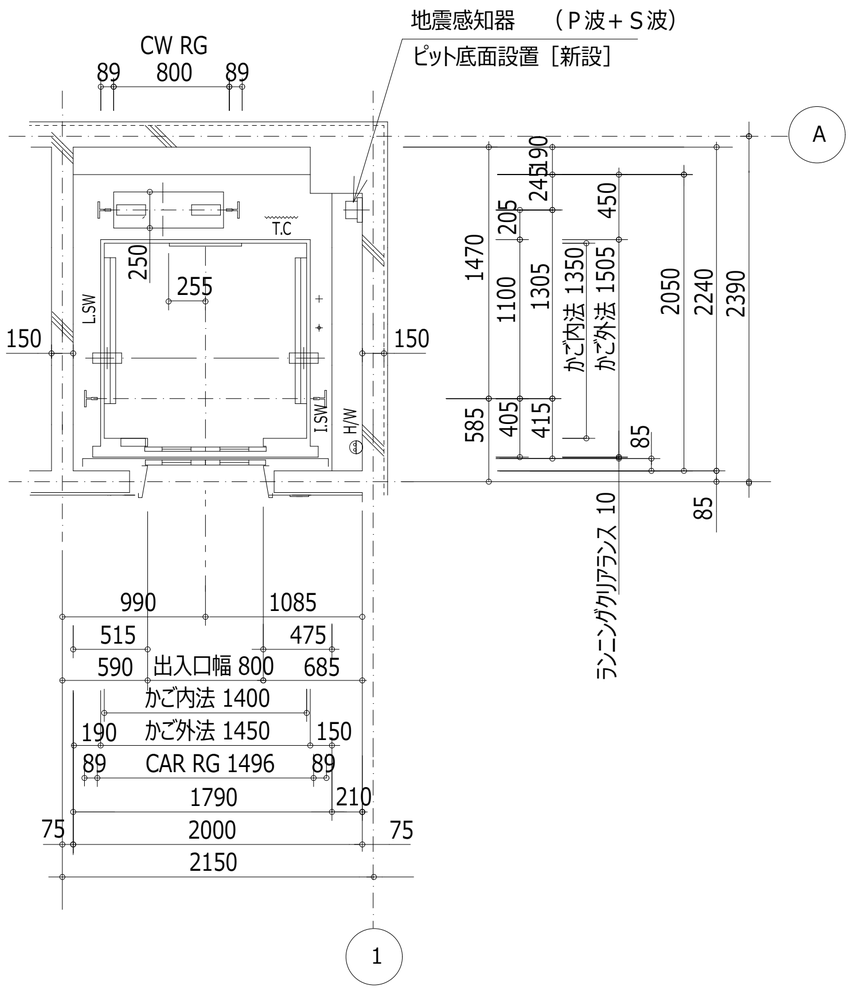


	設計 香山・タニ設計業務共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事 第12399号 香山建築研究所		鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち建築工事	A-83
		一級建築士 第289714号 長谷川祥久	date:2025.07	トップライト改修図 scale: A2 1:2 | A3:71%縮小	



駐輪場 1:50

	設計 香山・タニ設計業務共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事 第12399号 香山建築研究所		鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち建築工事	A-84
		一級建築士 第289714号 長谷川祥久	date:2025.07	駐輪場解体詳細図 scale: A2 1:50 | A3:71%縮小	



昇降路平面図（１Ｆ）

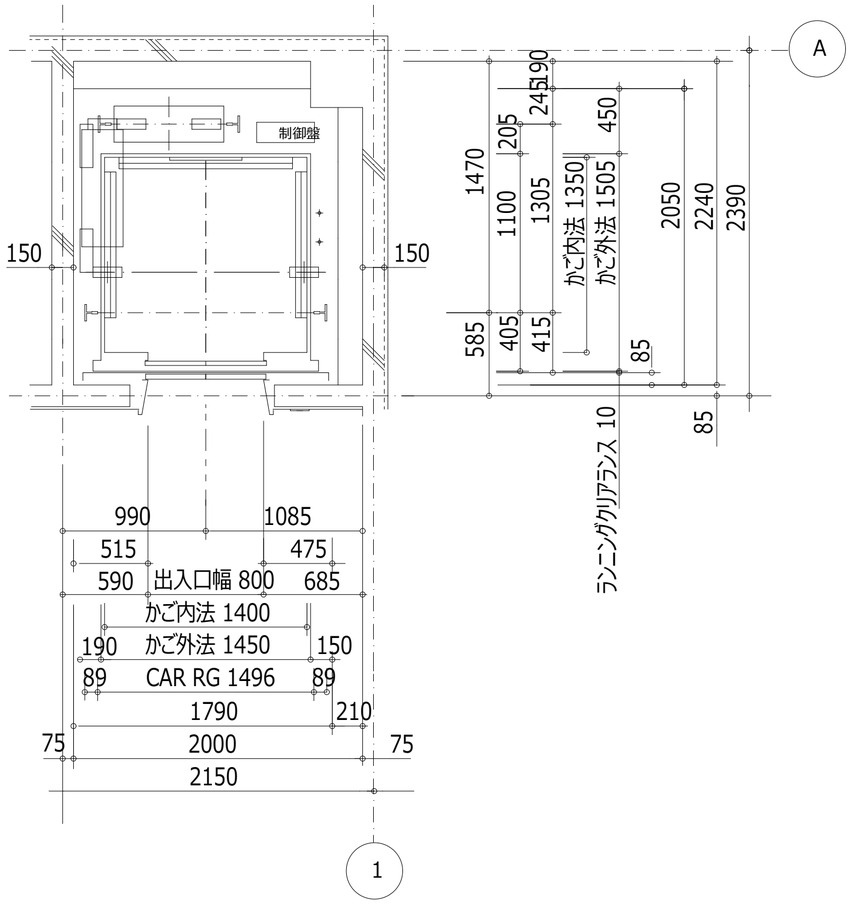
1：30

	ピット点検用コンセント	（既設）
	Ｔ．Ｃ保護金網	［新設］

（1台1回線）

電源設備

号機名		Ｎｏ．１		
電源設備容量	動力	２００Ｖ　４ｋＶＡ		
	照明	１００Ｖ　１．５ｋＶＡ		
	かご内コンセント	１００Ｖ　０．５ｋＶＡ		
最大電流		２１Ａ		
動力線サイズ（mm²）		５．５	８	１４
最大引込み距離（m）		７７	１１９	２０８
建屋側ＭＣＣＢ		３０Ａ		
接地線最小サイズ		２　　mm²		
インターホン用配線		φ０．９×１０本		
電話用配管・配線		φ１９　配管・電話線１Ｐ		
ピットコンセント容量		１ｋＶＡ／台		



昇降路平面図（３Ｆ）

1：30

	電源引込み（受電盤への接続） ・動力・照明、接地線 最上停止階ＦＬ－１３５０ｍｍ　引出長さ３ｍ	［新設］
	配線引込み ・インターホン配線、電話線 最上停止階ＦＬ－６５０ｍｍ　引出長さ ３ｍ	［新設］

エレベーター仕様

概略仕様	号機名（台数）		Ｎｏ．１　（１台）
	用途（形式）		乗用　　（ＳＰ１１－ＣＯ４５）車いす仕様
	積載量（定員）		７５０ｋｇ（１１人）
	速度		４５m／ｍｉｎ
	制御方式		交流インバータ制御方式（回生無）
	操作方式		乗合全自動方式
	停止ヶ所・出入口方向		（１，２，３Ｆ）３ヶ所　　１方向
	かご内法（ＷｘＤｘＨ）		１４００mmＸ１３５０mmＸ２３００mm
	かご出入口寸法（ＷｘＨ）		８００mmＸ２１００mm
	1F乗場出入口寸法（ＷｘＨ）		８００mmＸ２０９５mm
	2F乗場出入口寸法（ＷｘＨ）		８００mmＸ２１００mm
	ドア方式		２枚戸中央開き（電動式）
	電動機出力		ＡＣ－３．５ｋＷ（ギヤレス）
	電源	動力	三相３線　２００Ｖ６０Ｈｚ
		照明	単相　　１００Ｖ６０Ｈｚ
	管制運転	地震時	有（Ｐ波＋Ｓ波感知器（３段検知）リスタート機能付）
		火災時	有
		自家発時	無
		浸水時／冠水時	有　全自動形（ピット冠水時）
	停電時自動着床装置		有
	耐震クラス		Ａ１４
	かご内連絡装置		同時通話式インターホン
	基本仕様 及び 標準装備仕様		ローラーガイド（かご、おもり） 照明・換気装置自動休止機能 長周期地震対策 ２Ｄ多光軸（マルチビーム）ドアセフティ 反転時呼び一括キャンセル機能 戸開放時間自動設定 行先階取消し機能 気配りアナウンス機能 戸開走行保護装置 しきい間すきまレス 広角ミラー付操作盤 故障時最寄階自動着床運転

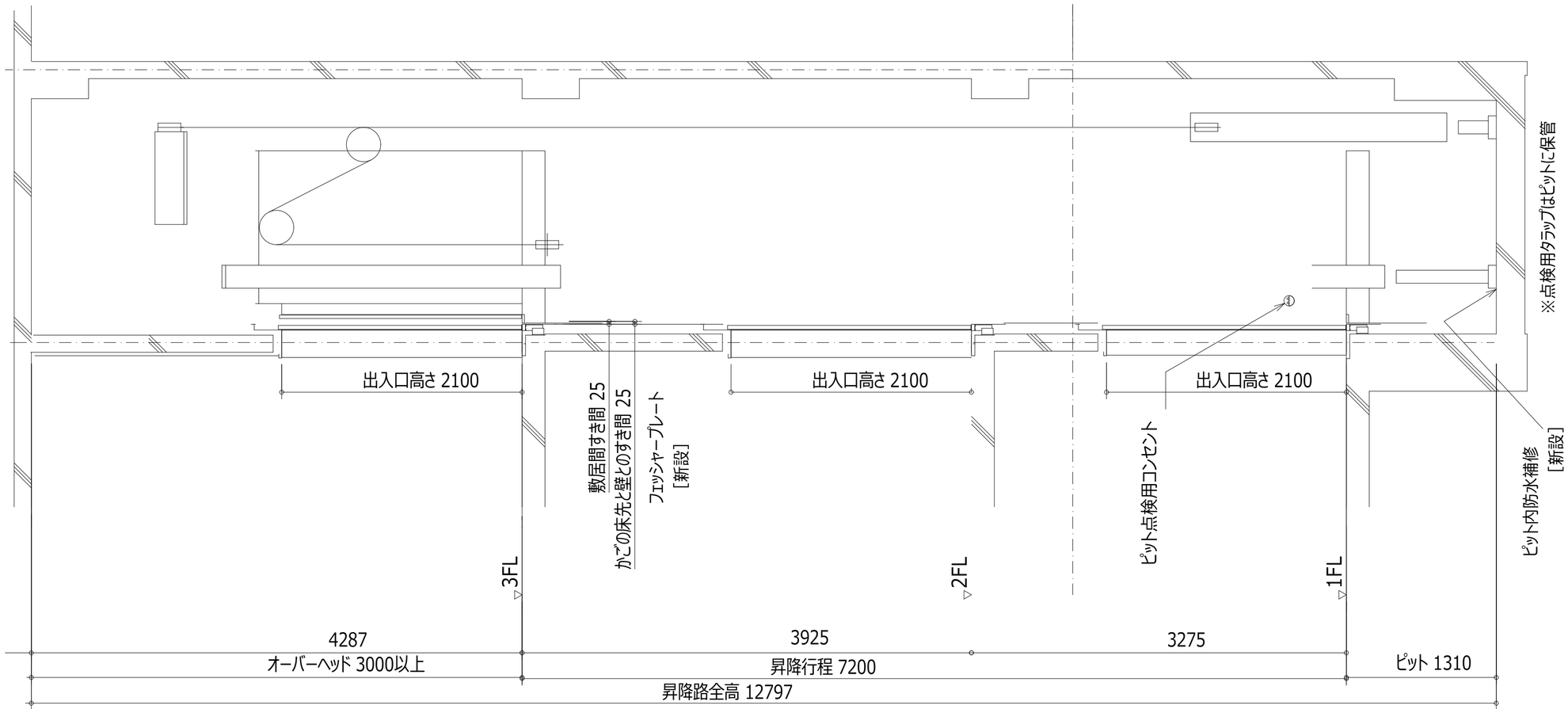
特記事項

リニューアル JA
- スタンダードLED天井
- 非常呼びボタン応答灯
- 非常呼びボタンガード（ステンレス製，スイング式）
- 床下防食対策（ステンレス化）
- 車いす仕様一式
- かご内鏡（ステンレス製鏡面仕上）
- かご内手摺（φ38，ステンレス製，2方向）
- 点字銘板（一般用品，車いす用品に貼付）
- 荷摺（ステンレス製，スダッド止め，H=300mm）
- 音声案内装置
- かご上ブザー
- 機械式片側ドアセフティ
- 乗場戸遮煙機能付
- かご内壁面養生シート、床養生シート付

（ＦＣ）

積込み荷重制限	荷重条件	250kg　（4輪台車を使用するものとし、台車の重量を含む）
	重量物の積込みは、一回当り荷重条件以下で積込み下さい。 ※フォークリフトの使用はできません。	

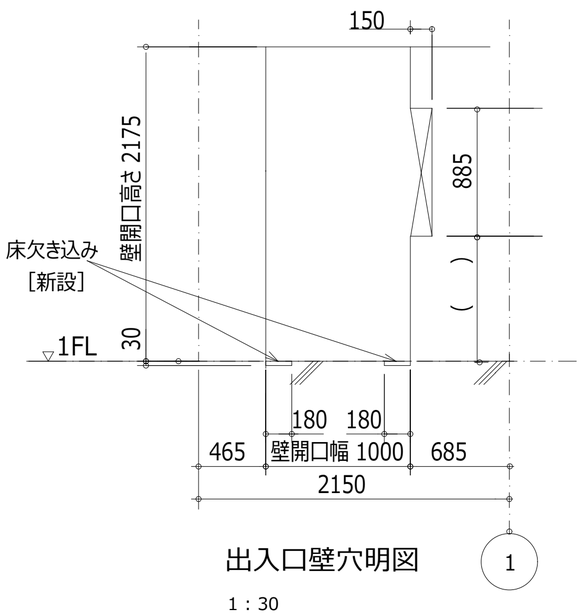
※諸官庁への各種手続き(確認申請等)は全て請負業者が行うものとし、その諸費用については請負業者の負担とする。



昇降路縦断面図

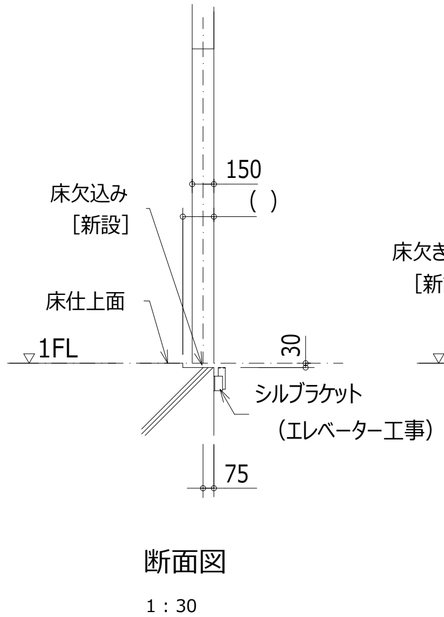
1：30

ピット反力		７５．１０ｋＮ
ピット衝撃荷重	かご側	６１．９０ｋＮ
	Ｃ／Ｗ側	４８．８０ｋＮ



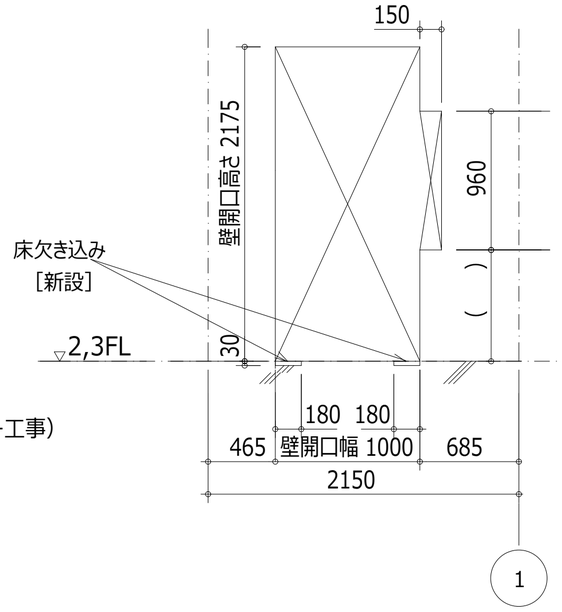
出入口壁穴明図

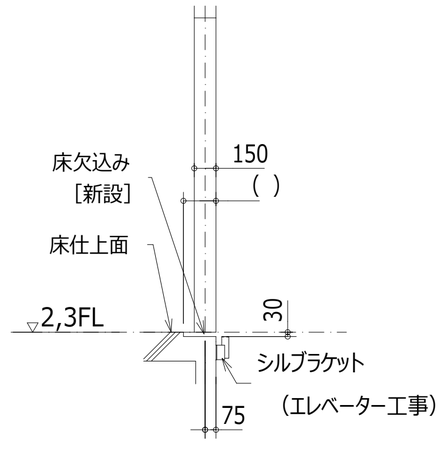
1：30



断面図

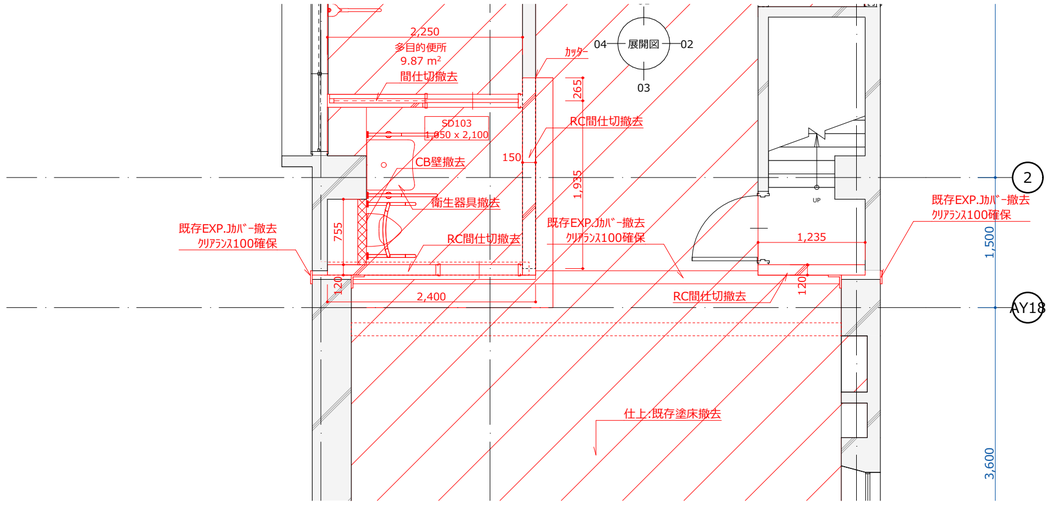
1：30





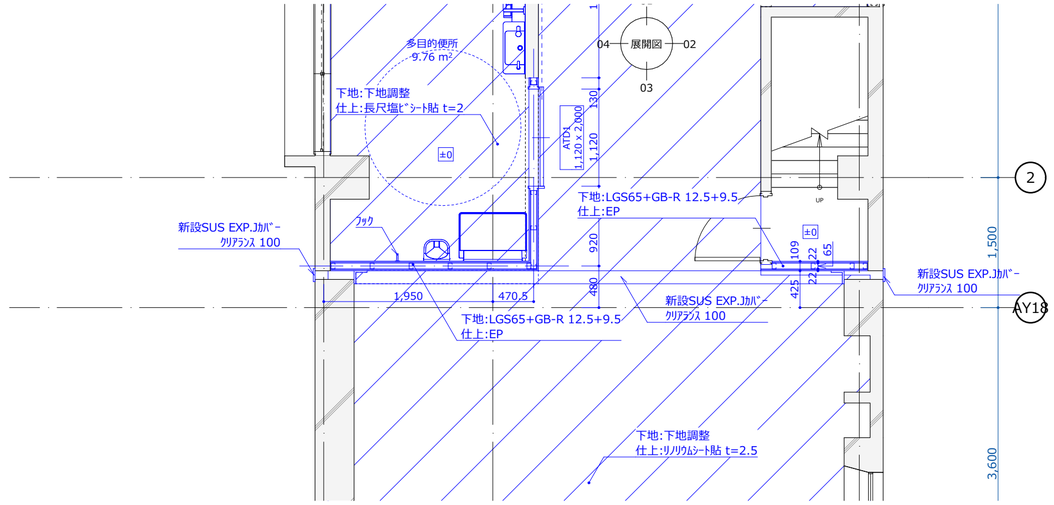
	設計	香山・タニ設計業務共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事 第12399号 香山建築研究所	鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち建築工事	A-86
			一級建築士 第289714号 長谷川祥久	date:2025.07	EV改修図2 scale: A2 1:30 | A3:71%縮小

改修前

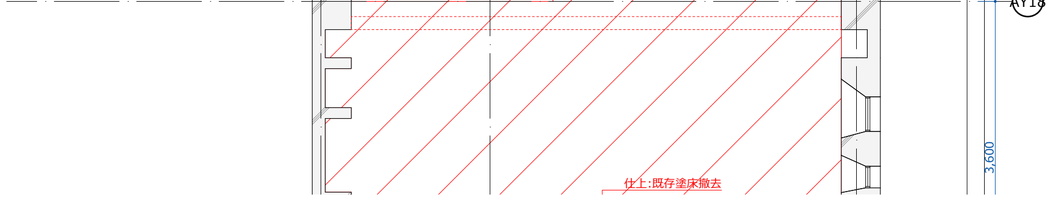


3階平面詳細図 1:50

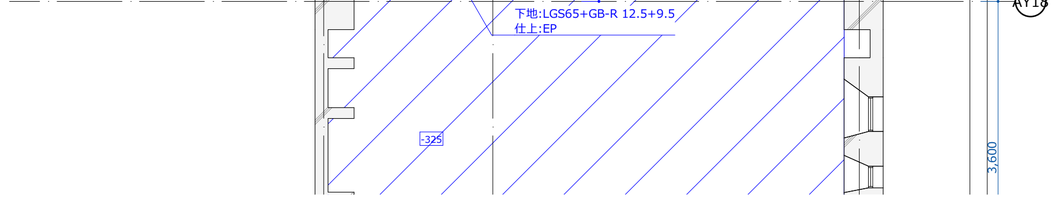
改修後



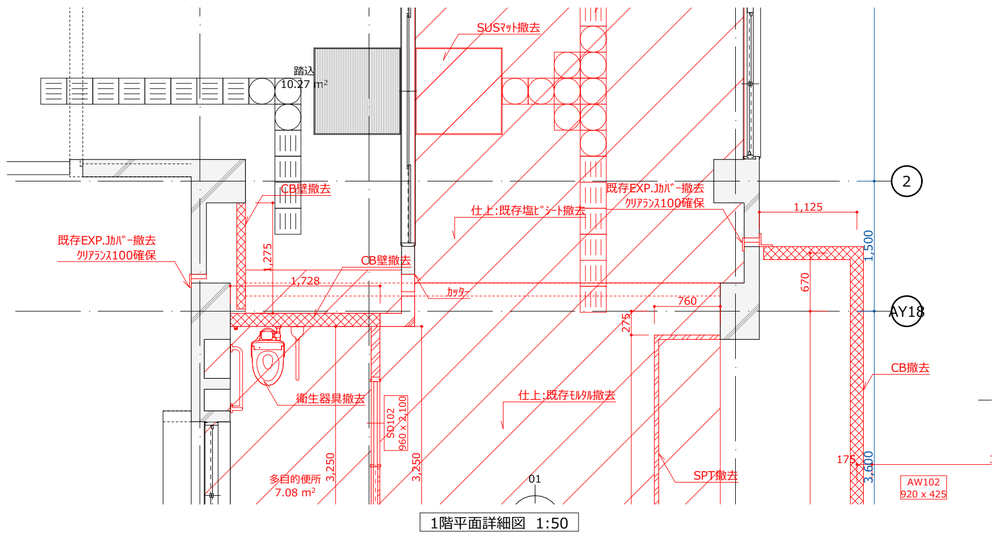
3階平面詳細図 1:50



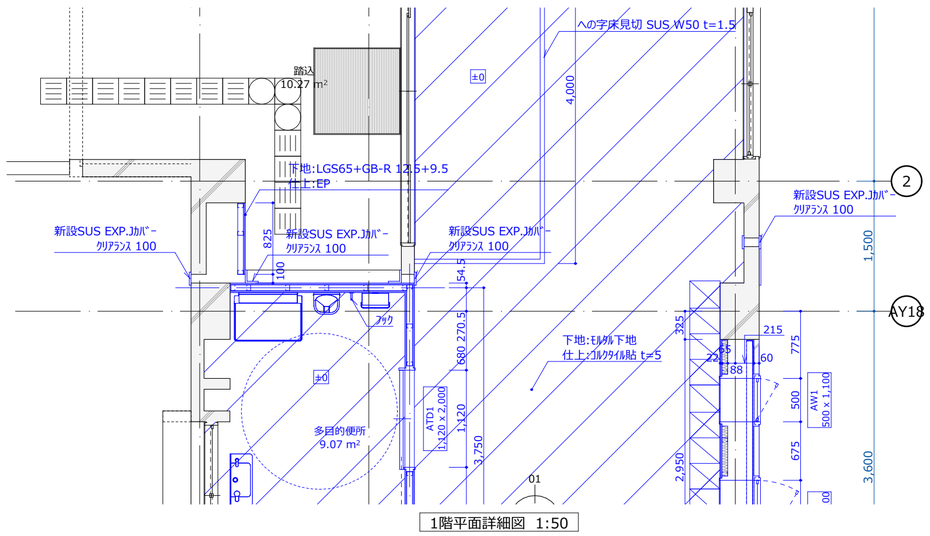
2階平面詳細図 1:50



2階平面詳細図 1:50



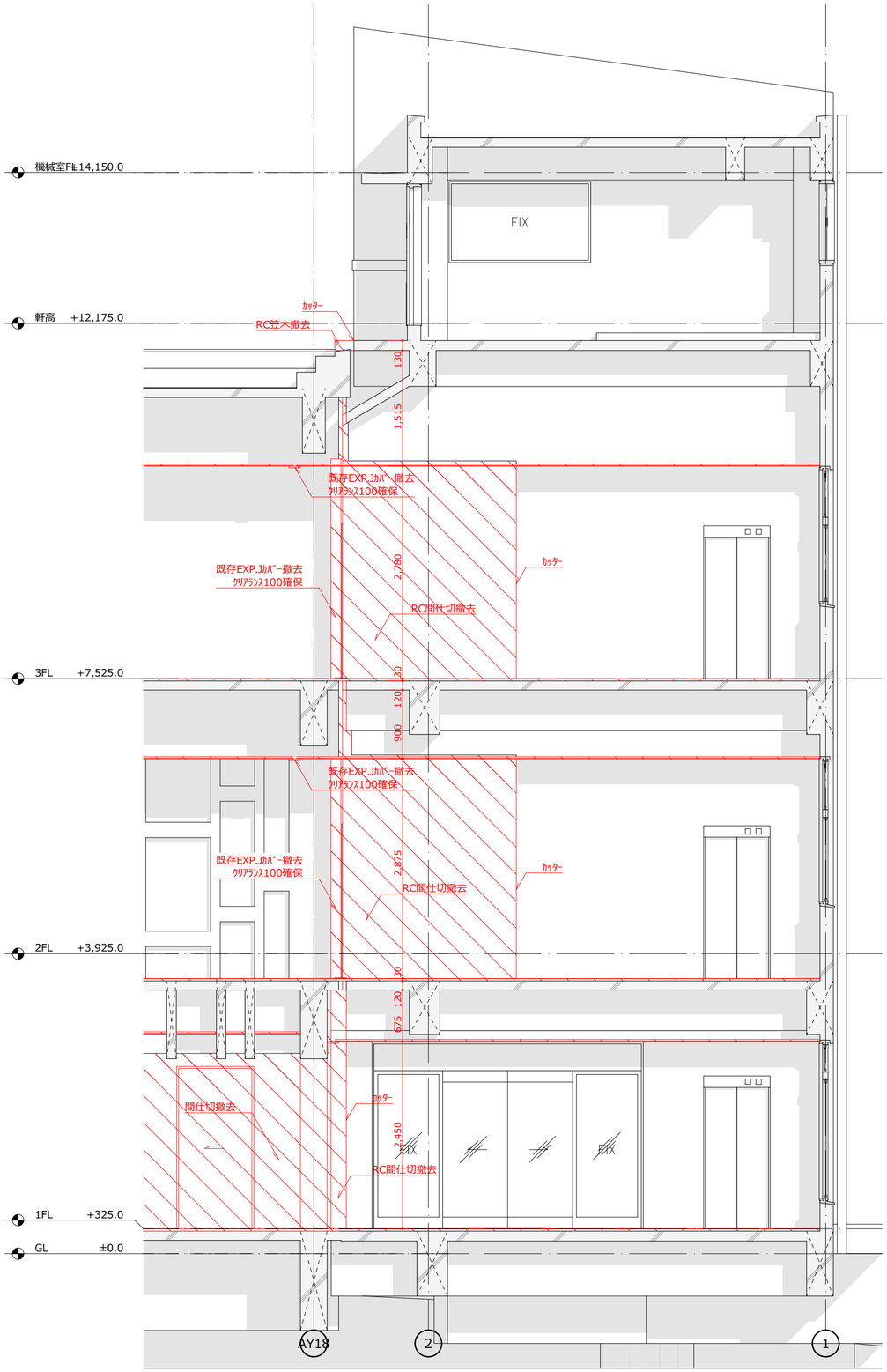
1階平面詳細図 1:50



1階平面詳細図 1:50

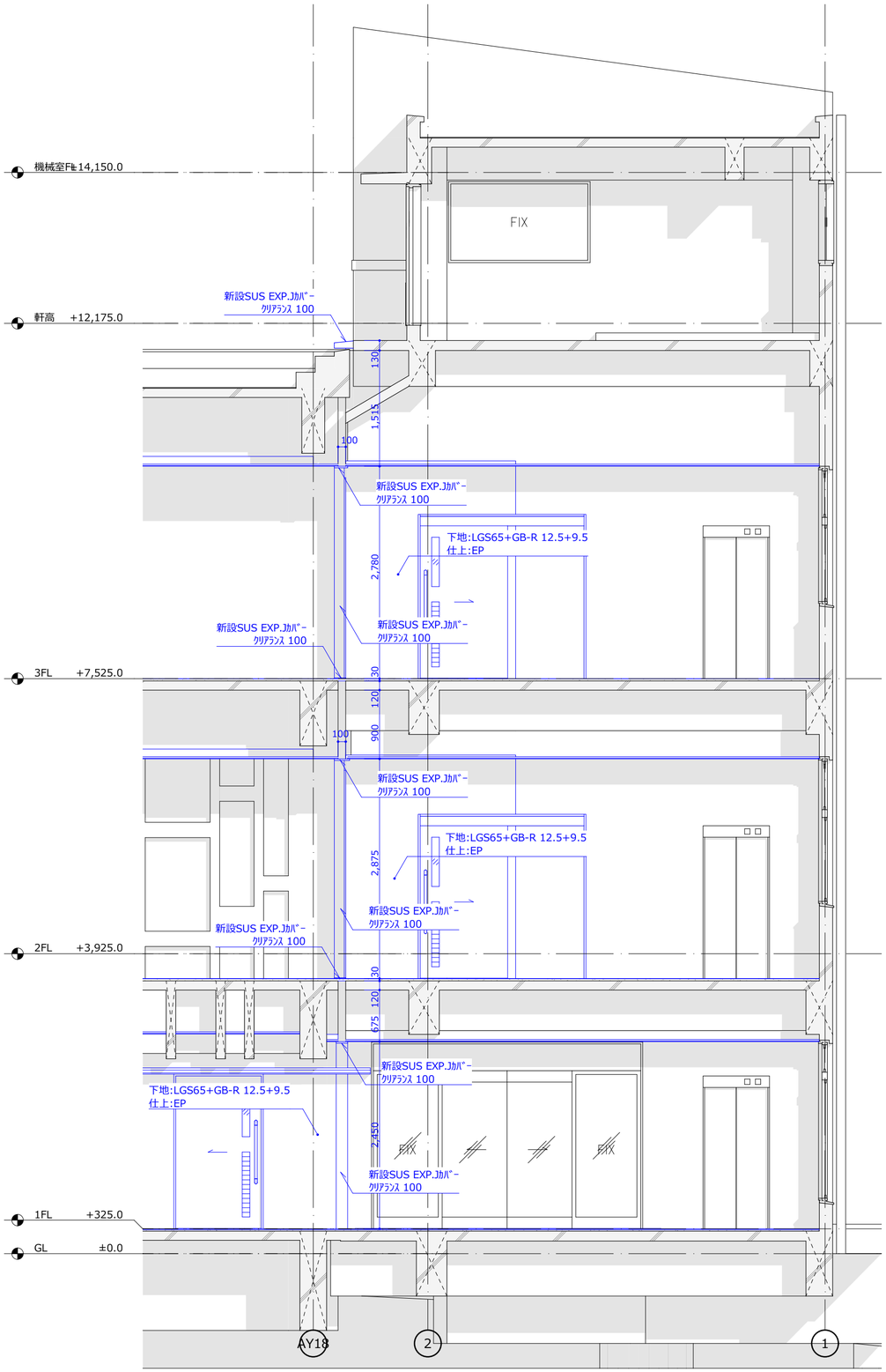
設計 香山・タニ設計業務共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事 第12399号 香山建築研究所 一級建築士 第289714号 長谷川祥久		鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち建築工事		A-87
		date:2025.07	EXP.J改修図1	scale: A2 1:50 | A3:71%縮小	

改修前



北側EXP.J断面（既存） 1:50

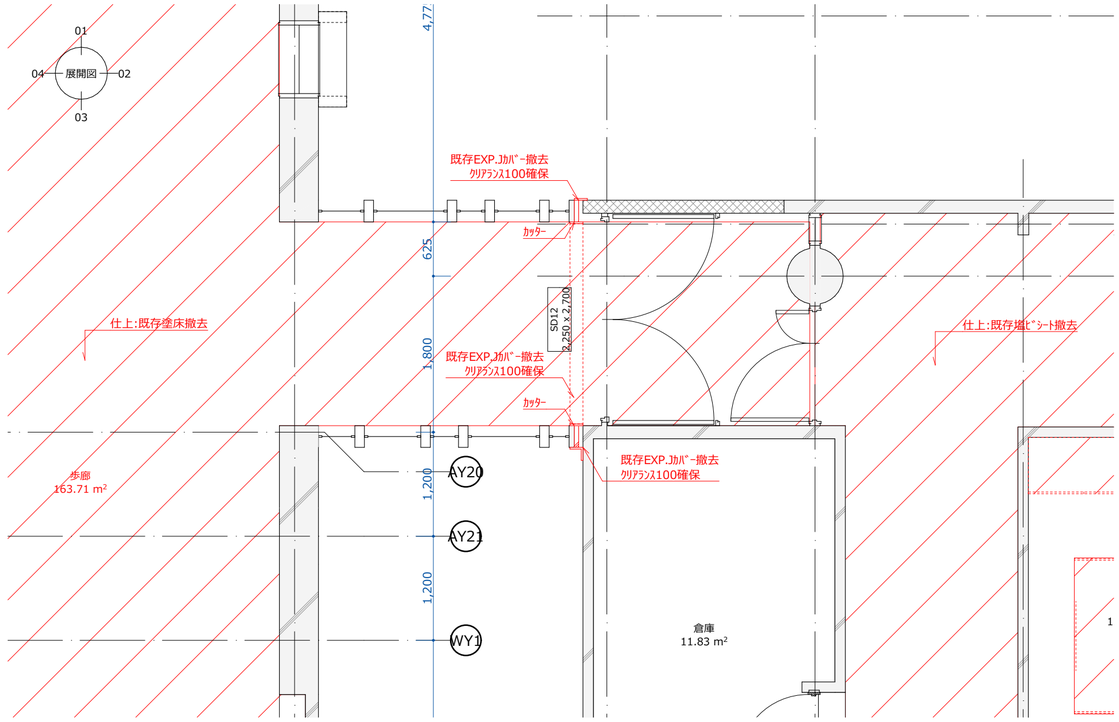
改修後



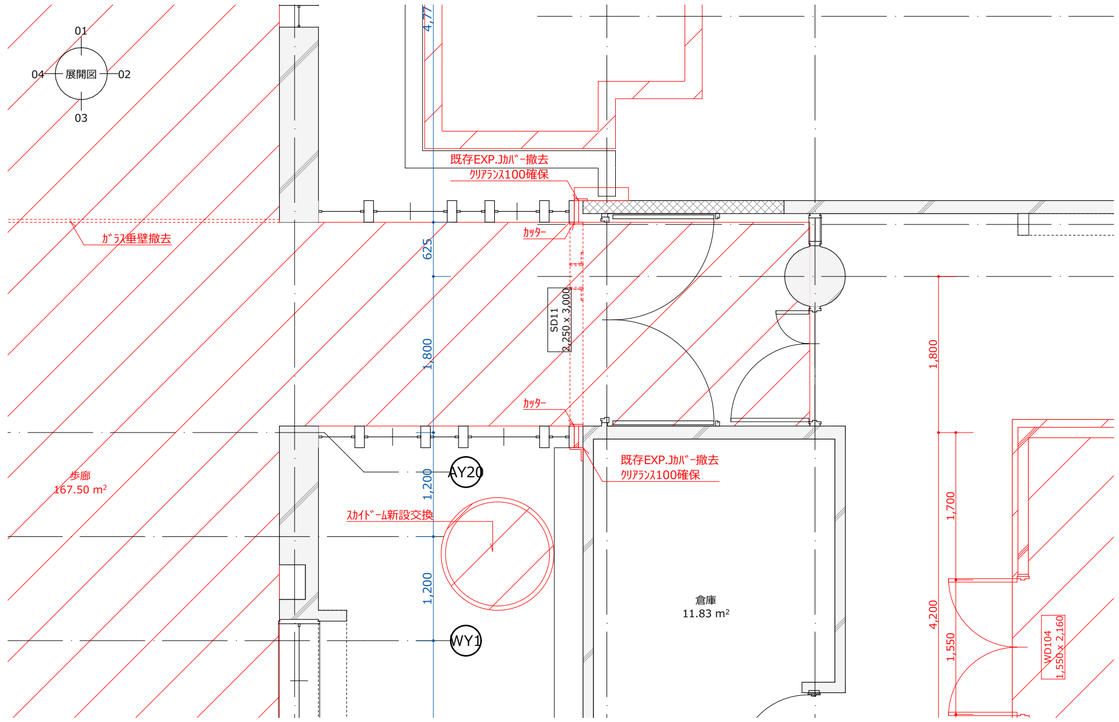
北側EXP.J断面（改修） 1:50

	設計 香山・タニ設計業務共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事 第12399号 香山建築研究所		鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち建築工事	A-88
		一級建築士 第289714号 長谷川祥久	date:2025.07	EXP.J改修図2	scale: A2 1:50 | A3:71%縮小

改修前

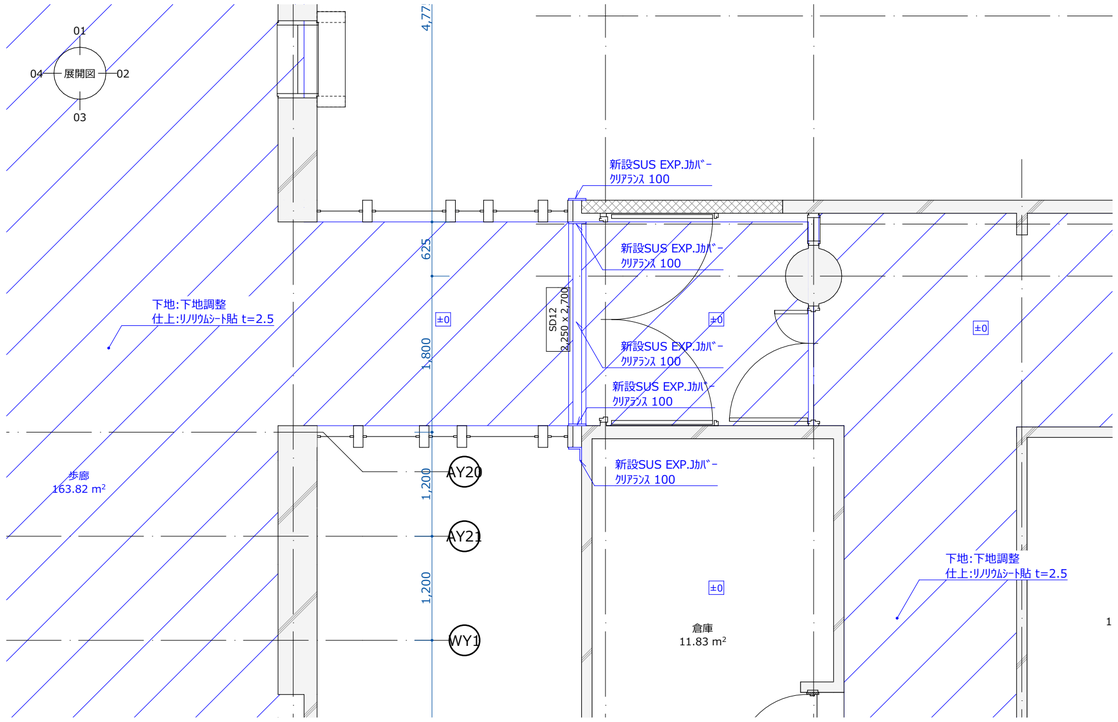


3階平面詳細図 1:50

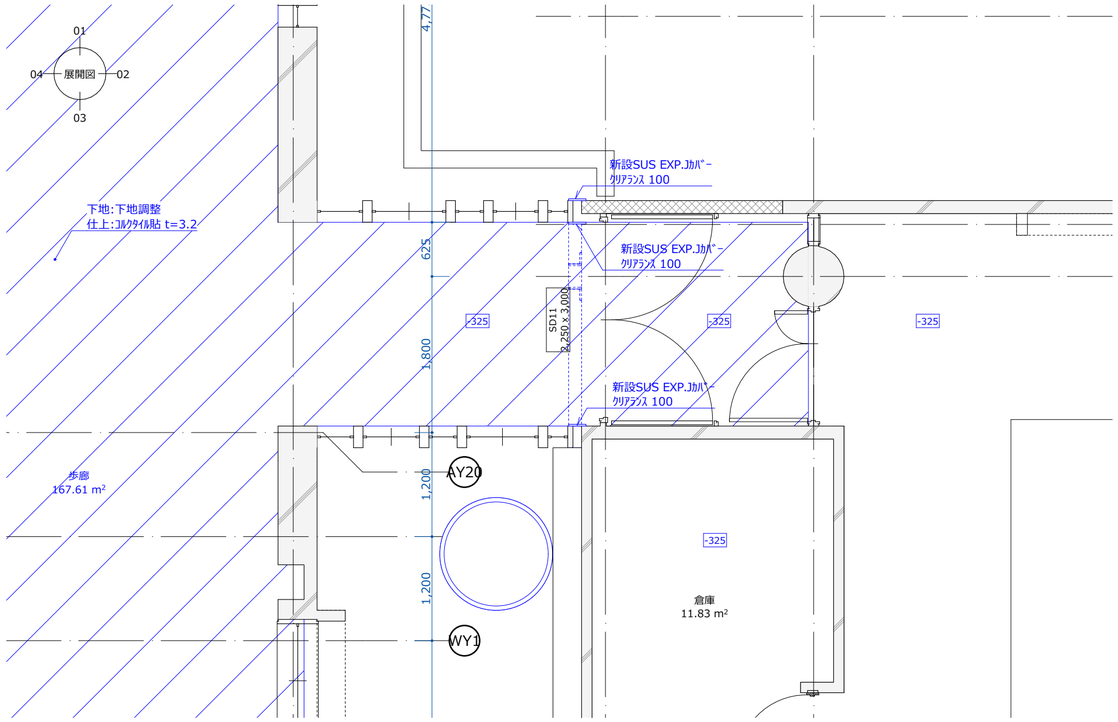


2階平面詳細図 1:50

改修後



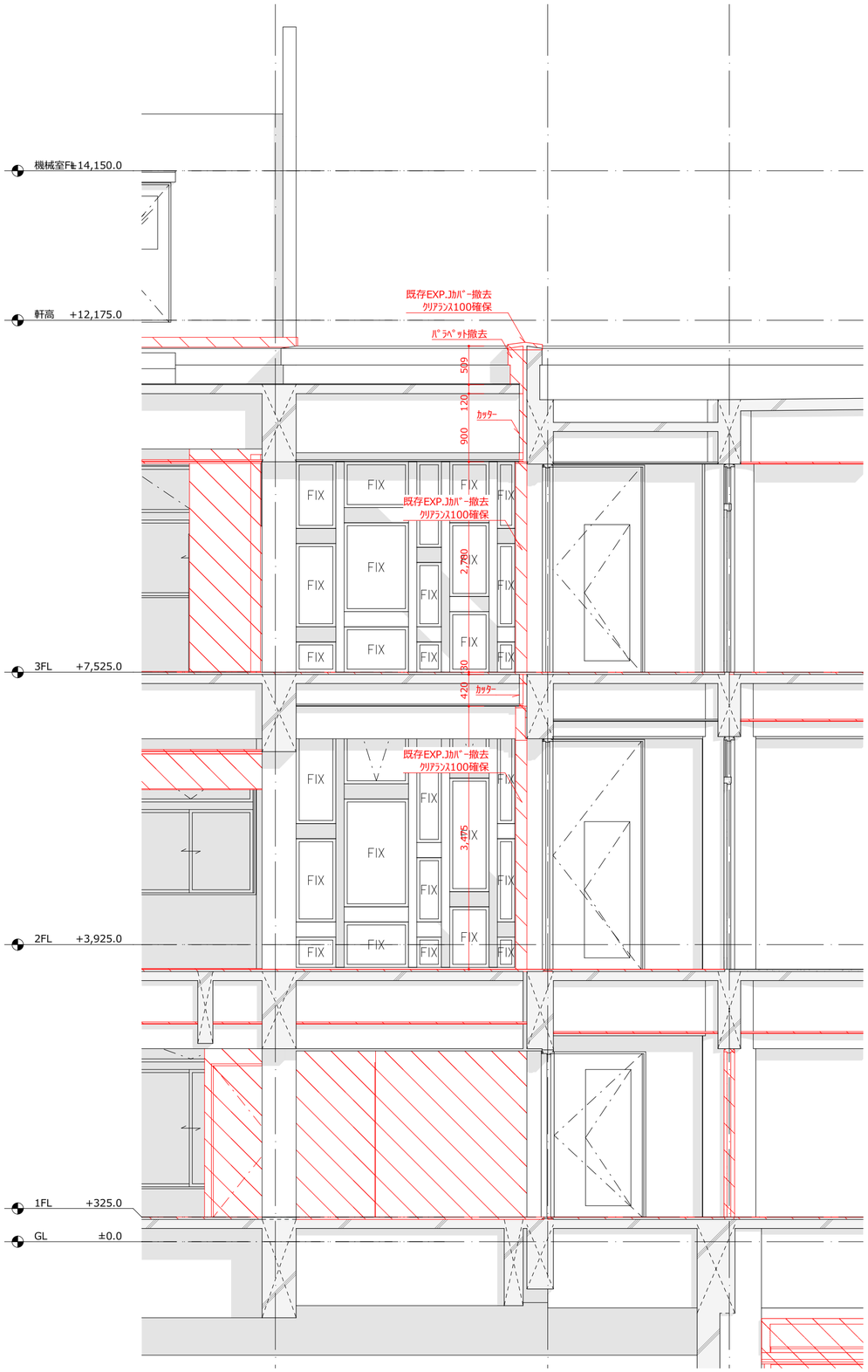
3階平面詳細図 1:50



2階平面詳細図 1:50

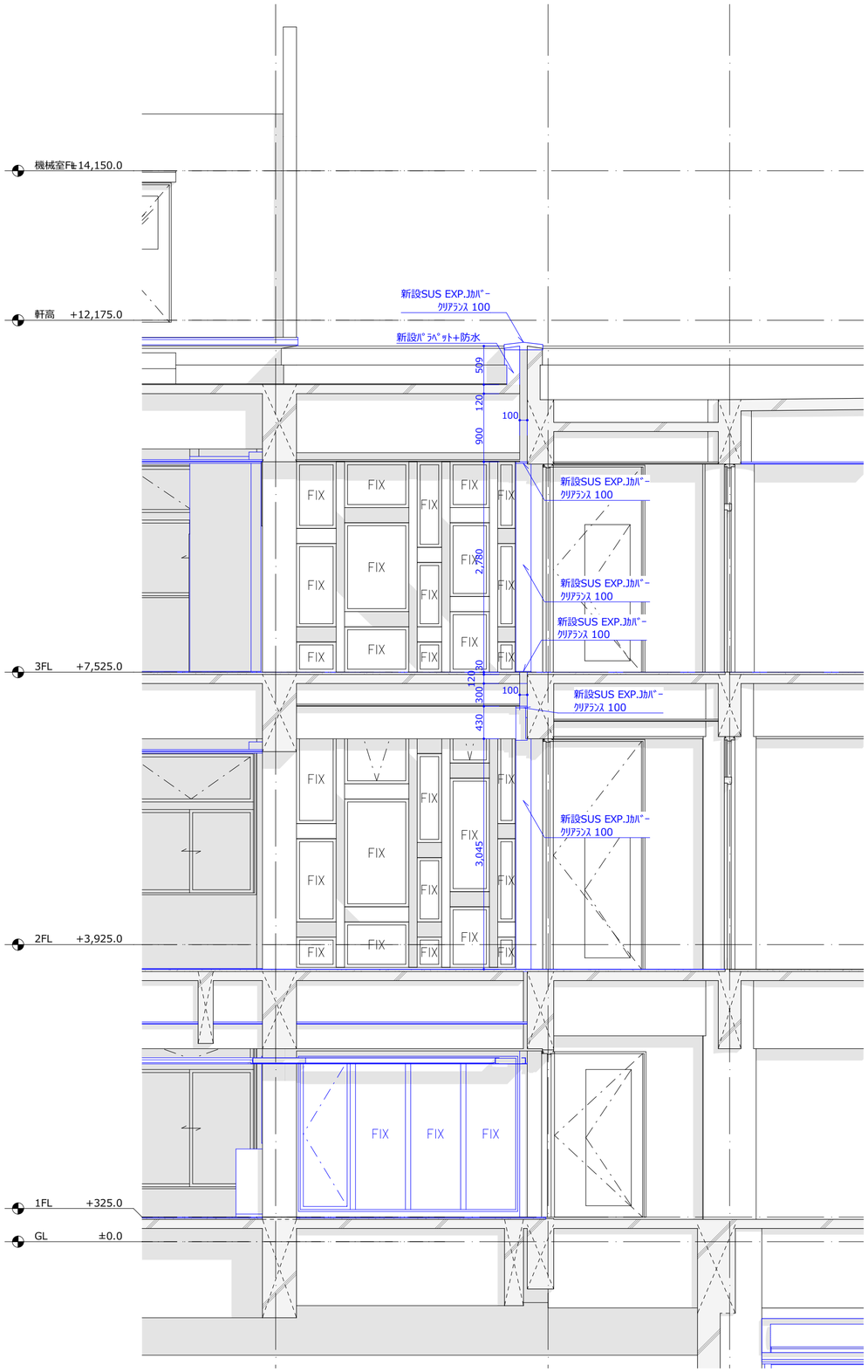
	設計 香山・タニ設計業務共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事 第12399号 香山建築研究所		鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち建築工事	A-89
		一級建築士 第289714号 長谷川祥久	date:2025.07	EXP.J改修図3	scale: A2 1:50 | A3:71%縮小

改修前



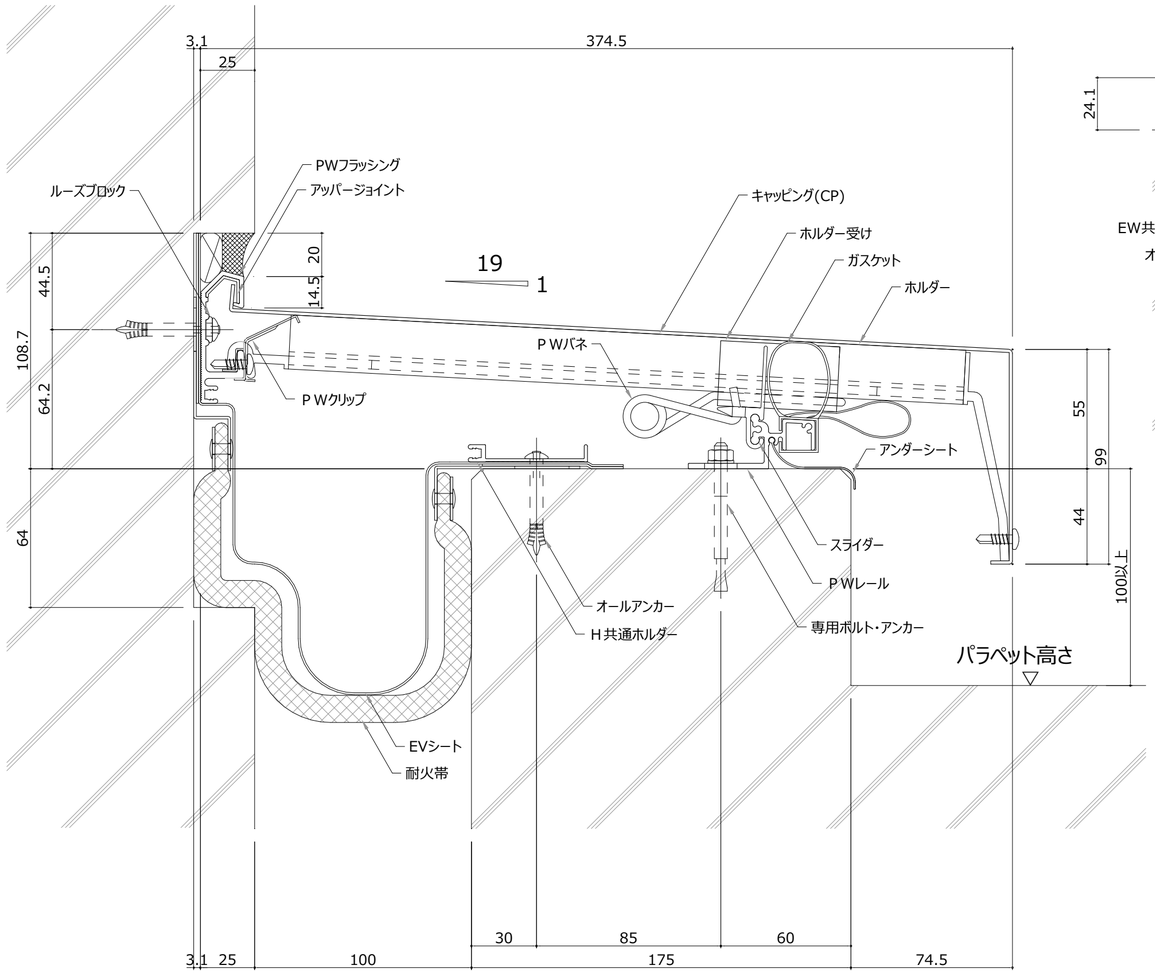
東側EXP.J断面（既存） 1:50

改修後



東側EXP.J断面（改修） 1:50

設計 香山・タニ設計業務共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事 第12399号 香山建築研究所		鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち建築工事		A-90
	一級建築士 第289714号 長谷川祥久	date:2025.07	EXP.J改修図4	scale: A2 1:50 | A3:71%縮小	

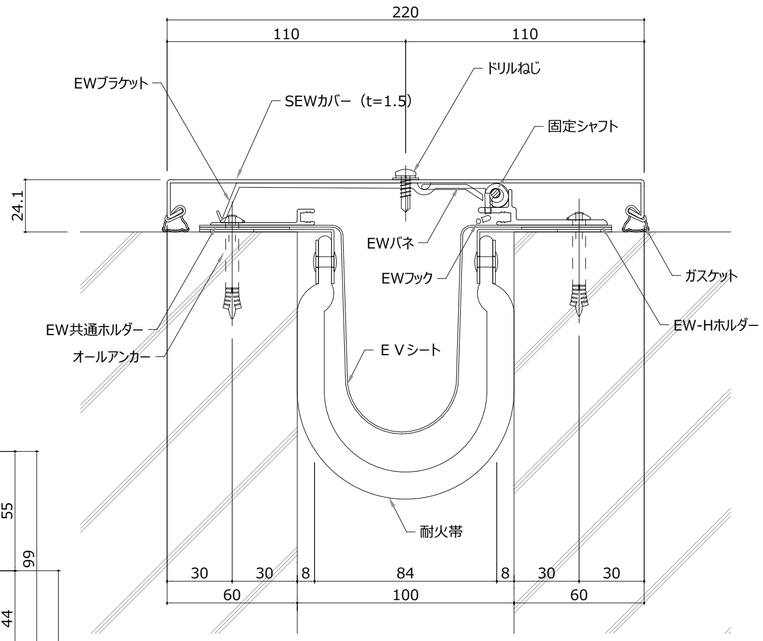


建築基準法施行令第百七条二号（１時間遮熱性能）と三号（１時間遮炎性能）を満たすこと。（共通）

パラペット部 1:2

[外壁+外壁] S10-SEW 耐火12.5mm《遮炎性能》

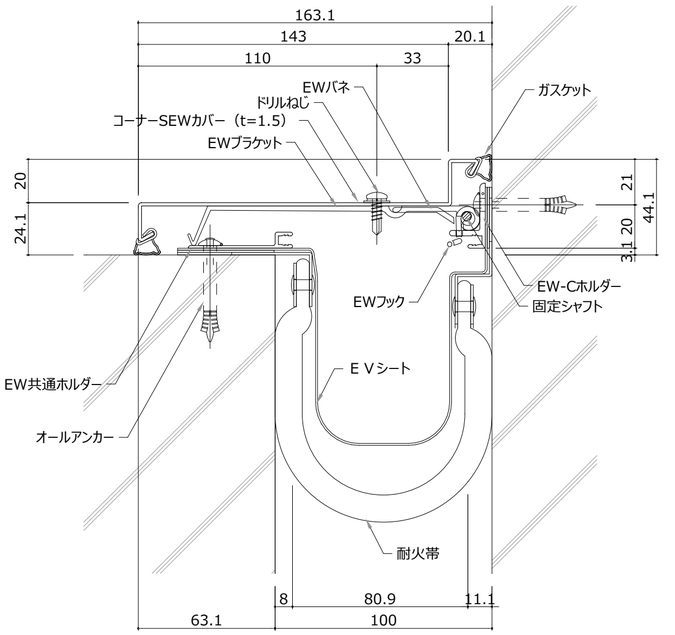
※落下防止システム（セーフティワイヤー）付き



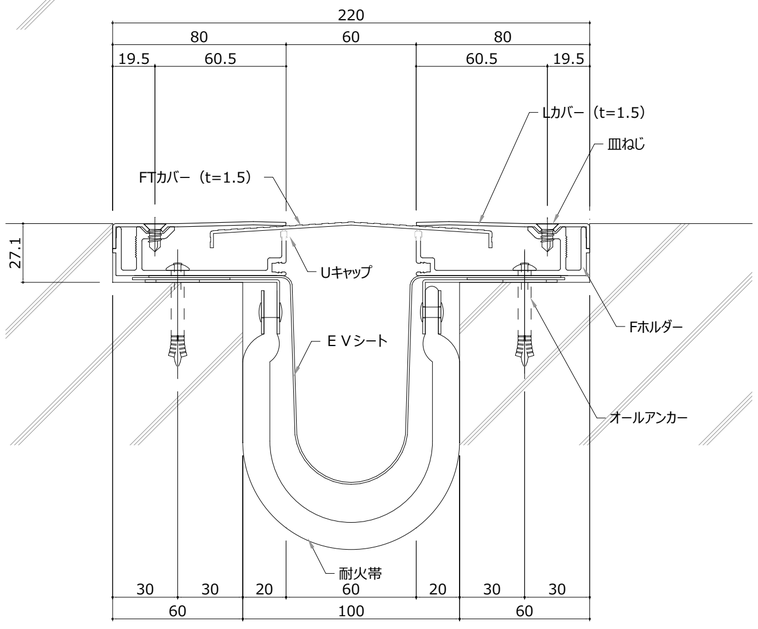
外壁-外壁 1:2

[外壁コーナー] S10-SEWC 耐火12.5mm《遮炎性能》

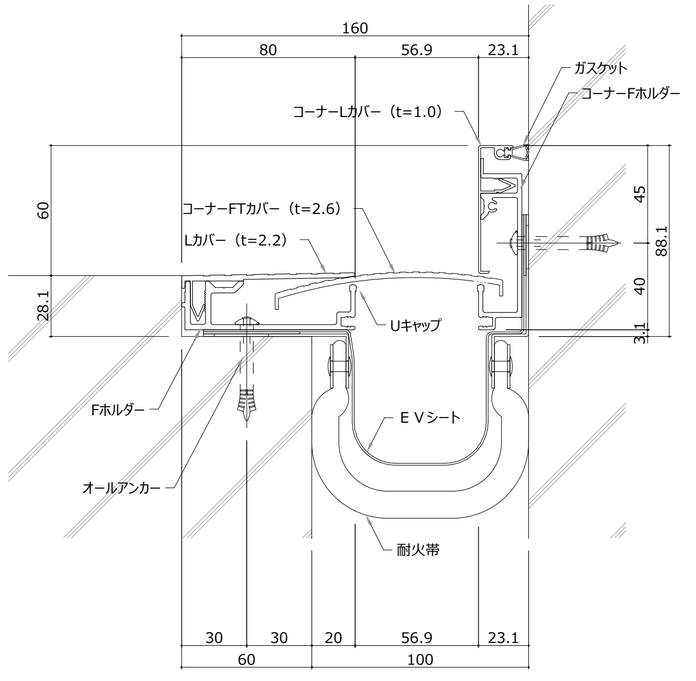
※落下防止システム（セーフティワイヤー）付き



[床+床] S10-SFX （内外共通） 耐火12.5mm《遮炎性能》



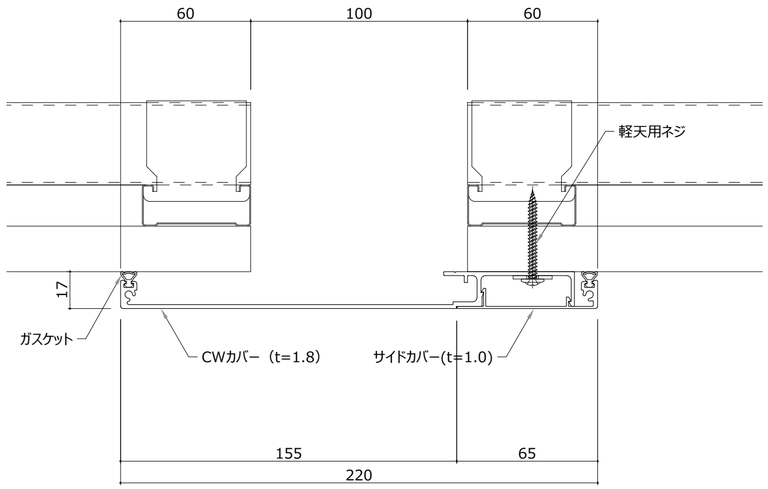
[床コーナー] S10-AFXC（内外共通） 耐火12.5mm《遮炎性能》



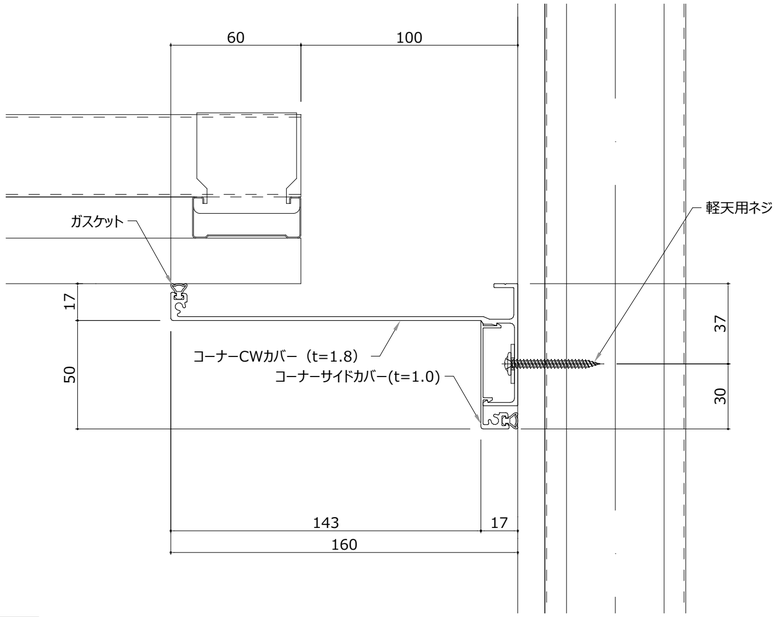
床-床 1:2

	設計 香山・タニ設計業務共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事 第12399号 香山建築研究所		鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち建築工事	A-91
		一級建築士 第289714号 長谷川祥久	date:2025.07	EXP.Jカバー詳細図1 scale: A2 1:2 | A3:71%縮小	

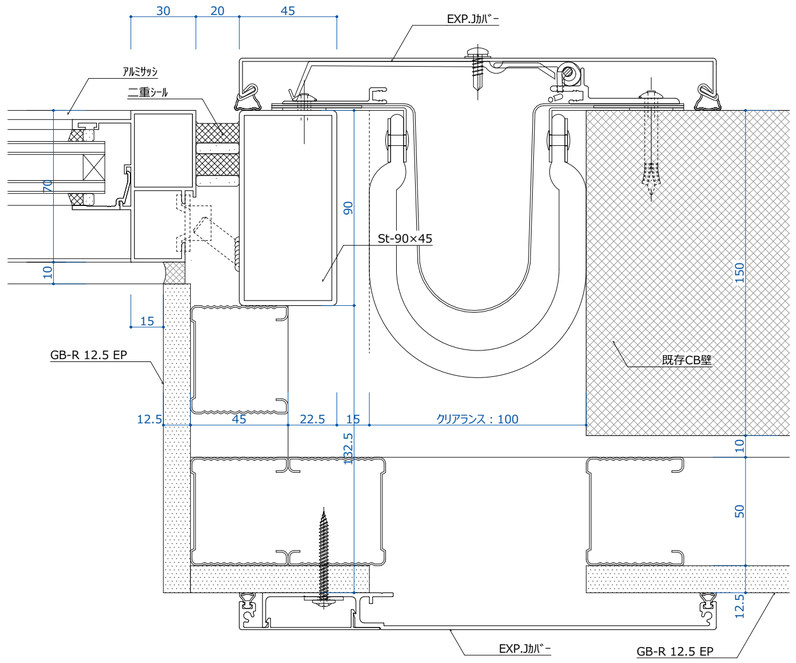
[天井+天井] S10-ACW 標準
※落下防止システム（セーフティワイヤー）付き



[天井コーナー] S10-ACWC 標準
※落下防止システム（セーフティワイヤー）付き

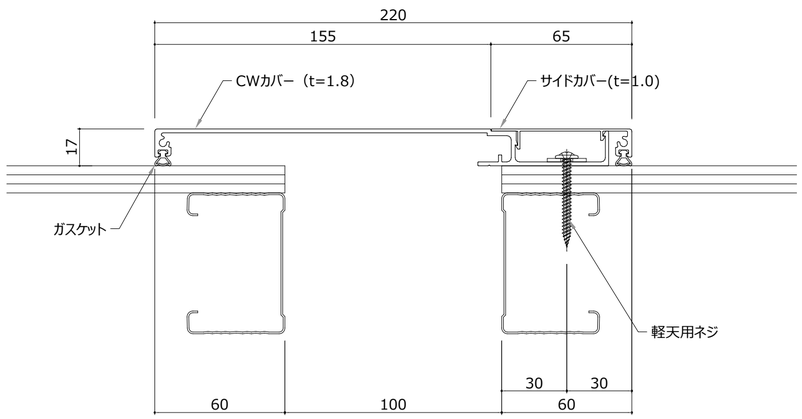


天井 1:2

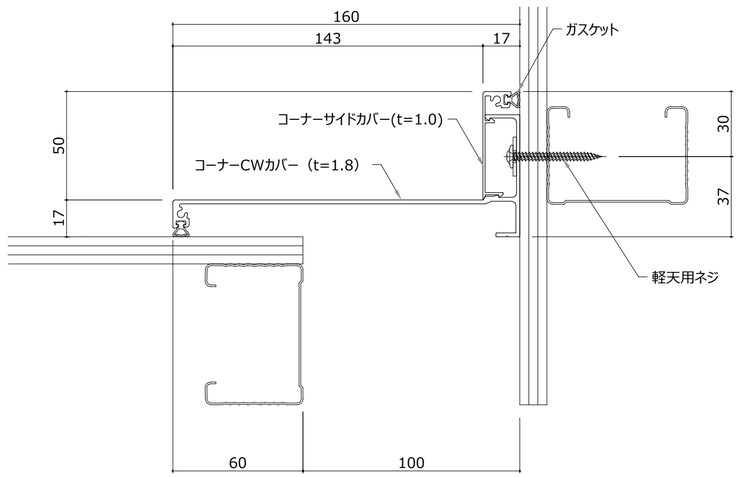


開口部廻り 1:2

[内壁+内壁] S10-ACW 標準

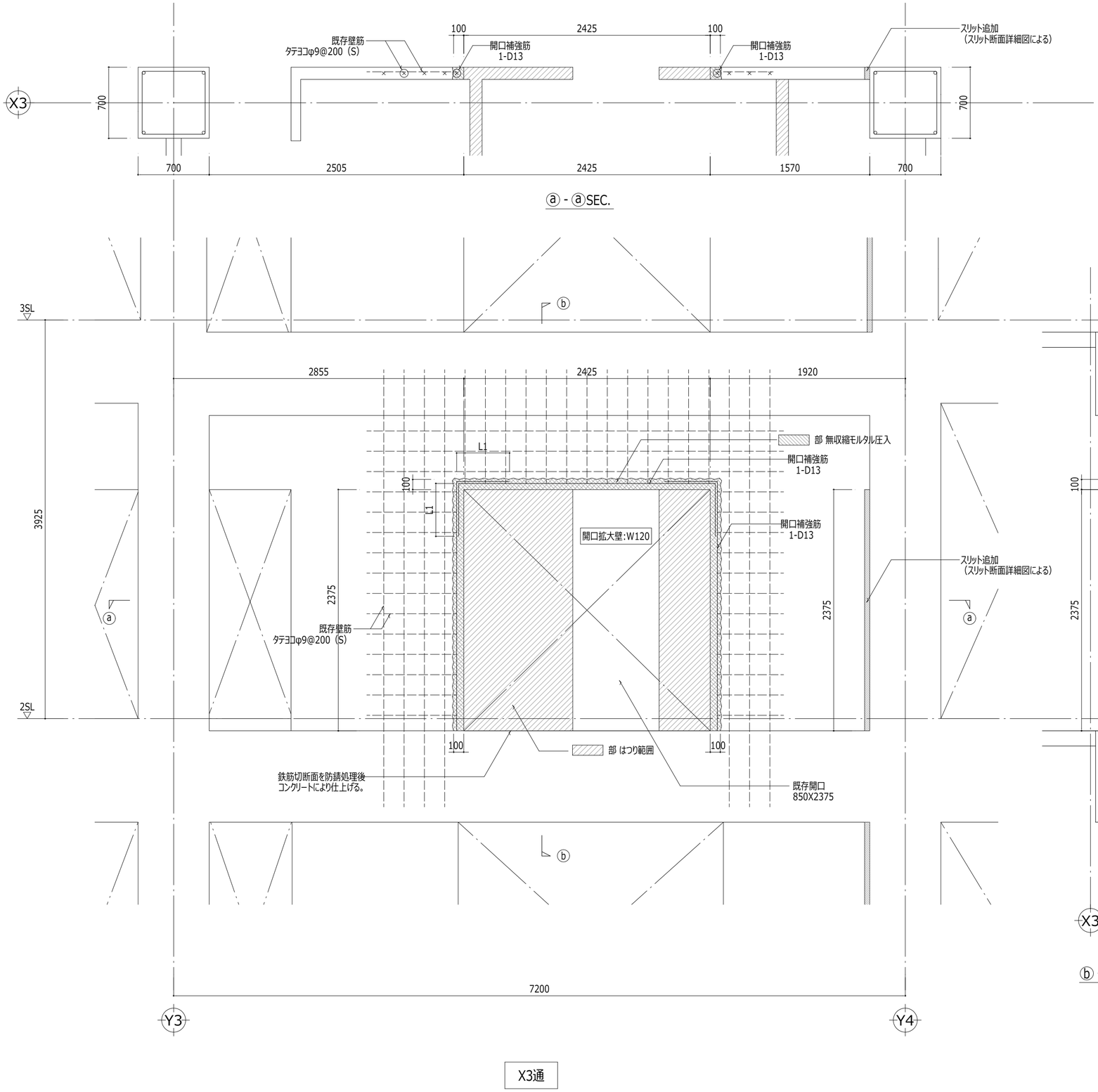


[内壁コーナー] S10-ACWC 標準

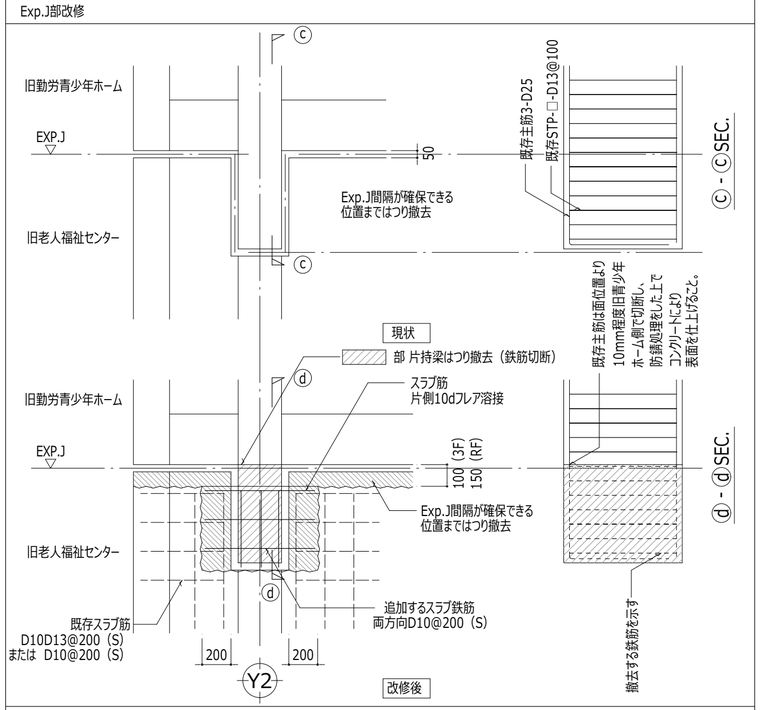


内壁 1:2

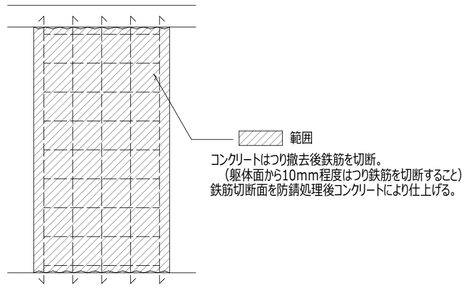
	設計 香山・タニ設計業務共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事 第12399号 香山建築研究所		鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち建築工事	A-92
		一級建築士 第289714号 長谷川祥久	date:2025.07	EXP.Jｶﾊﾞｰ詳細図2 scale: A2 1:2 | A3:71%縮小	



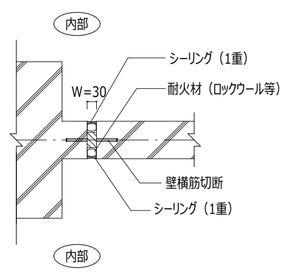
Exp.J部改修



雑壁撤去要領図

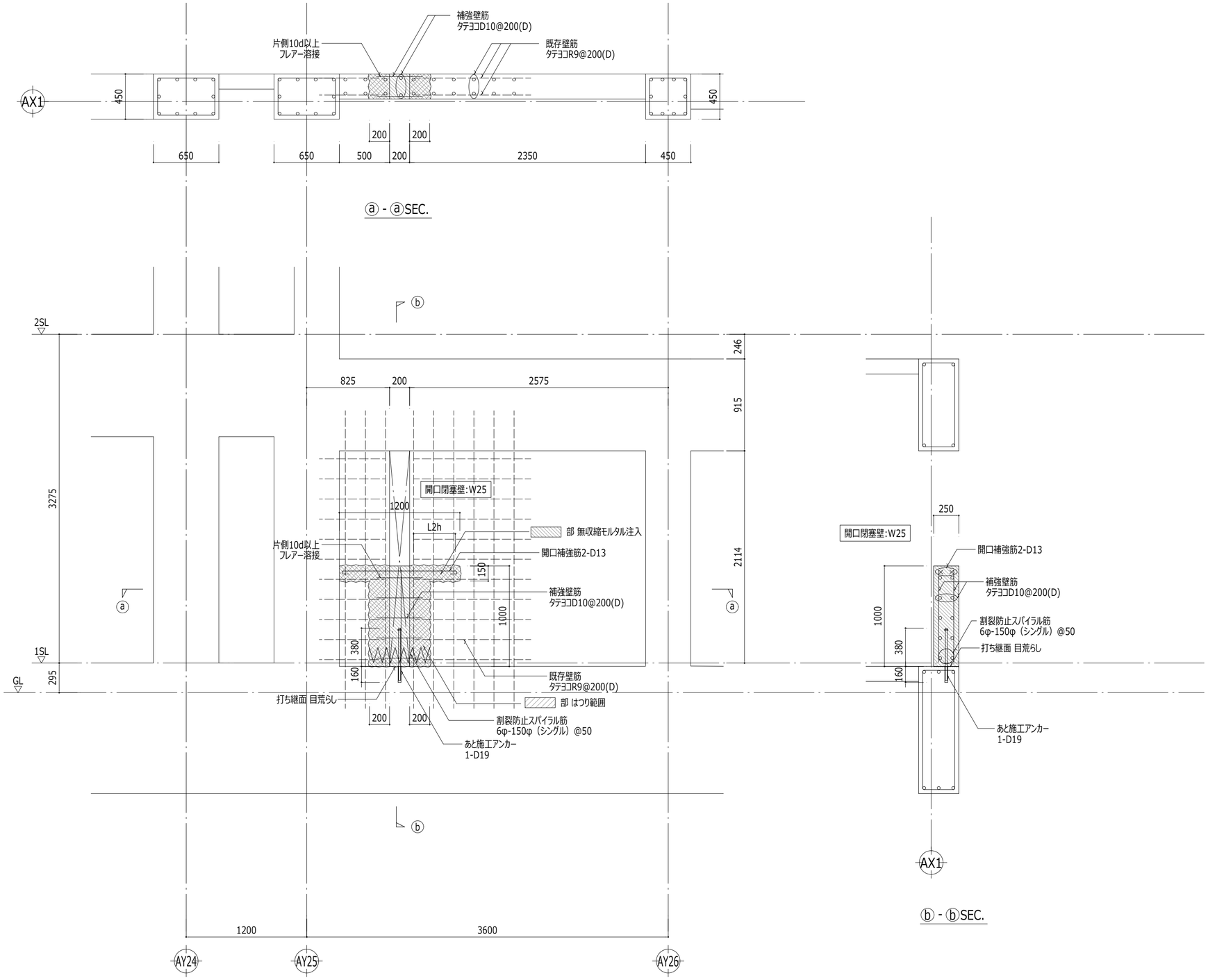


スリット断面詳細図



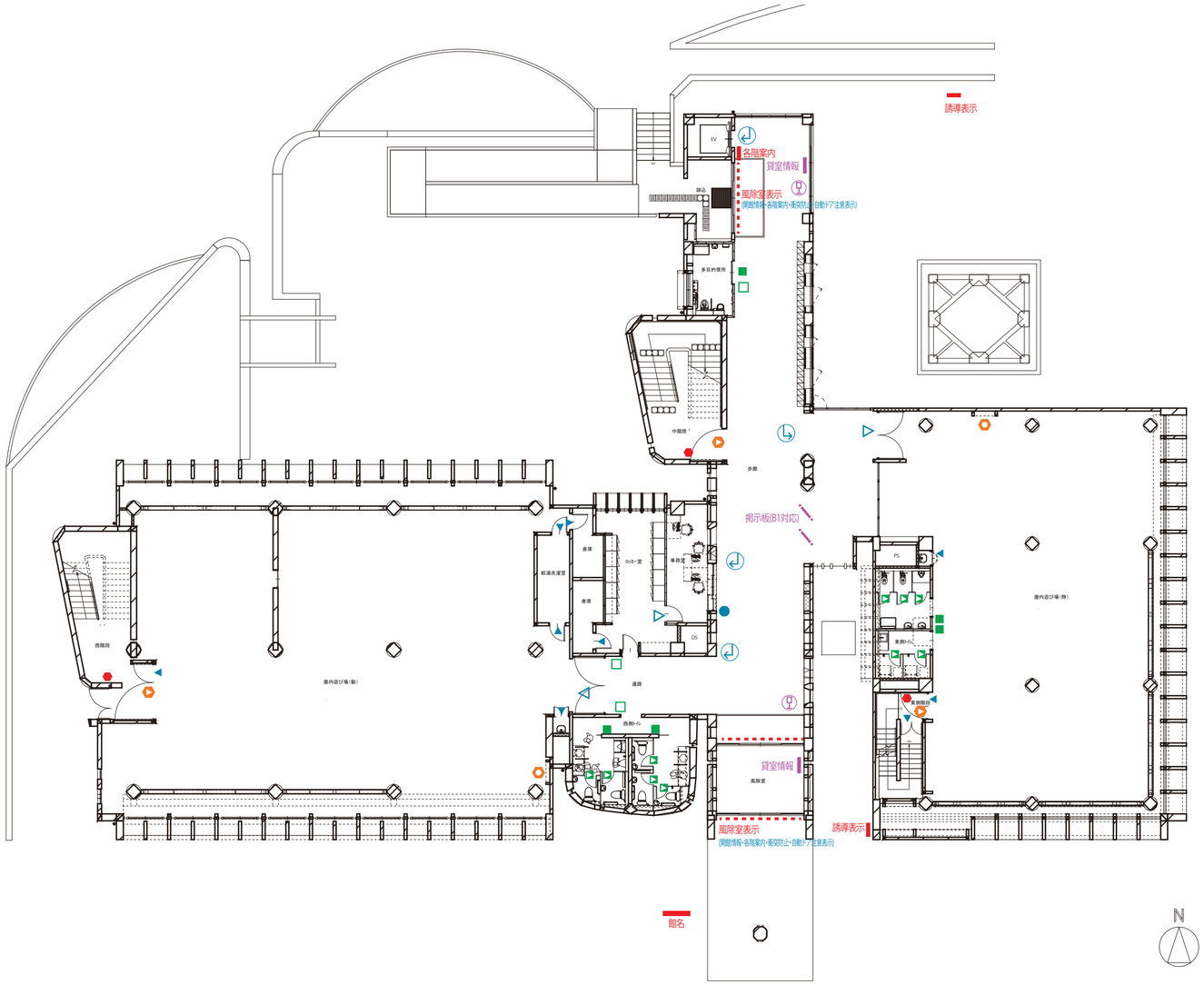
一般部

	設計 香山・タニ設計業務共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事 第12399号 香山建築研究所		鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち建築工事	A-93
		一級建築士 第289714号 長谷川祥久	date:2025.07	耐震改修詳細図1 scale: A2 1:30 | A3:71%縮小	

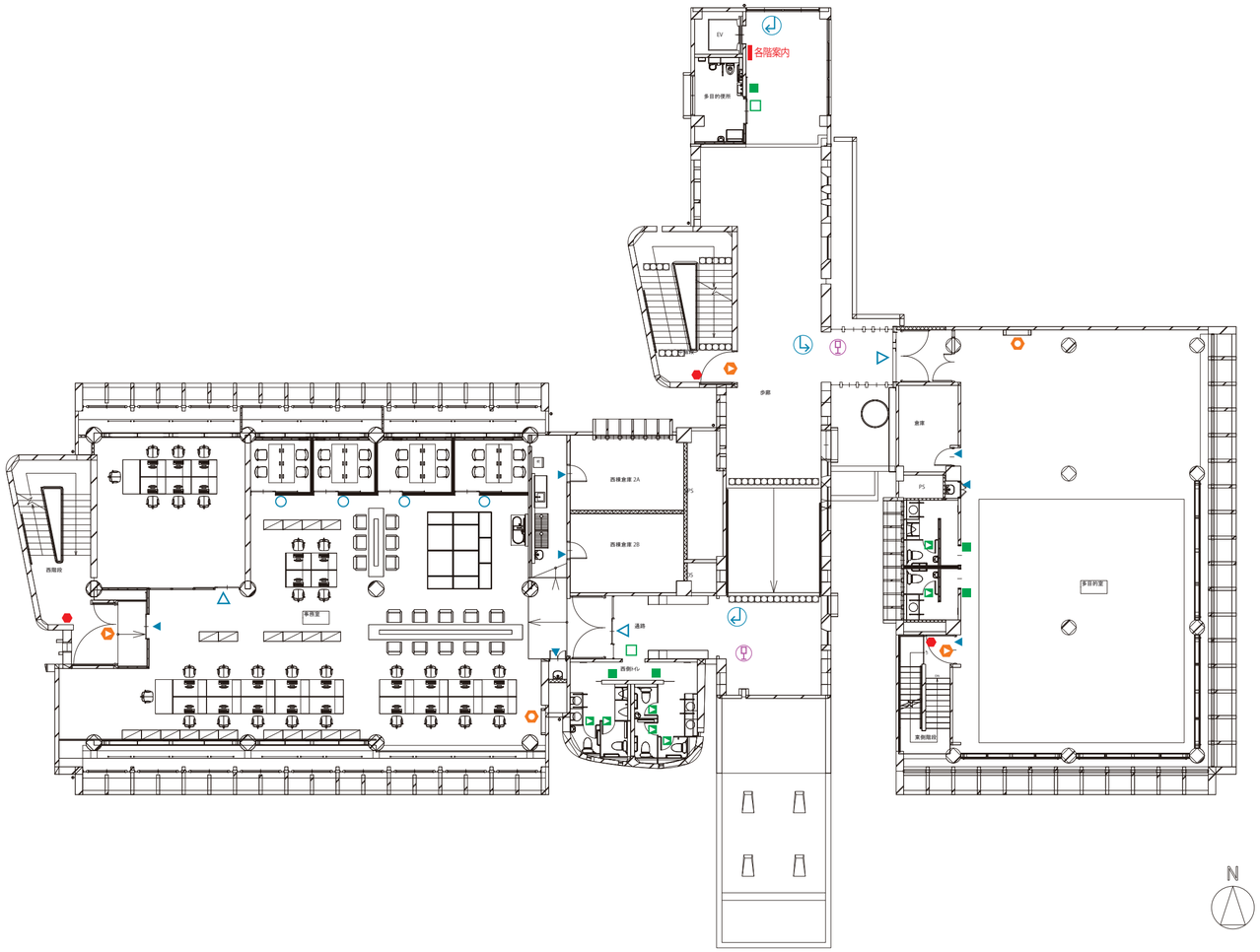


AX1(AX2)通

	設計 香山・タニ設計業務共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事 第12399号 香山建築研究所		鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち建築工事	A-94
		一級建築士 第289714号 長谷川祥久	date:2025.07	耐震改修詳細図2 scale: A2 1:30 | A3:71%縮小	

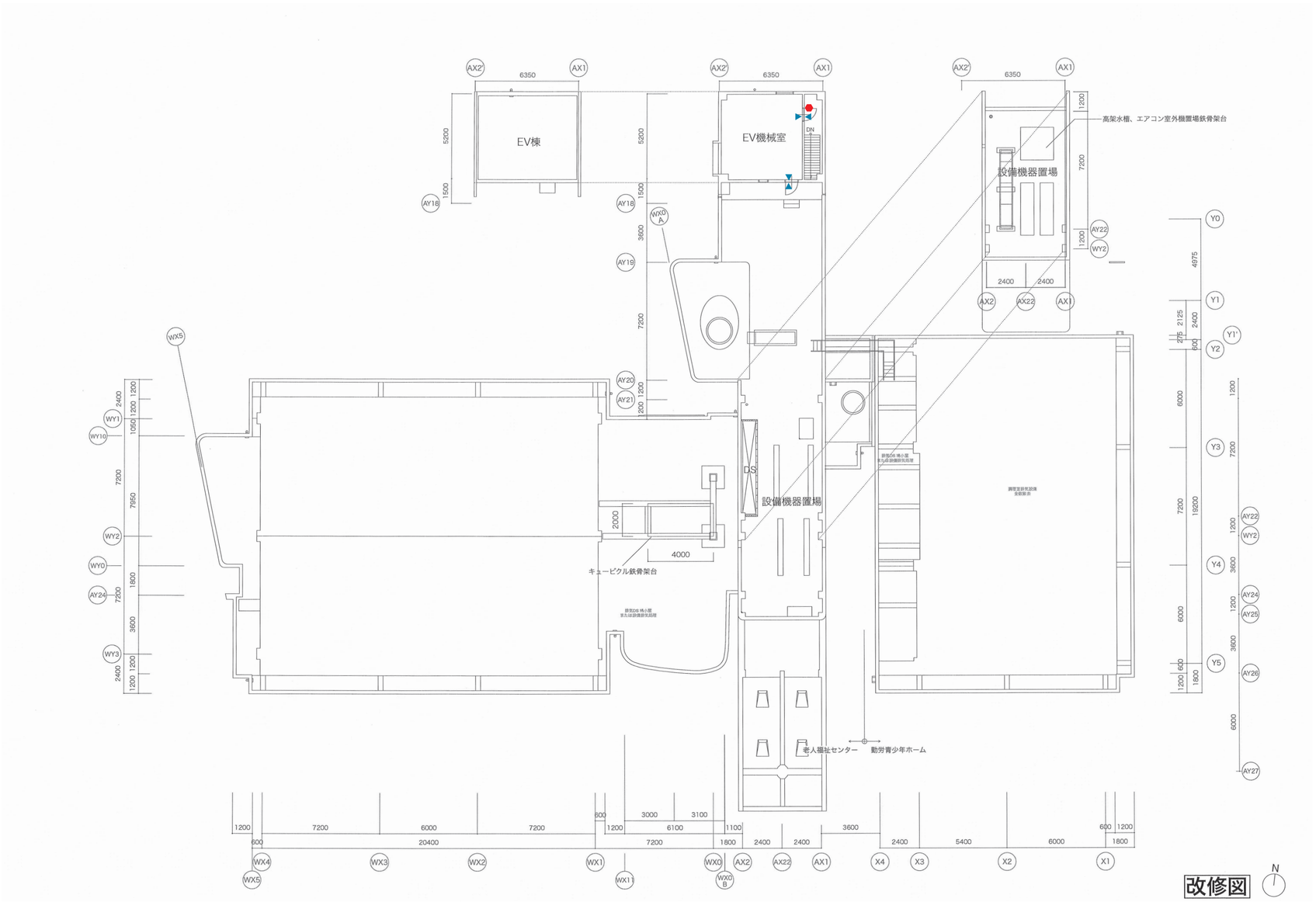


	設計 香山・タニ設計業務共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事 第12399号 香山建築研究所		鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち建築工事	A-95
		一級建築士 第289714号 長谷川祥久	date:2025.07	サイン詳細図1 scale: A2 ｜A3:71%縮小	



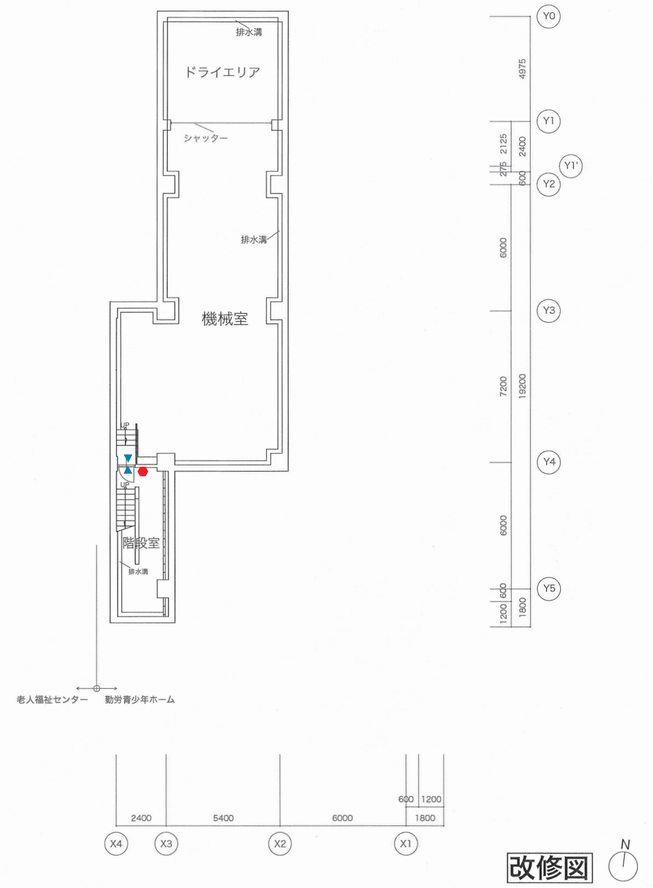
	設計 香山・タニ設計業務共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事 第12399号 香山建築研究所		鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち建築工事	A-96
		一級建築士 第289714号 長谷川祥久	date:2025.07	サイン詳細図2 scale: A2 ｜A3:71%縮小	

	設計 香山・タニ設計業務共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事 第12399号 香山建築研究所		鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち建築工事	A-97
		一級建築士 第289714号 長谷川祥久	date:2025.07	サイン詳細図3 scale: A2 ｜A3:71%縮小	



	設計 香山・タニ設計業務共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事 第12399号 香山建築研究所		鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち建築工事	A-98
		一級建築士 第289714号 長谷川祥久	date:2025.07	サイン詳細図4 scale: A2 | A3:71%縮小	

凡例
改修部分
家具工事



改修図

N

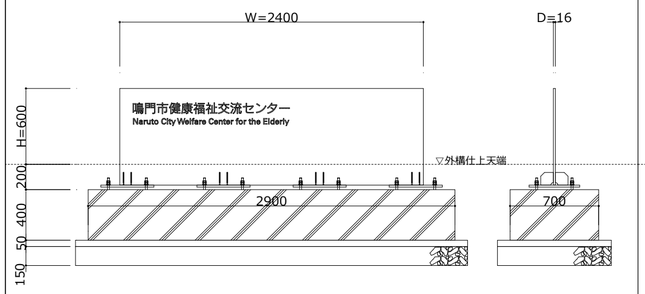
	設計 香山・タニ設計業務共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事 第12399号 香山建築研究所		鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち建築工事	A-99
		一級建築士 第289714号 長谷川祥久	date:2025.07	サイン詳細図5 scale: A2 | A3:71%縮小	

判例 / 名称		数量	備考、想定仕様
Ex 01-1	館名板	1	リン酸処理板館銘板
Ex 02-1	誘導表示	2	自立式(リン酸処理板 小)
In 01-1	風除室表示 (開館情報、各階情報、衝突防止、自動ドア注意表示)	2	ガラス面にシート貼り
In 02-1	各階案内表示 (兼、階数表示)	3	-
In 02-2	ＥＶ内各階案内	1	シルク印刷程度
In 02-3	階数表示 (階段)	11	金物切文字程度
In 03-1	掲示板 (貸室情報)	2	-
In 03-2	掲示板 (多目的 B1対応)	2	-
In 03-3	掲示板 (多目的 A4)	7	簡易可搬タイプ
In 04-1	誘導表示 (突出・吊下)	10	金物切文字程度
In 04-2	室名表示 (在空、A4掲示付)	3	-
In 04-3	室名表示 (在空、相談室)	4	-
In 04-4	室名表示 (扉面)	10	-
In 04-5	室名表示 (扉面、設備室等)	31	-
In 05-1	トイレ案内 (マップ機能説明)	7	-
In 05-2	トイレ等表示 (男・女・車イス・子供・授乳・ロッカー)	15	金物切文字程度
In 05-3	ブース表示 (授乳、機能付トイレ)	24	
In 05-4	ロッカーナンバリング	50	シート貼り程度
In 06-1	避難経路図	9	-
In 06-2	避難器具表示 (避難ハシゴ、説明付)	2	-
In 06-3	消火器消火栓等表示	6	シート貼り程度
In 07-1	禁止表示	5	
In 07-2	注意表示	5	
In 07-3	非常用設備案内板	1	

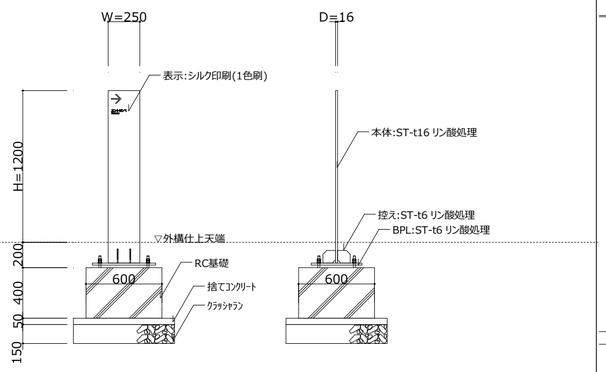
※サインの仕様・デザイン・数量等は監督員との協議により決定する。

Ex01-1 館名板 1/50 (A3)

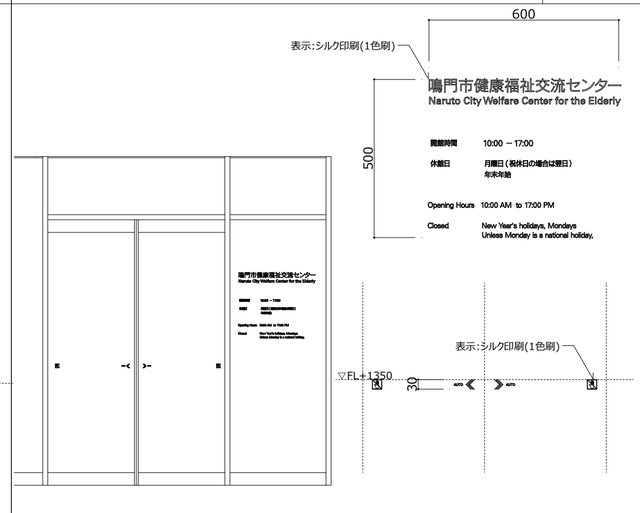
※仕様はEx02-2と同様



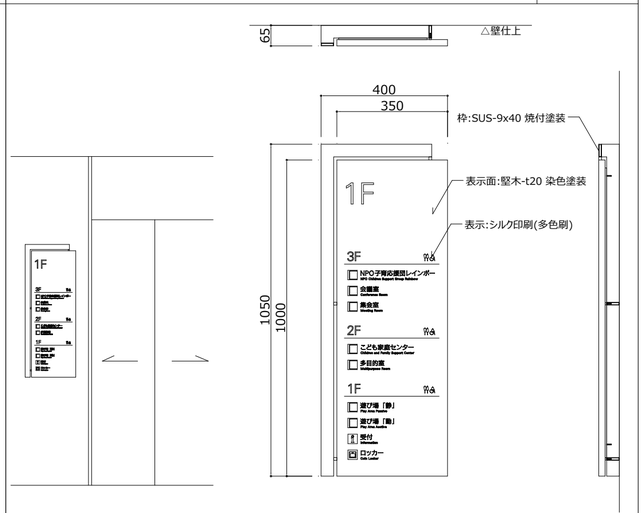
Ex02-1 誘導表示 1/50 (A3)



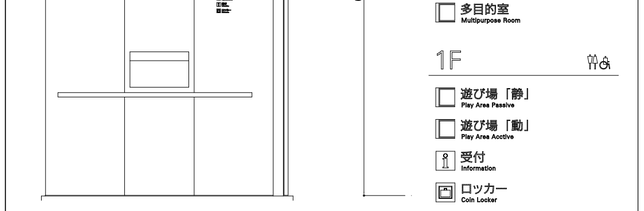
In01-1 風除室表示(開館情報、衝突防止、自動ドア注意表示) 1/50 1/20 (A3)



In02-1 各階案内表示(兼階数表示) 1/50 1/20 (A3)

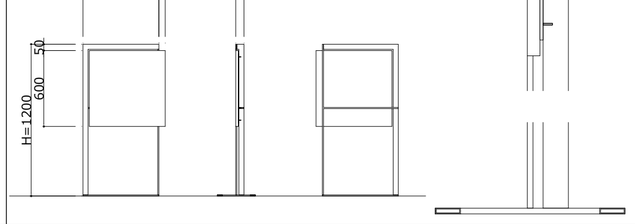


In02-2 各階案内表示(EV内) 1/50 1/10 (A3)



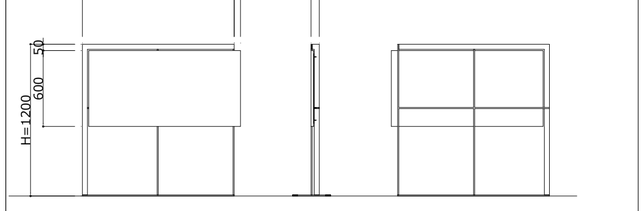
In02-3 階数表示(階段) 1/50 1/10 (A3)

In03-1 掲示板(貸室情報) 1/50 1/10 (A3)



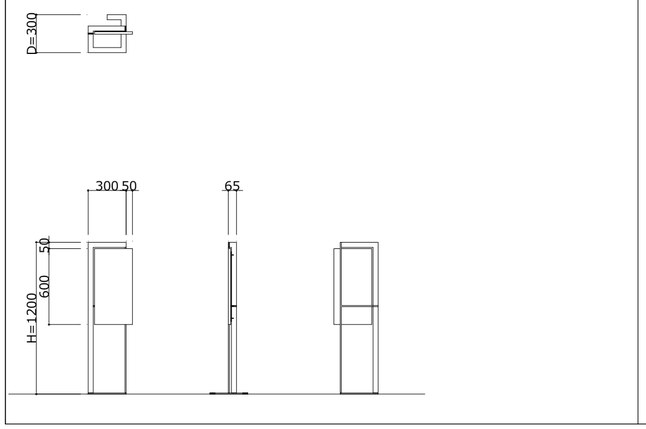
In03-2 掲示板(多目的A1,B1横) 1/50 1/10 (A3)

※仕様はIn03-1と同様

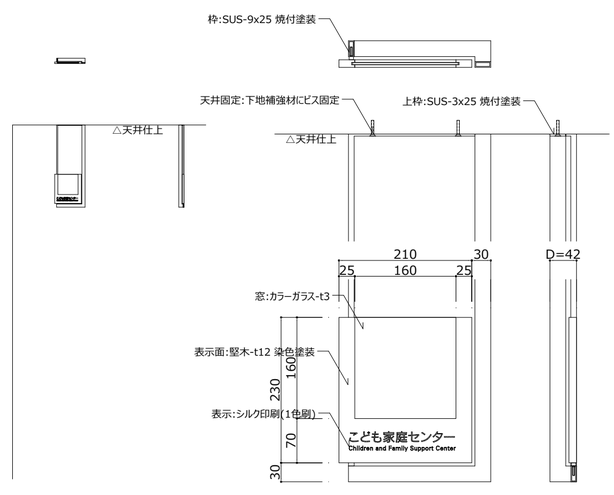


In03-3 掲示板(多目的A4,A3) 1/50 1/10 (A3)

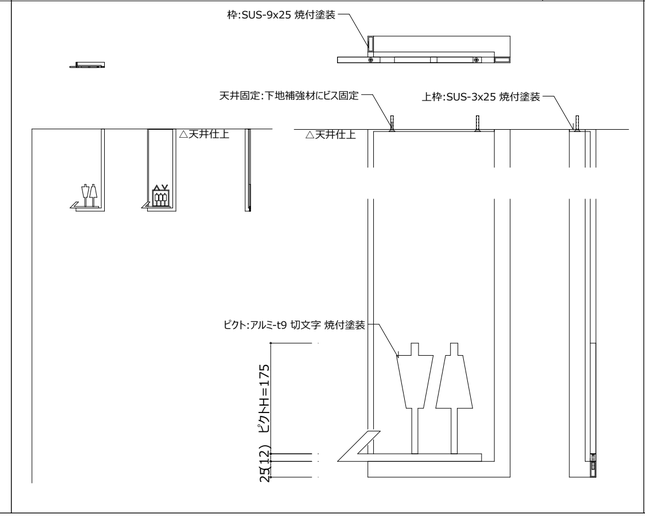
※仕様はIn03-1と同様



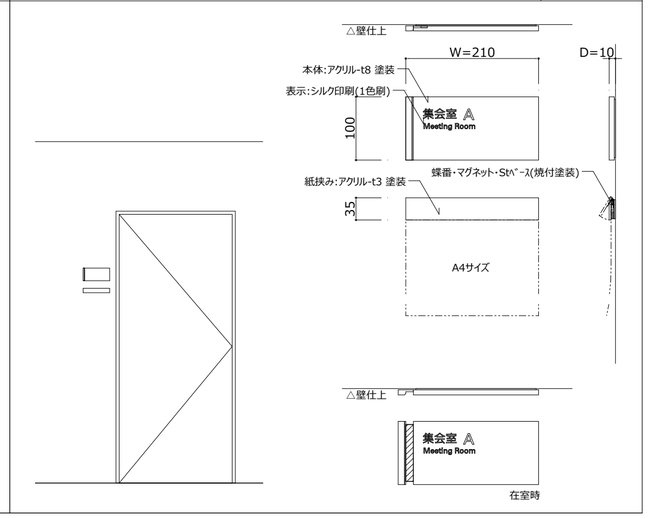
In04-1 誘導表示(突出、吊下) 1/50 1/10 (A3)



In04-1 誘導表示(突出、吊下) (ピクト表示の場合) 1/50 1/10 (A3)

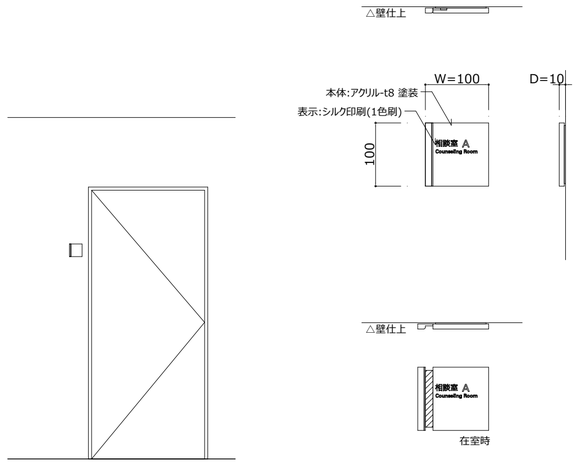


In04-2 室名表示(在空、A4掲示付) 1/50 1/10 (A3)



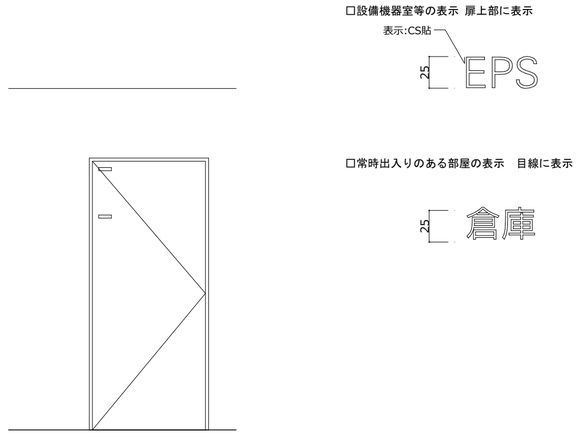
	設計 香山・タニ設計業務共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事 第12399号 香山建築研究所		鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち建築工事	A-101
		一級建築士 第289714号 長谷川祥久	date:2025.07	サイン詳細図7	scale: A2 | A3:71%縮小

In04-3 室名表示(在空、相談室)　1/50 1/10 (A3)

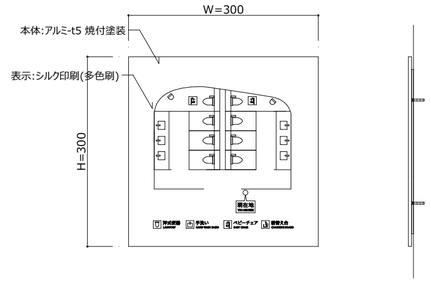


In04-4 室名表示(扉面)　1/50 1/10 (A3)

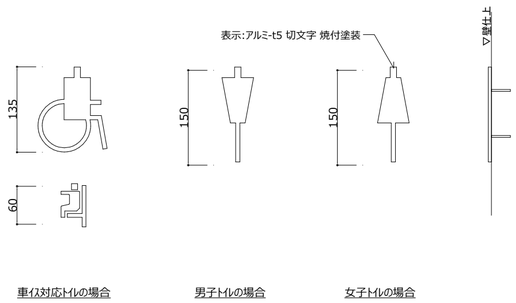
In04-4 室名表示(扉面、設備室など)　1/50 1/5 (A3)



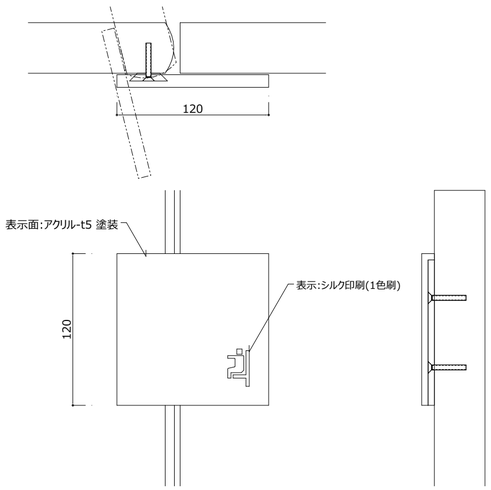
In05-1 トイレ案内(マップ機能説明)　1/10 (A3)



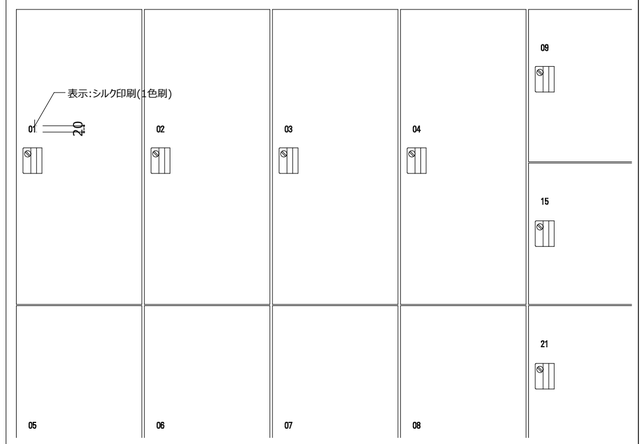
In05-2 トイレ等表示(男・女・車イス・子供・授乳・ロッカー)　1/10 (A3)



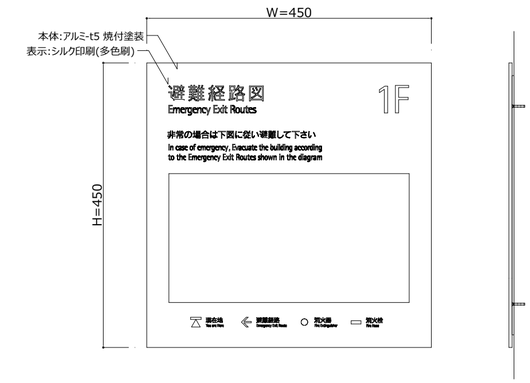
In05-3 ブース表示(授乳・機能付きトイレ)　1/5 (A3)



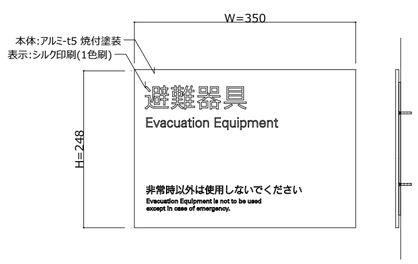
In05-4 ロッカーナンバリング　1/20 (A3)



In06-1 避難経路図　1/10 (A3)

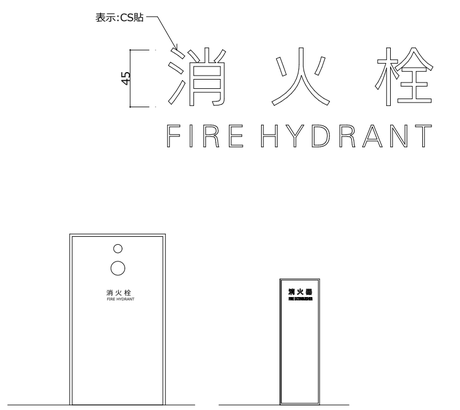


In06-2 避難器具表示(避難ハシゴ、説明付き)　1/10 (A3)

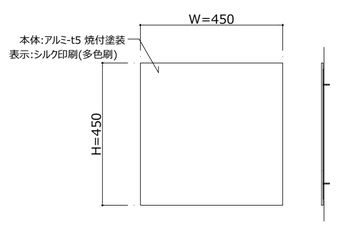


In06-3 消火器・消火栓等表示　1/50 1/5 (A3)

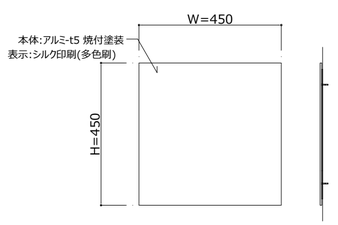
※放水口、消火栓、消火器、散水栓、非常用ｺﾝｾﾝﾄ、非常電話など場所毎に必要な表示をする



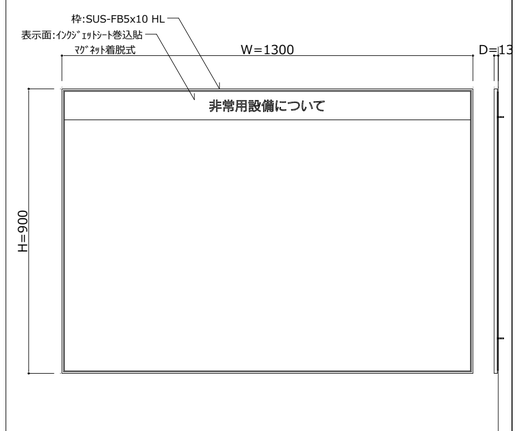
In07-1 禁止表示　1/20 (A3)



In07-2 注意表示　1/50 1/5 (A3)



In07-3 非常用設備案内板　1/20 (A3)



設計	香山・タニ設計業務共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事 第12399号　香山建築研究所		鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち建築工事	A-102
		一級建築士 第289714号 長谷川祥久	date:2025.07	サイン詳細図8　scale: A2 ｜A3:71%縮小	